

## 5 たて張りの施工

- 5-1. 施工の手順とポイント . . . . P41
- 5-2. 15mm品 各部位の納まり図 . . . . P67
- 5-3. 25mm品 (SP-ガルボウ)  
各部位の納まり図 . . . . P119

## 5-1. 施工の手順とポイント

### 5-1-1. 施工の流れ

- ①15mm品の場合 . . . . P42
- ②25mm品（SP-ガルボウ）場合 . . . . P43

### 5-1-2. 下地の施工

- ①柱・間柱・サッシなどのチェック . . . . P44
- ②捨て水切または通気水切の取り付け . . . . P44
- ③透湿防水シート張り . . . . P45
- ④胴縁の取り付け . . . . P45

### 5-1-3. 本体、部材の施工

- ①先付け部材の施工 (1階部分) . . . . P47
- ②本体の施工 (1階部分) . . . . P49
- ③後付け部材の施工 (1階部分) . . . . P52
- ④先付け部材の施工 (2階部分) . . . . P53
- ⑤本体の施工 (2階部分) . . . . P54
- ⑥後付け部材の施工 (2階部分) . . . . P54
- ⑦シーリング材の施工 . . . . P55
- ⑧補修・点検・片づけ . . . . P55

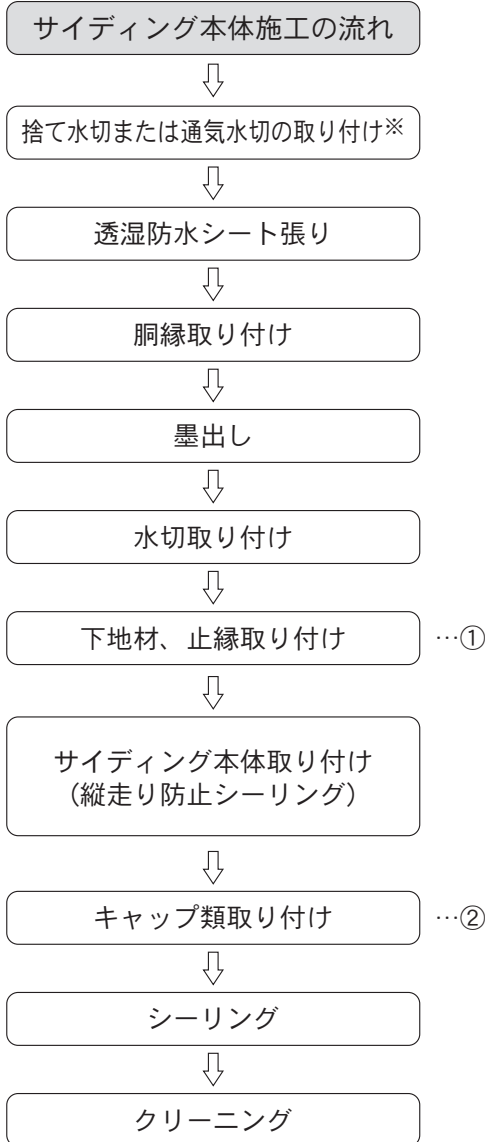
### 5-1-4. SP-ガルブライト（たて張り）、SP-ガルボウの場合

- ①本体の切り欠き方の制限 . . . . P56
- ②開口部での部材の施工 . . . . P56
- ③連窓の場合の胴縁の配置 . . . . P56
- ④本体のくぎ打ち部を切り欠いて施工する  
場合の寸法取りについて . . . . P57
- ⑤連窓中間部の納め方 . . . . P59
- ⑥切り欠いた本体を運搬する時の取り扱い方法 . . . . P66

## 5-1. 施工の手順とポイント

### 5-1-1. 施工の流れ

#### 15mm品の場合



※ 水切15Sまたは通気水切15を使用する場合。  
 ① 先付け部材  
 ② 後付け部材

15mm品（たて張り）に使用する部材

部位	必要部材	手順
土台部	水切15S／通気水切15 縦用スターター15 アルミ縦用スターター15	① ① ①
出隅部	〔 出隅下地15N 3M出隅キャップ15-25 4M出隅キャップ15-25 スリム出隅キャップ 出隅15 〕	① ② ② ②
入隅部	〔 止縁C15 入隅下地15S 入隅キャップ15-25S 入隅15 〕	① ① ② ②
縦継ぎ部	水切15S 縦用スターター15	① ①
軒部	〔 通気軒見切15-25 止縁C15 止縁捨板 止縁キャップC15 スリム止縁 〕	① ① ① ② ①
見切り 下屋	縦用スターター15	①
笠木部	通気水切15 縦用スターター15	① ①
下がり壁	下がり壁水切D45 縦用スターター15	① ①
開口部	捨板 (15×85) 小口カバー15	① ①
	捨板 (15×85) 止縁C15	① ①
	捨板 (15×85) スリム止縁	① ①
	〔 止縁C15 止縁捨板 止縁キャップC15 スリム止縁 〕	① ① ② ①
隅角	ワンタッチコーナー キャップ15-25	②

注) 部材の □ 内はセットで使用してください。商品毎に対応部材が異なります。各商品の部材規格をご確認ください。

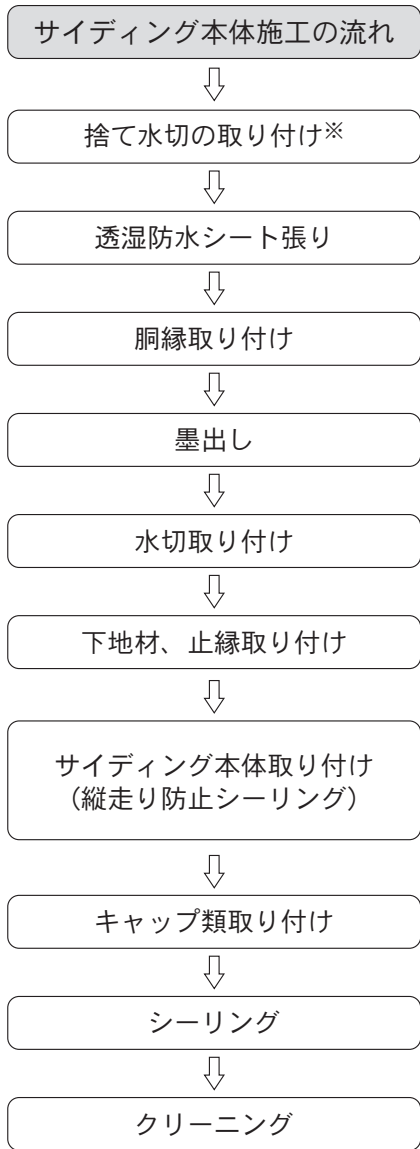
- ① 先付け部材  
 ② 後付け部材

5. たて張りの施工

5-1. 施工の手順とポイント

5-1-1. 施工の流れ

25mm品（SP-ガルボウ）の場合



※ 水切25Sを使用する場合。

- ① 先付け部材
- ② 後付け部材

25mm品（SP-ガルボウ）に使用する部材

部位	必要部材	手順	
土台部	水切25S 縦用スターター25	① ①	
出隅部	〔 出隅下地15N 3M出隅キャップ15-25 4M出隅キャップ15-25 〕	① ② ②	
入隅部	止縁C25	①	
縦継ぎ部	水切25S 縦用スターター25	① ①	
軒部	〔 通気軒見切15-25 止縁C25 止縁捨板 止縁キャップ25 〕	① ① ① ②	
見切り 下屋	-	-	
笠木部	水切（現場加工）	①	
下がり壁	下がり壁水切（現場加工）	①	
開口部	上	捨板（15×85） 止縁C25※	① ①
	左右・下	〔 止縁C25 止縁捨板 止縁キャップ25 〕	① ① ②
	隅角	ワンタッチコーナー キャップ15-25	②

注) 部材の □ 内はセットで使用してください。商品毎に対応部材が異なります。各商品の部材規格をご確認ください。

※ 水抜き穴（Φ5@300mm）の現場加工が必要です。

- ① 先付け部材
- ② 後付け部材

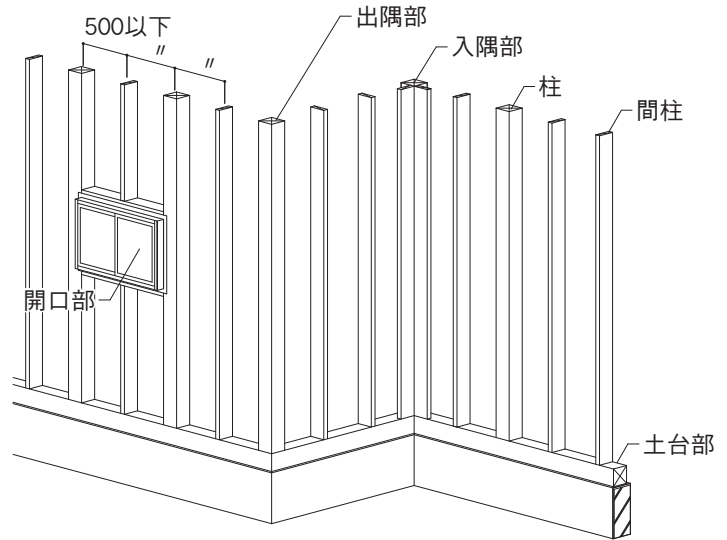
## 5-1. 施工の手順とポイント

単位：mm

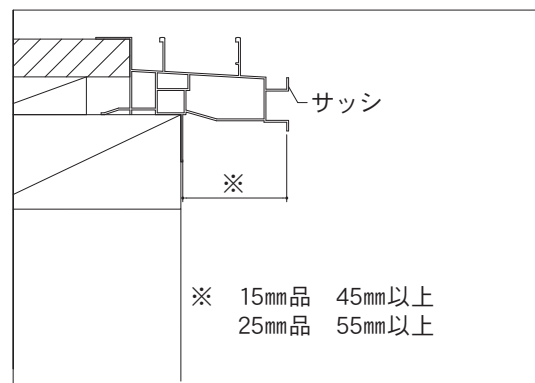
### 5-1-2. 下地の施工

#### ①柱・間柱・サッシなどのチェック

- ・デザイン、作業効率、材料のロス、開口部の位置などを考慮して、本体のジョイント位置を決めます。
- ・本体が極端に短くならないよう注意してください。
- ・各取り合い部には予め複数の部材を用意しています。デザイン性・施工性を考慮し選択してください。その際、キャップ類と捨板類の組み合わせについて間違いがないか確認してください。



- ・サッシは、下地表面からの出幅が15mm品は45mm以上、25mm品は55mm以上のものを使用してください。

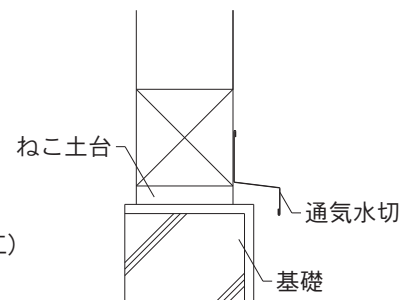
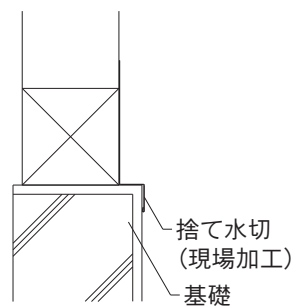


5  
施  
工  
張  
り  
の

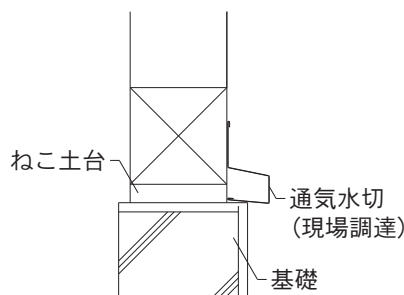
#### ②捨て水切または通気水切の取り付け

○水切15Sを使用する場合

○通気水切15を使用する場合



○水切 (現場調達) を使用する場合



5. たて張りの施工

5-1. 施工の手順とポイント

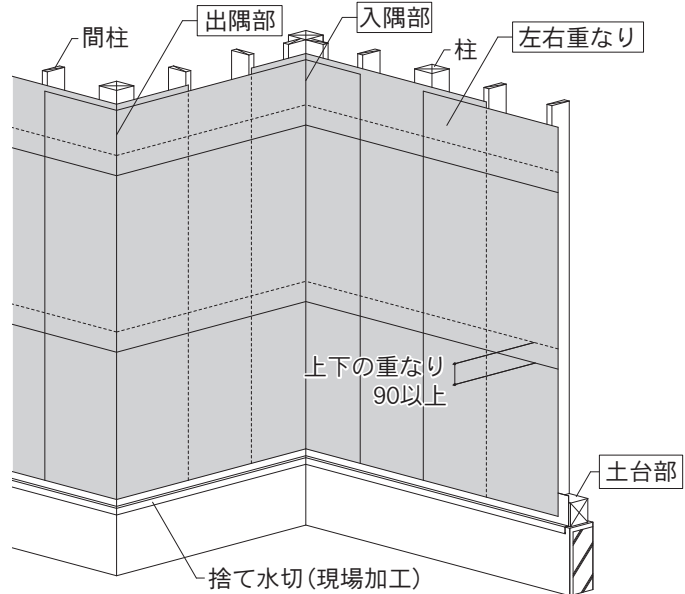
単位：mm

5-1-2. 下地の施工

③透湿防水シート張り

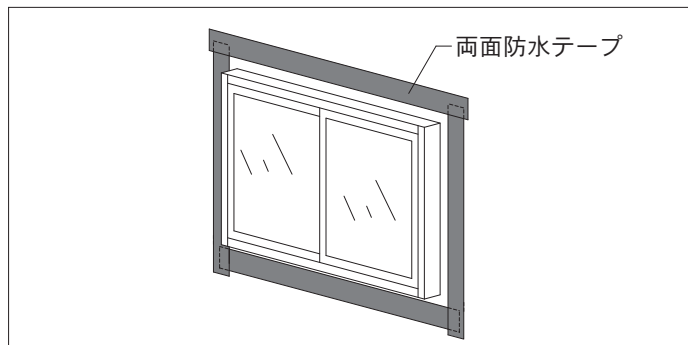
1) 一般部

- 透湿防水シートは横張りを原則とし、下から上へ張り上げてください。重ね合わせは鉛直方向で、90mm以上、水平方向で耐力面材のない場合は、間柱（柱）と間柱の間とし、耐力面材のある場合は150mm以上としてください。
- 換気口、配管回り、その他の壁貫通口などの周囲は、防水テープを貼り、すき間ができないように透湿防水シートと密着してください。



2) 開口部

- 開口部では、サッシ枠周囲に両面防水テープを貼り、すき間ができないよう防水紙を密着してください。



④胴縁の取り付け

次の胴縁を施工してください。

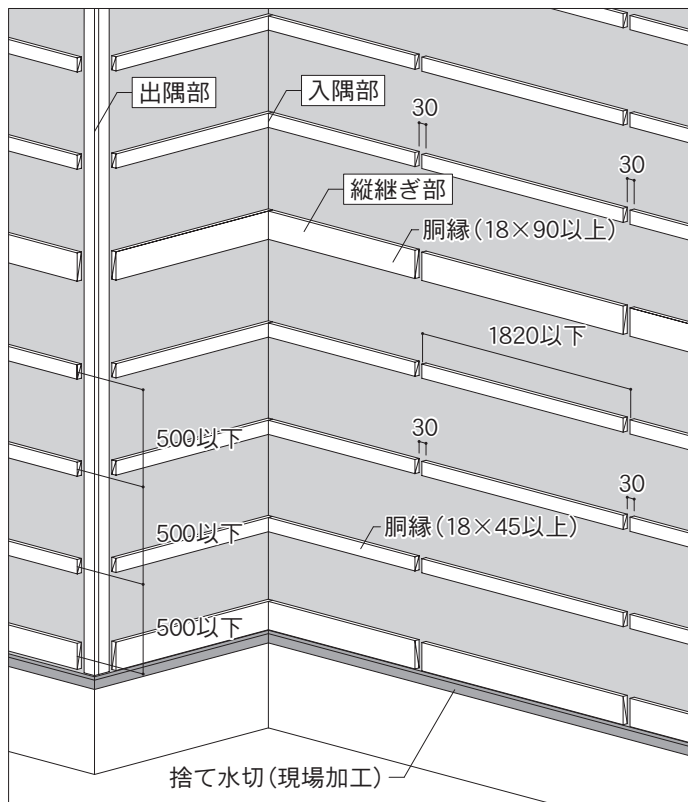
胴縁間隔：500mm以下

一部の防耐火構造認定では、455mm以下

部位	胴縁サイズ※1
一般部 出隅部	18×45mm以上
土台部 縦継ぎ部 軒部 開口部	18×90mm以上、 または18×45mm以上（ダブル）

- 積雪地域では、雪の積もる高さまで、胴縁間隔を狭くするなどの対処をしてください。

※1 横胴縁は、直接商品を留め付けるため、十分な強度が必要になります。防耐火構造認定では、15×45mm以上を取得していますが、厚さ18mmを推奨しています。



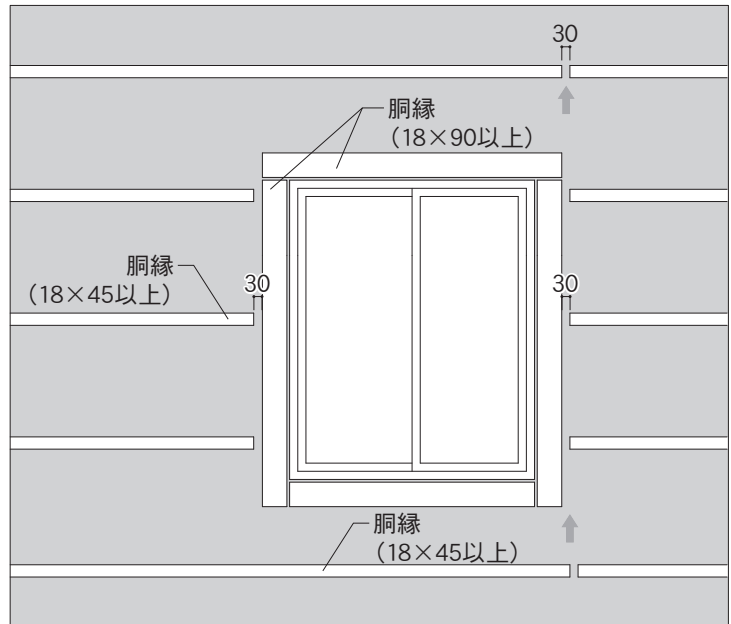
## 5-1. 施工の手順とポイント

単位：mm

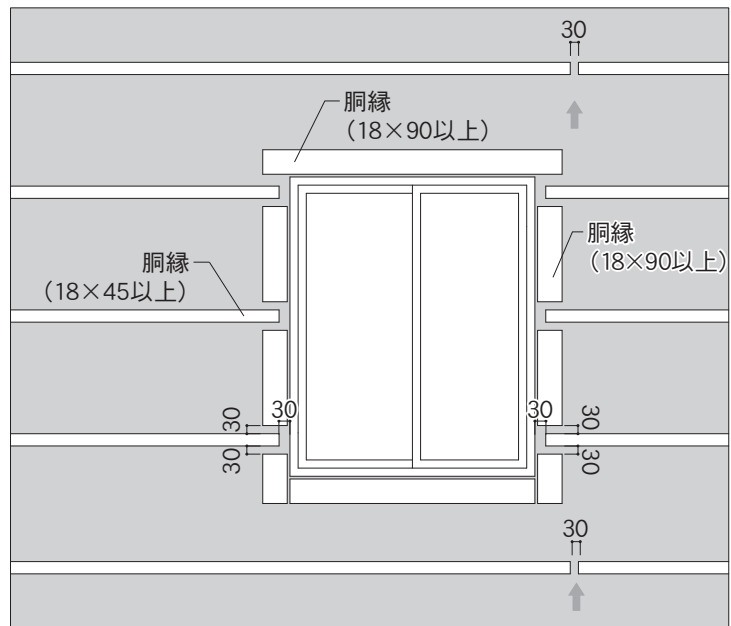
### 5-1-2. 下地の施工

#### ・開口部

開口部周囲の胴縁は、30mm程度のすき間をあけ、通気を妨げないように施工してください。



横胴縁がサッシ左右に留め付けられない場合は、右図のように配置してください。



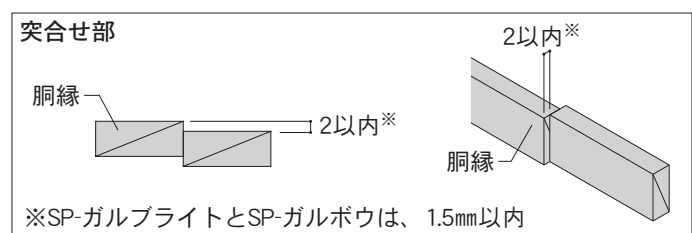
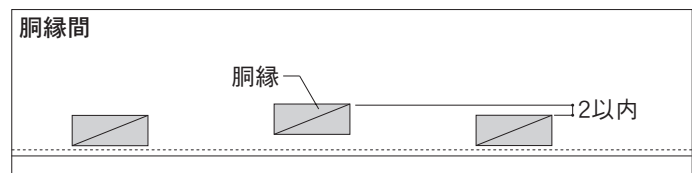
5

施  
た  
工  
て  
張  
り  
の

#### ・胴縁の不陸

本体を施工する前に、胴縁の不陸を確認し調整をしてください。

胴縁間の不陸は、2mm以内、突合せ部は2mm以内としてください。SP-ガルブライトとSP-ガルボウは、表面がフラットです。表面のゆがみや下地の跡が強調される場合があります。突合せ部は、1.5mm以内としてください。



5. たて張りの施工

5-1. 施工の手順とポイント

単位：mm

5-1-3. 本体、部材の施工

①先付け部材の施工（1階部分）

1) 部材の施工順序（縦継ぎを設ける場合）

施工順序	部位	15mm品	25mm品
1	土台部	水切15S	水切25S
2	出隅部	出隅下地15N	出隅下地25S
3	入隅部	入隅下地15S 止縁C15または 止縁捨板	止縁C25または 止縁捨板
4	土台部	縦用スターター15または アルミ縦用スターター15	縦用スターター25

2) 部材の施工順序（縦継ぎを設けない場合）

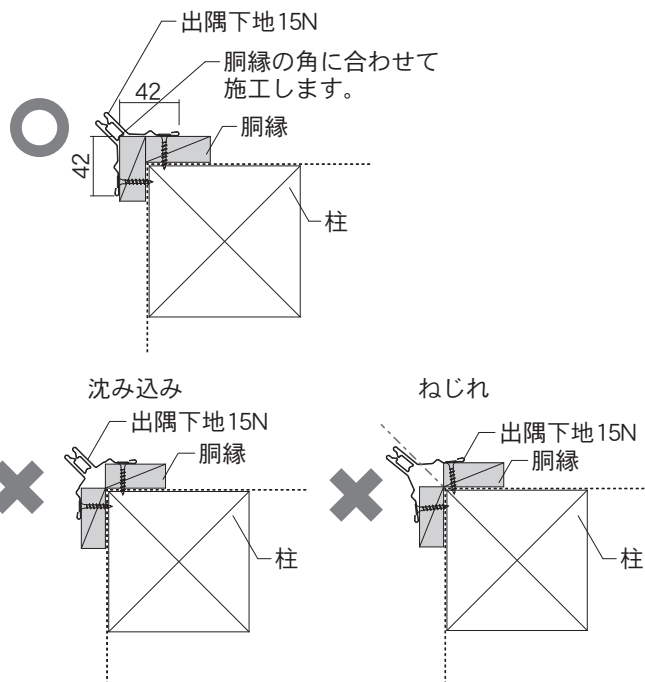
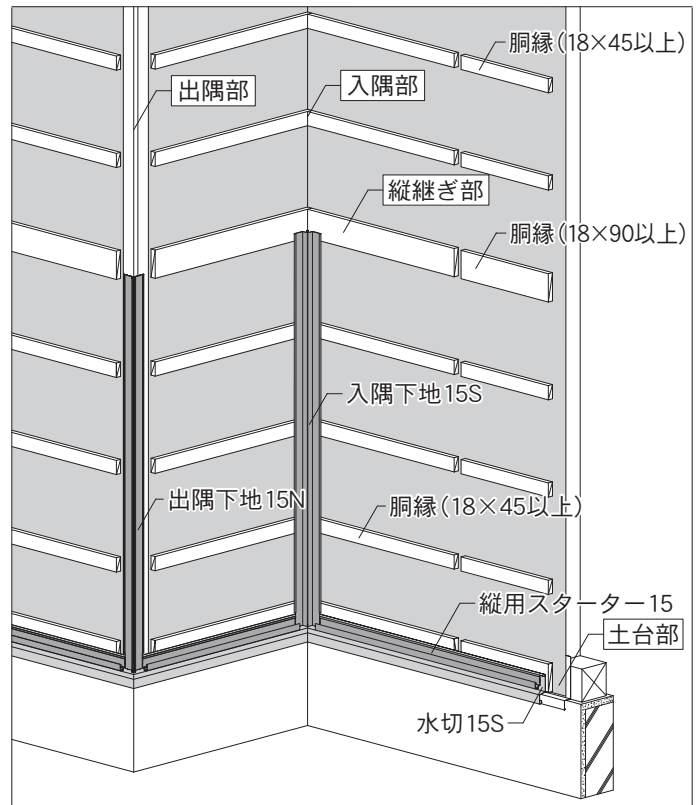
・準標準品などの長尺を使用し、縦継ぎを設けない場合は、次の順序で施工してください。

施工順序	部位	15mm品	25mm品
1	土台部	水切15S	水切25S
	軒部	止縁C15または 止縁捨板	止縁C25または 止縁捨板
2	出隅部	出隅下地15N	出隅下地25S
3	入隅部	入隅下地15S 止縁C15または 止縁捨板	止縁C25または 止縁捨板
4	土台部	縦用スターター15または アルミ縦用スターター15	縦用スターター25

- ・下地材を施工した後に縦用スターター15を施工してください。
- ・図は15mm品で記載しています。25mm品も同様に施工してください。
- ・部材の加工方法とつなぎ方を併せて参照ください。（P222～）

3) 墨出し

- ・墨出しを行い、先付け部材を水平、垂直に施工してください。
- ・出隅下地15Nを留め付ける際に、ねじれたり沈み込んだりすると3M/4M出隅キャップ15-25またはスリム出隅キャップがはまりにくくなります。墨出しを行ってから、出隅下地15Nを施工してください。





## 5-1. 施工の手順とポイント

単位：mm

### 5-1-3. 本体、部材の施工

#### 4) 開口部：部材の施工順序

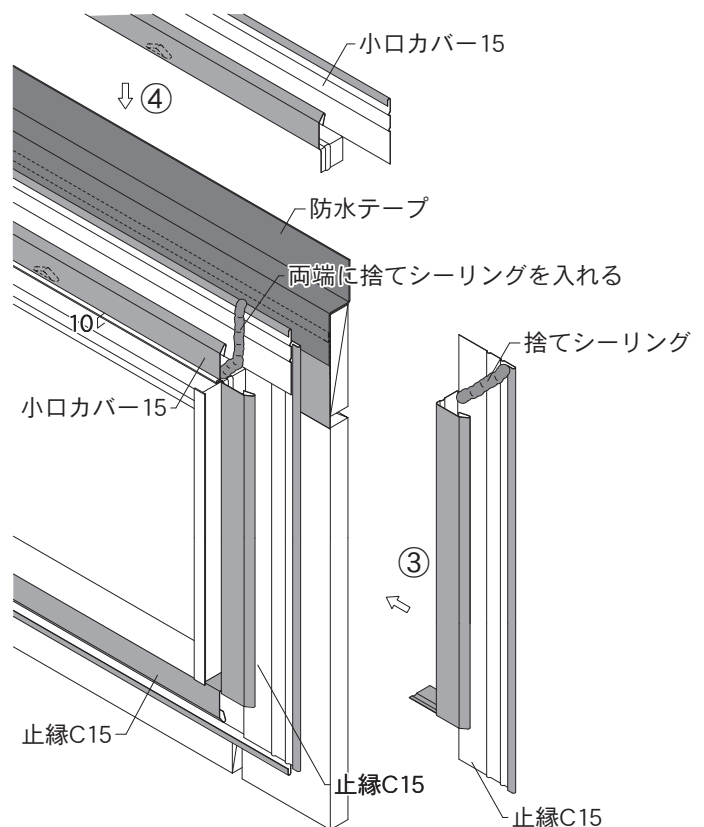
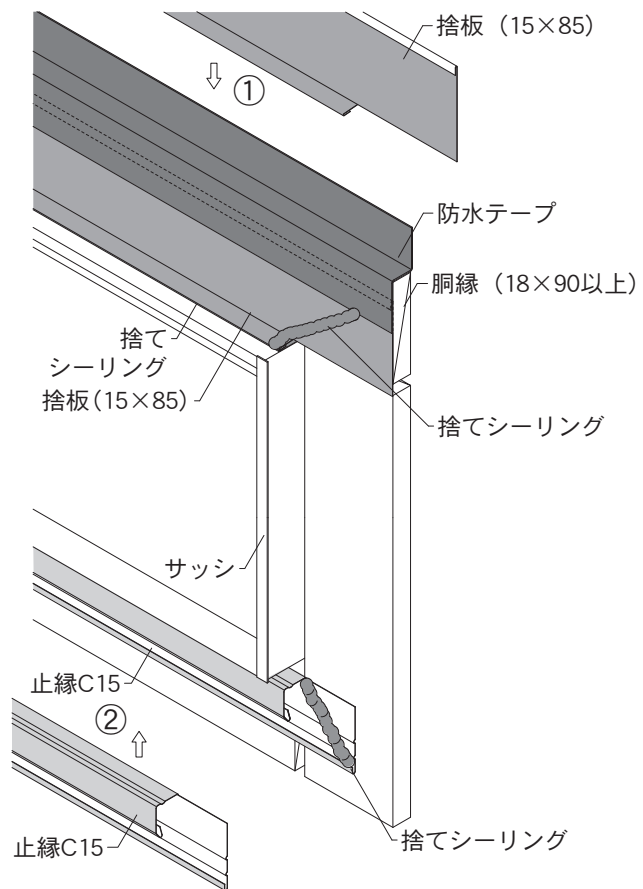
・次の順序で施工してください。

施工順序	部位	15mm品	25mm品
1	開口部上	捨板(15×85)	捨板(15×85)
2	開口部下	止縁C15	止縁C25
3	開口部左右	止縁C15	止縁C25
4	開口部上	小口カバー15	止縁C25 (現場加工水抜き穴)
5	隅角部	ワンタッチコーナーキャップ15-25	

・図は15mm品で記載しています。25mm品も同様に施工してください。

#### 5) その他の部材

・複数の部材を準備しています。デザイン性、施工性を考慮して選択してください。詳細は、  
5-2.15mm品 各部位の納まり図 (P67～)、  
5-3.25mm品 (SP-ガルボウ) 各部位の納まり図 (P119～) を併せて参照してください。



5

施  
た  
て  
張  
り  
の

## 5. たて張りの施工

### 5-1. 施工の手順とポイント

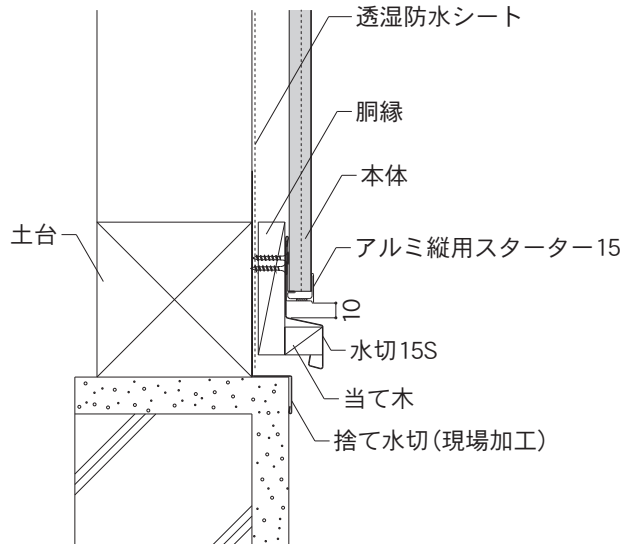
単位：mm

#### 5-1-3. 本体、部材の施工

##### 6) 積雪の影響（雪の負荷）のある地域

土台部や下屋見切り部では、雪の重みで本体や部材が変形するおそれがありますので、次の対処をしてください。

- ・雪の積もる高さまで胴縁の間隔を狭くするなどの対処をしてください。
- ・水切15S及び通気水切15は、図のように当て木を入れるなどの対処をしてください。
- ・本体と部材は、積雪の荷重や落雪、除雪の固まりなどが当たらないよう対処してください。
- ・土台部、下屋見切り部では、縦用スターター15ではなく、アルミ縦用スターター15の使用をお勧めします。アルミ縦用スターター15と本体、部材は、塗装方法が異なります。本体、部材と同じ色名でも色調に差があります。あらかじめご了承ください。
- ・縦継ぎ部にアルミ縦用スターター15を使用すると防耐火構造認定の対象外となります。



#### ②本体の施工（1階部分）

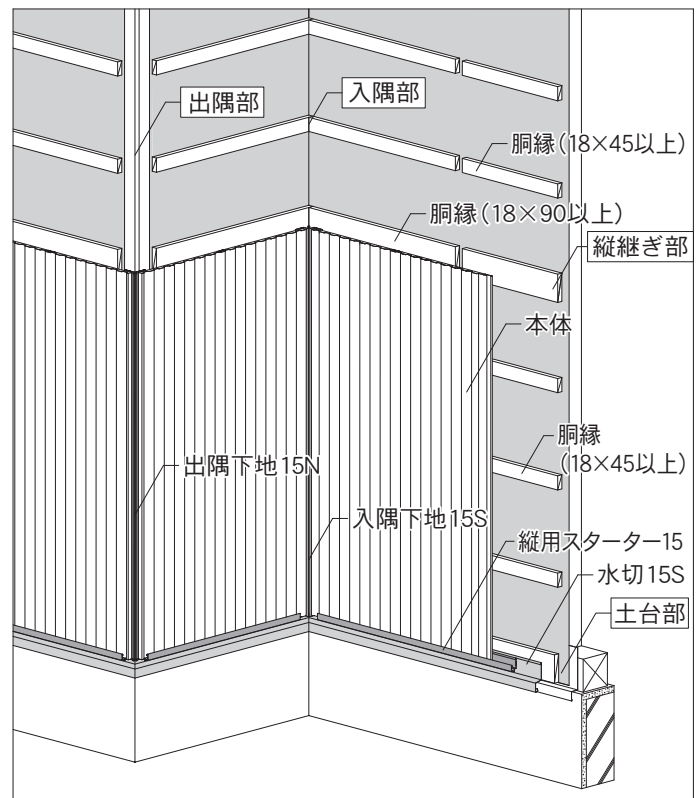
本体は、SP-ガルスパンで記載しています。施工方法は、15mm品・25mm品も同様です。詳細は、5-2.15mm品 各部位の納まり図（P67～）、5-3.25mm品（SP-ガルボウ）各部位の納まり図（P119～）を併せて参照してください。

##### 1) 墨出し

働き幅に合わせて墨出しを行ってください。

##### 2) 本体の施工

本体は、働き幅で施工してください。働き幅より広い幅で施工すると、水密性や耐風圧強度などで十分な性能を発揮できなくなるおそれがあります。ただし、SF-ガルステージシャイン、NFI/NPT/NPIは、働き幅以下になる場合もありますが、目地幅を整えて施工してください。

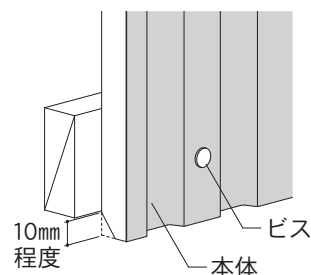


##### ・本体の切断

各施工箇所に合わせて、本体を切断してください。

切断時に発生するバリや切粉を放置すると、さびや汚れの原因になります。速やかに除去してください。

本体を切断して納める際は、本体下部からしん材を10mm程度取り除いてください。



## 5-1. 施工の手順とポイント

単位：mm

### 5-1-3. 本体、部材の施工

#### ・本体の施工と留め付け

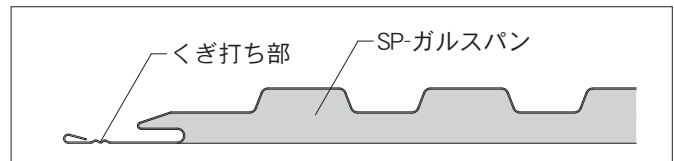
##### I. 留め具

留め具の寸法は、防耐火構造認定に従ってください。防耐火構造認定を必要としない場合は、右に従ってください。材質は、ステンレスまたは亜鉛めっきを推奨します。（P38参照）

スクリークぎ：φ2.15×L38 mm以上  
木ねじ：φ3.1×L25 mm以上  
(木ねじは木胴縁を貫通する長さを選定してください。)

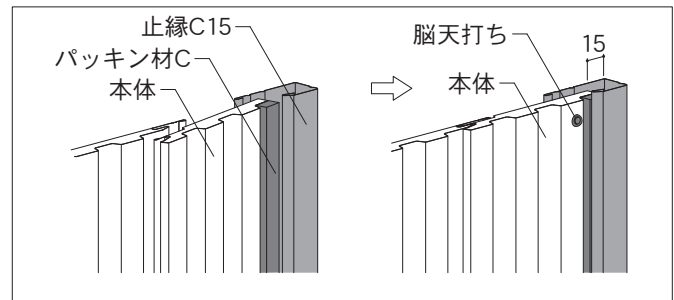
##### II. SP-ガルスパンの場合

本体には、くぎ打ち部の目安となるリブが付いています。



#### ・本体の張り終わり

本体の張り終わりなどで止縁C15または止縁C25に差し込む際は、15mm程度のはめ込み代が必要となります。採寸時に注意してください。



#### ・脳天打ち

本体のかん合部を切り欠いた箇所脱落や変形を防止するために脳天打ちをしてください。くぎ頭やねじ頭は、シーリング材の施工またはタッチアップペイントで塗装をしてください。

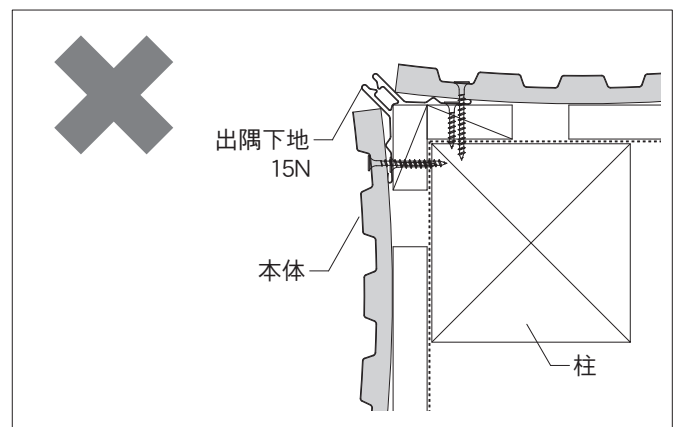
本体に、下穴をあけてから脳天打ちしてください。留め具の打ち込みすぎには注意してください。

#### ・出隅部

本体の端部が、出隅下地15Nの中央部にのり上げると、3M/4M出隅キャップ15-25またはスリム出隅キャップがはまりにくくなりますので、注意してください。

#### ・施工期間中の養生

施工期間中は、笠木などの部分から雨水が入らないよう養生してください。



5

施  
工  
た  
て  
張  
り  
の

## 5. たて張りの施工

### 5-1. 施工の手順とポイント

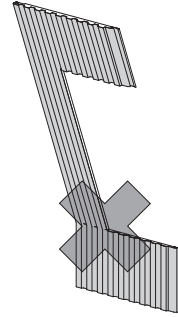
単位：mm

#### 5-1-3. 本体、部材の施工

##### 3) 開口部：本体の施工

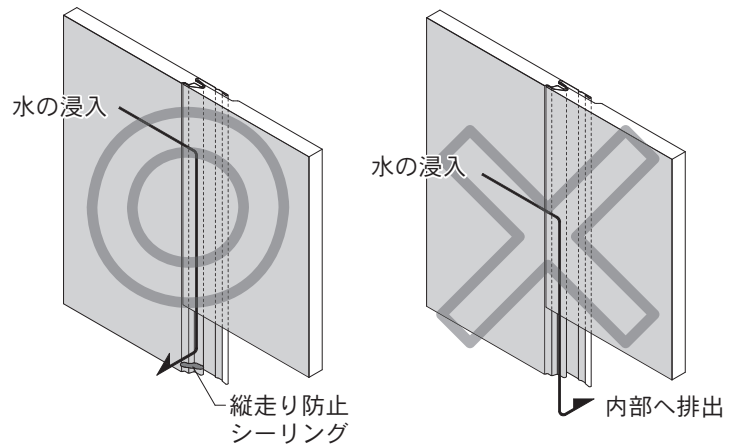
##### ・本体の切断と施工

割り付けを行って無理な力がかからないように施工してください。無理に押し込むとゆがみの原因になります。しん材が破損した本体は使用しないでください。



##### ・縦走り防止シーリング

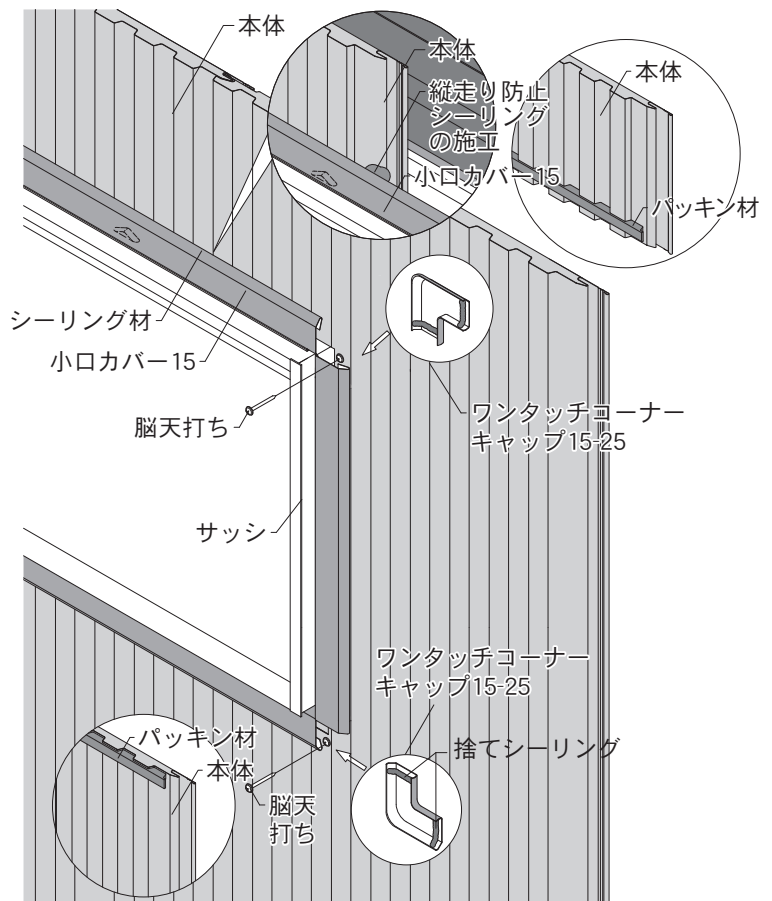
開口部上に、小口カバー15を使用する場合は、本体端部からの雨水の浸入を防ぐため、本体一枚ごとに縦走り防止シーリング材を施工してください。



・縦走り防止シーリングは、本体の施工後に部材と本体の間に行うシーリング材とつながるように施工してください。

##### ・本体の留め付け

本体は、必ず胴縁に留め付けてください。かん合部を切り欠いた場合は、脳天打ちをして本体を胴縁に留め付けてください。



## 5-1. 施工の手順とポイント

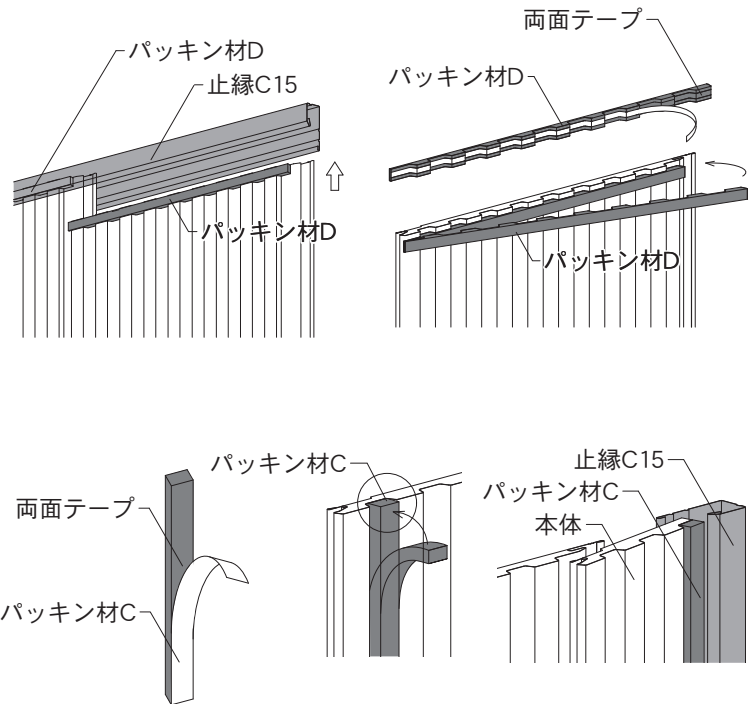
単位：mm

### 5-1-3. 本体、部材の施工

#### 4) パッキン材の施工

- SP-ガルスパンとSP-スリムスパン、SP-ガルボウは、本体の形状に合わせたシーリング材のバックアップ材をラインナップしています。使用する箇所を納まり図で確認し、必要に応じて貼り付けてください。
- 両面テープがついていますので、施工する際に紙をはがし、本体に貼り付けて施工してください。
- 止縁C15や止縁C25の場合は、本体にパッキン材を貼り付けてから止縁C15に差し込んでください。本体の施工後に、キャップ部材を施工する箇所は、本体施工後に貼り付けも可能です。

商品名	本体1枚ごと	長手方向
SP-ガルスパン	パッキン材D	パッキン材C
SP-スリムスパン	段パッキンSE	平パッキンSE
SP-ガルボウ	平パッキンSE	平パッキンSE



### ③後付け部材の施工（1階部分）

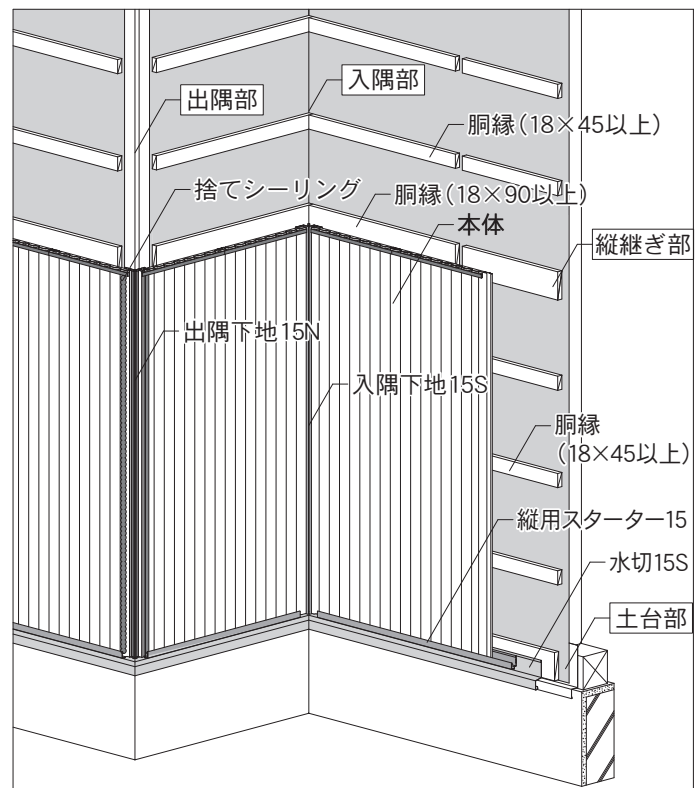
#### 1) 捨てシーリングの施工

- 指定箇所に捨てシーリングを施工してから、後付け部材を施工してください。

施工順序	部位	15mm品	25mm品
1	出隅部	3M/4M出隅キャップ15-25 スリム出隅	出隅下地25S
2	入隅部	入隅キャップ15-25S 止縁キャップC15	止縁キャップ25

#### 3) 部材の加工方法（P222～参照）

- 各部位に合わせて部材を加工してください。部材の端部には、切り欠き加工がされています。



5

施  
た  
て  
張  
り  
の

## 5. たて張りの施工

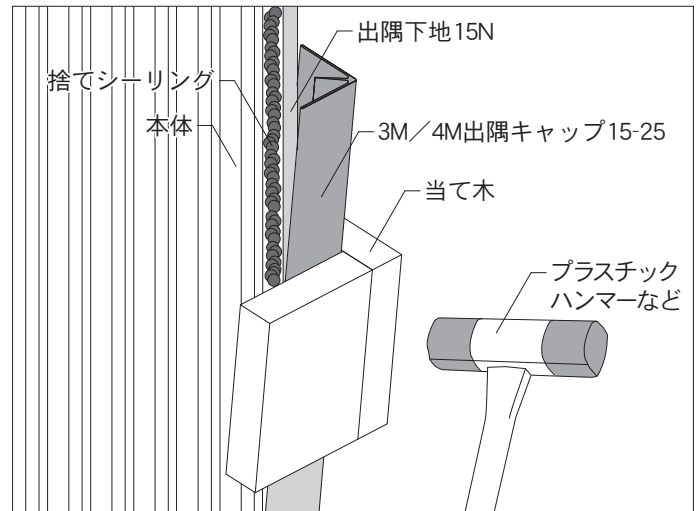
### 5-1. 施工の手順とポイント

単位：mm

#### 5-1-3. 本体、部材の施工

##### 4) キャップ部材の施工

- 出隅キャップが出隅下地15Nにはまりにくい場合は、当て木の上からプラスチックハンマーなどで出隅キャップを下から順にたたいて、はめてください。はめた後は、出隅キャップを軽く引っ張り、がたついたり出隅下地15Nから抜けたりしないことを確認してください。入隅キャップ15S、止縁キャップも同様に確認してください。

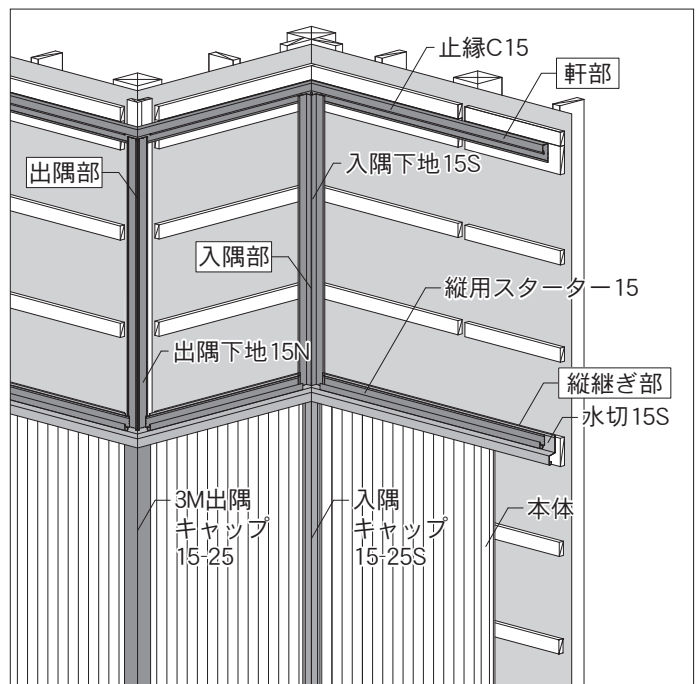


#### ④先付け部材の施工（2階部分）

##### 1) 部材の施工順序

- 本体の高さに合わせて、下から順に張り上げてください。

施工順序	部位	15mm品	25mm品
1	縦継ぎ部	水切15S	水切25S
	軒部	止縁C15または止縁捨板	止縁C25または止縁捨板
2	出隅部	出隅下地15N	出隅下地25S
3	入隅部	入隅下地15S	止縁C25または止縁捨板
		止縁C15または止縁捨板	
4	縦継ぎ部	縦用スターター15	縦用スターター25



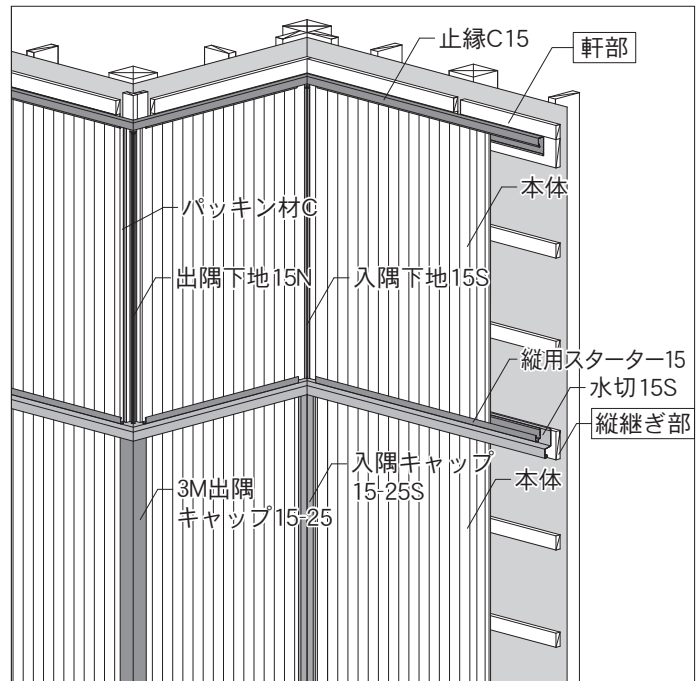
## 5-1. 施工の手順とポイント

単位：mm

### 5-1-3. 本体、部材の施工

#### ⑤本体の施工（2階部分）

- 各部位に、先付け部材が施工されていることを確認してから、本体を施工してください。
- 施工方法は、②本体の施工（1階部分）と同様です。  
1階部分の本体と2階部分の本体のかん合目地がそろうように、墨出し線に合わせて施工してください。

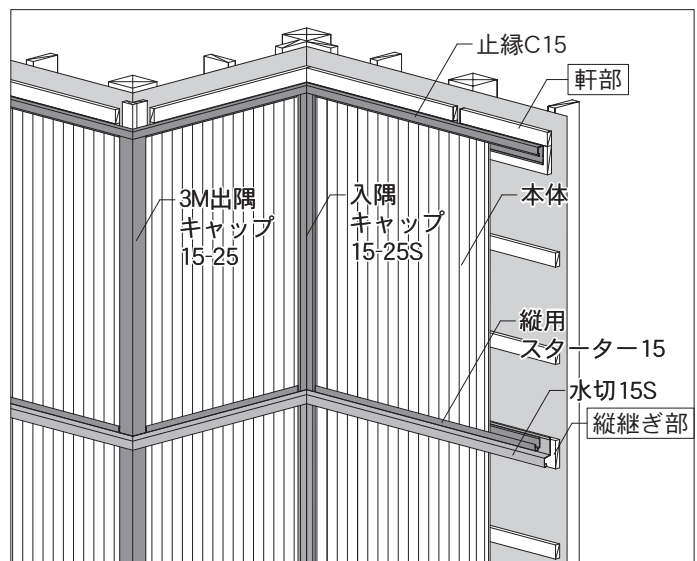


#### ⑥後付け部材の施工（2階部分）

- 1) 部材の施工順序
- 本体の高さに合わせて、下から順に張り上げてください。

施工順序	部位	15mm品	25mm品
1	軒部	止縁キャップC15	止縁キャップ25
2	出隅部	3M/4M出隅キャップ15-25 スリム出隅	3M/4M出隅 キャップ15-25
3	入隅部	入隅キャップ15-25S	止縁キャップ25
		止縁キャップC15	

- 2) 捨てシーリングの施工
- 指定箇所に捨てシーリングを施工してから、後付け部材を施工してください。



5

施  
た  
て  
張  
り  
の

## 5. たて張りの施工

### 5-1. 施工の手順とポイント

単位：mm

#### 5-1-3. 本体、部材の施工

##### ⑦シーリング材の施工

###### 1) シーリング材を施工する位置

- ・ 本体と部材の間  
雨水の浸入を防ぐため、5-2.15mm品 各部位の納まり図 (P67～)、5-3.25mm品 (SP-ガルボウ) 各部位の納まり図 (P119～) を参照し、シーリング材を施工してください。

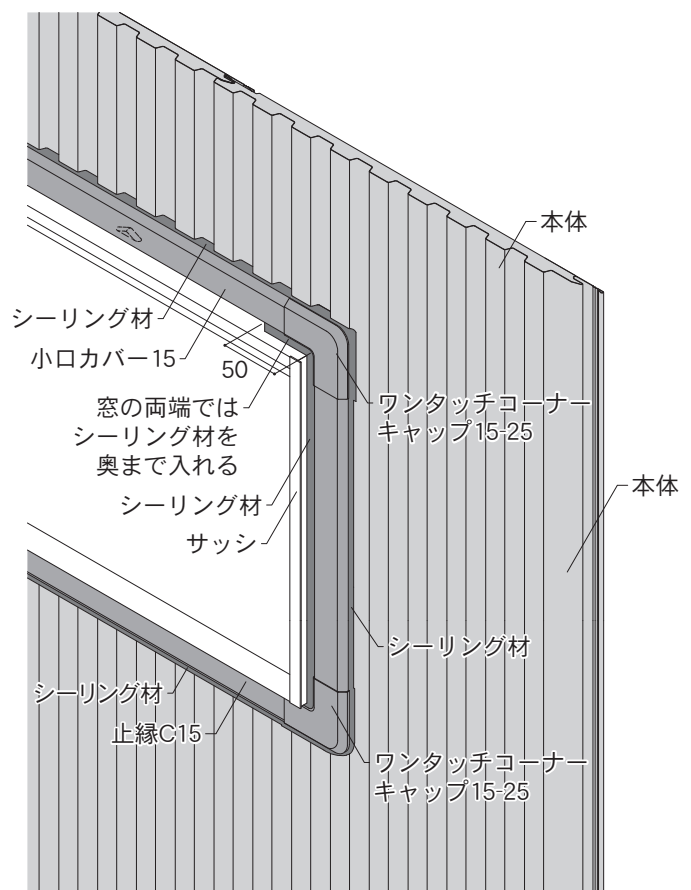
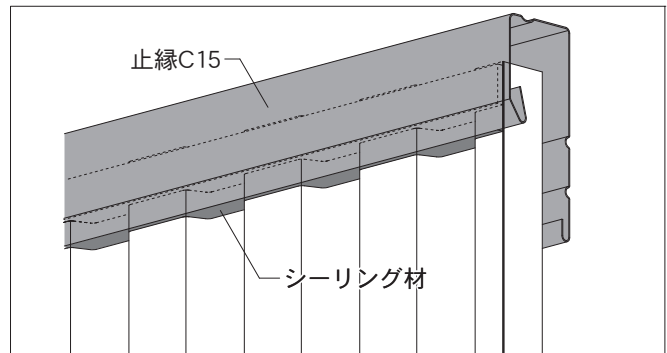
- ・ 脳天打ちしたくぎやねじ頭には、シーリング材の施工またはタッチアップペイントで塗装をしてください。

###### ・ シーリング材を施工する際の注意

シーリング材は、接着面が乾燥している状態で施工してください。接着面が高温の場合には、施工を控えてください。また、水分、油分、ほこりなどにも注意してください。

###### 2) 開口部

- ・ 部材とサッシの間、本体と部材の間  
すき間から雨水の浸入を防ぐため、5-2.15mm品 各部位の納まり図 (P67～)、5-3.25mm品 (SP-ガルボウ) 各部位の納まり図 (P119～) を参照し、シーリング材を施工してください。
- ・ 小口カバー15とサッシの間 (開口部上) 左右両端50mm程度にシーリング材を奥まで入れてください。



##### ⑧補修・点検・片づけ

- ・ キズがあった場合は、タッチアップペイントで補修してください。
- ・ 後付け部材が先付け部材にはまっていることを確認してください。



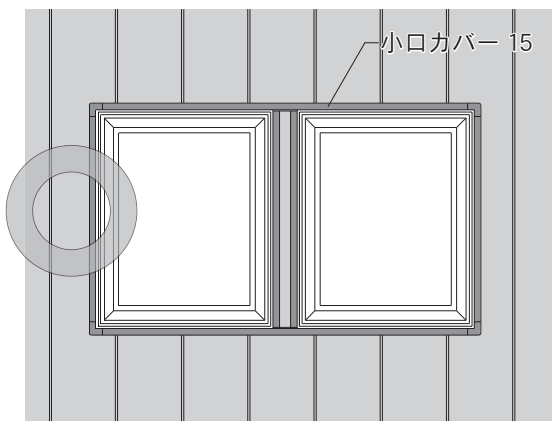
## 5-1. 施工の手順とポイント

### 5-1-4. SP-ガルブライト（たて張り）、SP-ガルボウの場合

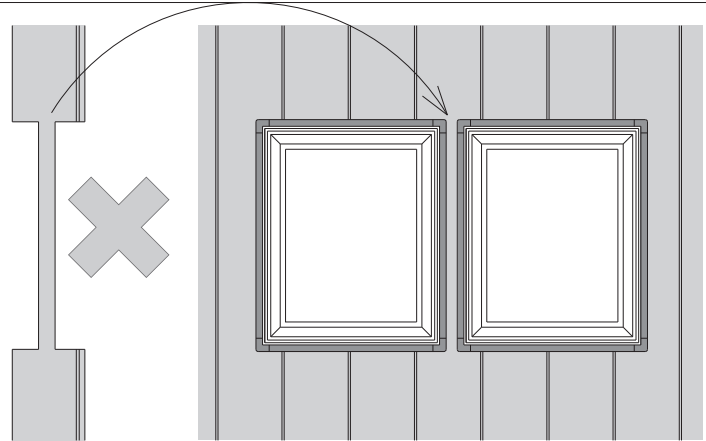
#### ①本体の切り欠き方の制限

- ・1枚の本体の両側を切り欠かないでください。

例えば連窓の場合は連窓上下で縁切りする割り付けにし、本体の両側を切り欠くことがないようにしてください。本体の片側を切り欠く場合も、本体の強度が著しく損なわれるような切り欠きは避けてください。



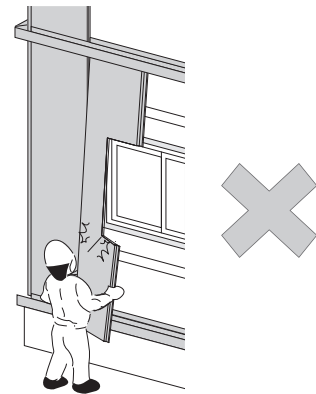
連窓上下に部材を通して、本体の両側を切り欠かないで施工してください。



本体の両側を切り欠いて施工しないでください。

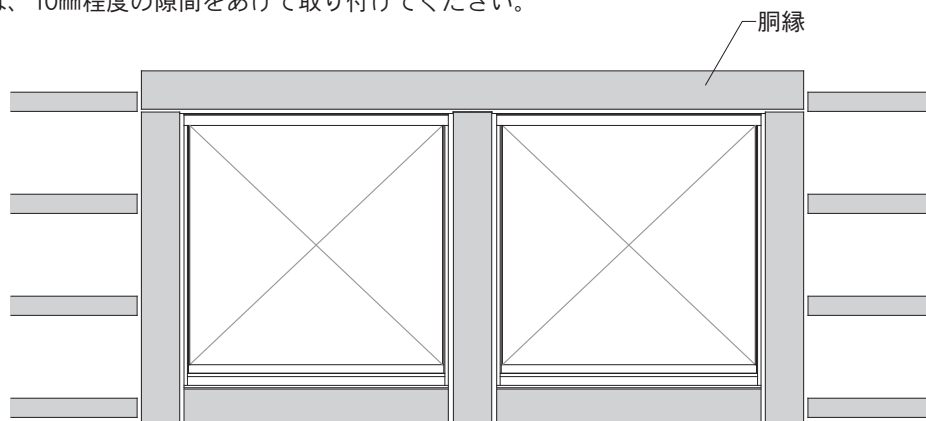
#### ②開口部での部材の施工

- ・開口部に切り欠いた本体を施工する場合、部材は止縁キャップC15または、止縁キャップ25と止縁捨板を使用してください。止縁C15または止縁C25を使用した場合、たて張りの窓脇では、止縁C15または止縁C25に差し込むために本体を変形させるか止縁C15または止縁C25を広げる必要があり、歪の原因になります。



#### ③連窓の場合の胴縁の配置

- ・開口部の胴縁同士は、10mm程度の隙間をあけて取り付けてください。



5. たて張りの施工

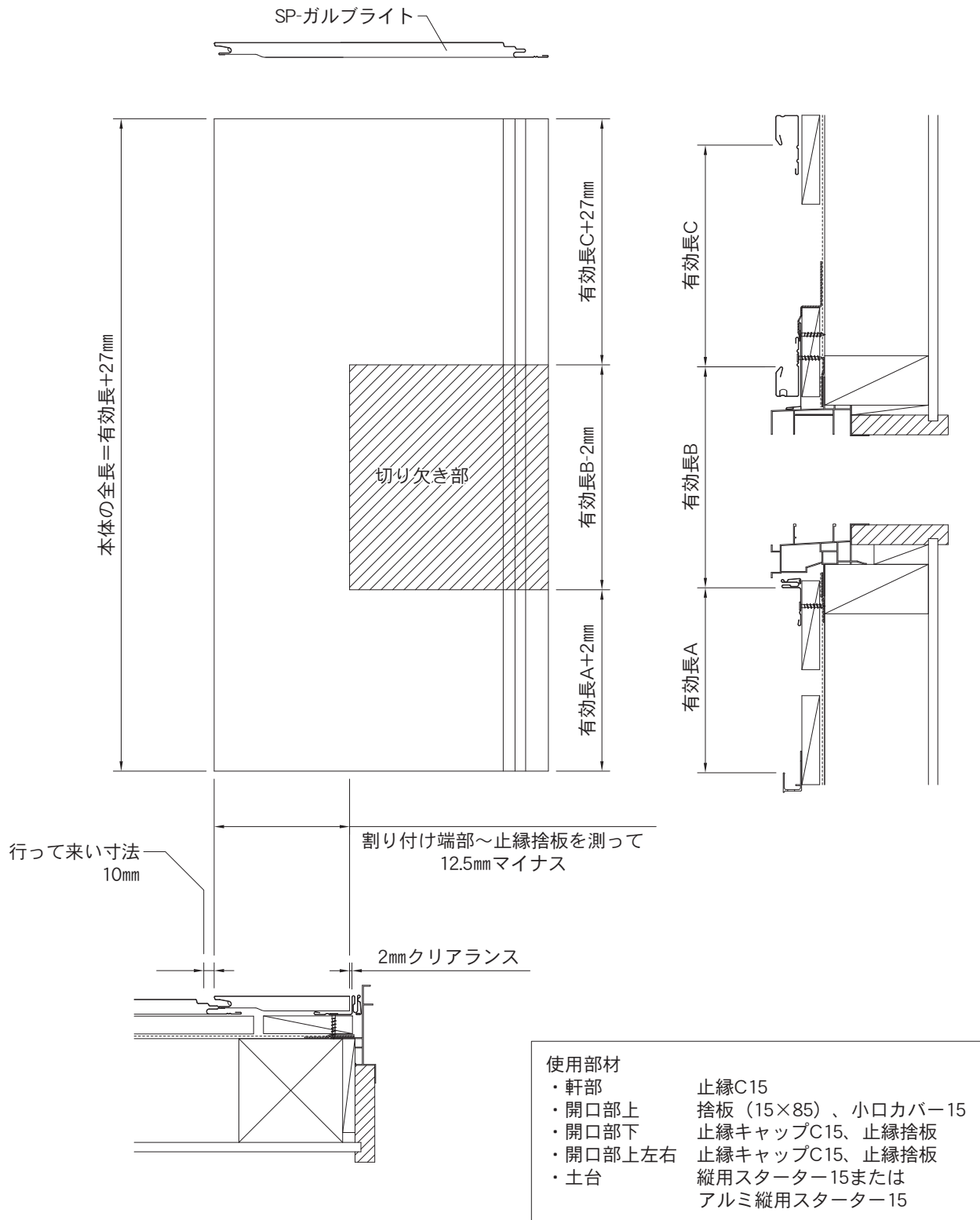
5-1. 施工の手順とポイント

5-1-4. SP-ガルブライト（たて張り）、SP-ガルボウの場合

④本体のくぎ打ち部を切り欠いて施工する場合の寸法取りについて

SP-ガルブライトの場合

- ・本体のくぎ打ち部側を切り欠いて開口部左右に施工する場合、次の寸法で加工してください。  
寸法を確認し本体をひねったりねじったりせずに部材へ納めてください。

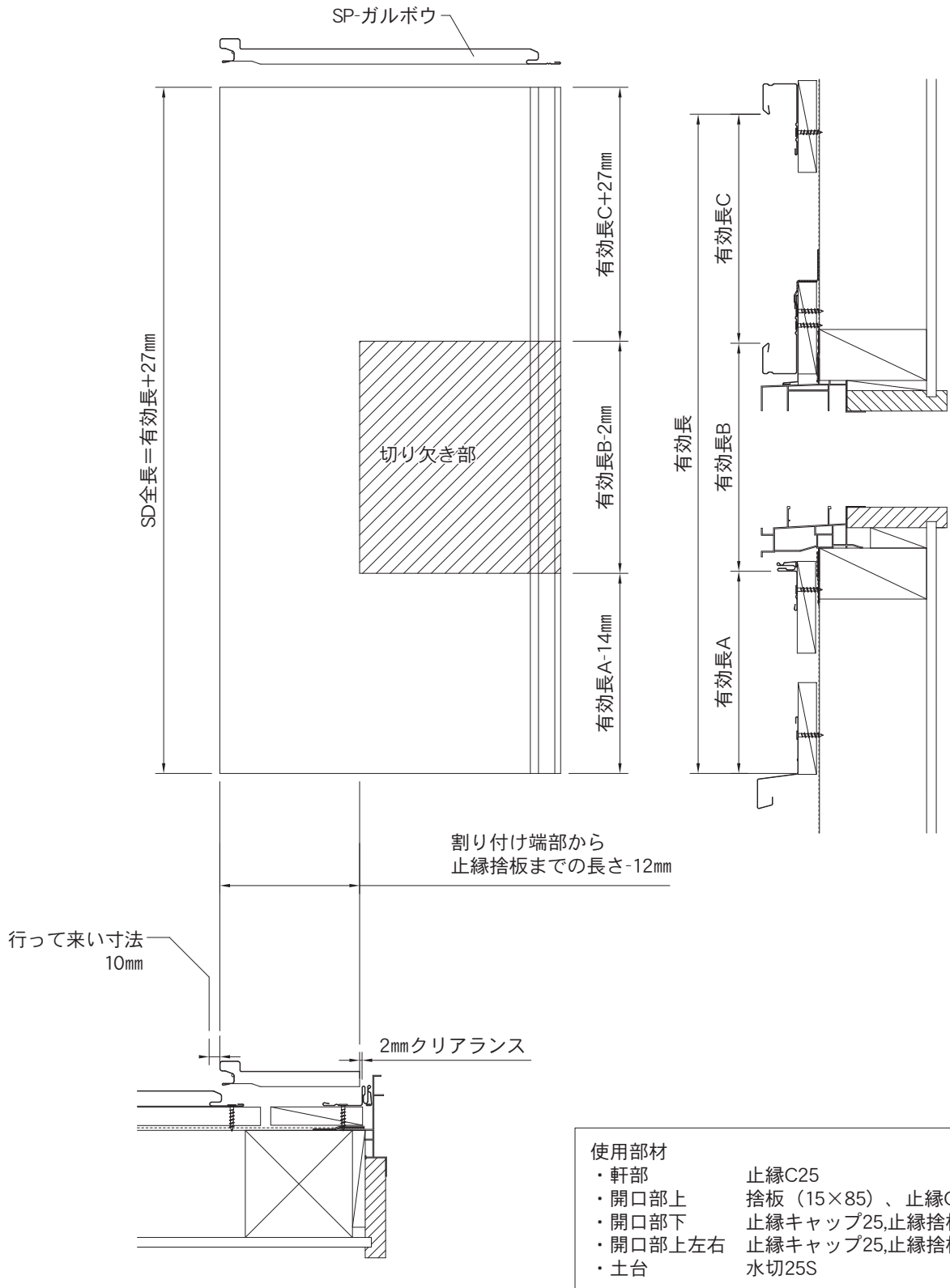


## 5-1. 施工の手順とポイント

### 5-1-4. SP-ガルブライト（たて張り）、SP-ガルボウの場合

#### SP-ガルボウの場合

- ・本体のくぎ打ち部側を切り欠いて開口部左右に施工する場合、次の寸法で加工してください。  
寸法を確認し本体をひねったりねじったりせずに部材へ納めてください。



## 5. たて張りの施工

### 5-1. 施工の手順とポイント

#### 5-1-4. SP-ガルブライト（たて張り）、SP-ガルボウの場合

##### ⑤連窓中間部の納め方

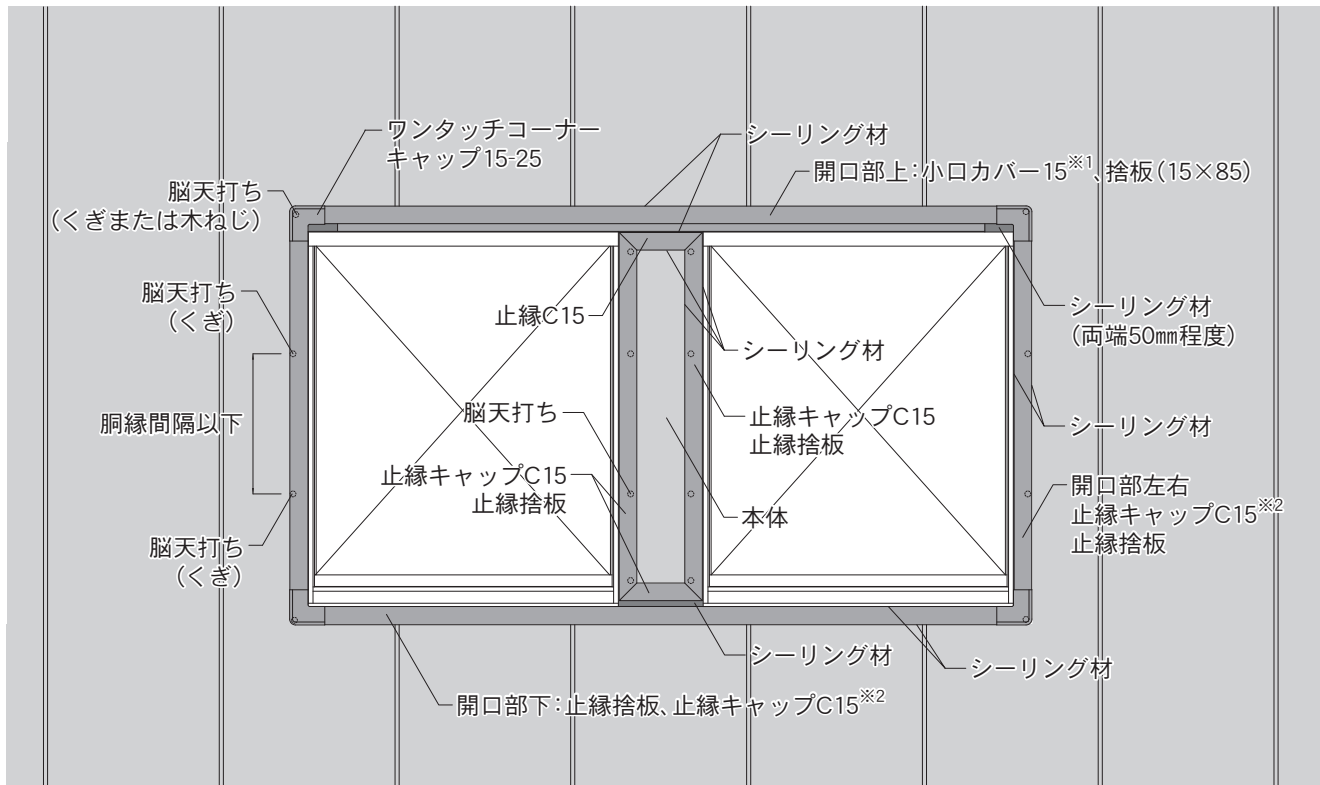
- ・サッシに標準部材として目板がある場合は目板を取り付けてください。または次のように本体と部材を加工してください。脳天打ちは、スクリューくぎ（φ2.15×L38以上）または木ねじ（L35以上）を使用してください。

##### 1) 小口カバー15<sup>※1</sup>と止縁捨板、止縁キャップC15<sup>※2</sup>を使用する場合

SP-ガルボウの場合は、次の部材を使用してください。

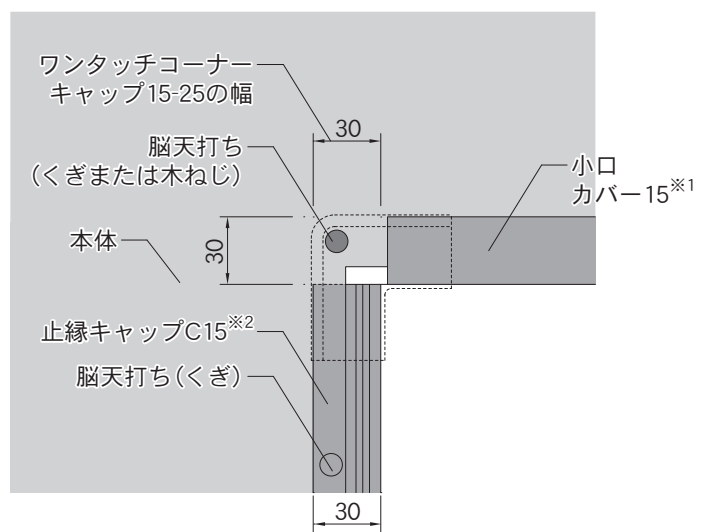
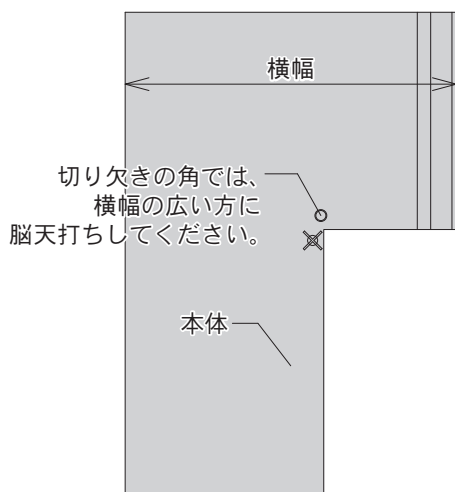
※1 止縁C25（水抜き穴φ5@300）

※2 止縁キャップ25



##### ■切り欠いたSP-ガルブライト、SP-ガルボウに脳天打ちをする位置

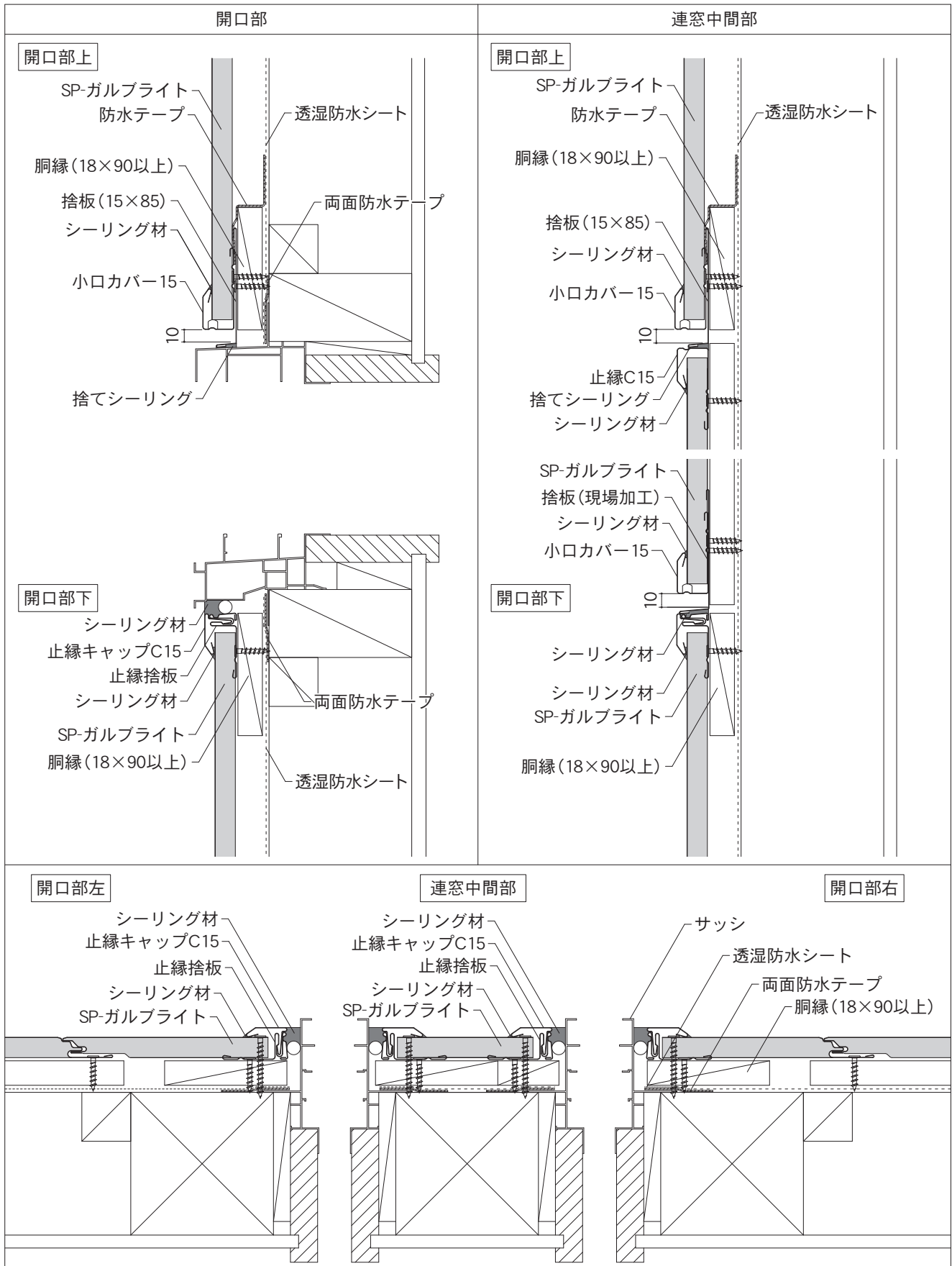
- ・角部に脳天打ちを施工する場合は、ワンタッチコーナーキャップ15-25で隠れる位置に脳天打ちしてください。
- ・本体のくぎ打ち部を切り欠いた所に脳天打ちする場合は、止縁キャップC15が隠れるよう頭の小さなくぎを使用し留め付けてください。



## 5-1. 施工の手順とポイント

### 5-1-4. SP-ガルブライト（たて張り）、SP-ガルボウの場合

SP-ガルブライトの場合

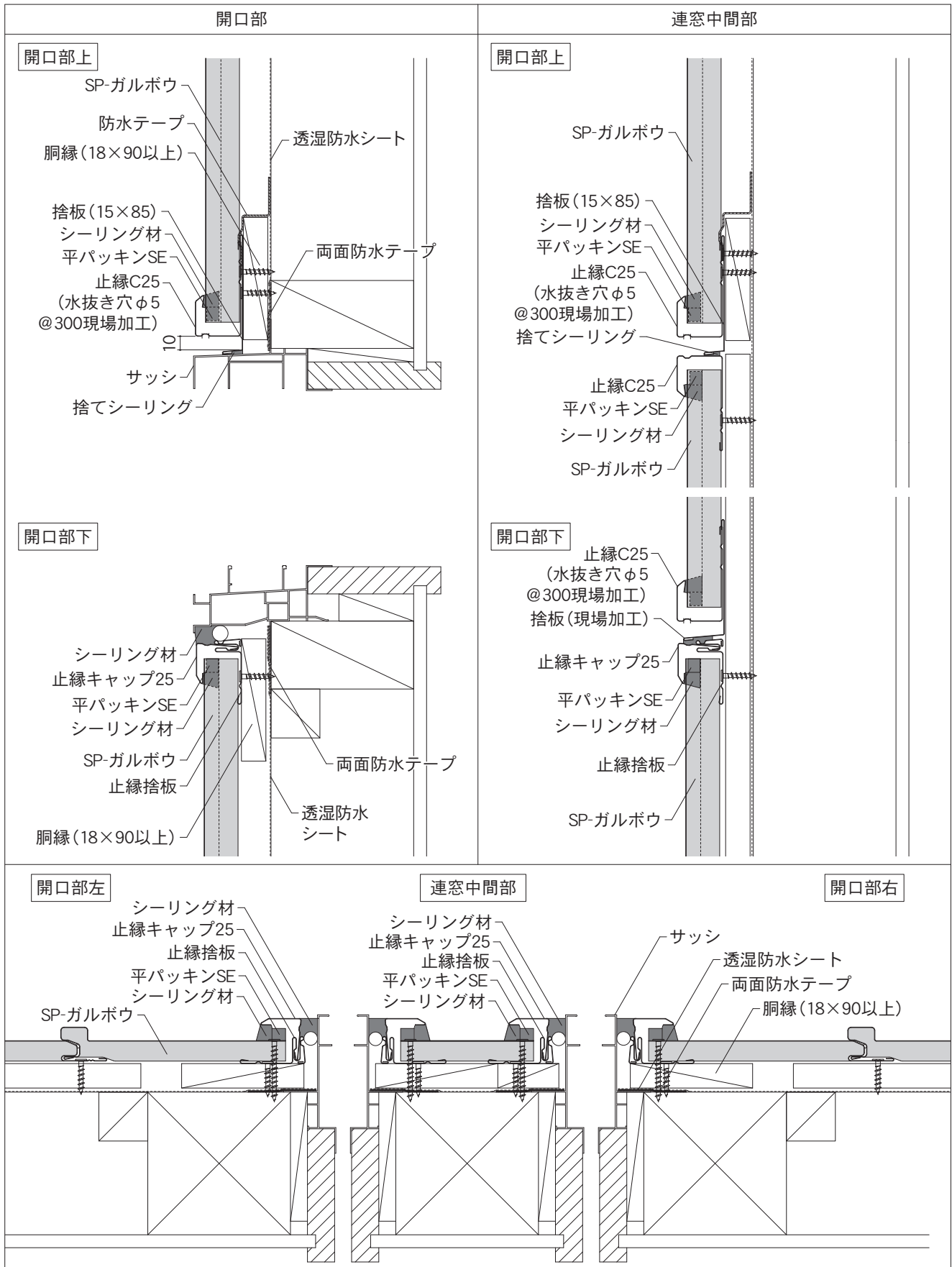


5. たて張りの施工

5-1. 施工の手順とポイント

5-1-4. SP-ガルブライト（たて張り）、SP-ガルボウの場合

SP-ガルボウの場合



## 5-1. 施工の手順とポイント

### 5-1-4. SP-ガルブライト（たて張り）、SP-ガルボウの場合

2) 本体を箱折し、止縁捨板／止縁キャップC15<sup>※2</sup>で納める場合

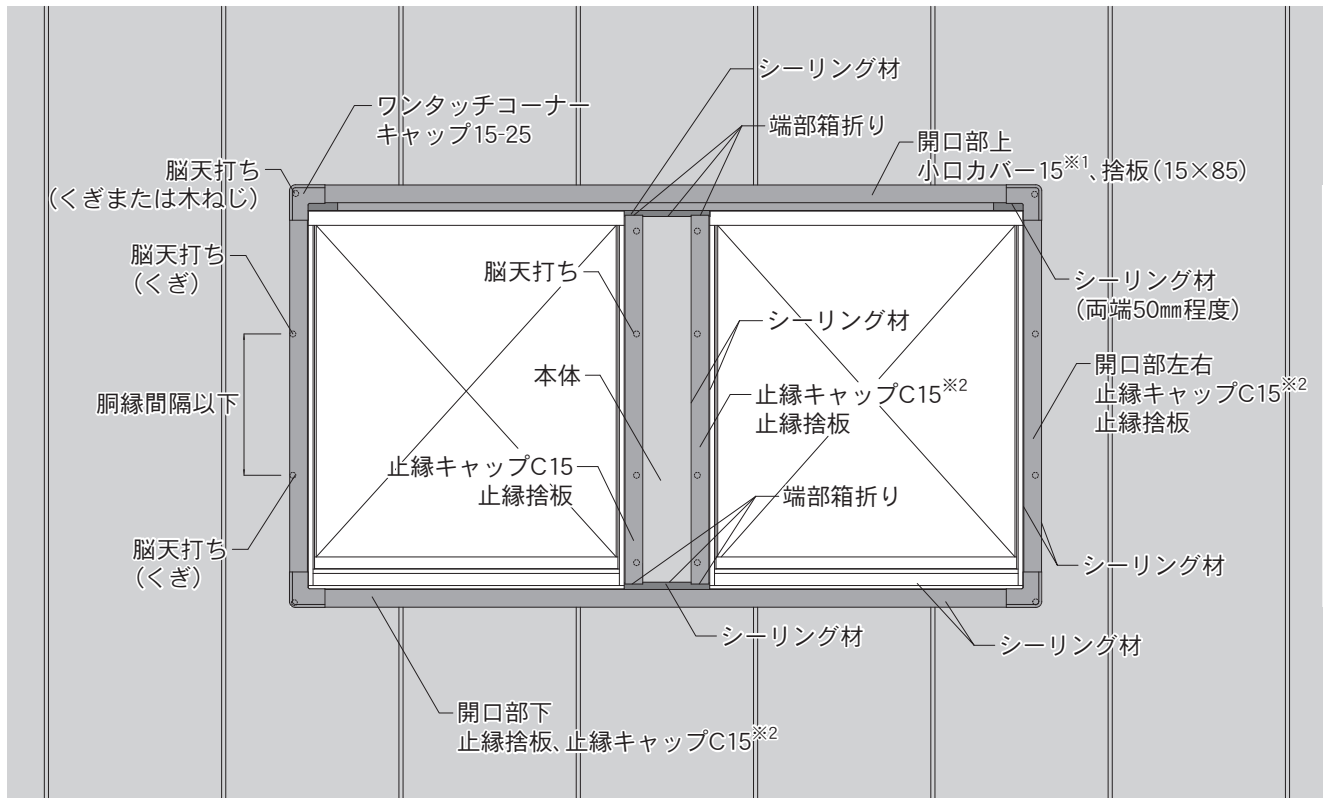
連窓中間部の両脇：止縁捨板と止縁キャップC15<sup>※2</sup>

連窓中間部の上下：本体箱折（止縁キャップC15<sup>※2</sup>の端部は箱折加工）

SP-ガルボウの場合は、次の部材を使用してください。

※1 止縁C25（水抜き穴φ5@300）

※2 止縁キャップ25

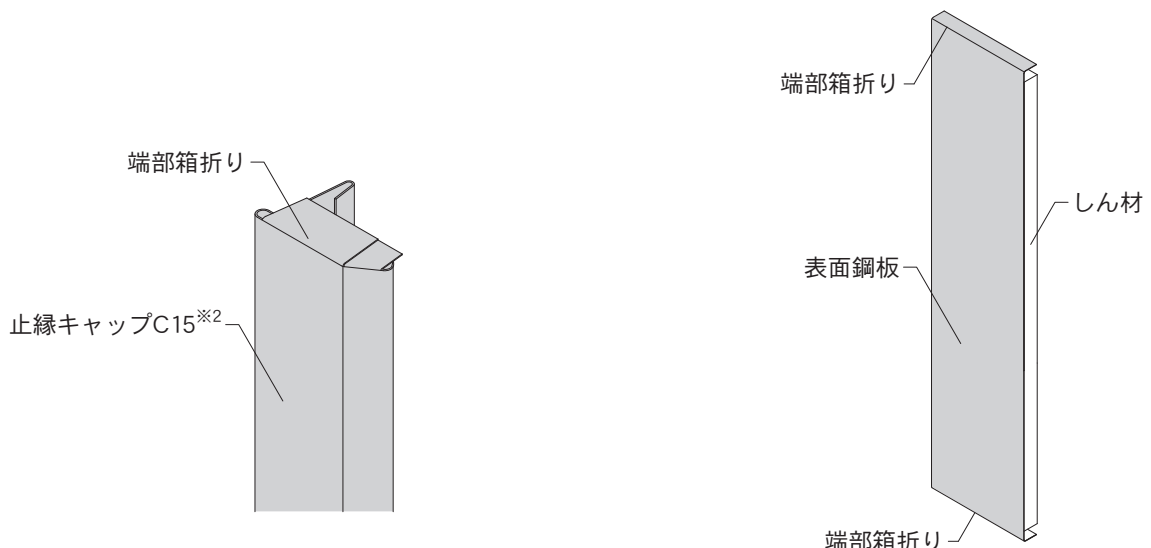


5

施  
た  
て  
張  
り  
の

#### ■端部箱折について

連窓中間部の本体を施工する際は、表面鋼板を折り曲げ箱折加工を施してください。しん材には、シーリング材が接着しませんので注意してください。止縁キャップC15<sup>※2</sup>も同じく端部箱折し、シーリング幅を確保してください。サッシと部材、本体と部材の間には、シーリング材を施工してください。

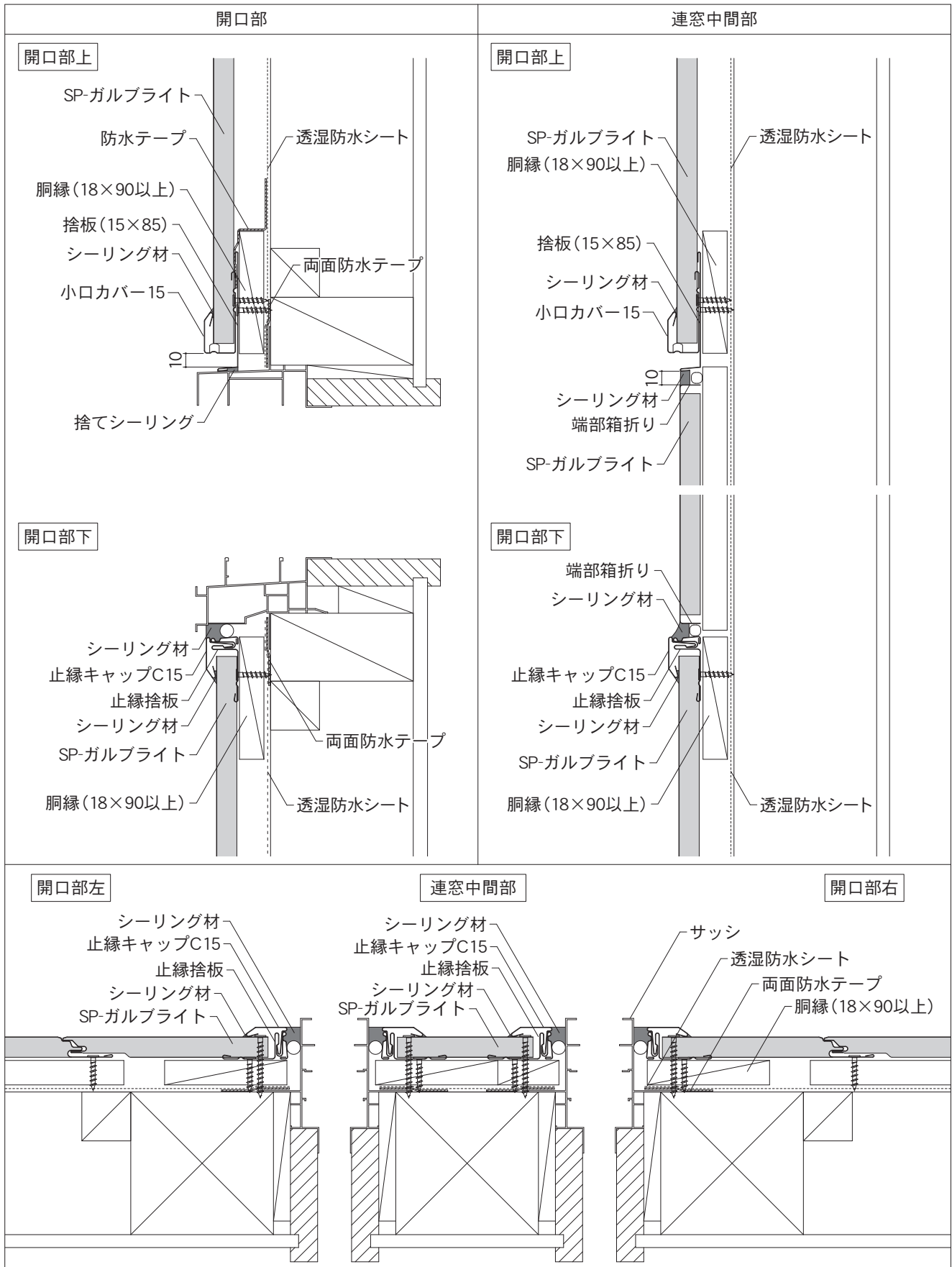


5. たて張りの施工

5-1. 施工の手順とポイント

5-1-4. SP-ガルブライト（たて張り）、SP-ガルボウの場合

SP-ガルブライトの場合

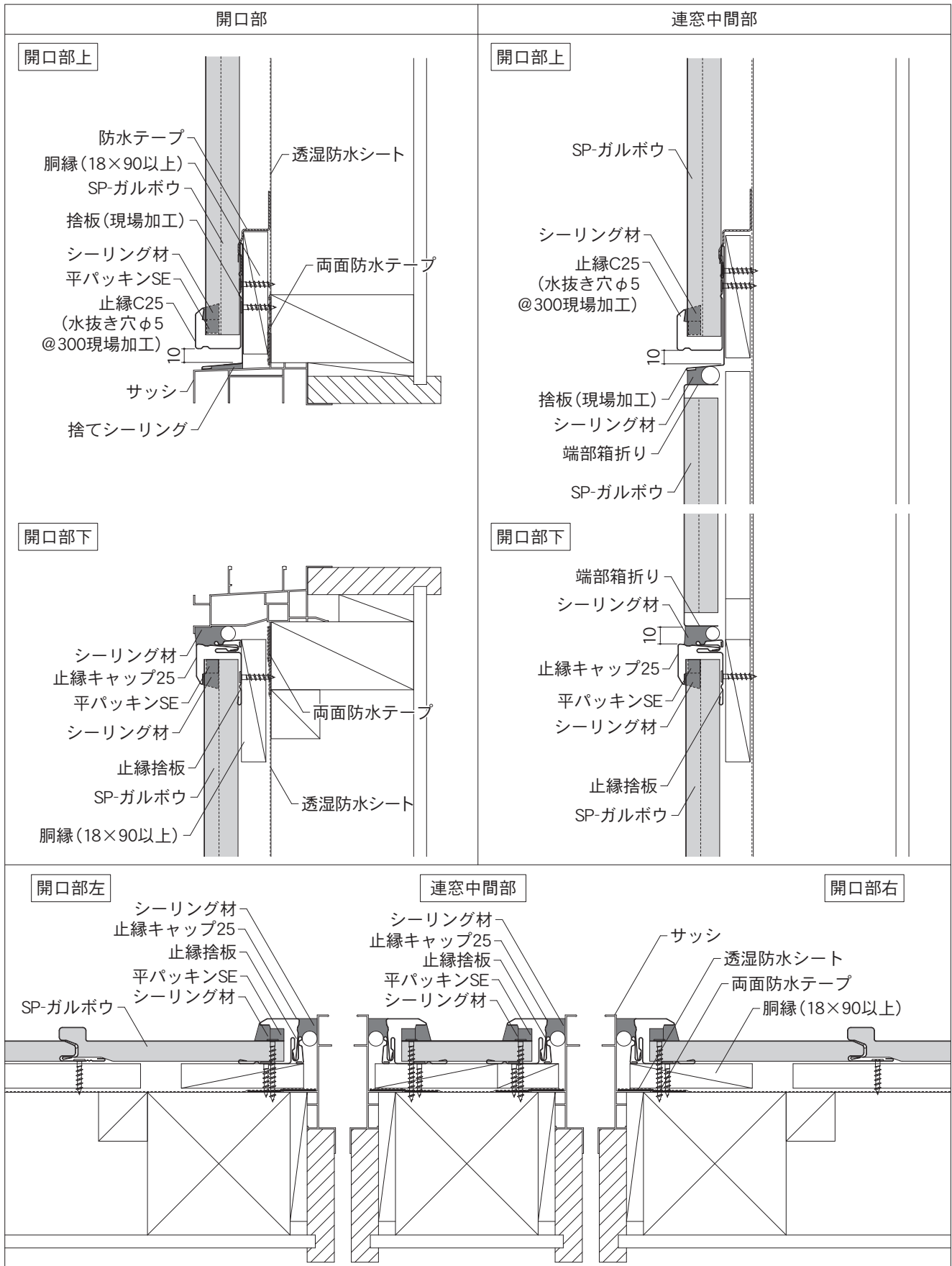




## 5-1. 施工の手順とポイント

### 5-1-4. SP-ガルブライト（たて張り）、SP-ガルボウの場合

SP-ガルボウの場合



5  
施たて張りの

## 5. たて張りの施工

### 5-1. 施工の手順とポイント

#### 5-1-4. SP-ガルブライト（たて張り）、SP-ガルボウの場合

##### 3) 連窓が段違いの場合

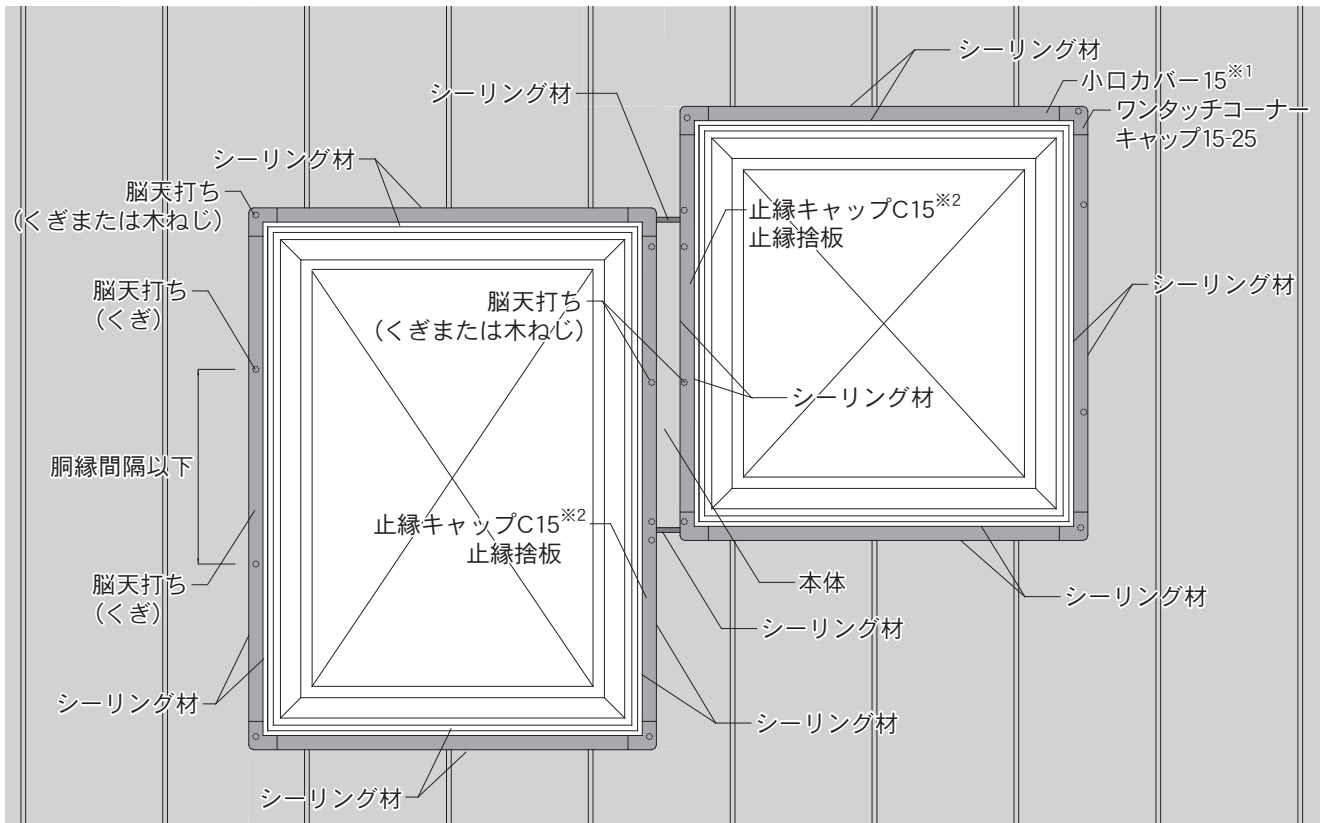
連窓が段違いの場合は、中間部の本体の端部を箱折りし、シーリング材を施工してください。

サッシと部材、本体と部材の間には、シーリング材を施工してください。

SP-ガルボウの場合は、次の部材を使用してください。

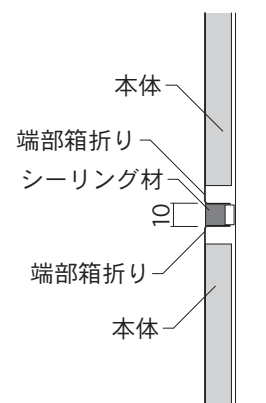
※1 止縁C25（水抜き穴φ5@300）

※2 止縁キャップ25



しん材には、シーリング材が接着しませんので、本体の箱折加工を施してください。

サッシと部材、本体と部材の間には、シーリング材を施工してください。



## 5-1. 施工の手順とポイント

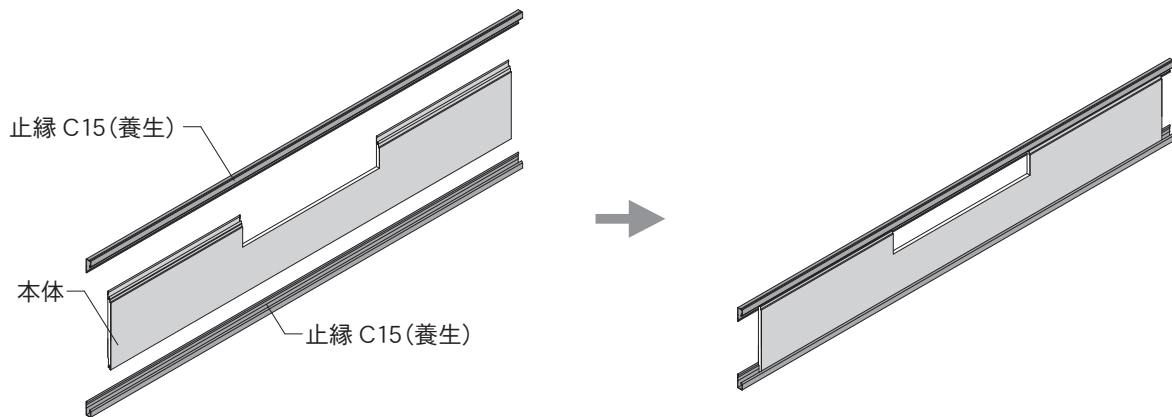
### 5-1-4. SP-ガルブライト（たて張り）、SP-ガルボウの場合

#### ⑥切り欠いた本体を運搬するときの取り扱い方法

- ・切り欠いた本体を運ぶときや立てるときは、切り欠いた部分が折れたり変形する可能性がありますので、補強材をあてて運搬してください。
  - ・補強材が本体の表面に当たる部分には、表面鋼板にキズが付かないよう養生し、砂粒、ほこり、切粉などを清掃してからセットしてください。
- (推奨 長さ4m以上の長尺品を立てるときの作業人数は3~4人としてください。)

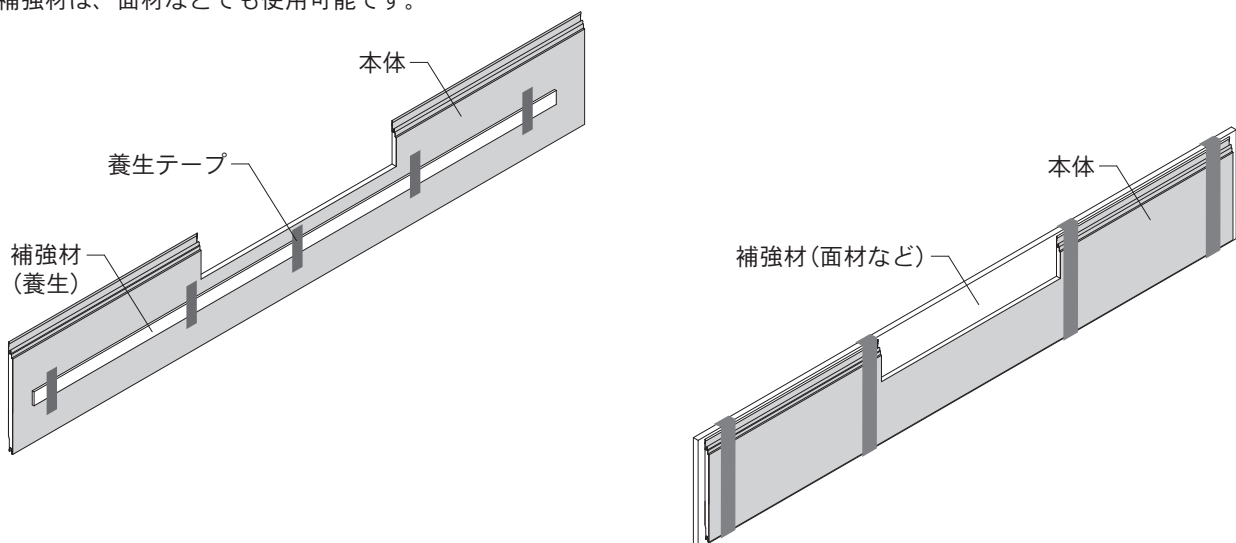
#### 1) 本体の両側を止縁C15で挟み込んで 運搬する方法

- ・本体にキズが付ないように止縁C15は養生してから本体にはめてください。本体から脱落しないよう、止縁C15は固定してください。

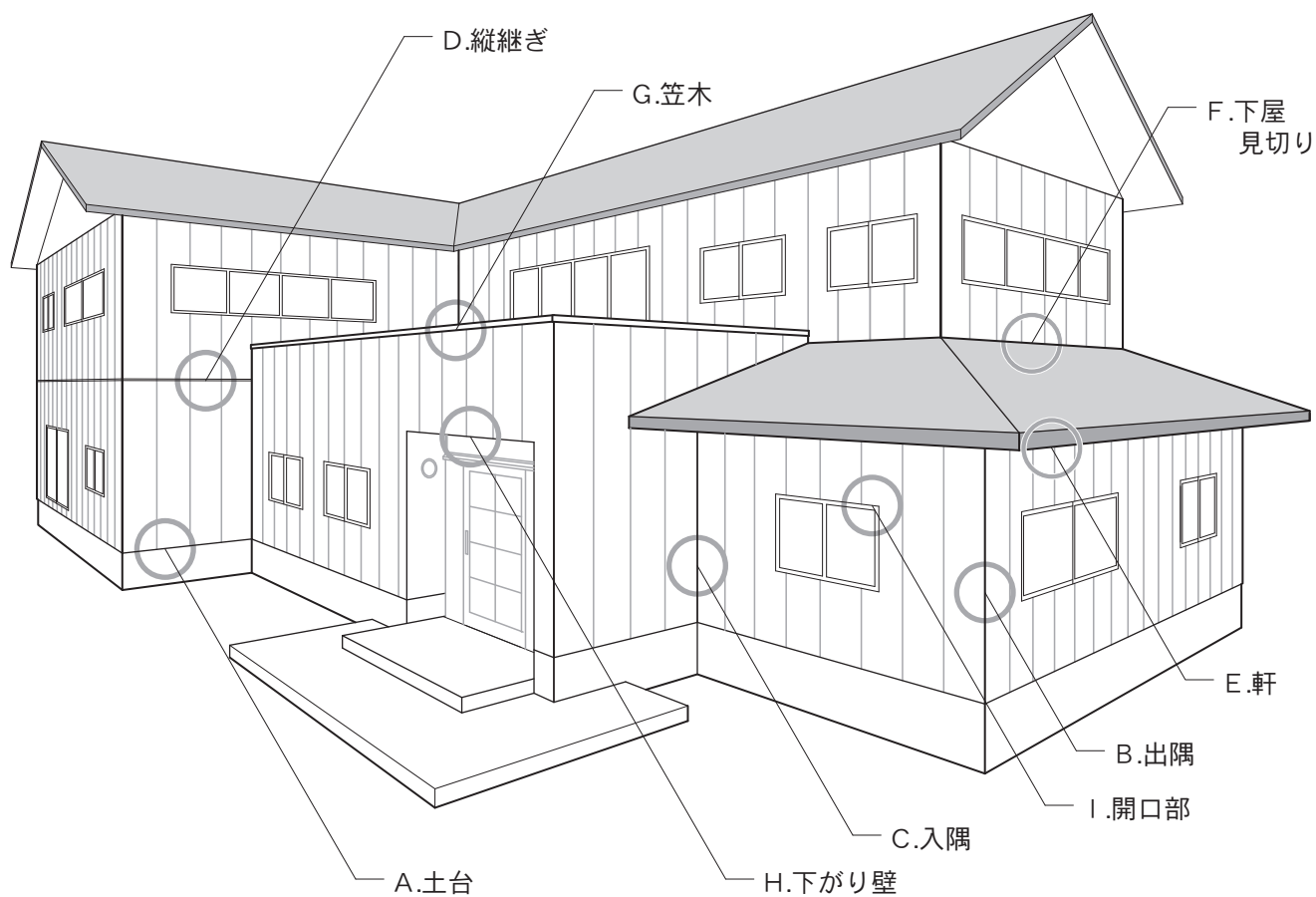


#### 2) 補強材を使用する方法

- ・補強材は胴縁などの細長く、剛性が高く曲がりにくいものを使用してください。
- ・本体にキズが付ないように養生をした補強材を本体の表面鋼板にクロス素材の養生テープ（幅60mm以上）で貼り付けて運搬してください。運搬後、養生テープは慎重に剥がしてください。
- ・補強材は、面材などでも使用可能です。



## 5-2. 15mm品 各部位の納まり図



対象商品
・ SP-ガルスパン
・ SP-スリムスパン
・ SP-ガルブライト
・ SF-ガルステージシャイン
・ NPT/NP
・ 伸壁
・ 銘壁

納まり図	
A. 土台	..... P68
B. 出隅	..... P70
C. 入隅	..... P73
D. 縦継ぎ	..... P76
E. 軒	..... P78
F. 下屋見切り	..... P82
G. 笠木	..... P83
H. 下がり壁	..... P85
I. 開口部	..... P86

5-3. 25mm品 (SP-ガルボウ) 各部位の納まり図はP119~を参照してください。

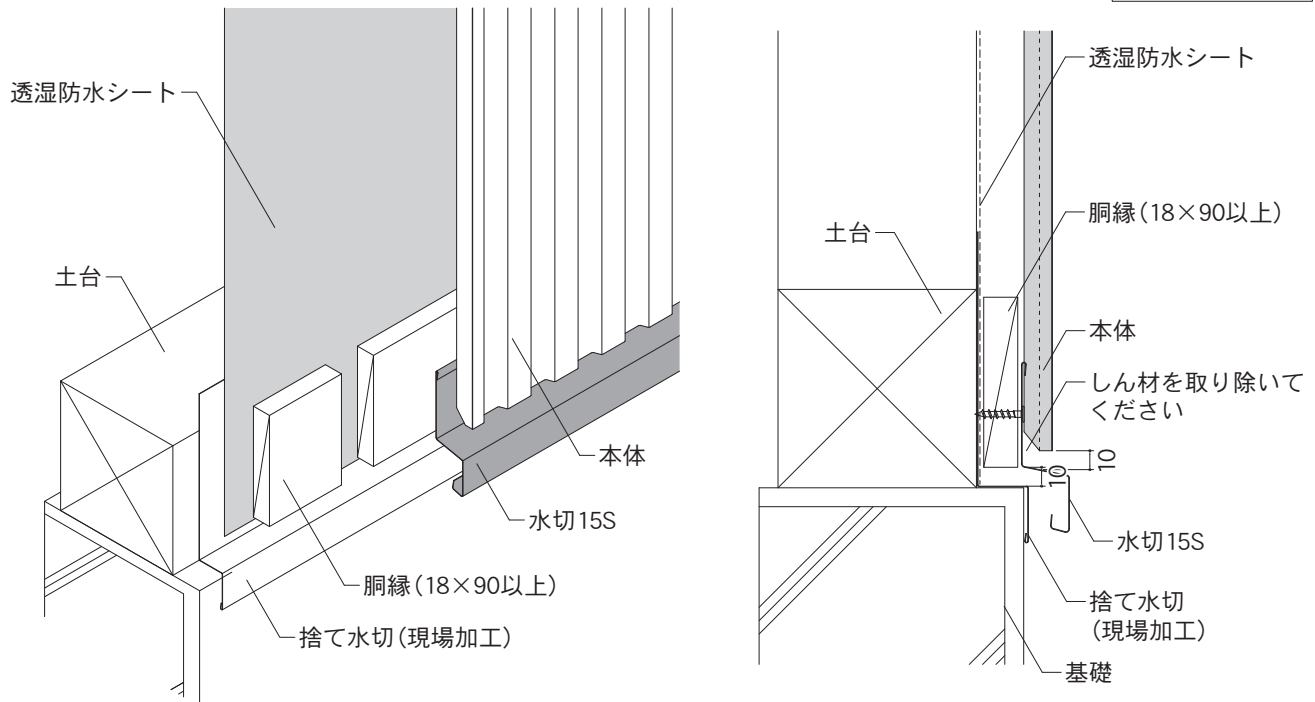
## 5-2. 15mm品 各部位の納まり図

### A. 土台 (1)

- ・ 本体または縦用スターター15の下端と水切15Sの間には、雨水が滞留しないよう10mm程度のすき間をあけてください。
- ・ 施工時に発生する切粉は、縦用スターター15内に入らないように注意してください。切粉が入った場合は、必ず取り除いてから本体を施工してください。切粉はさびや汚れの原因となります。
- ・ 積雪の影響（雪の負荷）のある地域では、本体と部材に積雪の荷重や落雪、除雪の固まりなどが当たらないよう対処してください。水切15Sの下に当て木を入れるなどの対処をしてください。縦用スターター15は雪の重みで変形するおそれがありますので、アルミ縦用スターター15の使用をお勧めします（P49参照）。

使用部材：水切15S

・ 本頁説明商品  
15mm品共通

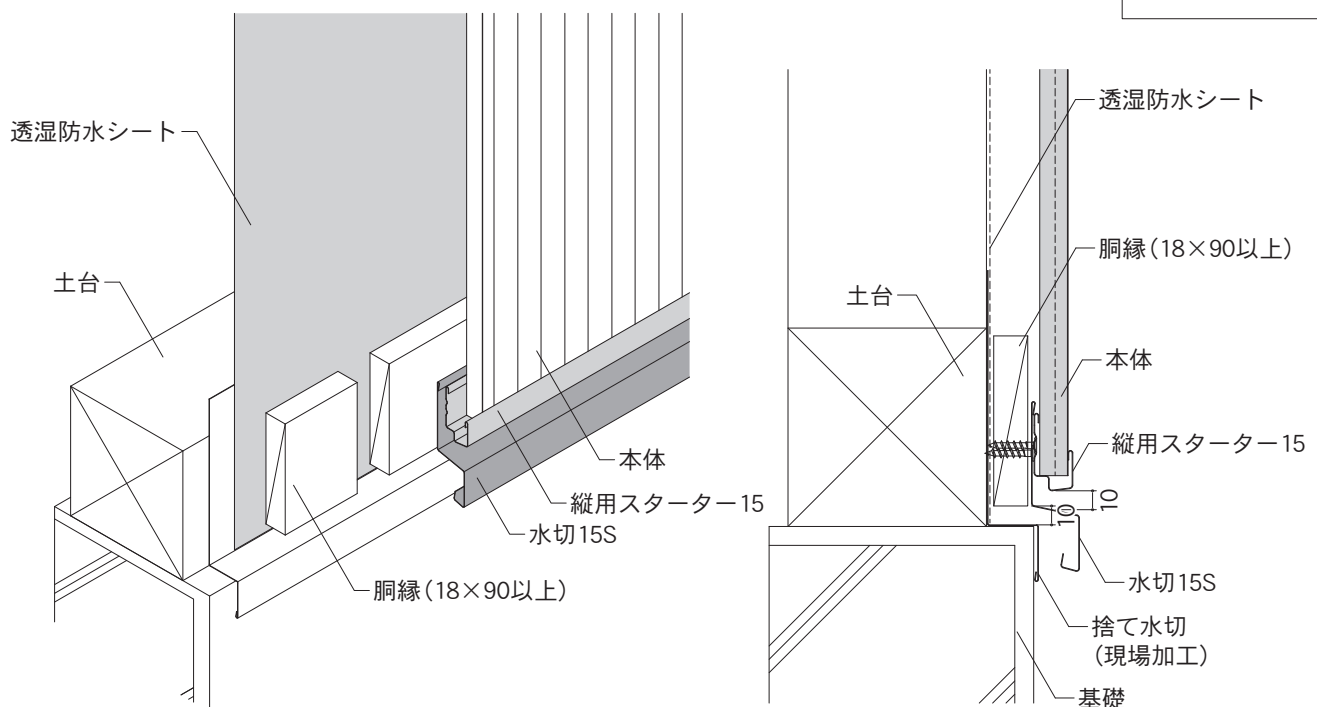


5

施  
た  
て  
張  
り  
の

使用部材：水切15S・縦用スターター15

・ 本頁説明商品  
15mm品共通



## 5. たて張りの施工

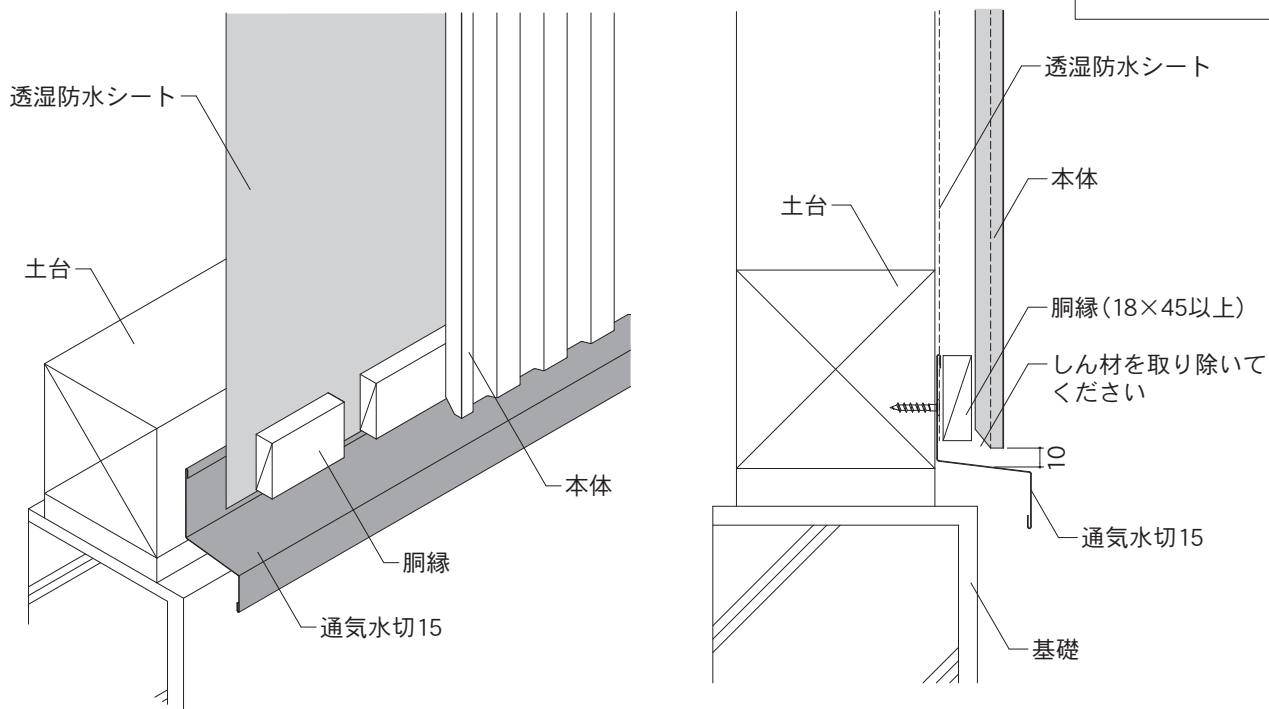
### 5-2. 15mm品 各部位の納まり図

#### A. 土台（2）

- ・ 本体または縦用スターター15の下端と通気水切15の間には、雨水が滞留しないよう10mm程度のすき間をあけてください。
- ・ 施工時に発生する切粉は、縦用スターター15内に入らないように注意してください。切粉が入った場合は、必ず取り除いてから本体を施工してください。切粉はさびや汚れの原因となります。
- ・ 積雪の影響（雪の負荷）のある地域では、本体と部材に積雪の荷重や落雪、除雪の固まりなどが当たらないよう対処してください。通気水切15の下に当て木を入れるなどの対処をしてください。縦用スターター15は雪の重みで変形するおそれがありますので、アルミ縦用スターター15の使用をお勧めします（P49参照）。

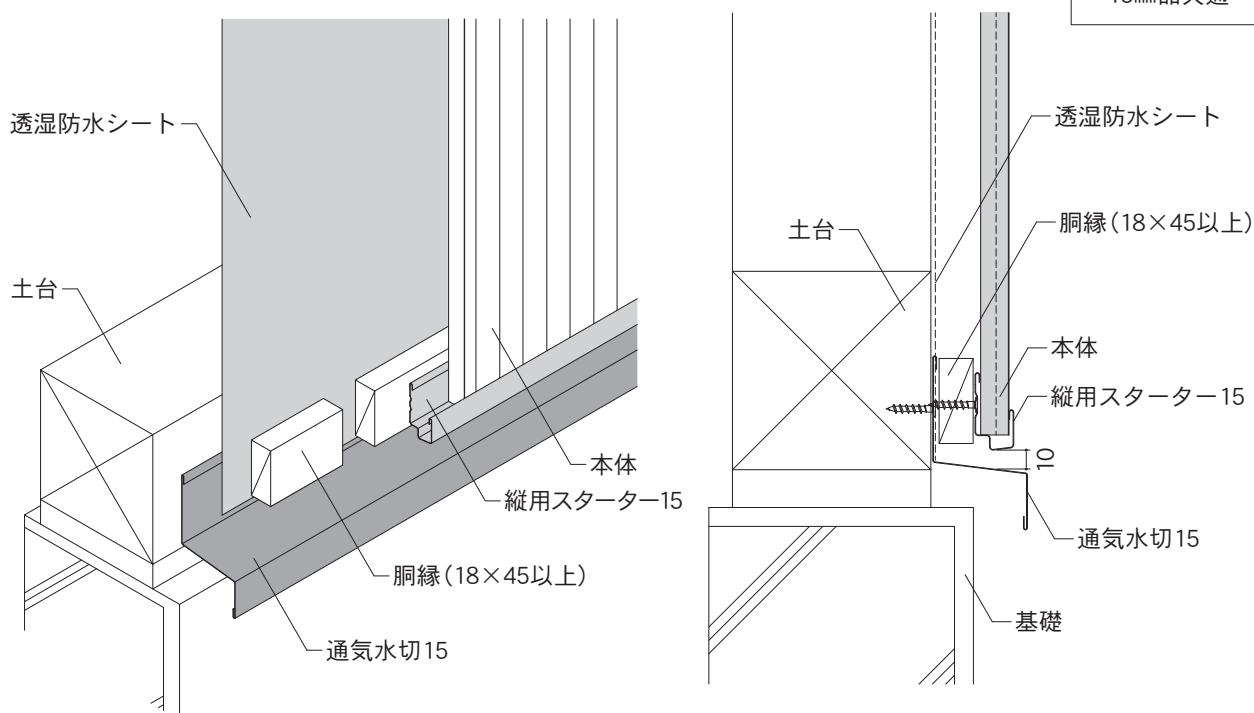
使用部材：通気水切15

・ 本頁説明商品  
15mm品共通



使用部材：通気水切15・縦用スターター15

・ 本頁説明商品  
15mm品共通



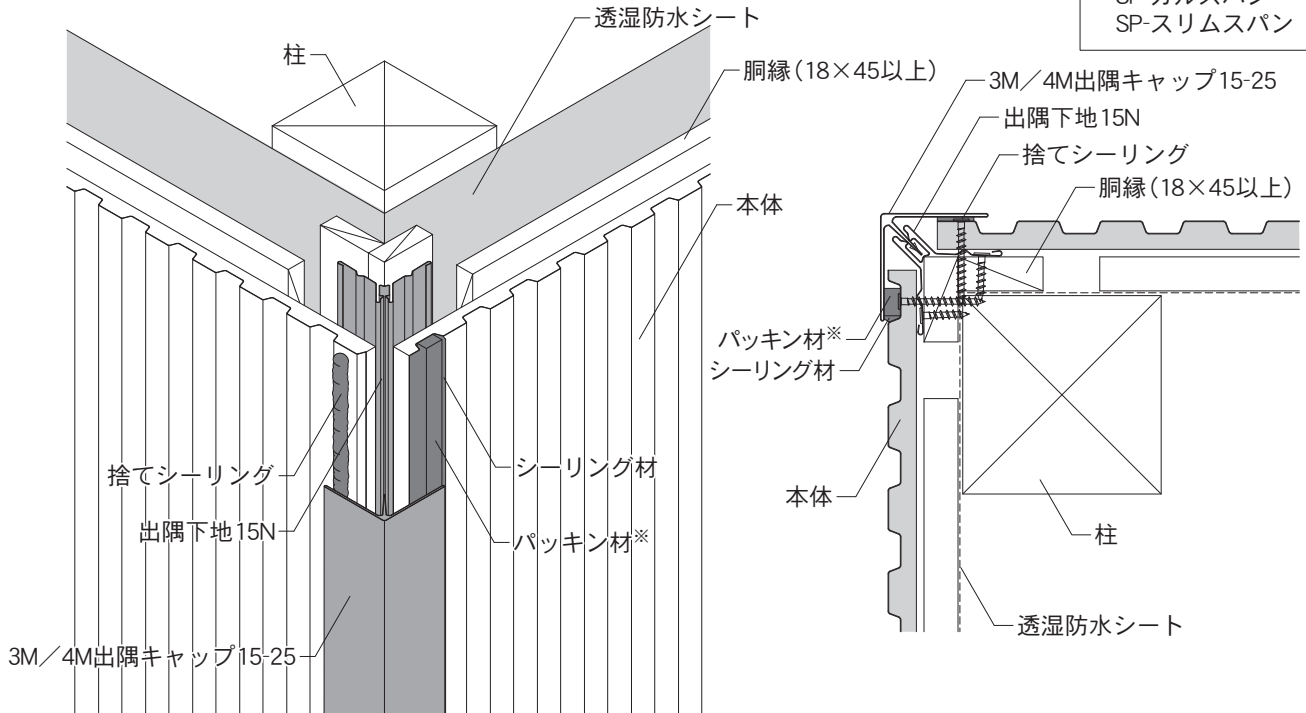
## 5-2. 15mm品 各部位の納まり図

### B. 出隅（1）

- ・ 本体凹部と部材が重なる箇所には、パッキン材※を使用してください。
  - ・ 本体の端部は必ず留め具（スクリューくぎまたは木ねじ）で、直接下地に留め付けてください。
  - ・ 本体の端部が、出隅下地15Nの中央部にのり上げると、3M出隅キャップ15-25がはまりにくくなりますので、注意してください。
  - ・ 3M出隅キャップ15-25は、出隅下地15Nに確実にはめてください。完全にはまらないと脱落するおそれがあります。
- ※SP-ガルスパンはパッキン材C、SP-スリムスパンは平パッキンSEを使用してください。

使用部材：3M/4M出隅キャップ15-25・出隅下地15N

・ 本頁説明商品  
SP-ガルスパン  
SP-スリムスパン



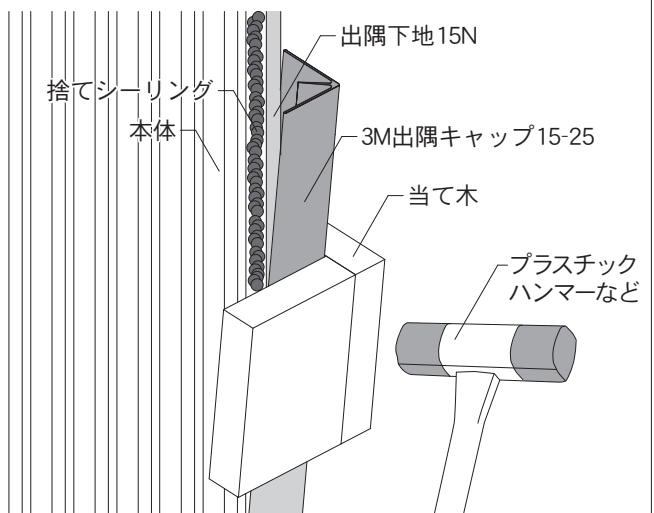
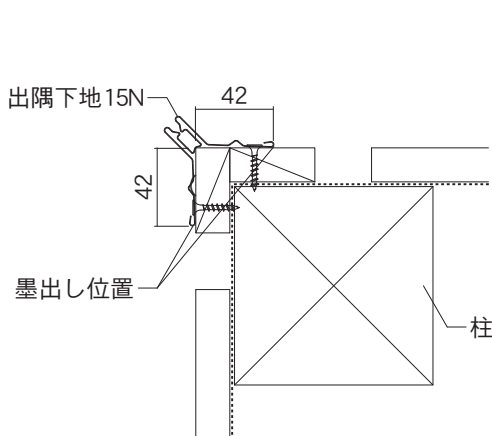
5

施  
た  
工  
て  
張  
り  
の

#### 施工時の確認

- ・ 出隅下地15Nは、ねじれや沈み込みが起こらないように墨出しを行ってから施工してください（P47～参照）。

- ・ 3M出隅キャップ15-25が出隅下地15Nにはまりにくい場合は、当て木の上からプラスチックハンマーなどで3M出隅キャップ15-25を下から順にたたいて、はめてください。はめた後は、3M出隅キャップ15-25を軽く引っ張り、がたついたり出隅下地15Nから抜けたりしないことを確認してください。



5. たて張りの施工

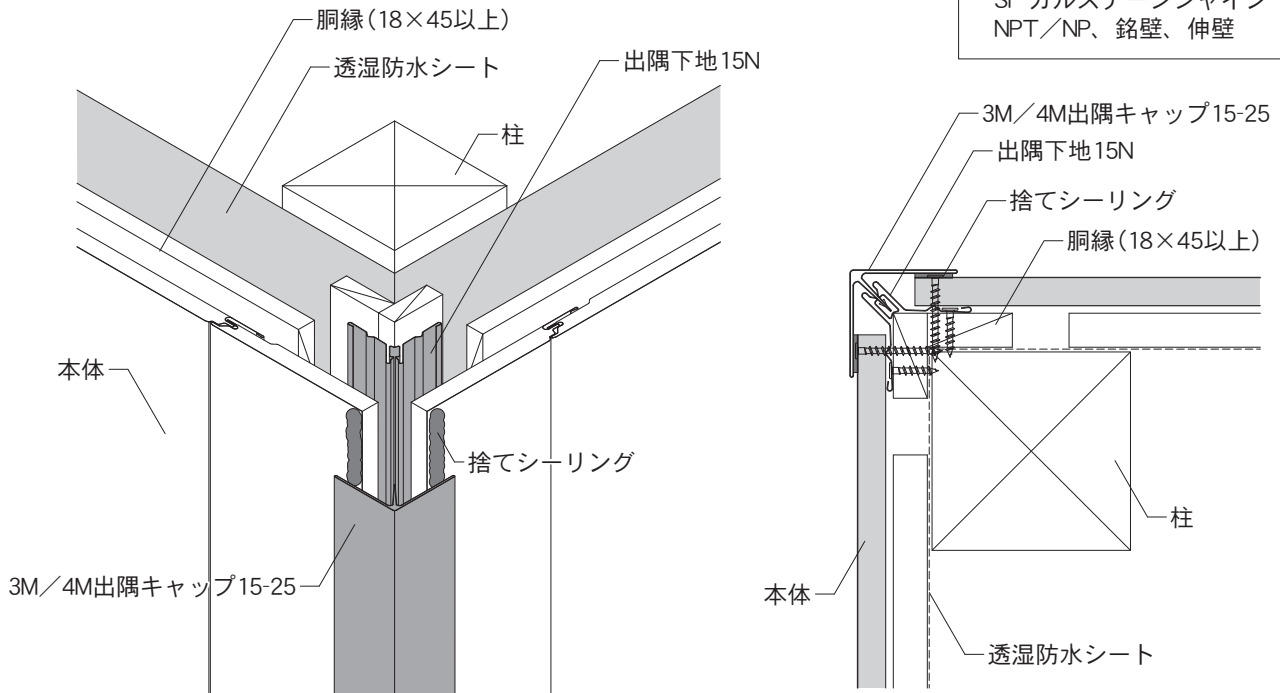
5-2. 15mm品 各部位の納まり図

B. 出隅（2）

- ・ 本体の端部は必ず留め具（スクリューくぎまたは木ねじ）で、直接下地に留め付けてください。
- ・ 本体の端部が、出隅下地 15Nの中央部にのり上げると、出隅キャップがはまりにくくなりますので、注意してください。
- ・ 出隅キャップは、出隅下地 15Nに確実にはめてください。完全にはまらないと脱落するおそれがあります。
- ・ 本体凹部と部材が重なる箇所には、平パッキンSEを使用してください。

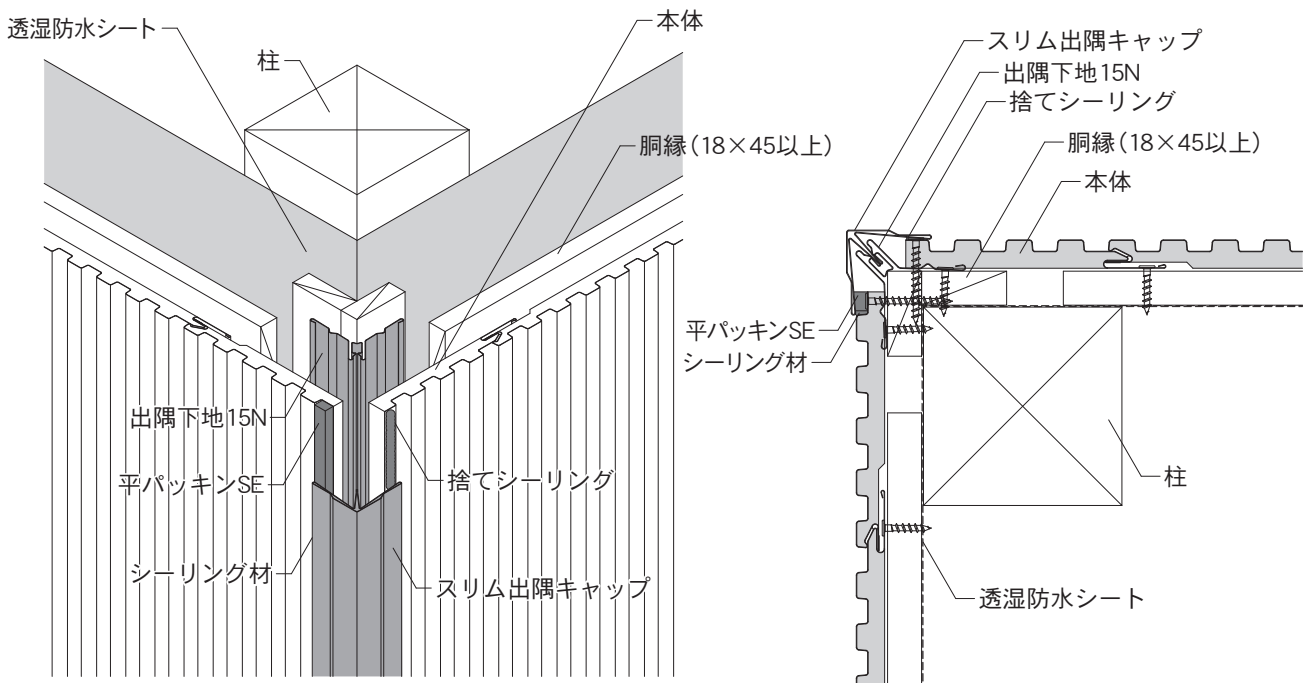
使用部材：3M/4M出隅キャップ15-25・出隅下地15N

- ・ 本頁説明商品  
SP-ガルブライト  
SF-ガルステージシャイン  
NPT/NP、銘壁、伸壁



使用部材：スリム出隅キャップ・出隅下地15N・平パッキンSE

- ・ 本頁説明商品  
SP-スリムスパン





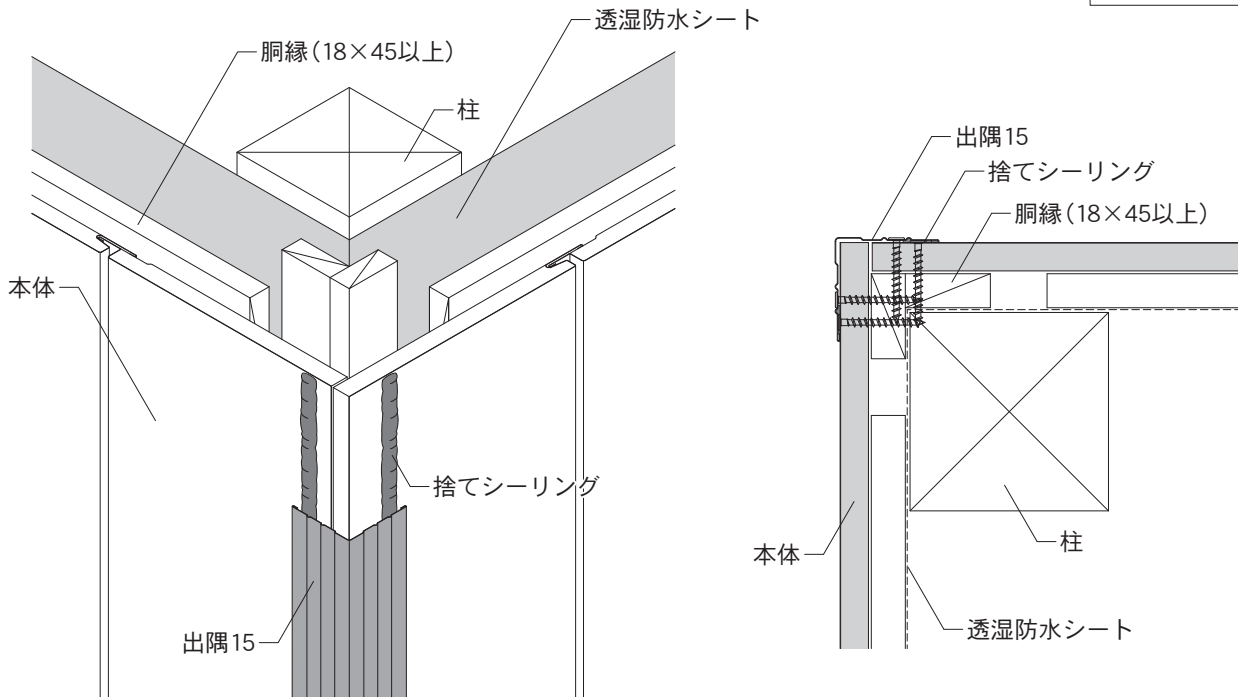
## 5-2. 15mm品 各部位の納まり図

### B. 出隅（3）

- ・本体の端部は必ず留め具（スクリューくぎまたは木ねじ）で、直接下地に留め付けてください。

使用部材：出隅15

・本頁説明商品  
銘壁



5

施  
た  
て  
張  
り  
の

5. たて張りの施工

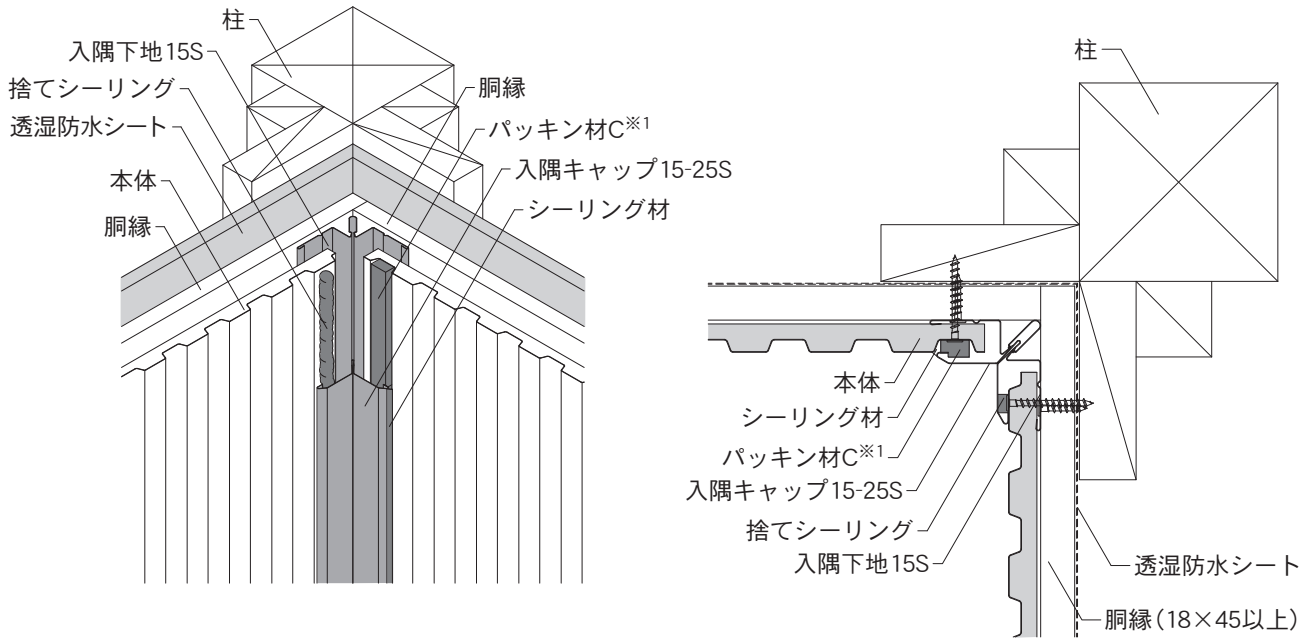
5-2. 15mm品 各部位の納まり図

C. 入隅（1）

- ・本体凹部と部材が重なる箇所には、パッキン材を使用してください。
- ・本体の端部は必ず留め具（スクリューくぎまたは木ねじ）で、直接下地に留め付けてください。
- ※1 SP-ガルスパンはパッキン材C、SP-スリムスパンは平パッキンSEを使用してください。
- ※2 脳天打ちをしたくぎやねじ頭には、シーリング材の施工またはタッチアップペイントで塗装してください。

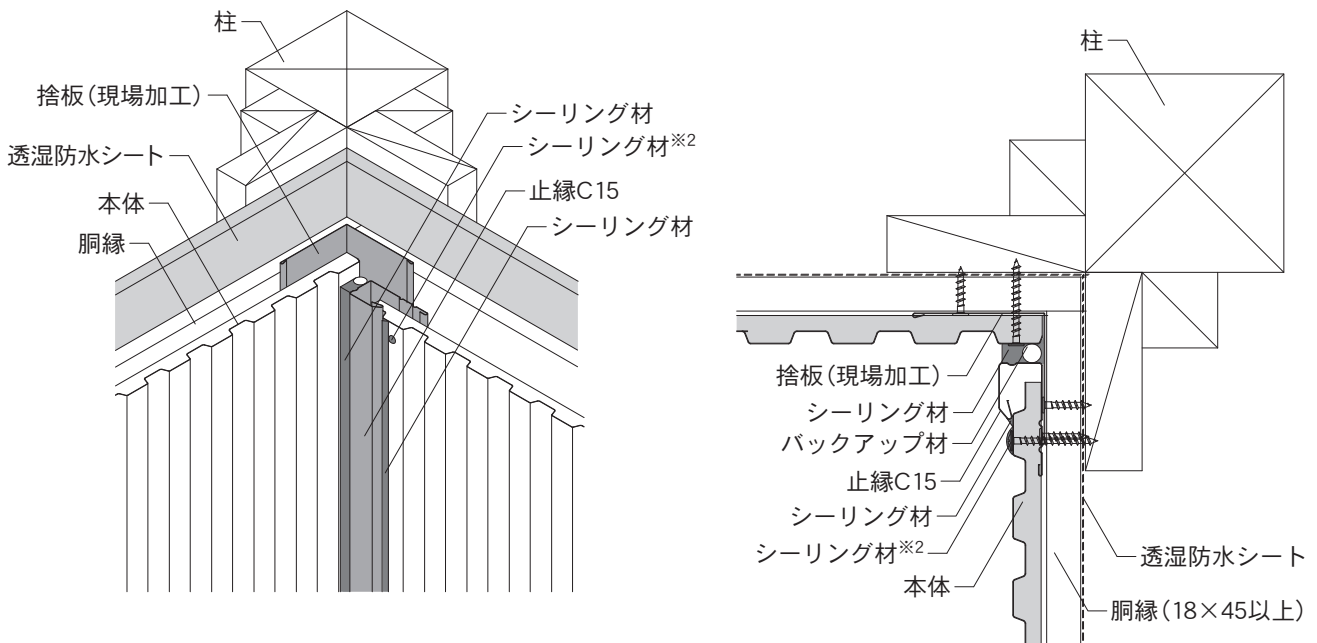
使用部材：入隅キャップ15-25S・入隅下地15S

・本頁説明商品  
SP-ガルスパン  
SP-スリムスパン



使用部材：止縁C15・パッキン材※1

・本頁説明商品  
SP-ガルスパン  
SP-スリムスパン



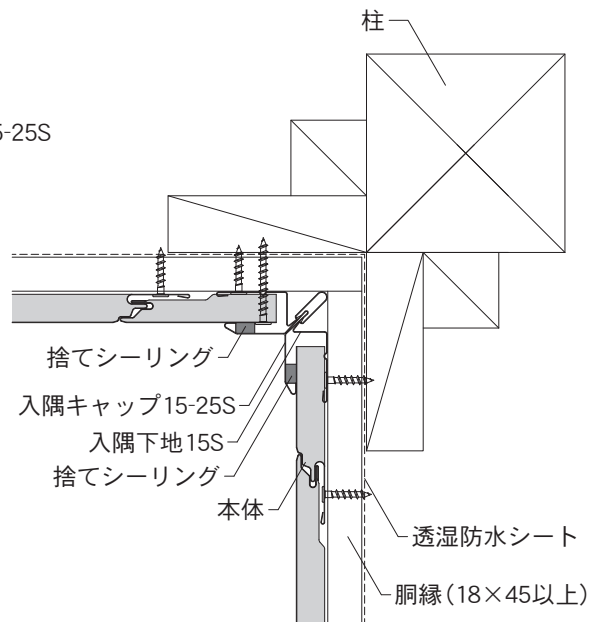
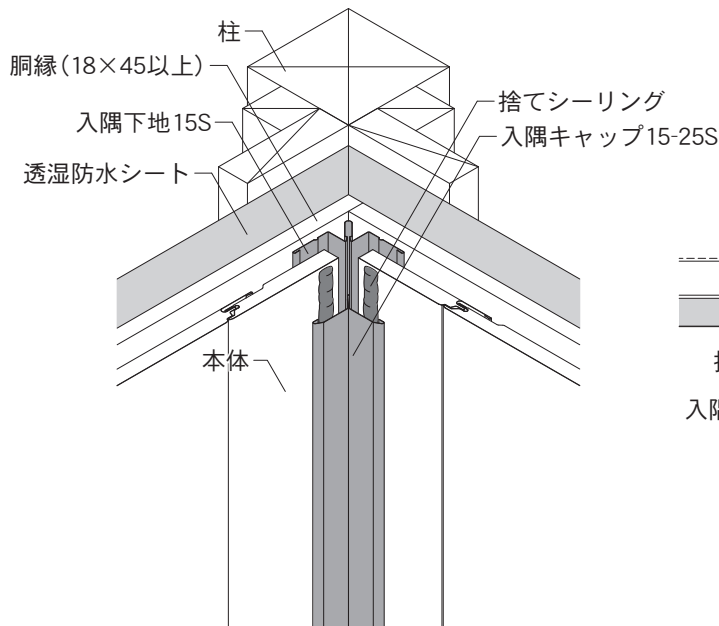
## 5-2. 15mm品 各部位の納まり図

### C. 入隅（2）

・本体の端部は必ず留め具（スクリューくぎまたは木ねじ）で、直接下地に留め付けてください。  
 ※脳天打ちをしたくぎやねじ頭には、シーリング材の施工またはタッチアップペイントで補修してください。

使用部材：入隅キャップ15-25S・入隅下地15S

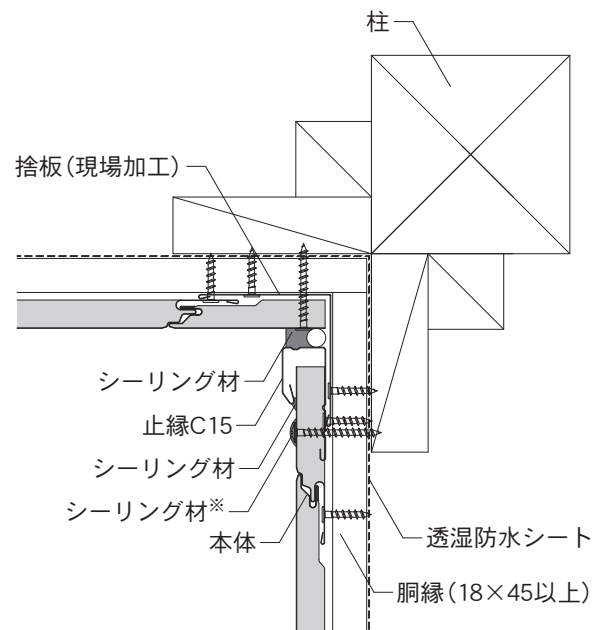
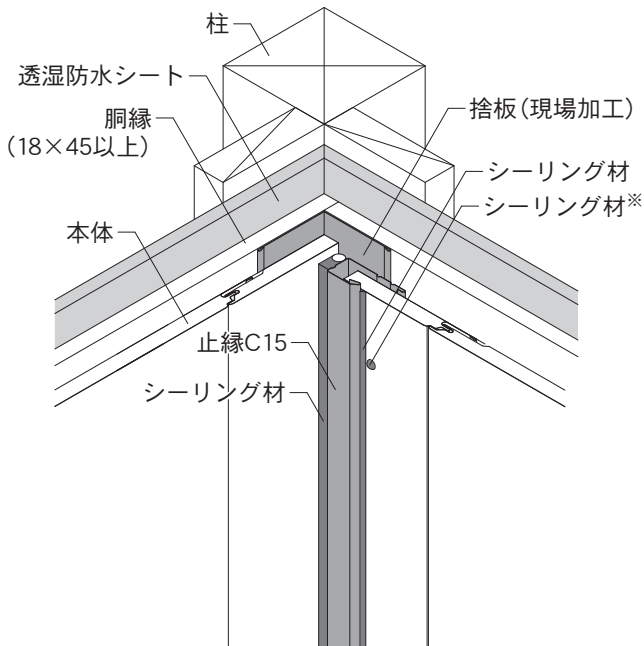
・本頁説明商品  
 SP-ガルブライト  
 SF-ガルステージシャイン  
 NPT/NP、伸壁



5  
 施  
 工  
 張  
 り  
 の

使用部材：止縁C15

・本頁説明商品  
 SP-ガルブライト  
 SF-ガルステージシャイン  
 NPT/NP、銘壁、伸壁



## 5. たて張りの施工

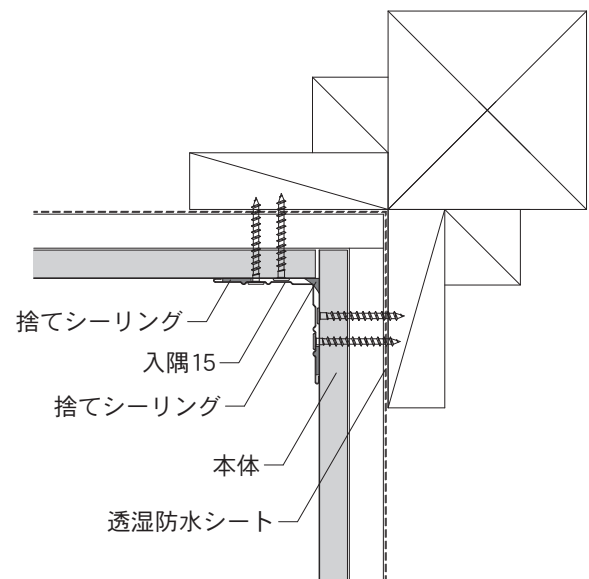
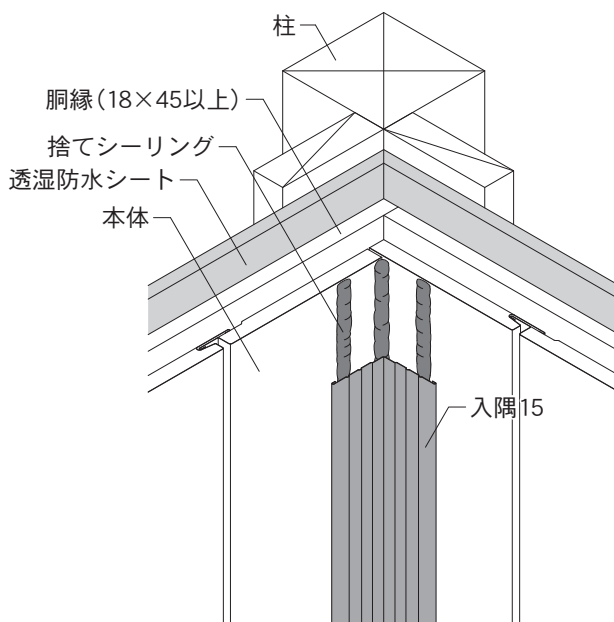
### 5-2. 15mm品 各部位の納まり図

#### C. 入隅（3）

・本体の端部は必ず留め具（スクリークぎまたは木ねじ）で、直接下地に留め付けてください。  
※脳天打ちをしたくぎやねじ頭には、シーリング材の施工またはタッチアップペイントで補修してください。

使用部材：入隅15

・本頁説明商品  
銘壁

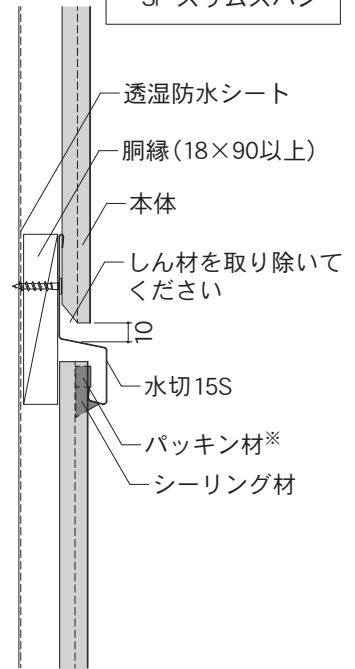
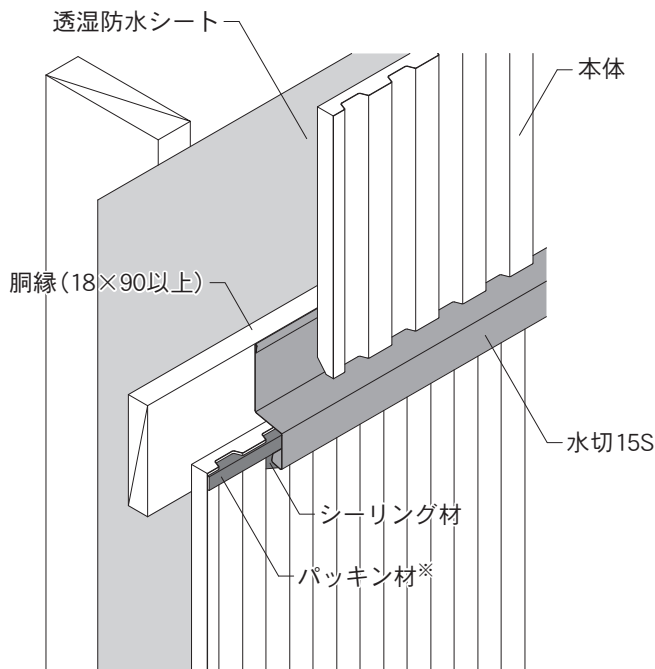


## 5-2. 15mm品 各部位の納まり図

### D. 縦継ぎ (1)

- ・本体の下端と水切15Sの間には、雨水が滞留しないよう10mm程度のすき間をあけてください。
  - ・施工時に発生する切粉は、縦用スターター15内に入らないように注意してください。切粉が入った場合は、必ず取り除いてから本体を施工してください。切粉はさびや汚れの原因となります。
  - ・縦継ぎ部にアルミ縦用スターター15を使用すると、防耐火構造認定の対象外となります。
- ※SP-ガルスパンはパッキン材D、SP-スリムスパンは段パッキンSEを使用してください。

使用部材：水切15S・パッキン材※

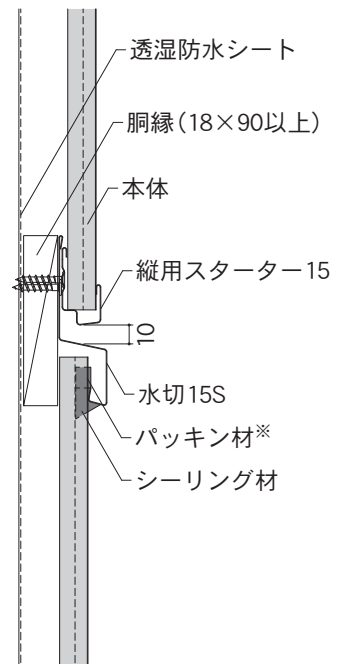
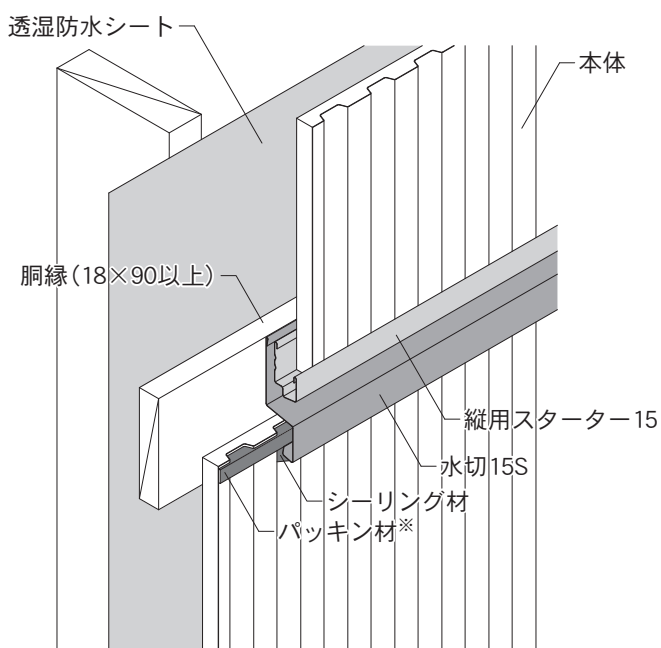


・本頁説明商品  
SP-ガルスパン  
SP-スリムスパン

5

施  
工  
た  
て  
張  
り  
の

使用部材：水切15S・縦用スターター15・パッキン材※



・本頁説明商品  
SP-ガルスパン  
SP-スリムスパン

5. たて張りの施工

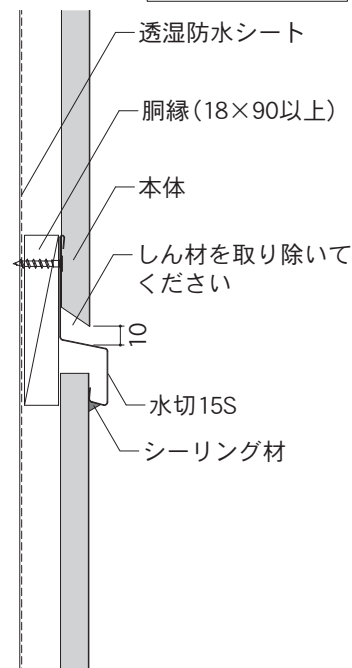
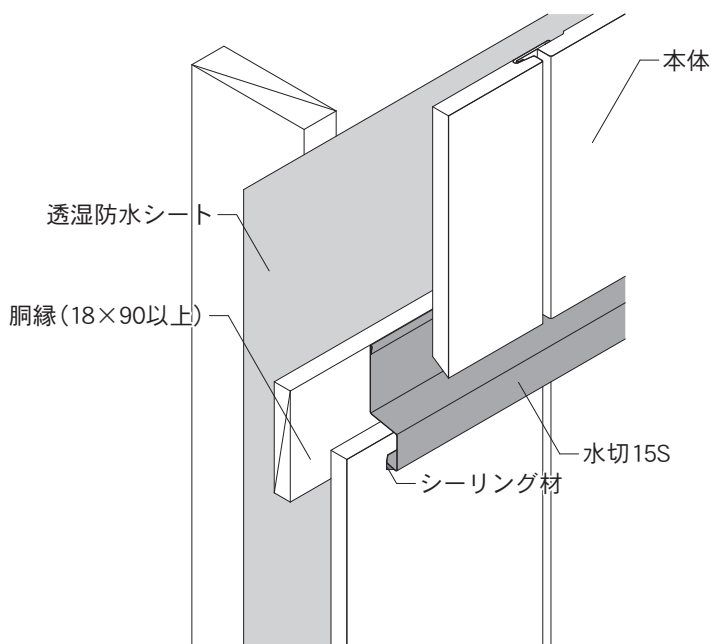
5-2. 15mm品 各部位の納まり図

D. 縦継ぎ (2)

- ・ 本体または縦用スターター15の下端と水切15Sの間には、雨水が滞留しないよう10mm程度のすき間をあけてください。
- ・ 施工時に発生する切粉は、縦用スターター15内に入らないように注意してください。切粉が入った場合は、必ず取り除いてから本体を施工してください。切粉はさびや汚れの原因となります。
- ・ 縦継ぎ部にアルミ縦用スターター15を使用すると、防耐火構造認定の対象外となります。

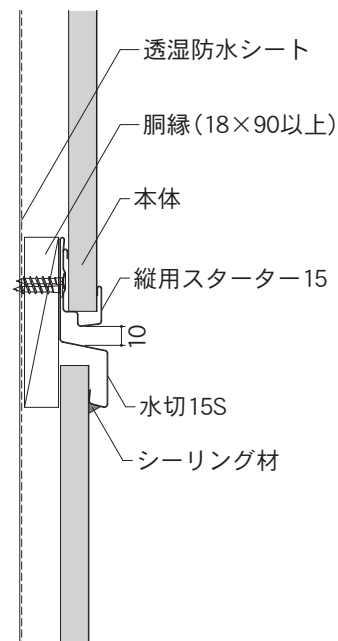
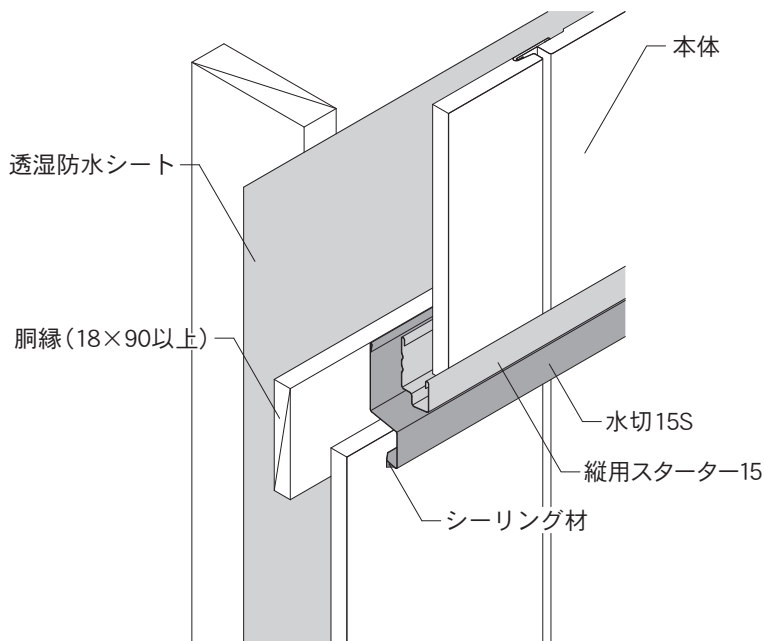
使用部材：水切15S

・ 本頁説明商品  
15mm品共通



使用部材：水切15S・縦用スターター15

・ 本頁説明商品  
SP-ガルブライト  
SF-ガルステージシャイン  
NPT/NP、銘壁、伸壁



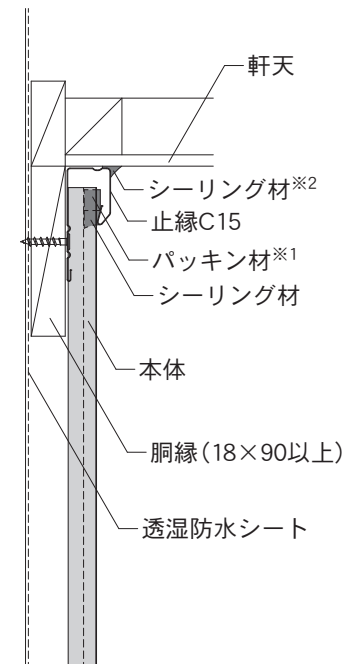
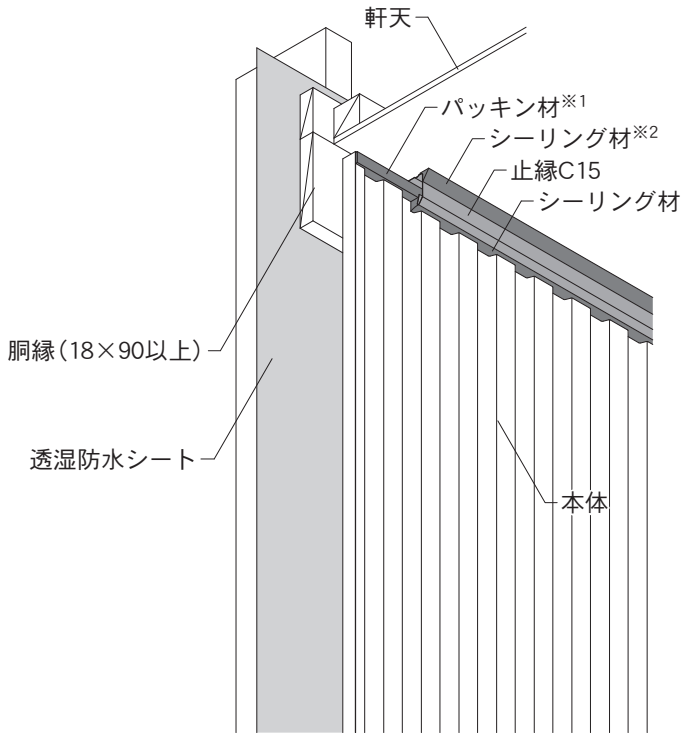
## 5-2. 15mm品 各部位の納まり図

### E. 軒（1）

- ・軒裏や小屋裏への通気経路を確保してください。軒裏や小屋裏への通気を行わない場合は、通気軒見切15-25を使用することで通気構法が可能となります。
- ・本体にパッキン材※1を貼り付けてから、止縁C15に差し込んでください。
- ※1 SP-ガルスパンはパッキン材D、SP-スリムスパンは段パッキンSEを使用してください。
- ※2 軒の出が外壁表面から300mm以上の場合は、軒天と部材の間のシーリング材は無しも可。

使用部材：止縁C15・パッキン材※1

・本頁説明商品  
SP-ガルスパン  
SP-スリムスパン

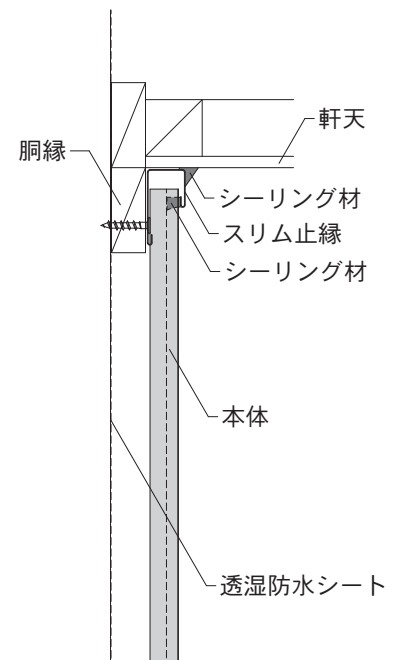
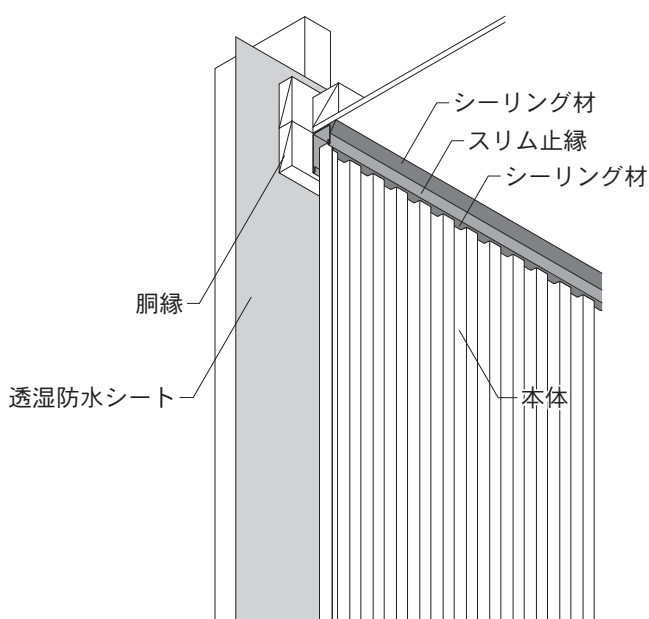


5

施  
た  
工  
て  
張  
り  
の

使用部材：スリム止縁

・本頁説明商品  
SP-スリムスパン



5. たて張りの施工

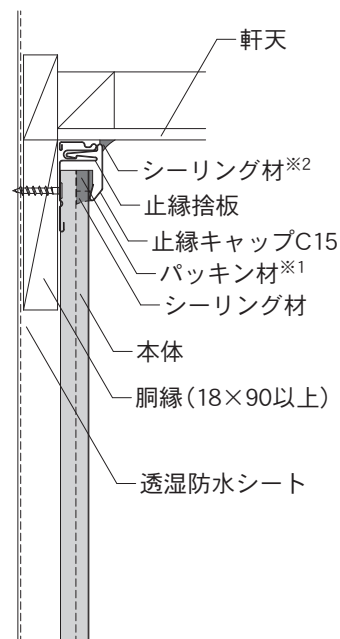
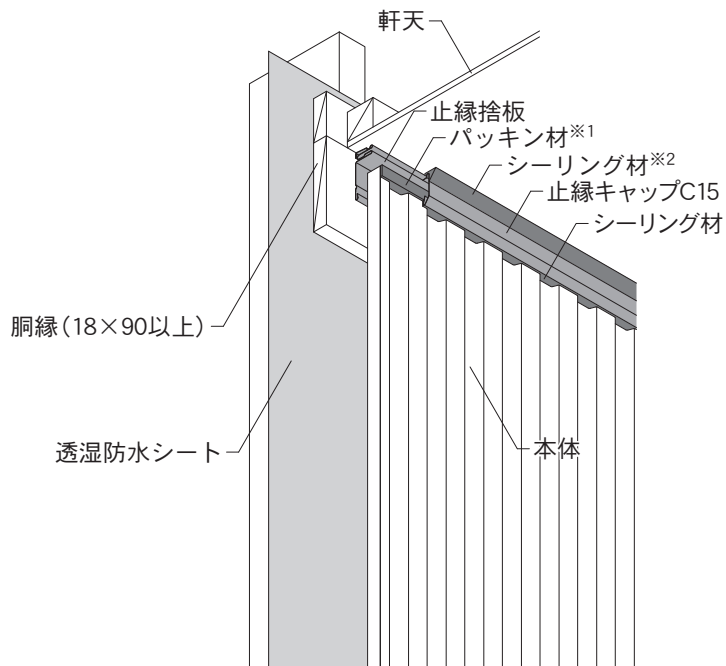
5-2. 15mm品 各部位の納まり図

E. 軒 (2)

- ・軒裏や小屋裏への通気経路を確保してください。軒裏や小屋裏への通気を行わない場合は、通気軒見切15-25を使用することで通気構法が可能となります。
  - ・本体にパッキン材※1を貼り付けてから、止縁C15に差し込んでください。
  - ・本体にパッキン材※1を貼り付けてから、止縁キャップC15を施工してください。
- ※1 SP-ガルスパンはパッキン材D、SP-スリムスパンは段パッキンSEを使用してください。  
 ※2 軒の出が外壁表面から300mm以上の場合、軒天と部材の間のシーリング材は無しも可。

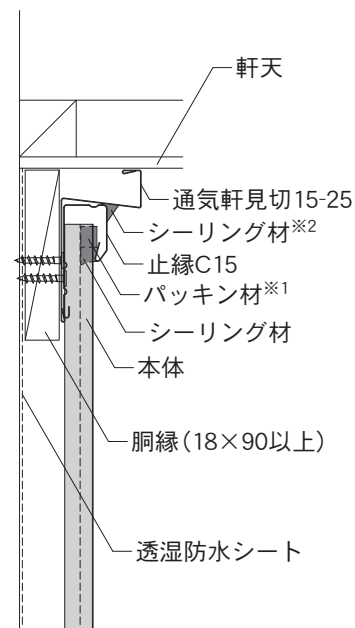
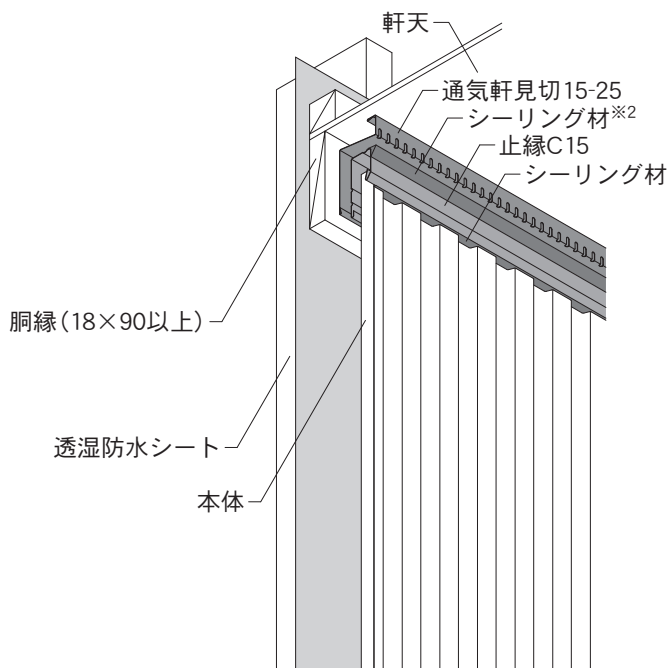
使用部材：止縁キャップC15・止縁捨板・パッキン材※1

・本頁説明商品  
 SP-ガルスパン  
 SP-スリムスパン



使用部材：止縁C15・パッキン材※1・通気軒見切15-25

・本頁説明商品  
 SP-ガルスパン  
 SP-スリムスパン





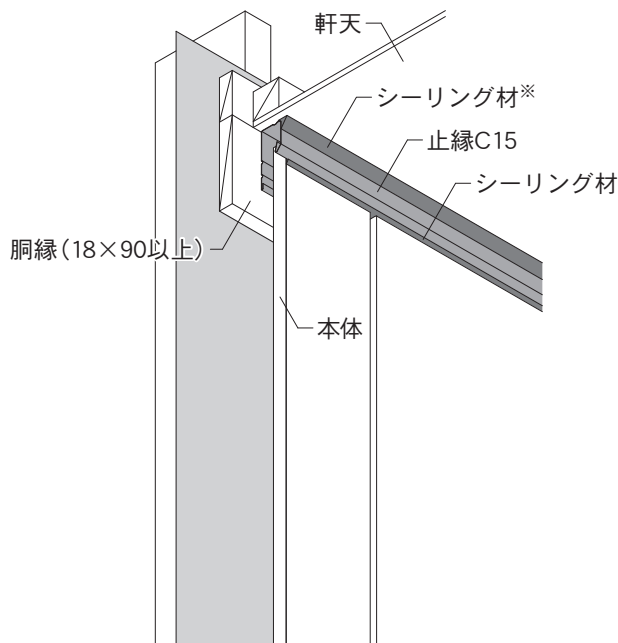
## 5-2. 15mm品 各部位の納まり図

### E. 軒 (3)

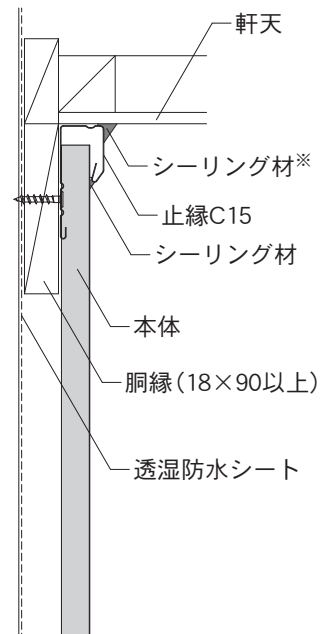
・軒裏や小屋裏への通気経路を確保してください。軒裏や小屋裏への通気を行わない場合は、通気軒見切15-25を使用することで通気構法が可能となります。

※軒の出が外壁表面から300mm以上の場合は、軒天と部材の間のシーリング材は無しも可。

使用部材：止縁C15



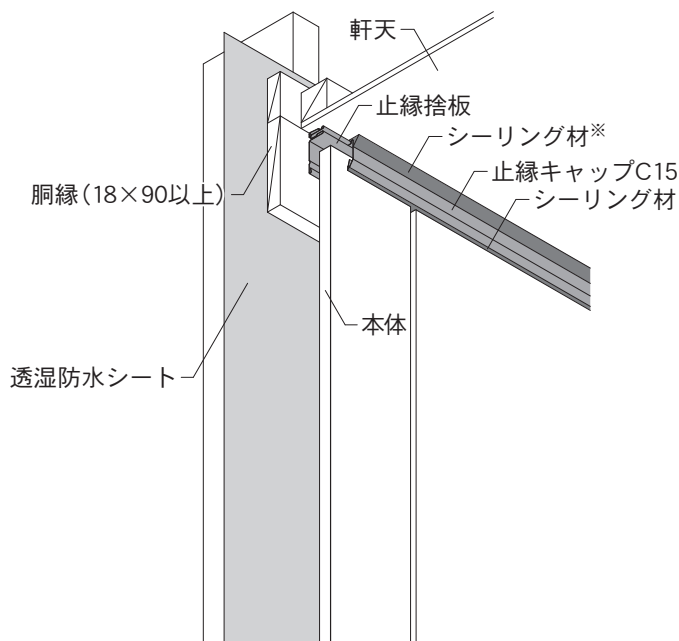
・本頁説明商品  
SP-ガルブライト  
SF-ガルステージシャイン  
NPT/NP、銘壁、伸壁



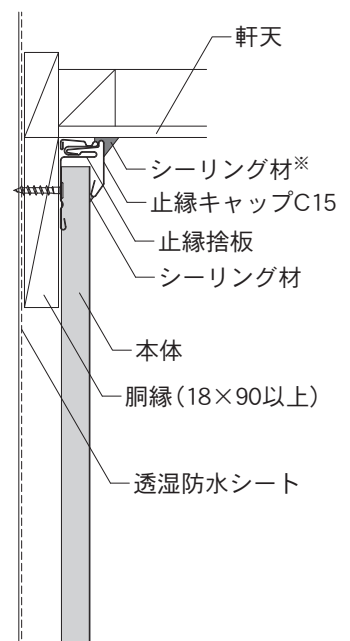
5

施  
た  
て  
張  
り  
の

使用部材：止縁キャップC15・止縁捨板



・本頁説明商品  
SP-ガルブライト  
SF-ガルステージシャイン  
NPT/NP



## 5. たて張りの施工

### 5-2. 15mm品 各部位の納まり図

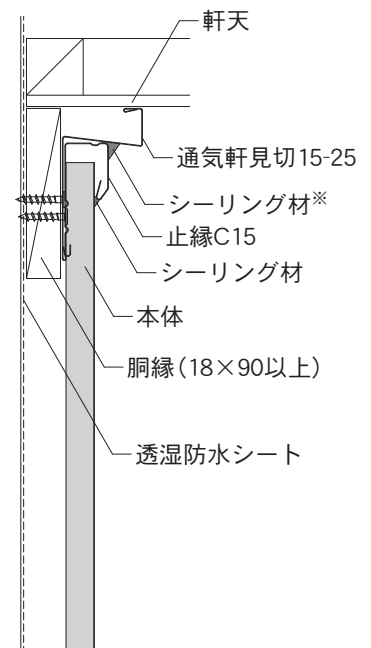
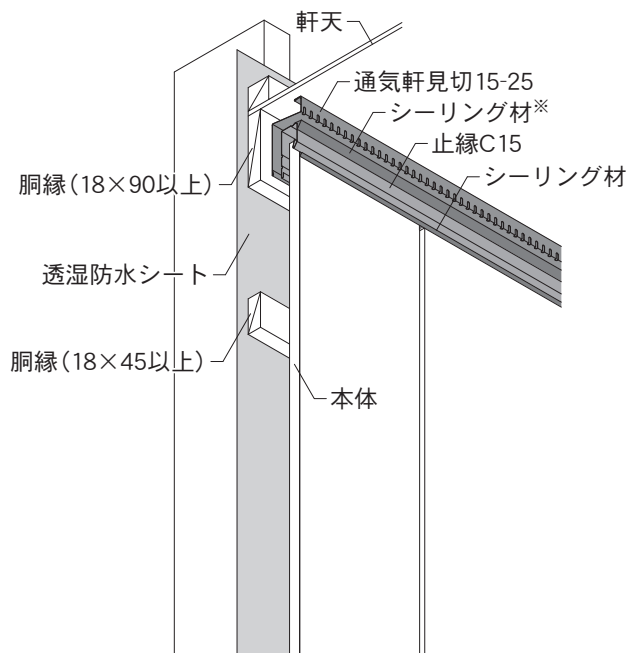
#### E. 軒（4）

・軒裏や小屋裏への通気経路を確保してください。軒裏や小屋裏への通気を行わない場合は、通気軒見切15-25を使用することで通気構法が可能となります。

※軒の出が外壁表面から300mm以上の場合は、軒天と部材の間のシーリング材は無しも可。

使用部材：通気軒見切15-25・止縁C15（止縁C15D）

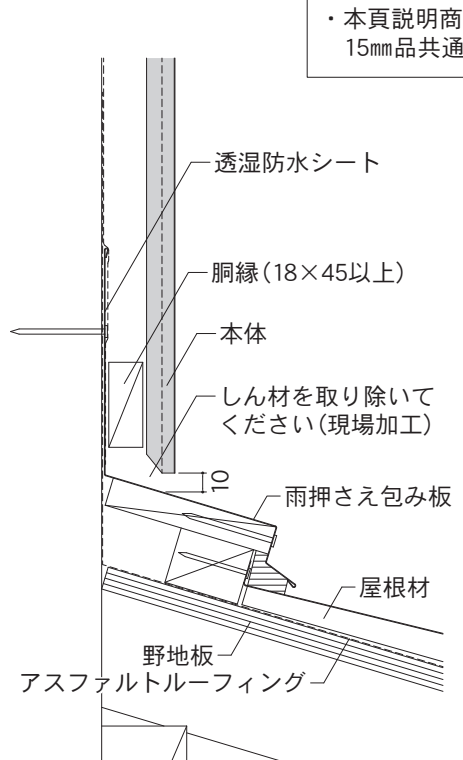
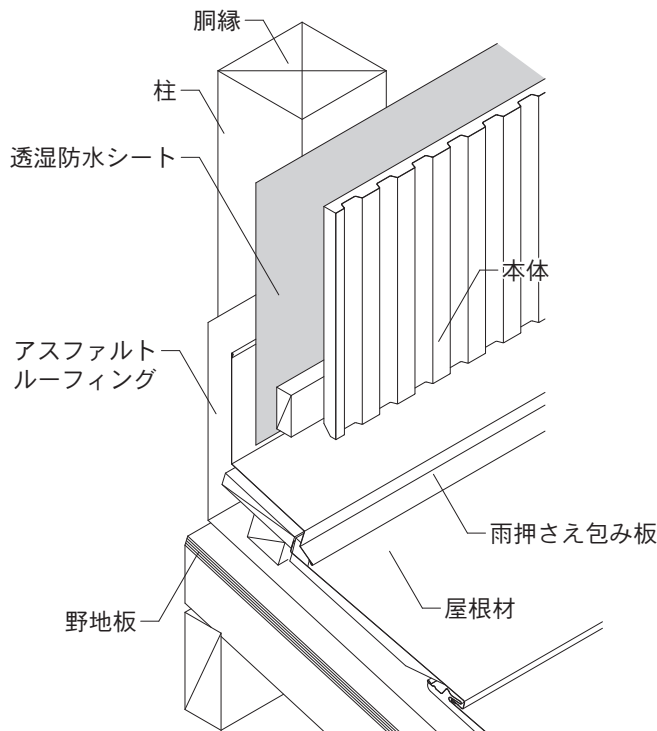
・本頁説明商品  
SP-ガルブライト  
SF-ガルステージシャイン  
NPT/NP、銘壁、伸壁



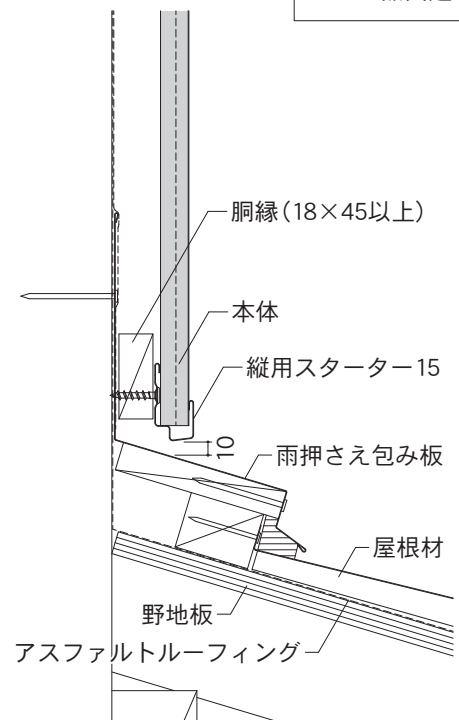
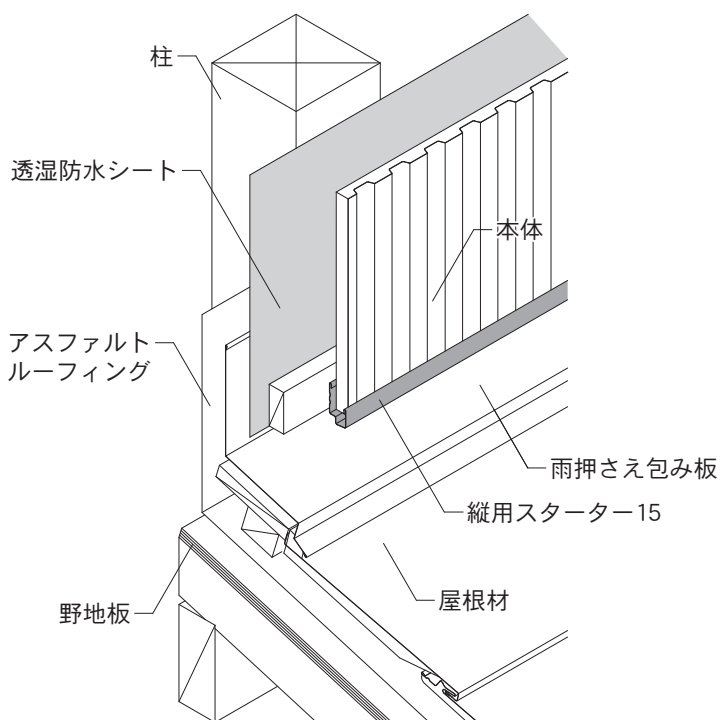
## 5-2. 15mm品 各部位の納まり図

### F. 下屋見切り（1）

- ・ 本体または縦用スターター15の下端と雨押さえ包み板の間には、雨水が滞留しないよう10mm程度のすき間をあけてください。
- ・ 積雪の影響のある地域では、雪の重みにより縦用スターター15の変形のおそれがあるため、アルミ縦用スターター15の使用をお勧めします（P49参照）。
- ・ 施工時に発生する切粉は、縦用スターター15内に入らないように注意してください。切粉が入った場合は、必ず取り除いてから本体を施工してください。切粉はさびや汚れの原因となります。



使用部材：縦用スターター15



5. たて張りの施工

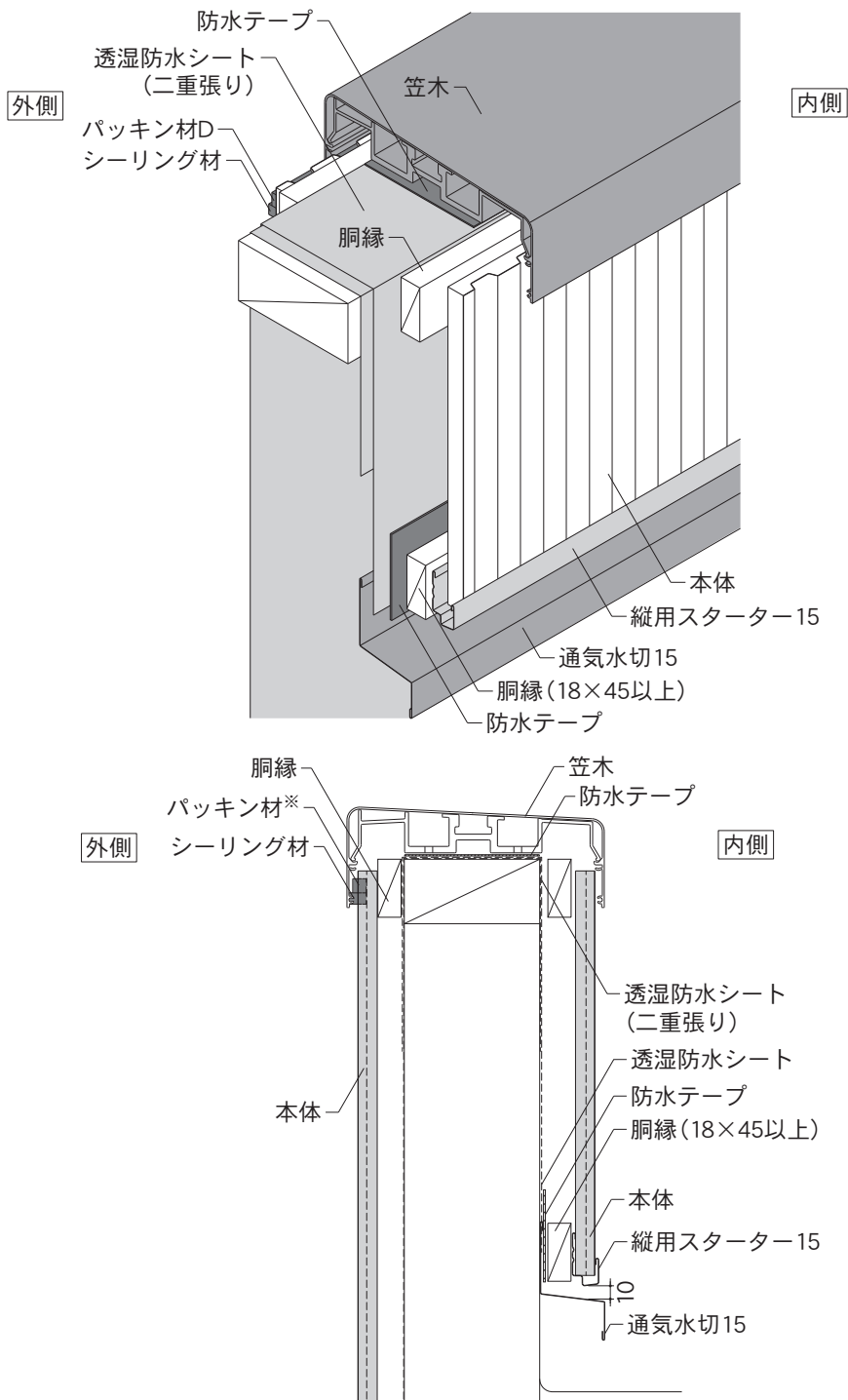
5-2. 15mm品 各部位の納まり図

G. 笠木（1）

- ・防水上万全を期すため、透湿防水シートを二重張りにしてください。
  - ・通気経路を確保してください。
  - ・積雪の影響のある地域では、雪の重みにより縦用スターター15の変形のおそれがあるため、アルミ縦用スターター15の使用をお勧めします（P49参照）。
  - ・施工時に発生する切粉は、縦用スターター15内に入らないように注意してください。切粉が入った場合は、必ず取り除いてから本体を施工してください。切粉はさびや汚れの原因となります。
- ※SP-ガルスパンはパッキン材D、SP-スリムスパンは段パッキンSEを使用してください。

使用部材：通気水切15・縦用スターター15・パッキン材※

・本頁説明商品  
SP-ガルスパン  
SP-スリムスパン



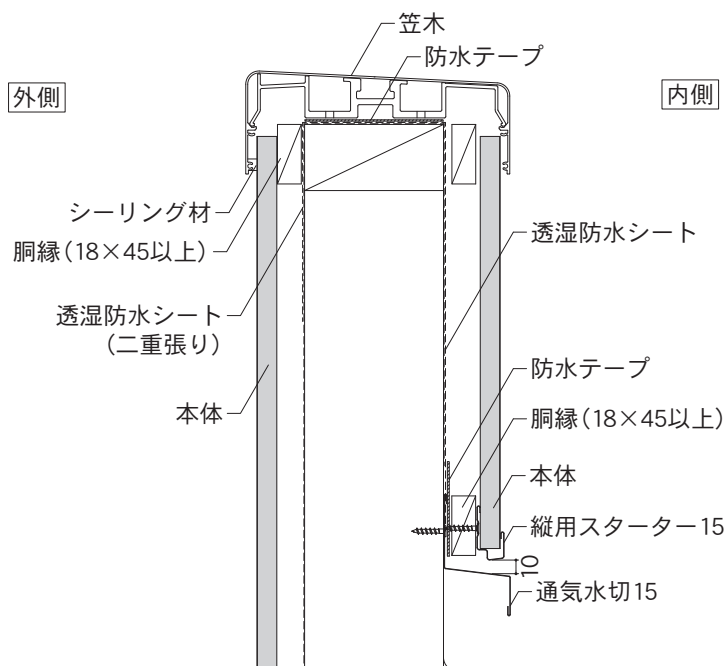
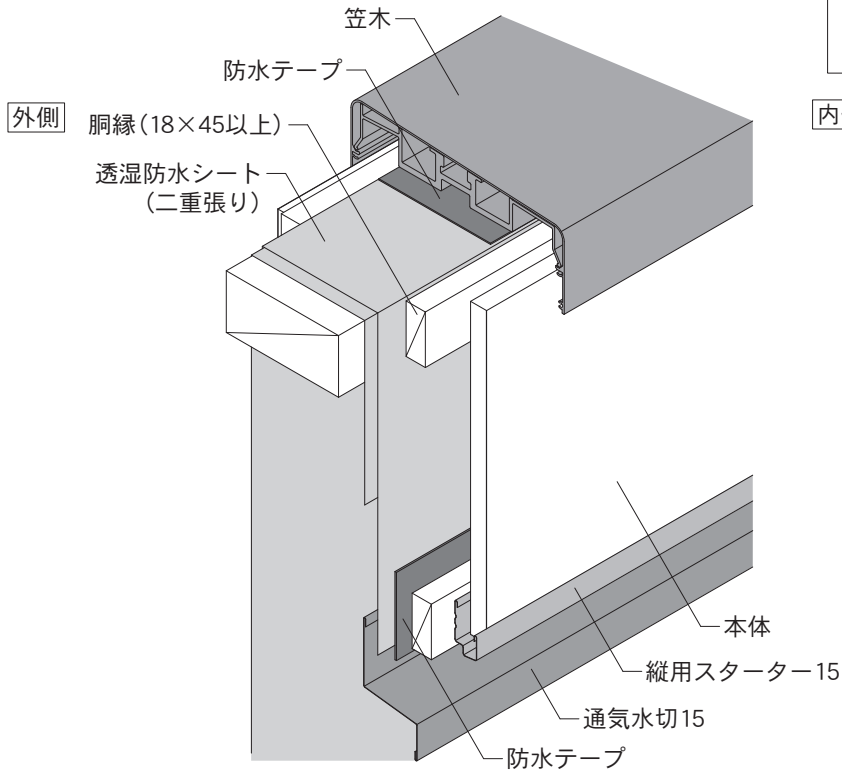
## 5-2. 15mm品 各部位の納まり図

### G. 笠木 (2)

- ・防水上万全を期すため、透湿防水シートを二重張りにしてください。
- ・通気経路を確保してください。
- ・積雪の影響のある地域では、雪の重みにより縦用スターター15の変形のおそれがあるため、アルミ縦用スターター15の使用をお勧めします (P49参照)。
- ・施工時に発生する切粉は、縦用スターター15内に入らないように注意してください。切粉が入った場合は、必ず取り除いてから本体を施工してください。切粉はさびや汚れの原因となります。

使用部材：通気水切15・縦用スターター15

・本頁説明商品  
SP-ガルブライト  
SF-ガルステージシャイン  
NPT/NP、銘壁、伸壁



5

施  
工  
た  
て  
張  
り  
の

5. たて張りの施工

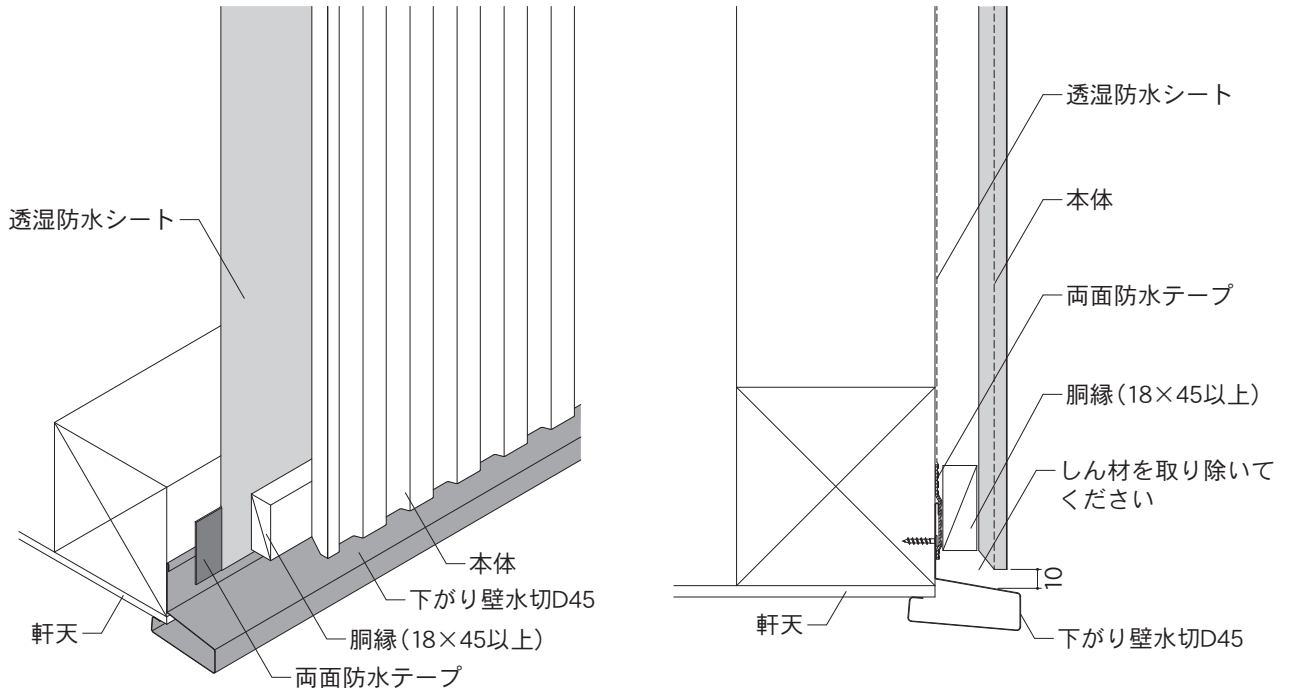
5-2. 15mm品 各部位の納まり図

H. 下がり壁

- ・ 本体または縦用スターター15の下端と下がり壁水切D45の間には、雨水が滞留しないよう10mm程度のすき間をあけてください。
- ・ 施工時に発生する切粉は、縦用スターター15内に入らないように注意してください。切粉が入った場合は、必ず取り除いてから本体を施工してください。切粉はさびや汚れの原因となります。

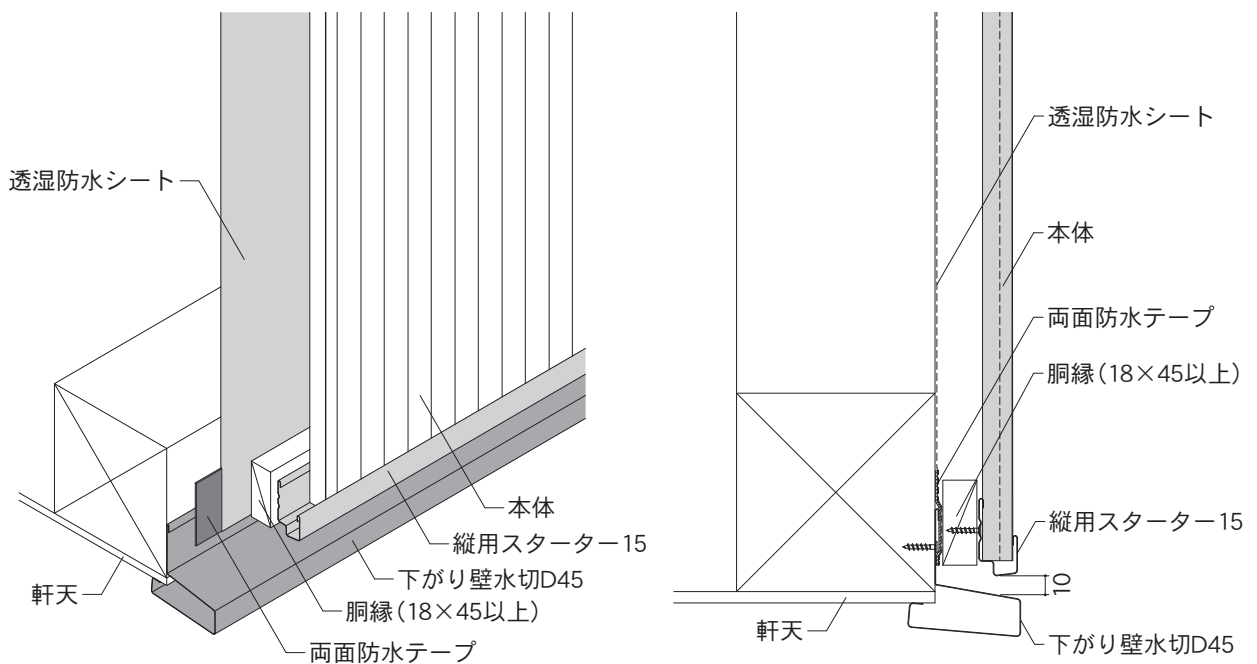
使用部材：下がり壁水切D45

・ 本頁説明商品  
15mm品共通



使用部材：下がり壁水切D45／縦用スターター15

・ 本頁説明商品  
15mm厚さ共通



## 5-2. 15mm品 各部位の納まり図

### 1. 開口部（共通）

サッシと部材の取り合いのシーリングの施工について

- ・サッシと部材の取り合いでシーリングを施工する場合は、図1、図2のいずれかのようにシーリング材を施工してください。
  - ・図2の場合は、接着断面の長さは5mm以上とし、両面が薄くならないように均一に施工してください。
  - ・シーリング材が薄い箇所は劣化が早く進みシーリング切れの原因となります。シーリング材のこまめな点検、補修が必要です。
  - ・次ページより、図1を代表して記載しています。
- ※くぎまたはねじ頭には、シーリング材の代わりにタッチアップペイントでの塗装も可。

図1

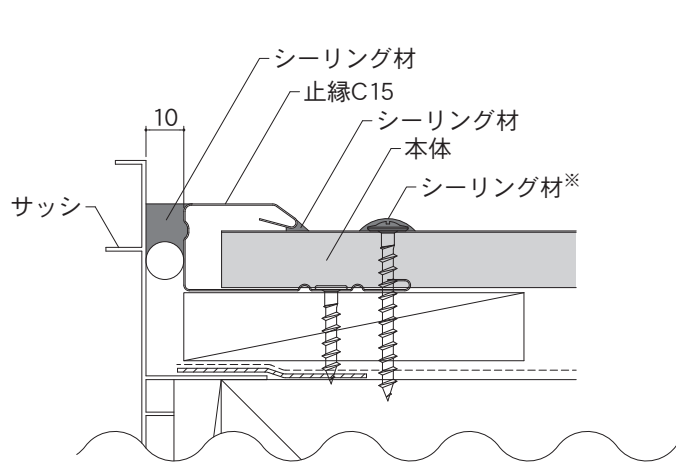
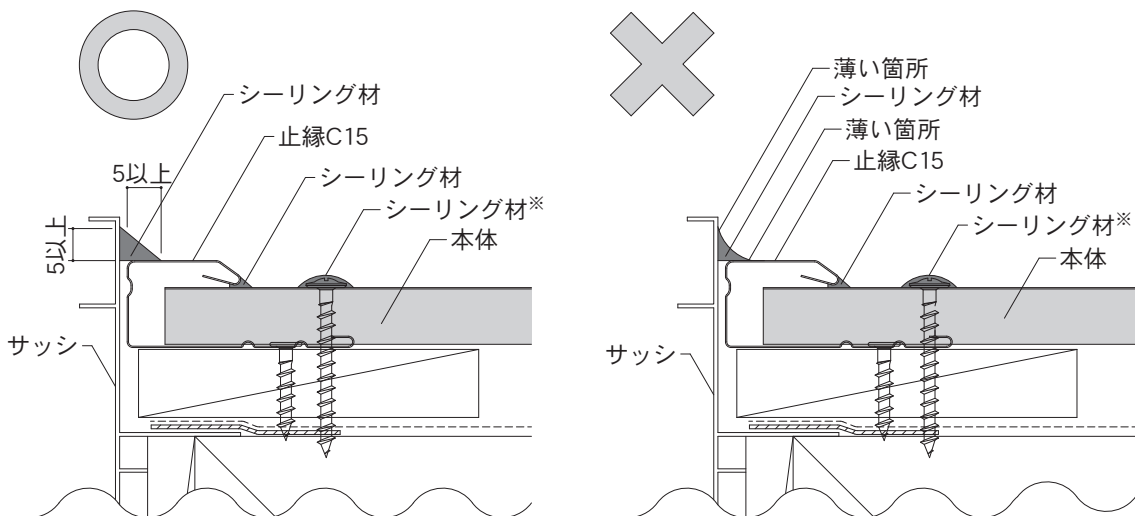


図2



5. たて張りの施工

5-2. 15mm品 各部位の納まり図

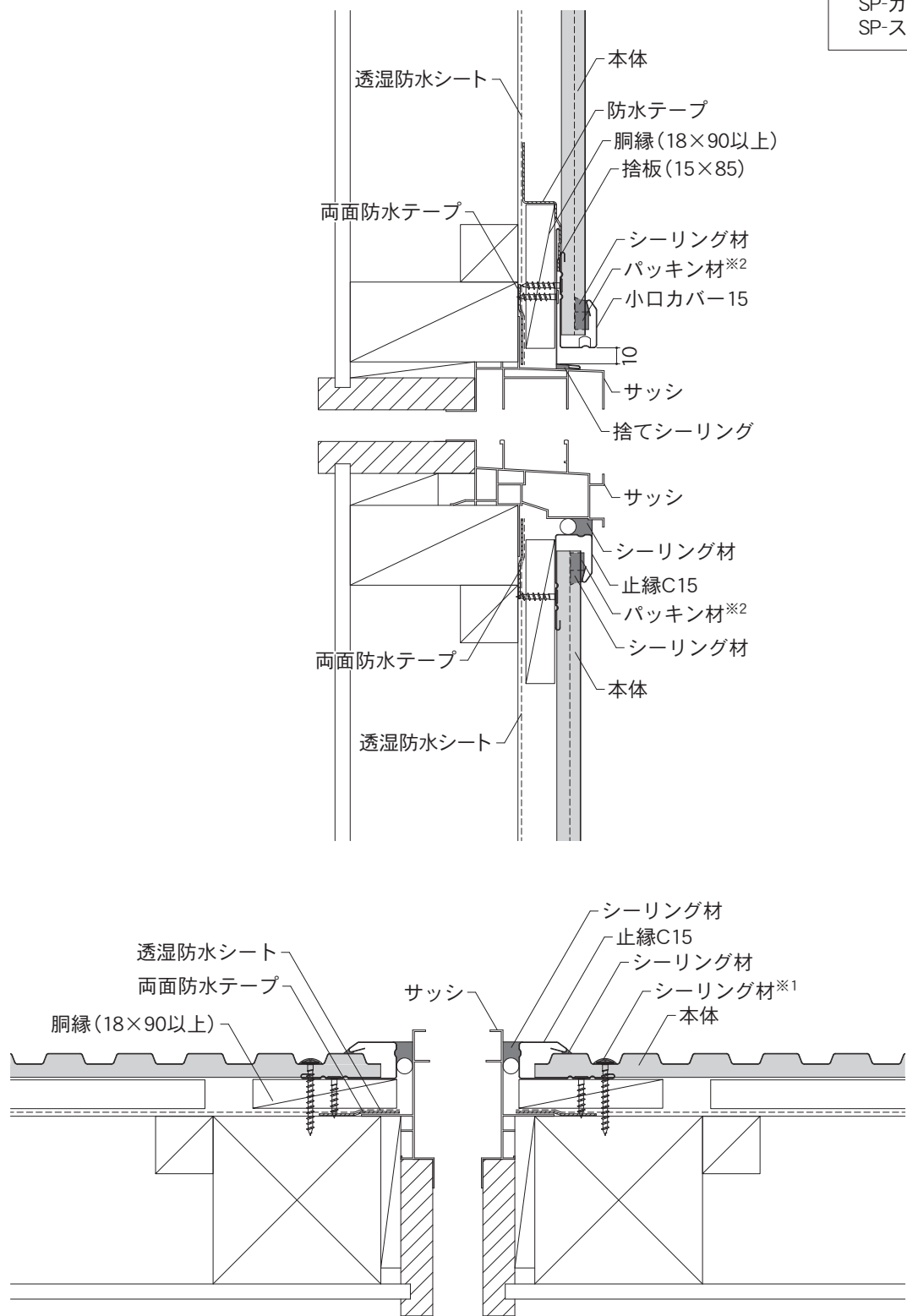
単位：mm

1. 開口部 (1)

- ・本体の端部は必ず留め具（スクリューくぎまたは木ねじ）で、直接下地に留め付けてください。
- ※1 くぎまたはねじ頭には、シーリング材の代わりにタッチアップペイントでの塗装も可。
- ※2 SP-ガルスパンはパッキン材D、SP-スリムスパンは段パッキンSEを使用してください。

使用部材：小口カバー15・止縁C15・捨板（15×85）・パッキン材※2

・本頁説明商品  
SP-ガルスパン  
SP-スリムスパン





## 5-2. 15mm品 各部位の納まり図

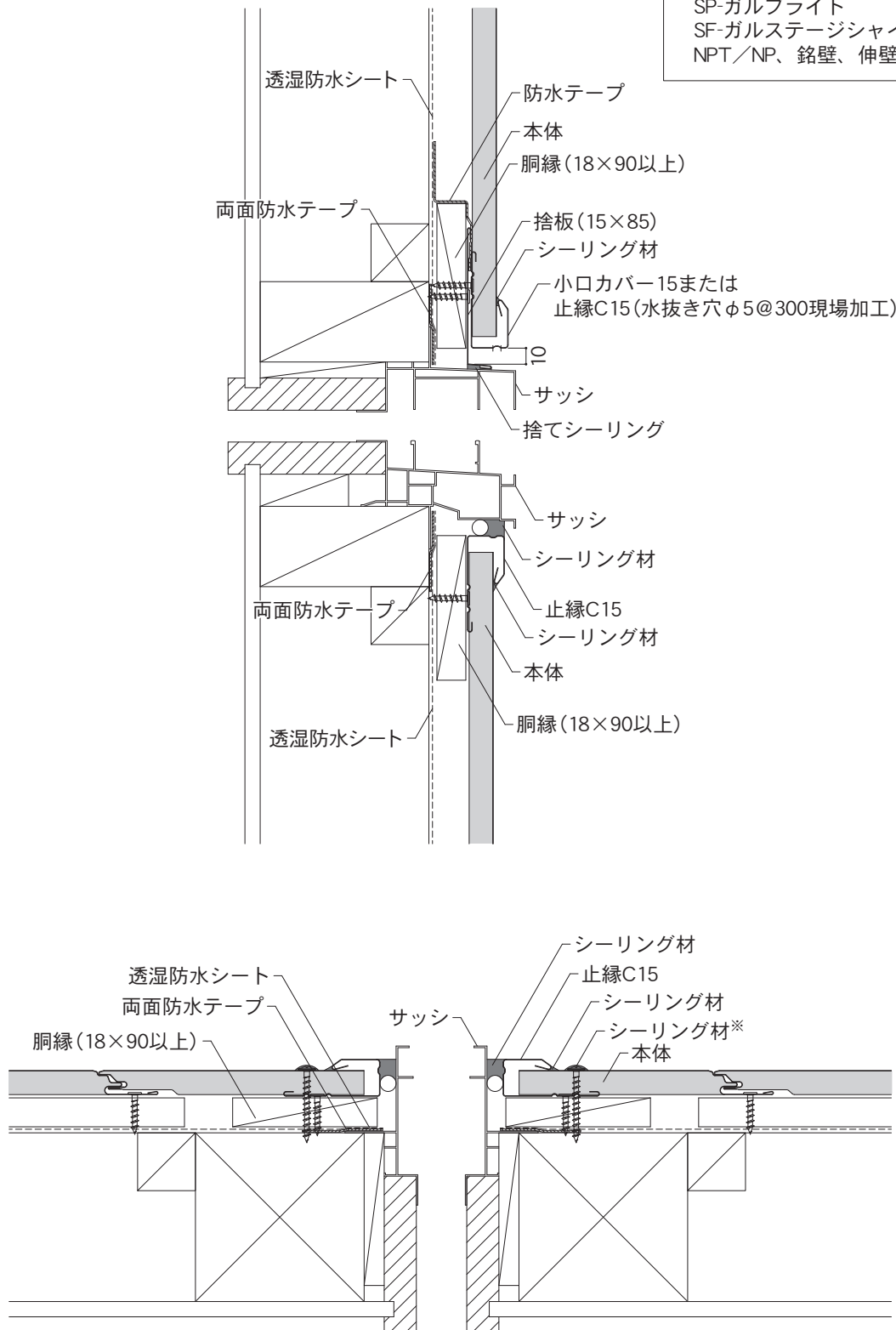
単位：mm

### 1. 開口部（1）

- ・ 止縁C15を開口部上に取り付ける際は、あらかじめ水抜き穴をあけてから取り付けてください。小口カバー15は、水抜き穴があいています。
  - ・ 本体の端部は必ず留め具（スクリューくぎまたは木ねじ）で、直接下地に留め付けてください。
- ※くぎまたはねじ頭には、シーリング材の代わりにタッチアップペイントでの塗装も可。

使用部材：小口カバー15・止縁C15・捨板（15×85）

・ 本頁説明商品  
SP-ガルブライト  
SF-ガルステージシャイン  
NPT/NP、銘壁、伸壁



5

施  
た  
て  
張  
り  
の

5. たて張りの施工

5-2. 15mm品 各部位の納まり図

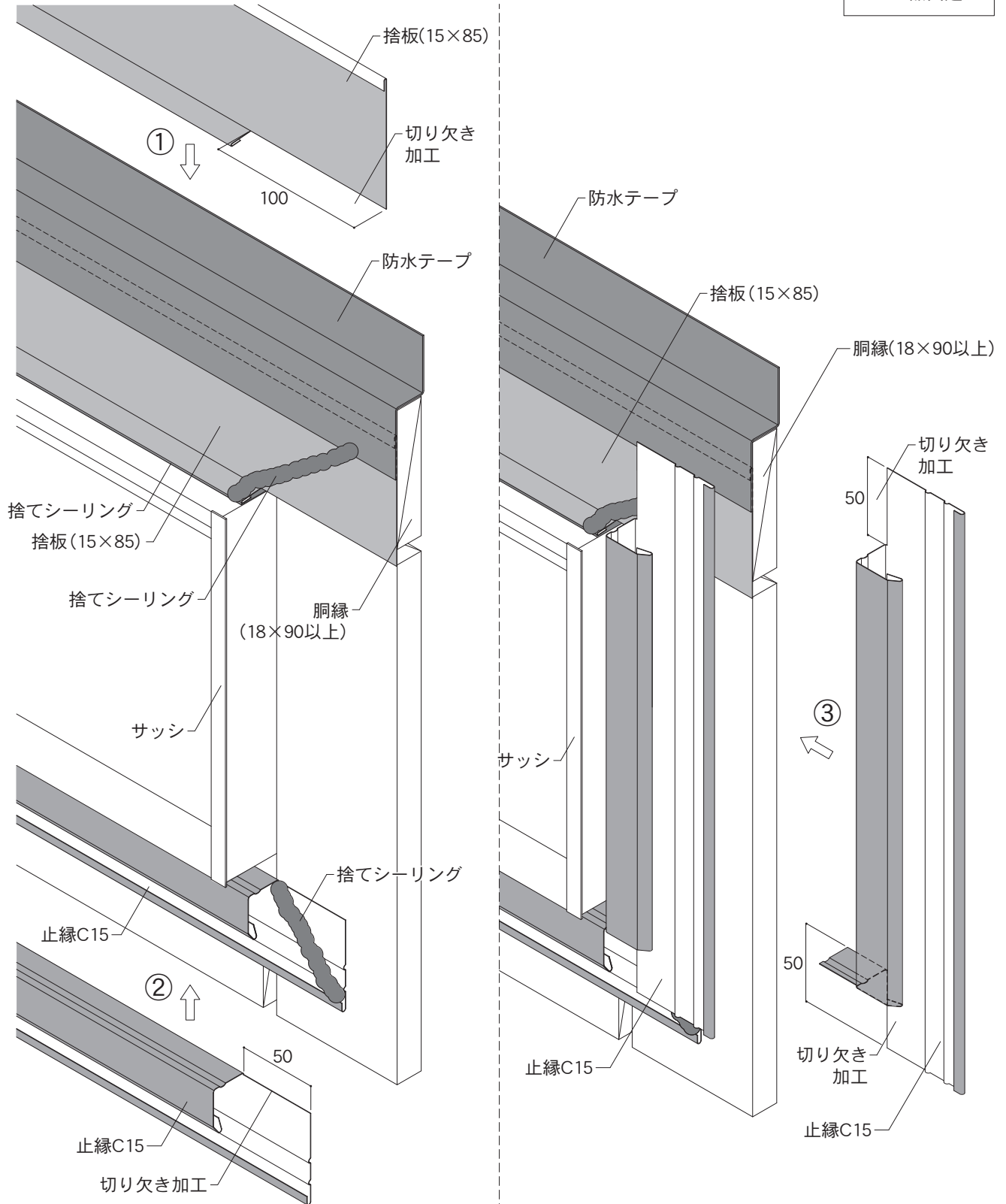
単位：mm

1. 開口部 (1) 隅角部にワンタッチコーナーキャップ15-25を施工する場合

- ① 開口部上に捨板 (15×85) を施工して、その上から防水テープを図の位置に施工してください。
- ② 開口部下に止縁C15を取り付けてください。
- ③ 開口部左右に止縁C15を取り付けてください。

使用部材：小口カバー15・止縁C15・捨板 (15×85)

・本頁説明商品  
15mm品共通



## 5-2. 15mm品 各部位の納まり図

単位：mm

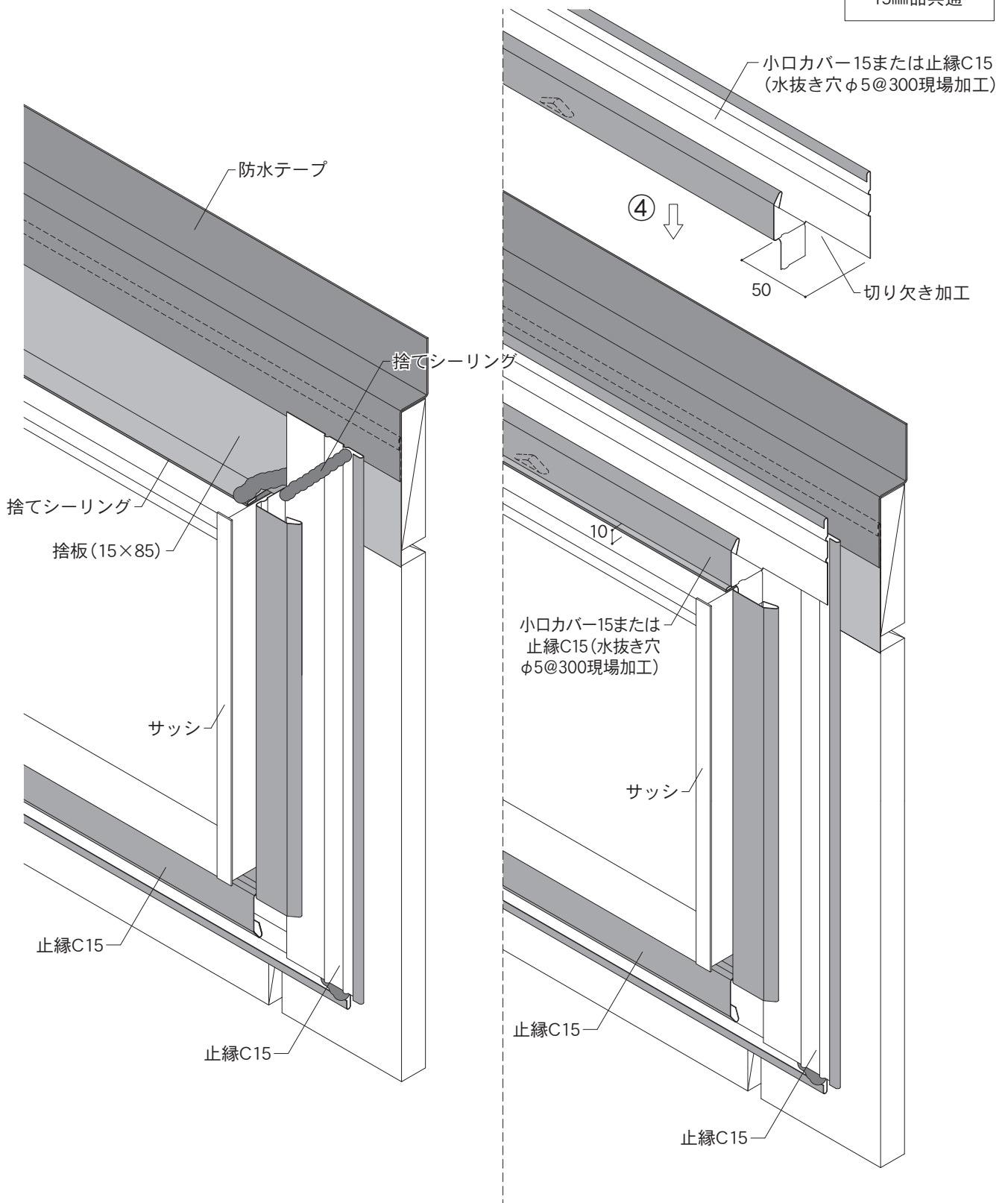
### 1. 開口部（1）

隅角部にワンタッチコーナーキャップ15-25を施工する場合

- ④開口部上には、小口カバー15または止縁C15（水抜き穴φ5@300現場加工）の下端とサッシの間は雨水が滞留しないよう10mm程度のすき間をあけて取り付けてください。

使用部材：小口カバー15・止縁C15・捨板（15×85）

・本頁説明商品  
15mm品共通



5

施  
工  
た  
て  
張  
り  
の

## 5. たて張りの施工

### 5-2. 15mm品 各部位の納まり図

単位：mm

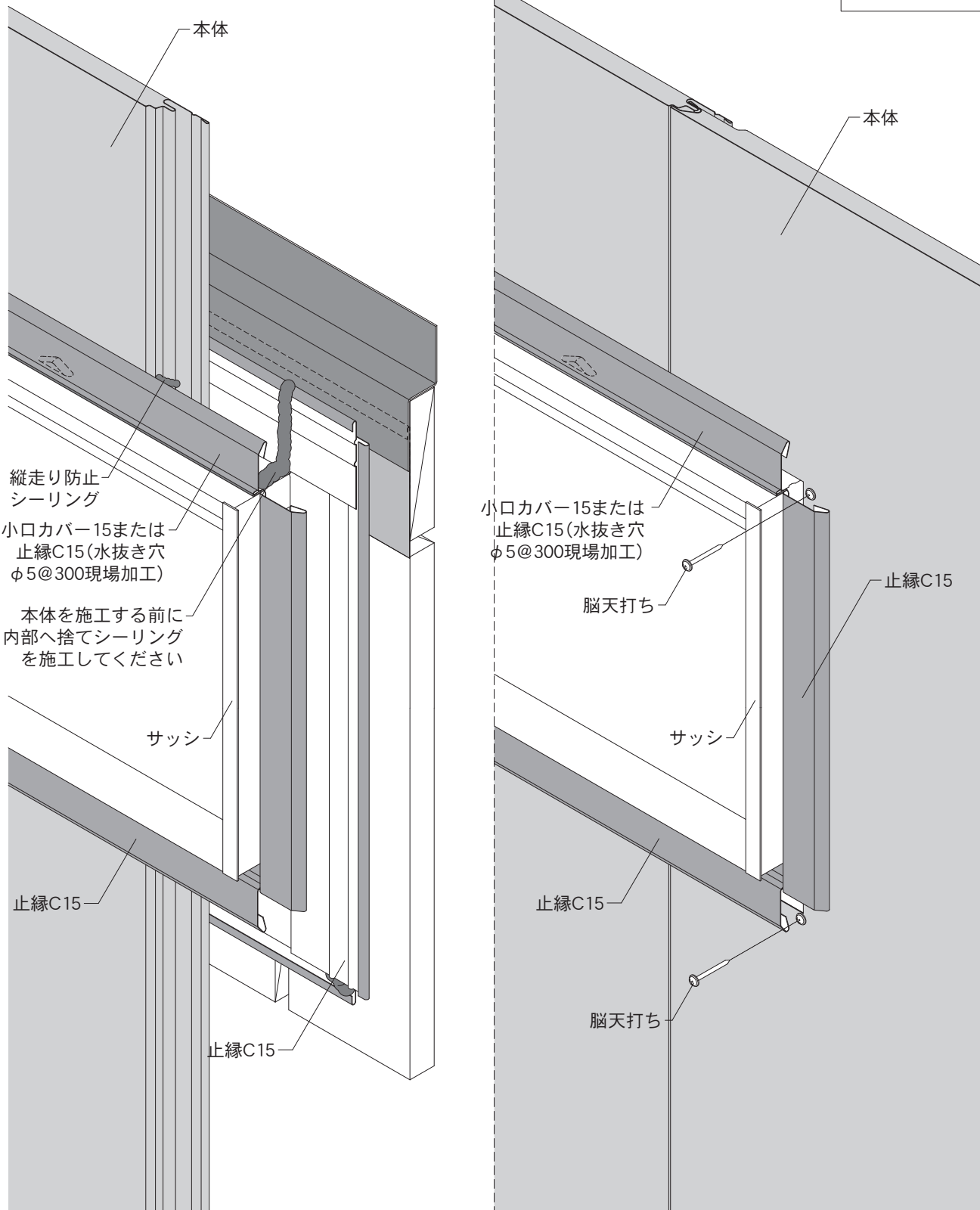
#### 1. 開口部（1）

隅角部にワンタッチコーナーキャップ15-25を施工する場合

- ・ 本体1枚ごとに、縦走り防止シーリングを施工してください。
- ・ ワンタッチコーナーキャップ15-25の隠れる位置に脳天打ちをし、本体を確実に留め付けてください。
- ・ 小口カバー15または止縁C15の内部に捨てシーリングを施工してから、本体を施工してください。

使用部材：小口カバー15・止縁C15・捨板（15×85）

・ 本頁説明商品  
15mm品共通



## 5-2. 15mm品 各部位の納まり図

単位：mm

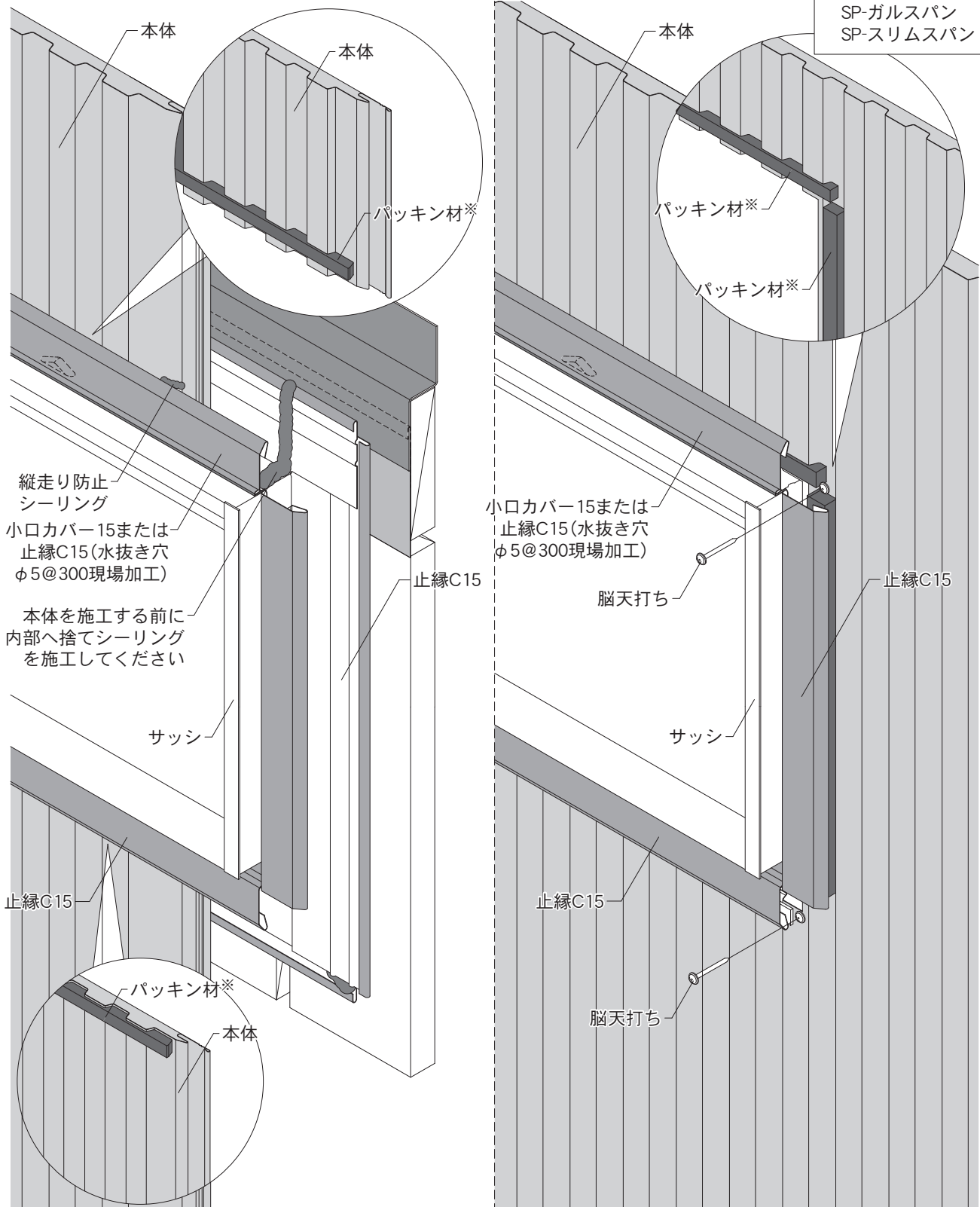
### 1. 開口部（1）

隅角部にワンタッチコーナーキャップ15-25を施工する場合

- ・小口カバー15または止縁C15の内部に捨てシーリングを施工してから、本体を施工してください。
  - ・開口部上に施工する本体1枚ごとに、縦走り防止シーリングを施工してください。
  - ・開口部上下に施工する本体には、パッキン材※を貼り付けてください。
  - ・ワンタッチコーナーキャップ15-25の隠れる位置に脳天打ちをし、本体を確実に留め付けてください。
- ※SP-ガルスパンはパッキン材D、SP-スリムスパンは段パッキンSEを使用してください。

使用部材：小口カバー15・止縁C15・捨板（15×85）・パッキン材※

・本頁説明商品  
SP-ガルスパン  
SP-スリムスパン



5

施工  
たて  
張りの

5. たて張りの施工

5-2. 15mm品 各部位の納まり図

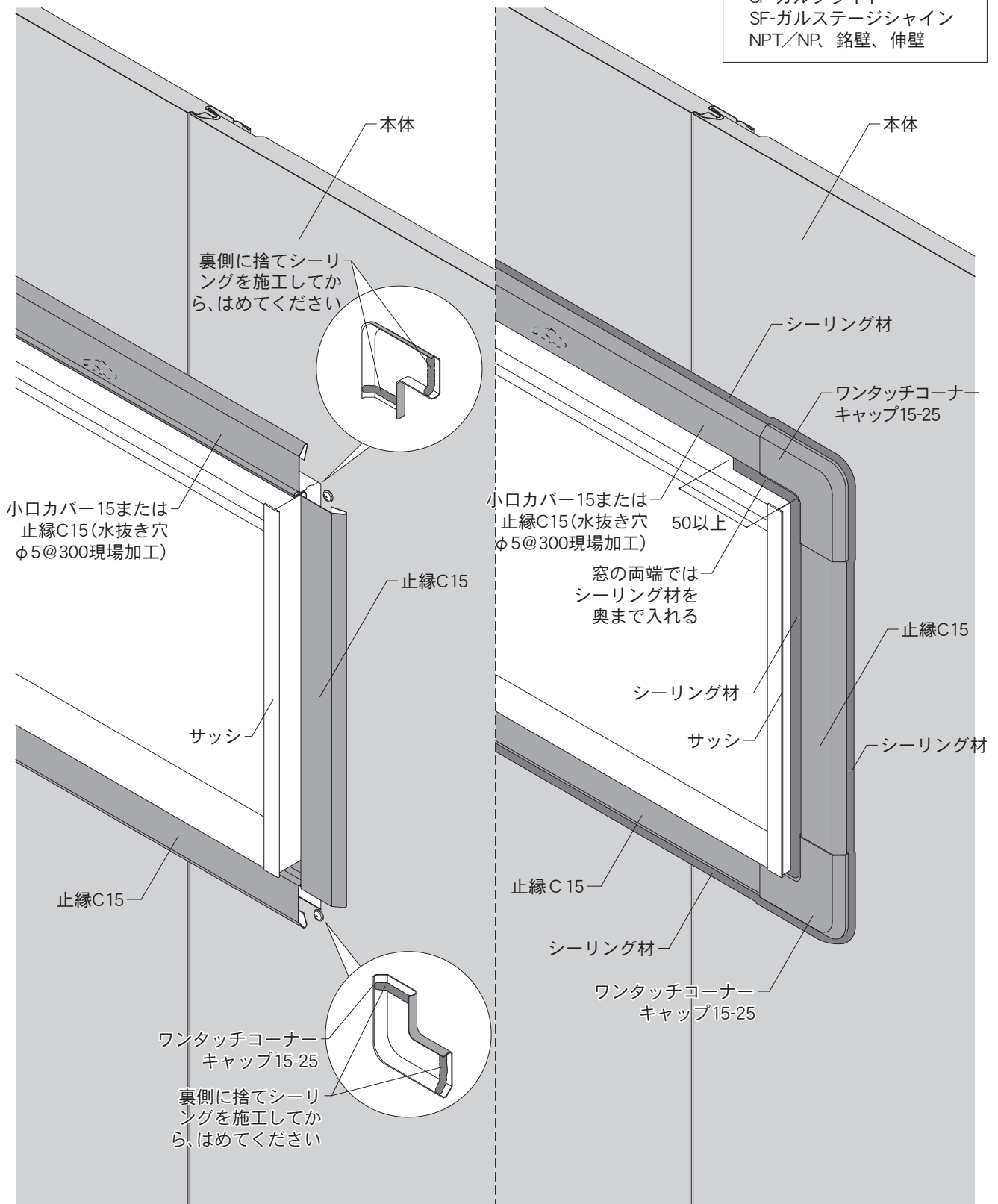
単位：mm

1. 開口部 (1) 隅角部にワンタッチコーナーキャップ15-25を施工する場合

- ・ワンタッチコーナーキャップ15-25の隠れる位置に脳天打ちをし、本体を確実に留め付けてください。
- ・開口部上では、小口カバー15または止縁C15の下端とサッシの間に左右両端50mm程度のシーリング材を奥まで入れてください。
- ・脳天打ちをしたくぎやねじ頭には、シーリング材の施工またはタッチアップペイントで塗装してください。

使用部材：小口カバー15・止縁C15・捨板（15×85）

- ・本頁説明商品
- SP-ガルブライト
- SF-ガルステージシャイン
- NPT/NP、銘壁、伸壁



## 5-2. 15mm品 各部位の納まり図

単位：mm

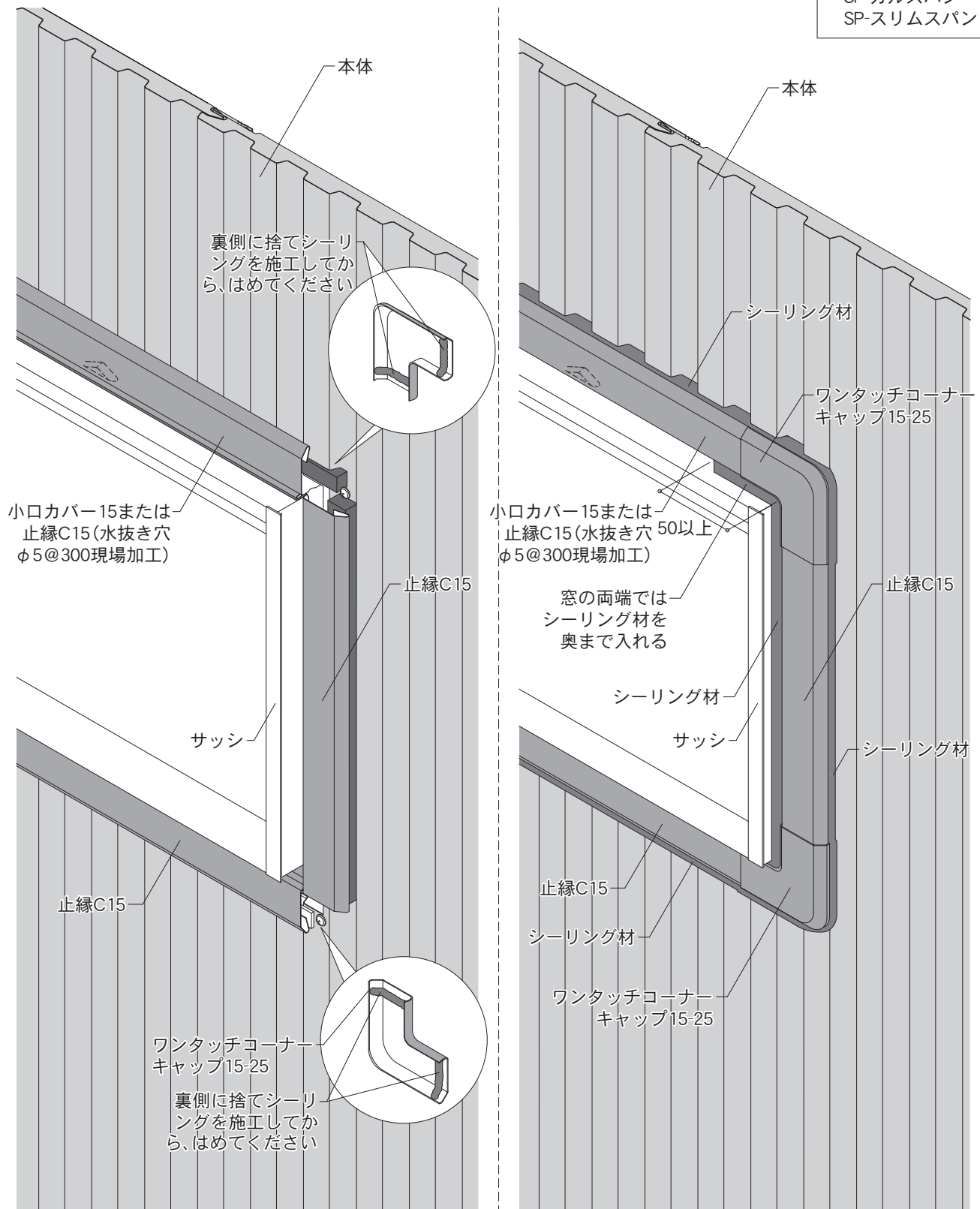
### 1. 開口部 (1)

隅角部にワンタッチコーナーキャップ15-25を施工する場合

- ・ワンタッチコーナーキャップ15-25の隠れる位置に脳天打ちをし、本体を確実に留め付けてください。
- ・開口部上では、小口カバー15の下端とサッシの間に左右両端50mm程度のシーリング材を奥まで入れてください。
- ・脳天打ちをしたくぎやねじ頭には、シーリング材の施工またはタッチアップペイントで塗装してください。

使用部材：小口カバー15・止縁C15・捨板（15×85）

・本頁説明商品  
SP-ガルスパン  
SP-スリムスパン



5

施  
工  
張  
り  
の

5. たて張りの施工

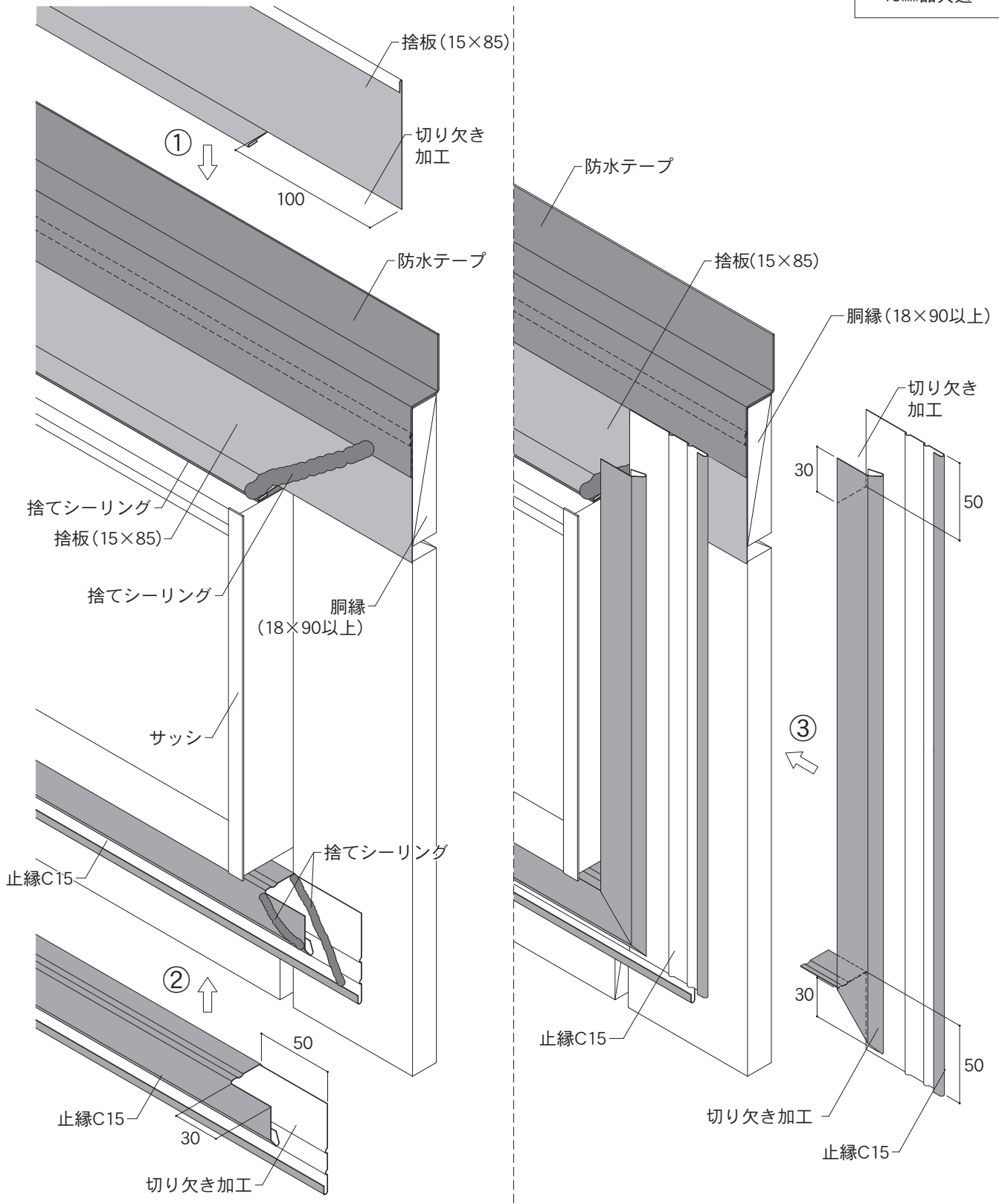
5-2. 15mm品 各部位の納まり図

単位：mm

1. 開口部 (1) 隅角部を加工する場合

- ① 開口部上に捨板 (15×85) を施工して、その上から防水テープを図の位置に施工してください。
- ② 開口部下に止縁C15を取り付けてください。

使用部材：小口カバー15・止縁C15・捨板 (15×85) ・ 本頁説明商品  
15mm品共通





## 5-2. 15mm品 各部位の納まり図

単位：mm

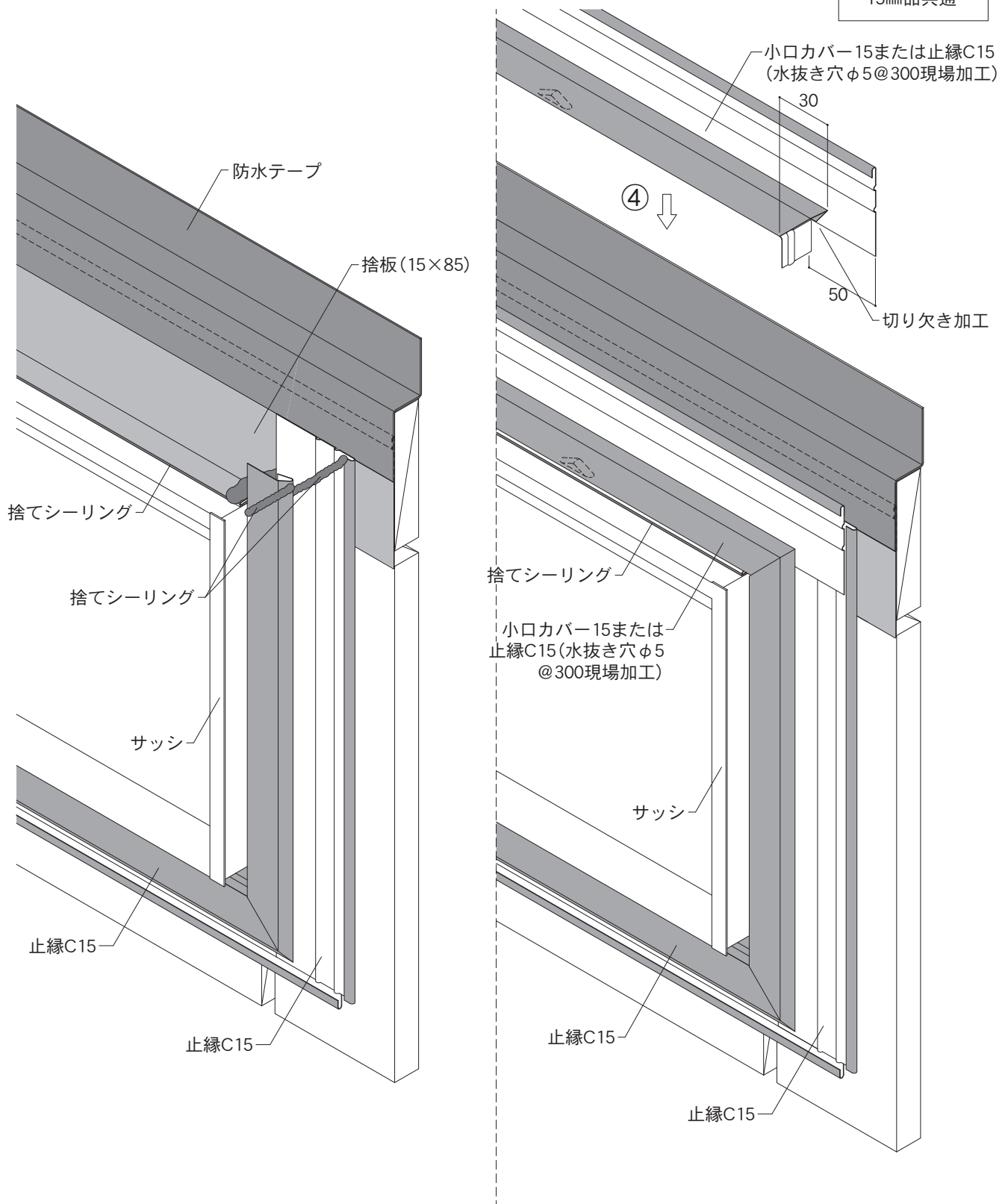
### 1. 開口部（1）

隅角部を加工する場合

- ① 開口部左右に止縁C15を取り付けてください。
- ② 開口部上には、小口カバー15または止縁C15（水抜き穴φ5@300現場加工）の下端とサッシの間は雨水が滞留しないよう10mm程度のすき間をあけて取り付けてください。

使用部材：小口カバー15・止縁C15・捨板（15×85）

・ 本頁説明商品  
15mm品共通



5

施  
工  
た  
て  
張  
り  
の

5. たて張りの施工

5-2. 15mm品 各部位の納まり図

単位：mm

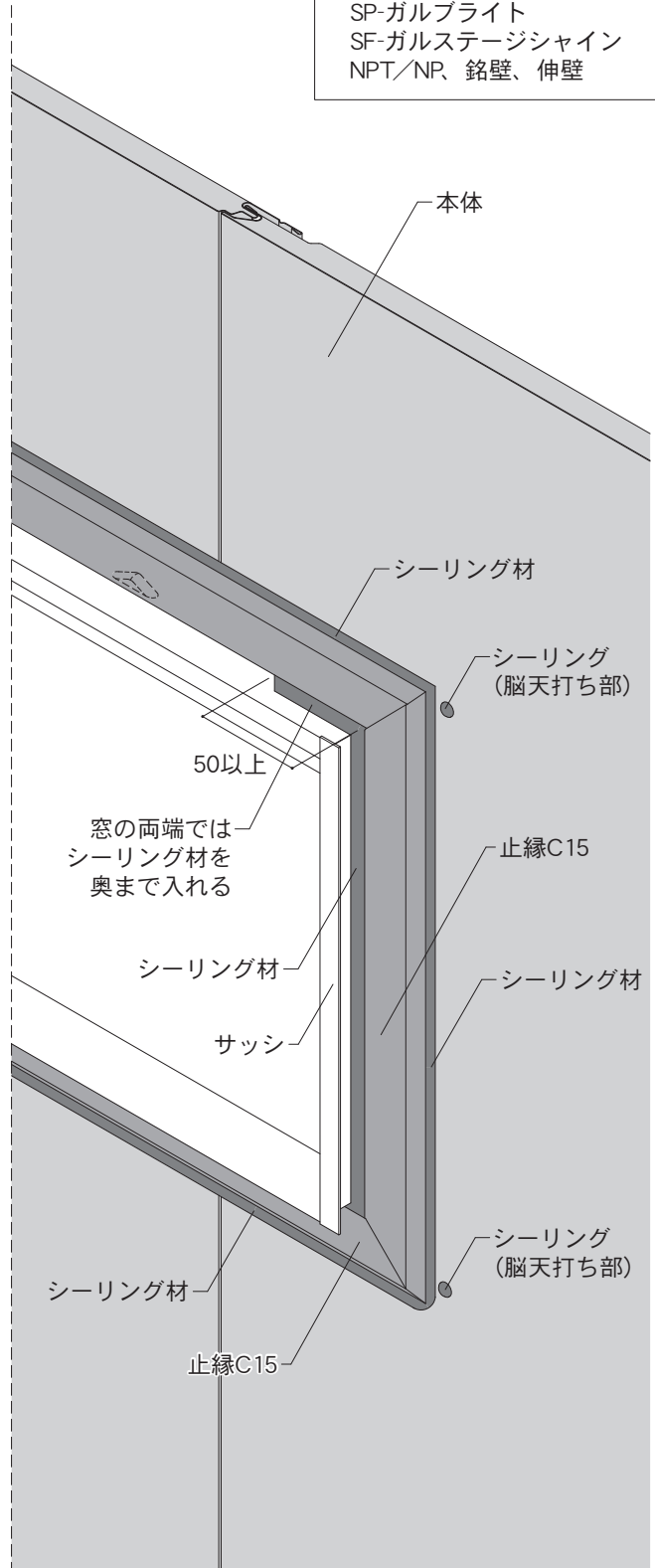
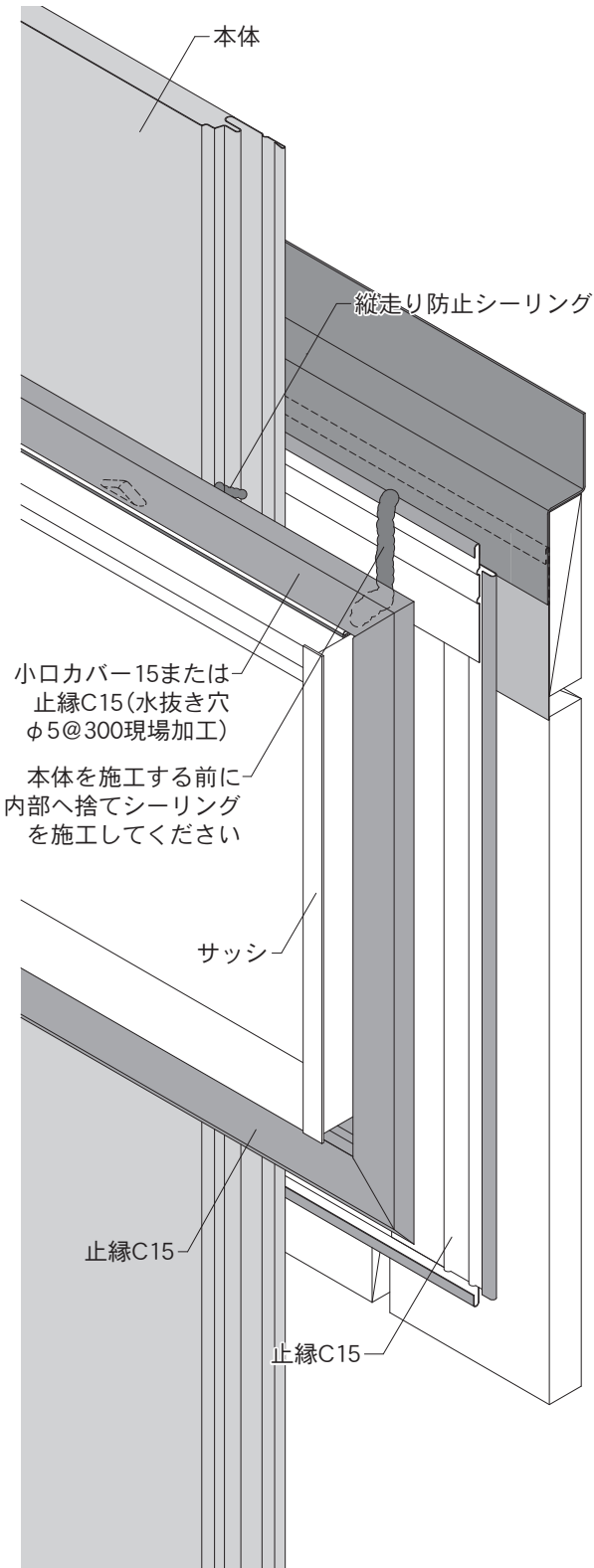
1. 開口部（1）

隅角部を加工する場合

- ・開口部上の小口カバー15（止縁C15）の左右両端の内部には、捨てシーリングを施工してください。
- ・開口部に施工する本体には、縦走り防止シーリングを施工してください。
- ・開口部上では、小口カバー15または止縁C15の下端とサッシの間の左右両端50mm程度にシーリング材を奥まで入れてください。
- ・脳天打ちをしたくぎやねじ頭には、シーリング材の施工またはタッチアップペイントで塗装してください。
- ・本体と部材の間には、シーリング材を施工してください。

使用部材：小口カバー15・止縁C15・捨板（15×85）

- ・本頁説明商品  
SP-ガルブライト  
SF-ガルステージシャイン  
NPT/NP、銘壁、伸壁



## 5-2. 15mm品 各部位の納まり図

単位：mm

### 1. 開口部（1）

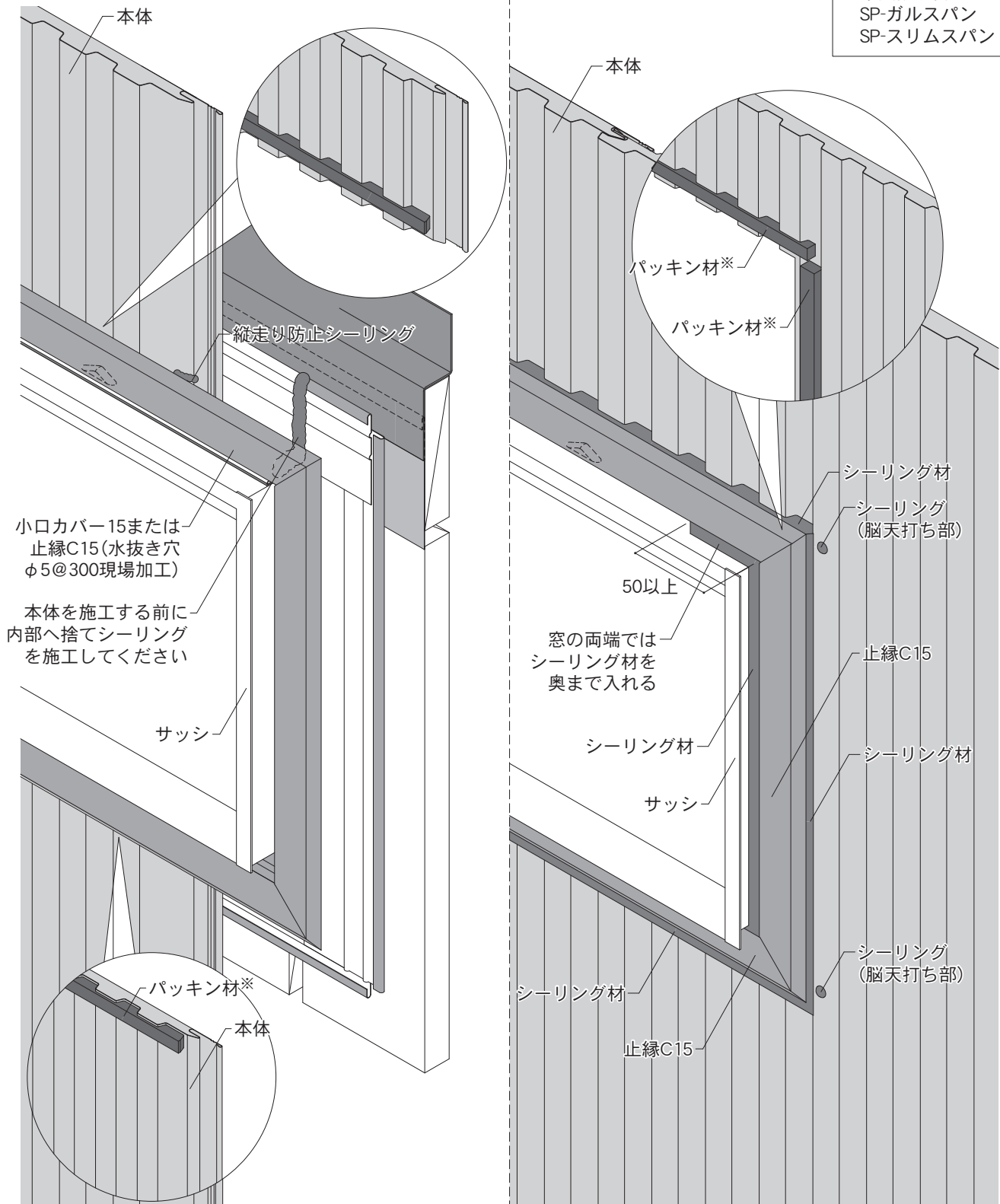
隅角部を加工する場合

- ・開口部上の小口カバー15（止縁C15）の左右両端の内部には、捨てシーリングを施工してください。
- ・開口部上に施工する本体には、縦走り防止シーリングを施工してください。
- ・開口部上では、小口カバー15の下端とサッシの間の左右両端50mm程度にシーリング材を奥まで入れてください。
- ・脳天打ちをしたくぎやねじ頭には、シーリング材の施工またはタッチアップペイントで塗装してください。
- ・本体と部材の間にはシーリング材を施工してください。

※SP-ガルスパンはパッキン材D、SP-スリムスパンは段パッキンSEを使用してください。

使用部材：小口カバー15・止縁C15・捨板（15×85）・パッキン材※

・本頁説明商品  
SP-ガルスパン  
SP-スリムスパン



5

施  
工  
た  
て  
張  
り  
の

5. たて張りの施工

5-2. 15mm品 各部位の納まり図

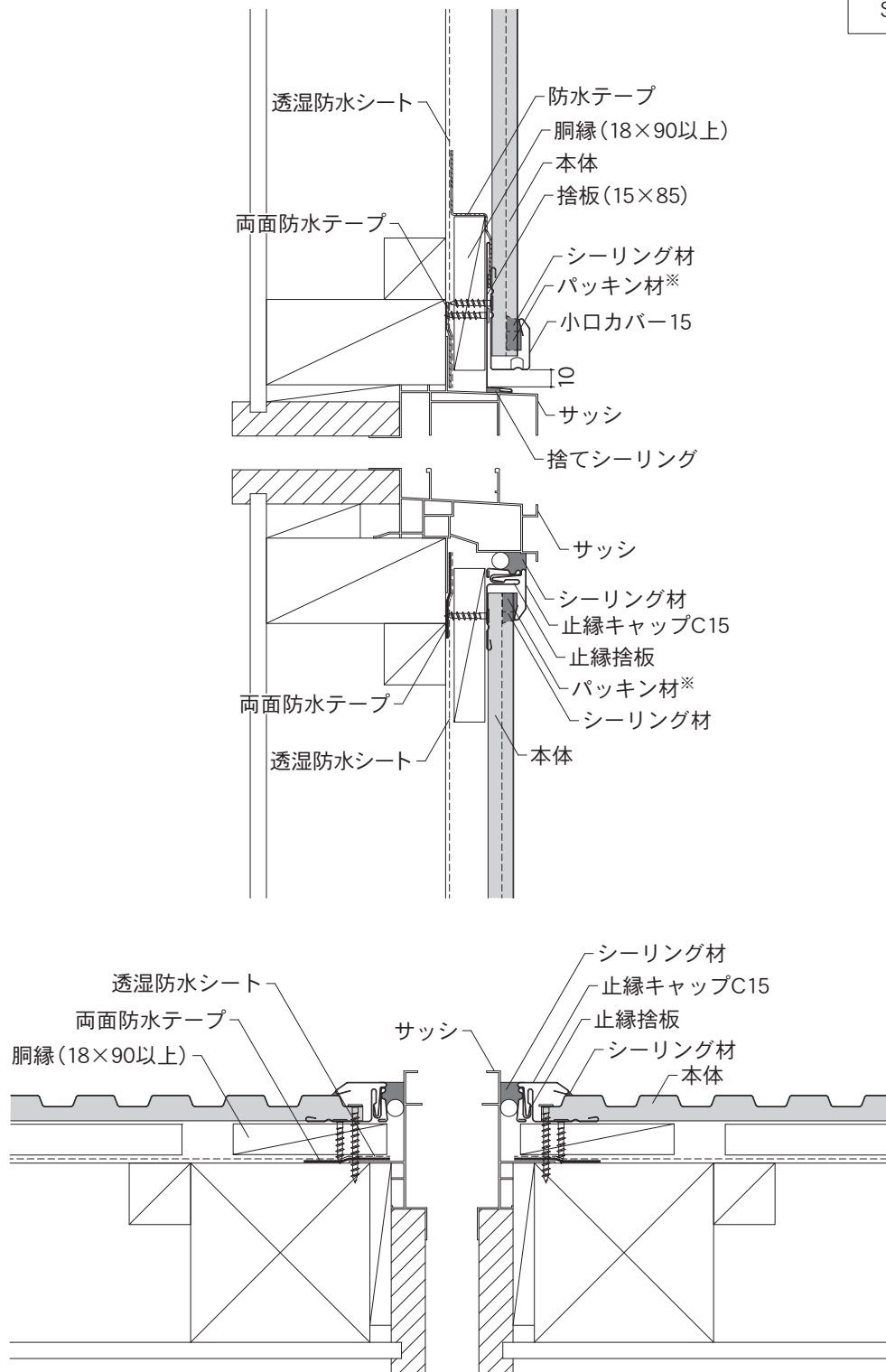
単位：mm

1. 開口部 (2)

・本体の端部は必ず留め具（スクリークぎまたは木ねじ）で、直接下地に留め付けてください。  
 ※SP-ガルスパンはパッキン材C、SP-スリムスパンは平パッキンSEを使用してください。

使用部材：小口カバー15・止縁キャップC15・止縁捨板・捨板（15×85）・パッキン材※

・本頁説明商品  
 SP-ガルスパン  
 SP-スリムスパン



## 5-2. 15mm品 各部位の納まり図

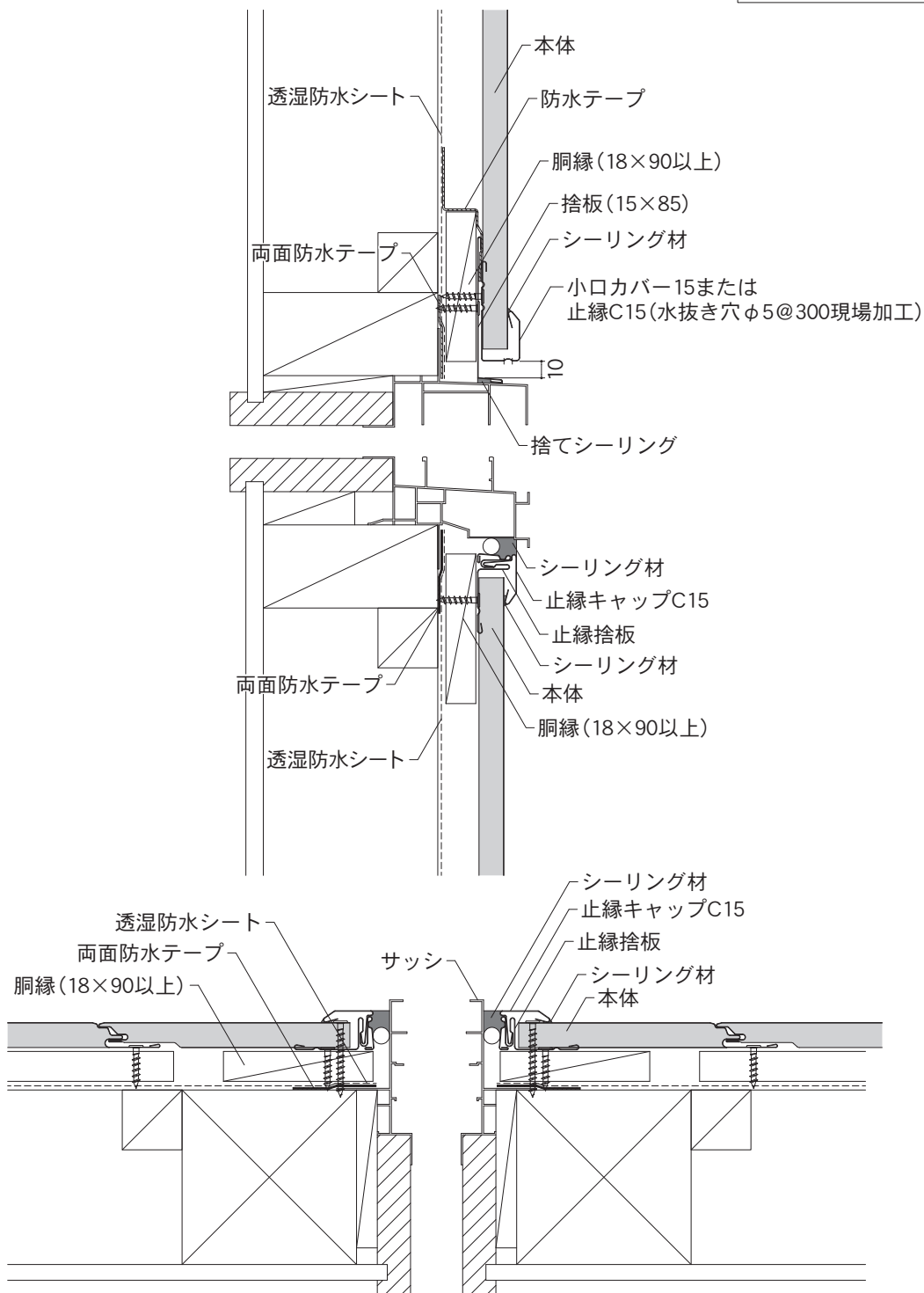
単位：mm

### 1. 開口部（2）

- ・ 本体の端部は必ず留め具（スクリューくぎまたは木ねじ）で、直接下地に留め付けてください。
- ・ 止縁C15をサッシ上部に取り付ける際は、あらかじめ水抜き穴をあけてから取り付けてください。小口カバー15は、水抜き穴があいています。

使用部材：小口カバー15または止縁C15・止縁キャップC15・止縁捨板・捨板（15×85）

・ 本頁説明商品  
SP-ガルブライト  
SF-ガルステージシャイン  
NPT/NP



5  
施  
た  
て  
張  
り  
の

## 5. たて張りの施工

### 5-2. 15mm品 各部位の納まり図

単位：mm

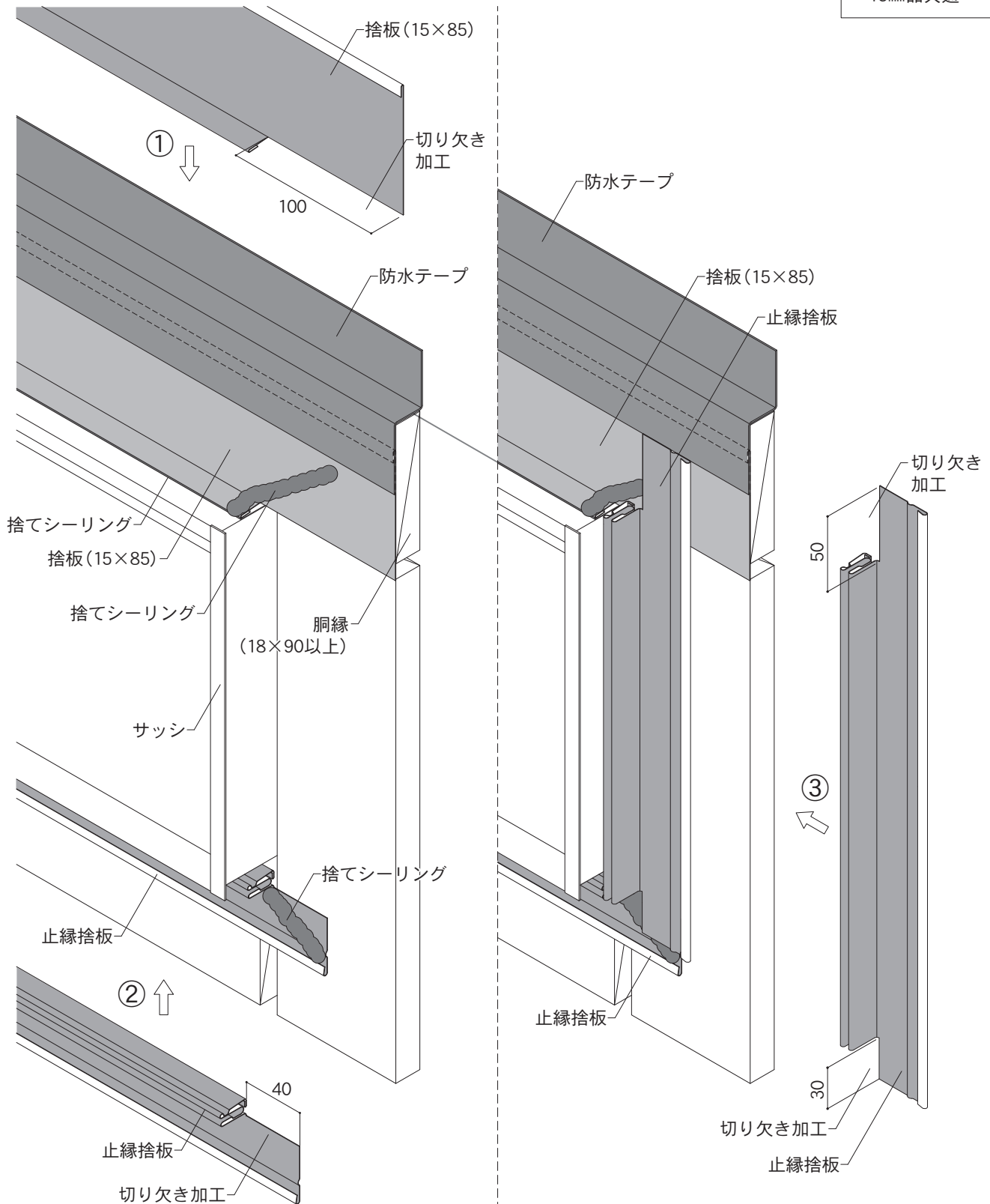
#### 1. 開口部（2）

隅角部にワンタッチコーナーキャップ15-25を施工する場合

- ① 開口部上に、捨板（15×85）を施工して、その上から防水テープを図の位置に施工してください。
- ② 開口部下に止縁捨板を取り付けてください。
- ③ 開口部左右に止縁捨板を取り付けてください。

使用部材：小口カバー15または止縁C15・止縁キャップC15・止縁捨板・捨板（15×85）

・ 本頁説明商品  
15mm品共通



## 5-2. 15mm品 各部位の納まり図

単位：mm

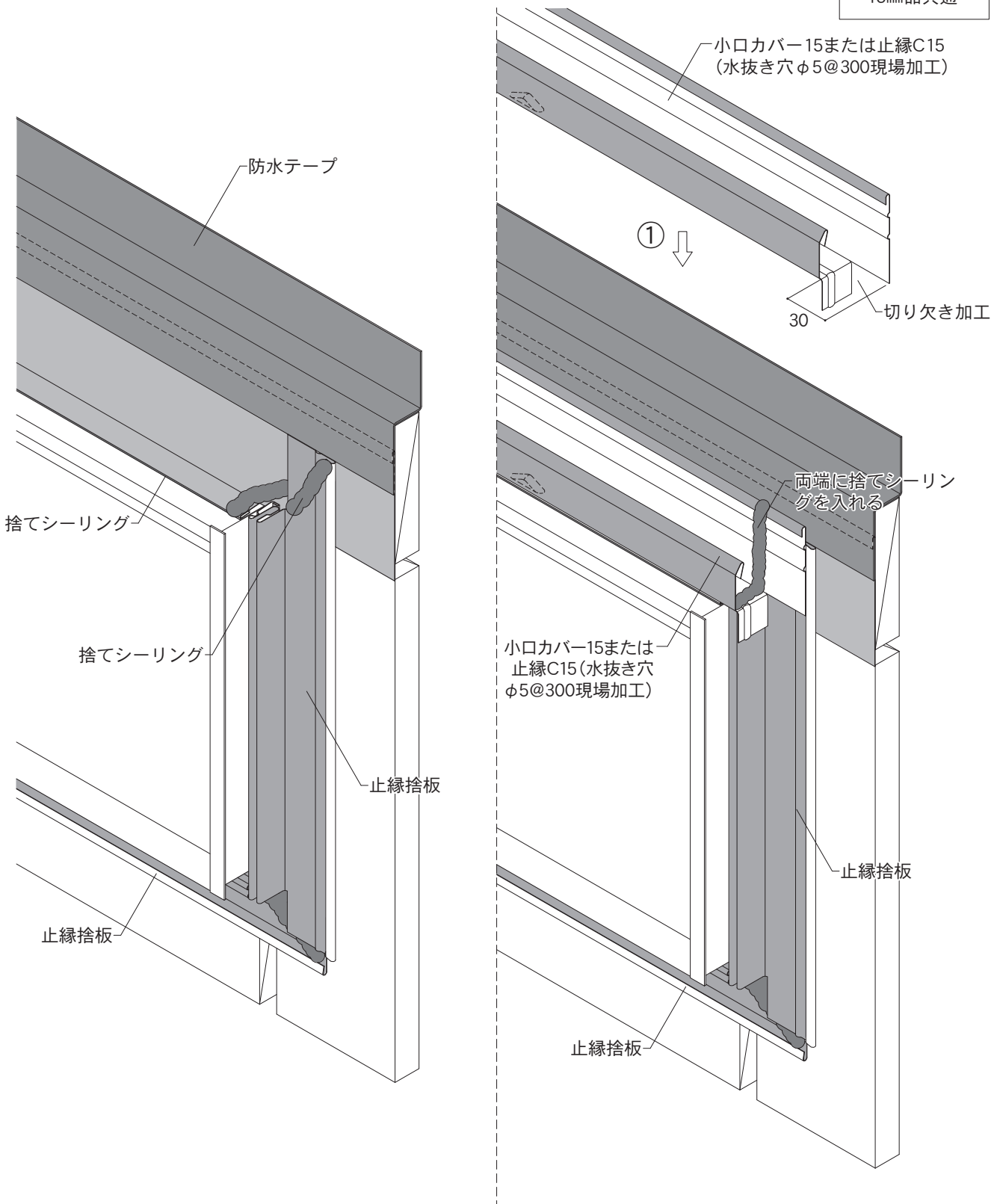
### 1. 開口部（2）

隅角部にワンタッチコーナーキャップ15-25を施工する場合

- ① 開口部左右に、止縁捨板を取り付けてください。
- ② 開口部上には、小口カバー15または止縁C15（水抜き穴φ5@300現場加工）の下端とサッシの間は雨水が滞留しないよう10mm程度のすき間をあけて取り付けてください。小口カバー15（止縁C15）の左右両端の内部には、捨てシーリングを施工してください。

使用部材：小口カバー15または止縁C15・止縁キャップC15・止縁捨板・捨板（15×85）

・本頁説明商品  
15mm品共通



5

施  
工  
た  
て  
張  
り  
の

## 5. たて張りの施工

### 5-2. 15mm品 各部位の納まり図

単位：mm

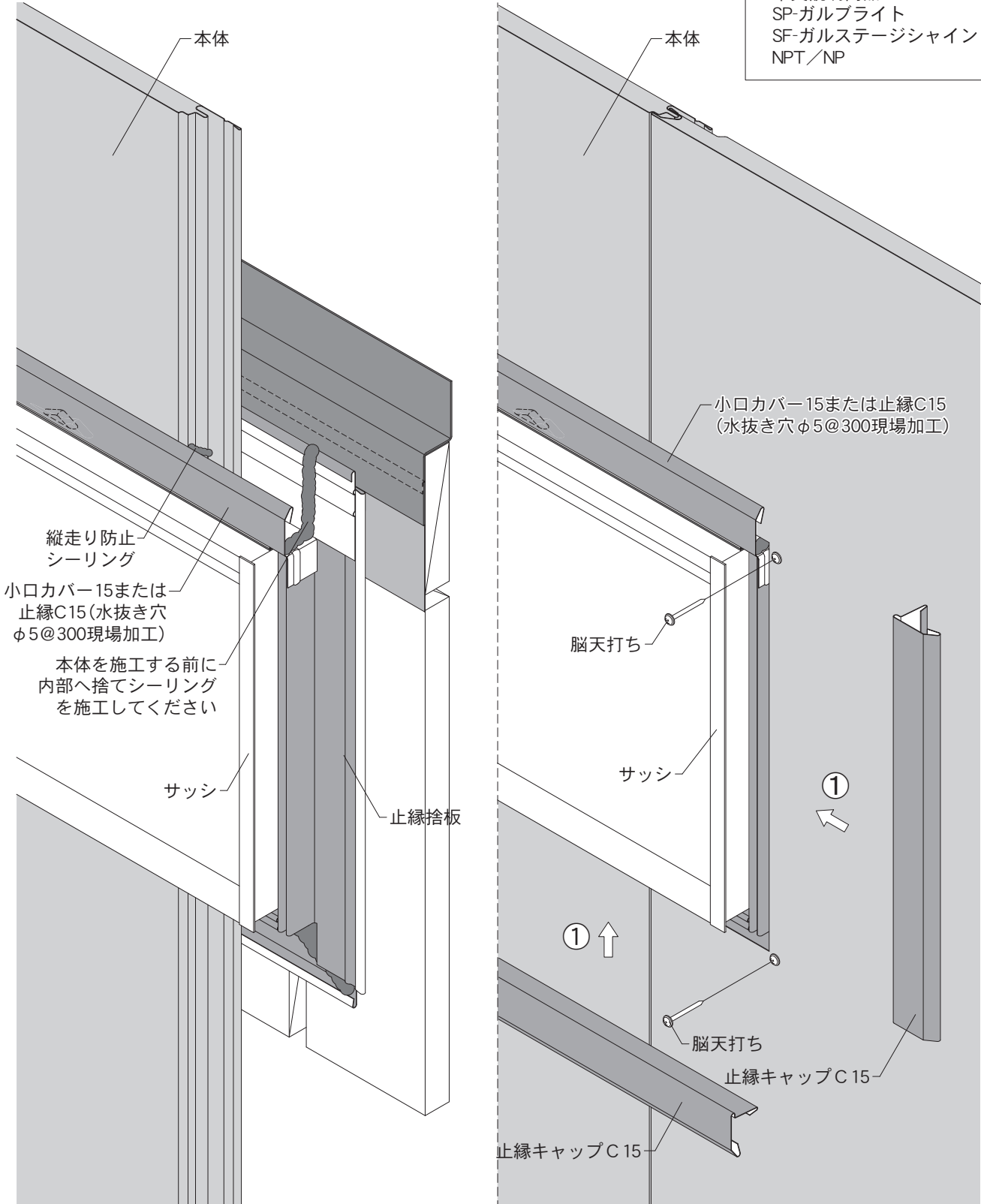
#### 1. 開口部（2）

隅角部にワンタッチコーナーキャップ15-25を施工する場合

- ・ 本体1枚ごとに、縦走り防止シーリングを施工してください。
  - ・ ワンタッチコーナーキャップ15-25の隠れる位置に脳天打ちをし、本体を確実に留め付けてください。
- ① 開口部左右および開口部下に、止縁キャップC15を施工してください。

使用部材：小口カバー15または止縁C15・止縁キャップC15・止縁捨板・捨板（15×85）

・ 本頁説明商品  
SP-ガルブライト  
SF-ガルステージシャイン  
NPT/NP





## 5-2. 15mm品 各部位の納まり図

単位：mm

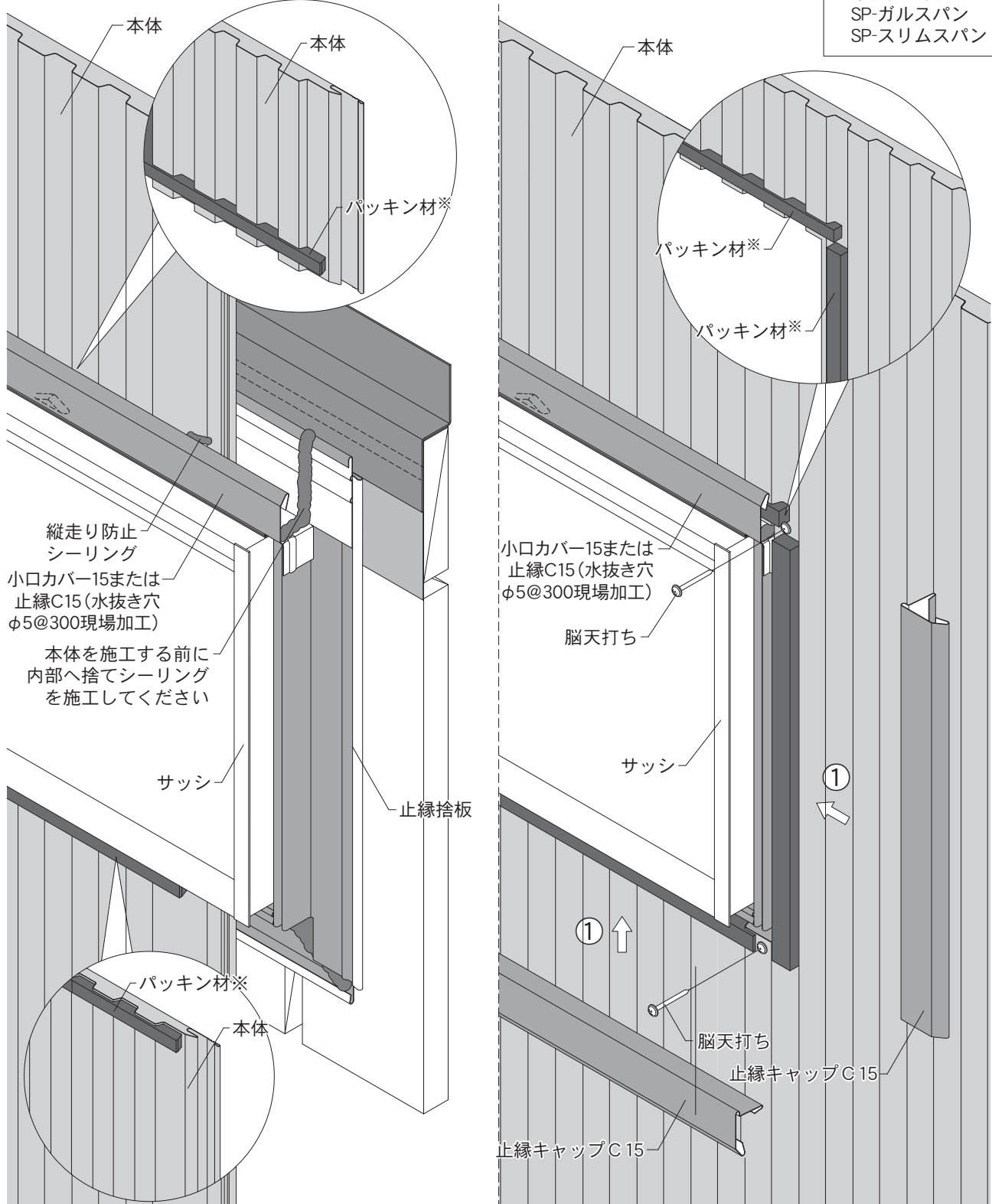
### 1. 開口部（2）

隅角部にワンタッチコーナーキャップ15-25を施工する場合

- ・開口部上に施工する本体1枚ごとに、縦走り防止シーリングを施工してください。]
  - ・ワンタッチコーナーキャップ15-25の隠れる位置に脳天打ちをし、本体を確実に留め付けてください。
  - ①開口部左右に、止縁キャップC15を施工してください。
- ※SP-ガルスパンはパッキン材D、SP-スリムスパンは段パッキンSEを使用してください。

使用部材：小口カバー15・止縁キャップC15・止縁捨板・捨板（15×85）・パッキン材※

・本頁説明商品  
SP-ガルスパン  
SP-スリムスパン



5

施工  
たて  
張りの



## 5-2. 15mm品 各部位の納まり図

単位：mm

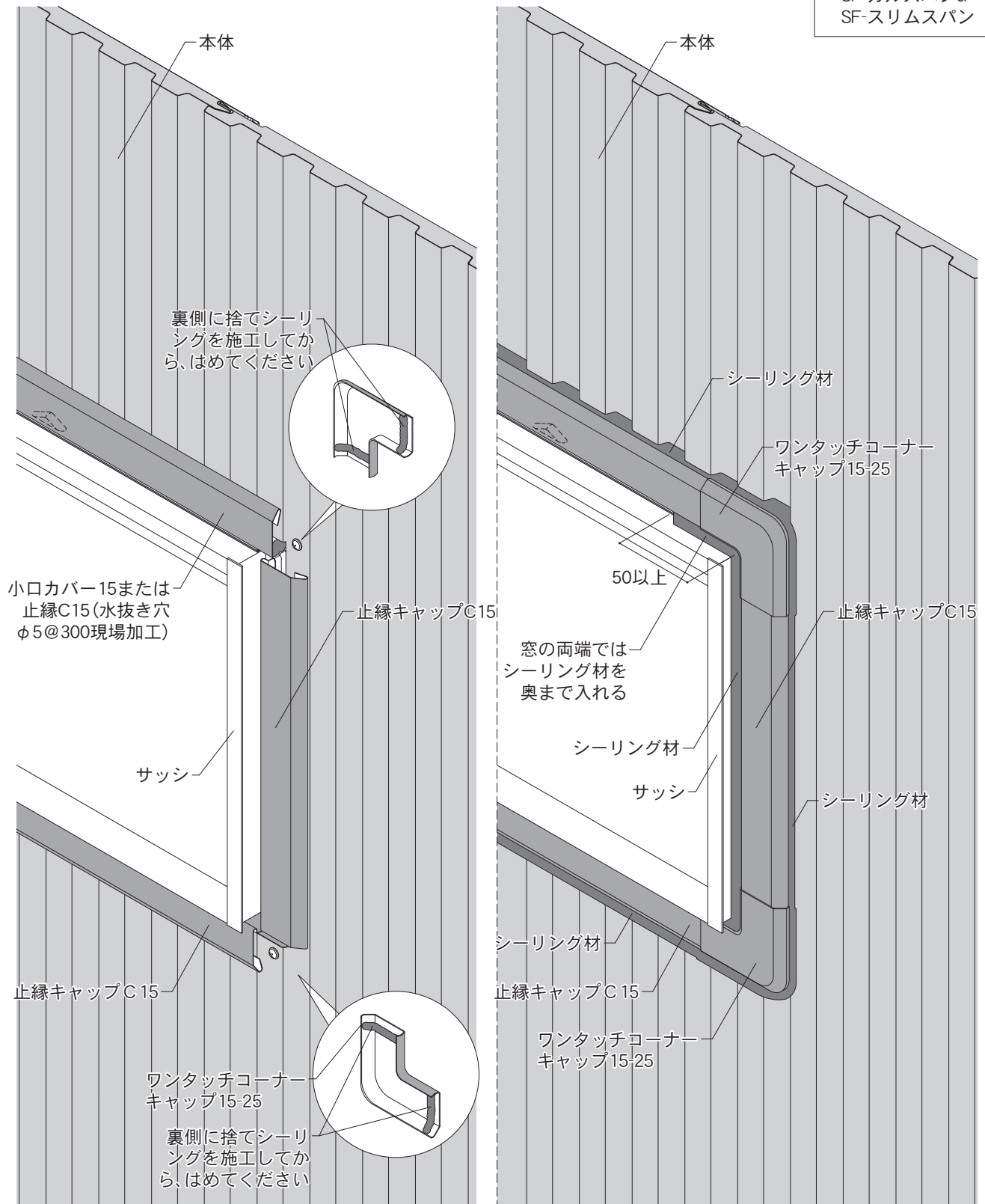
### 1. 開口部（2）

隅角部にワンタッチコーナーキャップ15-25を施工する場合

- ・捨てシーリングを施工してから、ワンタッチコーナーキャップ15-25を施工してください。
- ・開口部上では、小口カバー15の下端とサッシの間に左右両端50mm程度のシーリング材を奥まで入れてください。
- ・本体と部材の間には、シーリング材を施工してください。

使用部材：小口カバー15・止縁キャップC15・止縁捨板・捨板（15×85）

・本頁説明商品  
SF-ガルスパンJF  
SF-スリムスパン



5

施  
工  
張  
り  
の

## 5. たて張りの施工

### 5-2. 15mm品 各部位の納まり図

単位：mm

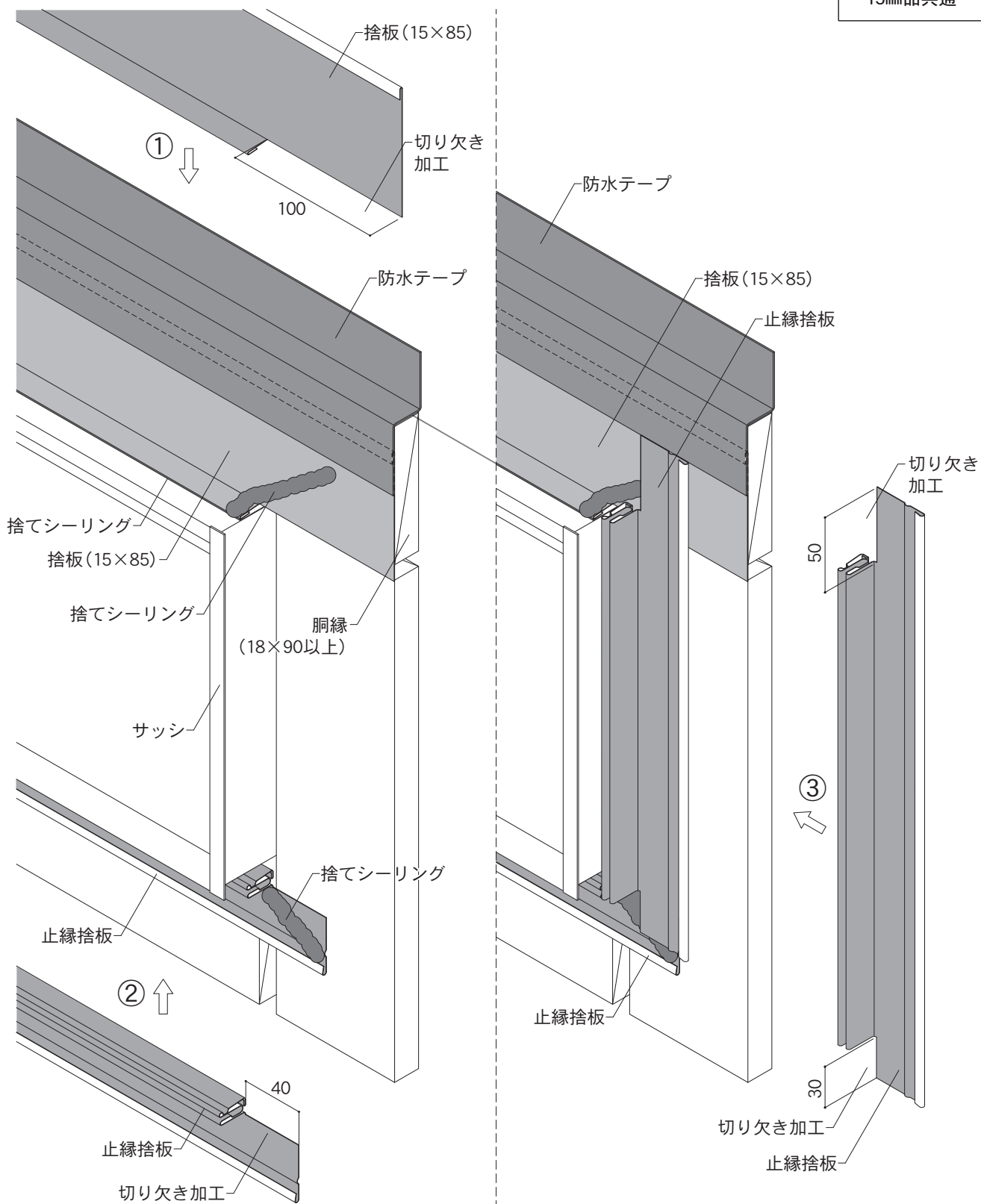
#### 1. 開口部（2）

隅角部を加工する場合

- ① 開口部上に、捨板（15×85）を施工して、その上から防水テープを図の位置に施工してください。
- ② 開口部下に止縁捨板を取り付けてください。

使用部材：小口カバー15または止縁C15・止縁キャップC15・止縁捨板・捨板（15×85）

・本頁説明商品  
15mm品共通



## 5-2. 15mm品 各部位の納まり図

単位：mm

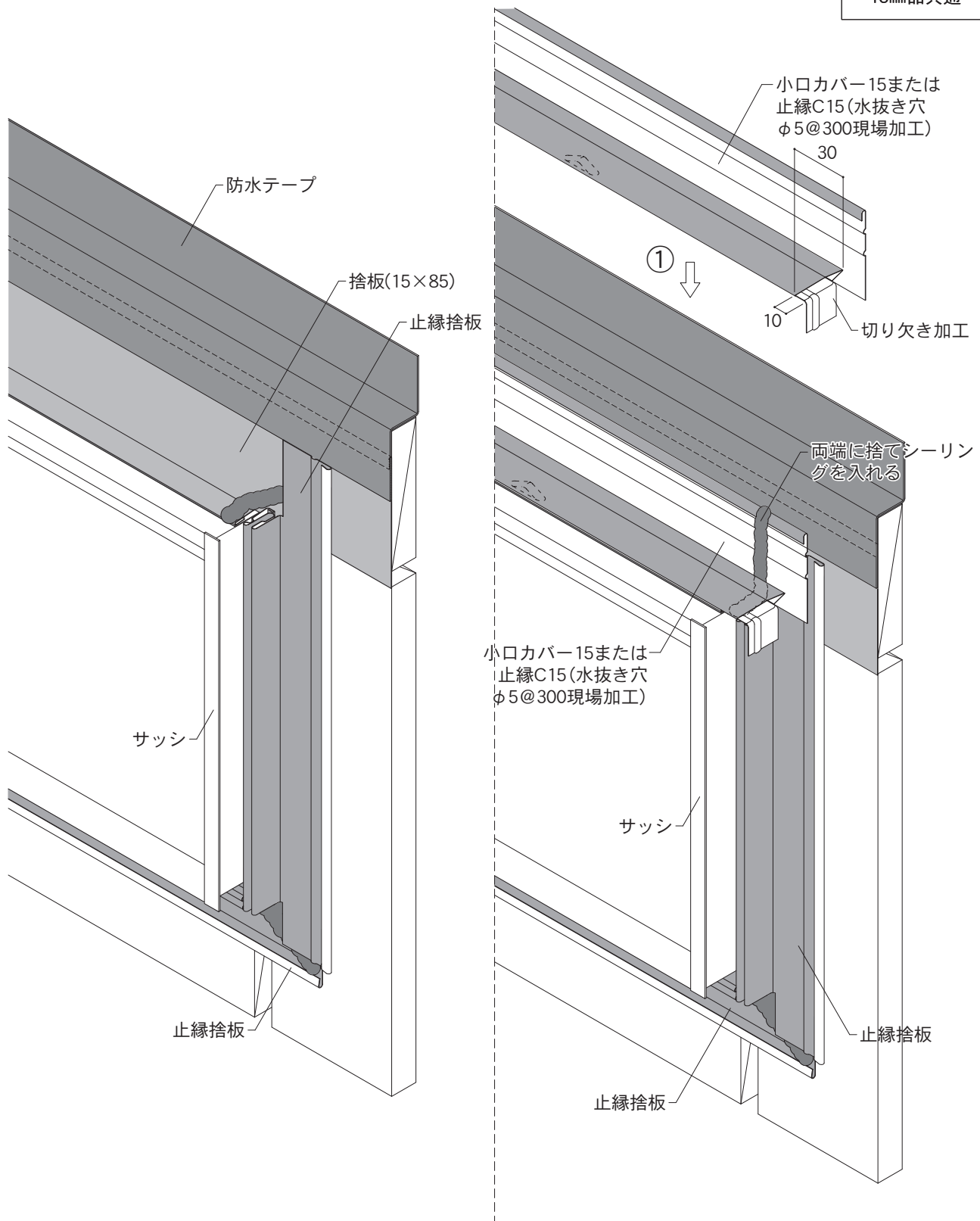
### 1. 開口部（2）

隅角部を加工する場合

- ① 開口部左右に、止縁捨板を取り付けてください。
- ② 開口部上には、小口カバー15または止縁C15（水抜き穴φ5@300現場加工）の下端とサッシの間は雨水が滞留しないよう10mm程度のすき間をあけて取り付けてください。小口カバー15または止縁C15の左右両端の内部には、捨てシーリングを施工してください。

使用部材：小口カバー15または止縁C15・止縁キャップC15・止縁捨板・捨板（15×85）

・本頁説明商品  
15mm品共通



5

施  
た  
て  
張  
り  
の

## 5. たて張りの施工

### 5-2. 15mm品 各部位の納まり図

単位：mm

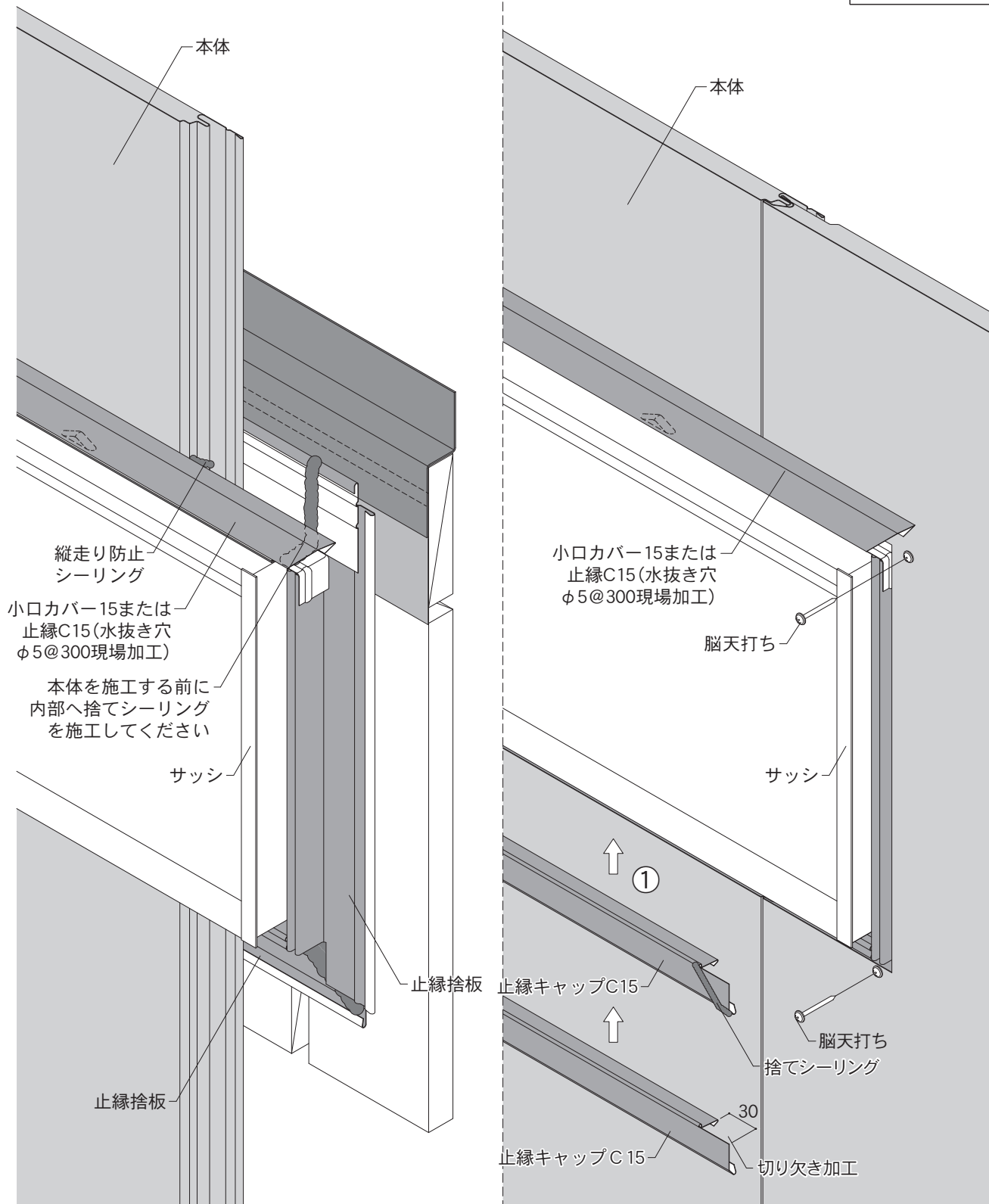
#### 1. 開口部（2）

隅角部を加工する場合

- ・ 本体1枚ごとに、縦走り防止シーリングを施工してください。
- ① サッシ下に止縁キャップC15を施工してください。

使用部材：小口カバー15または止縁C15・止縁キャップC15・止縁捨板・捨板（15×85）

・ 本頁説明商品  
15mm品共通



## 5-2. 15mm品 各部位の納まり図

単位：mm

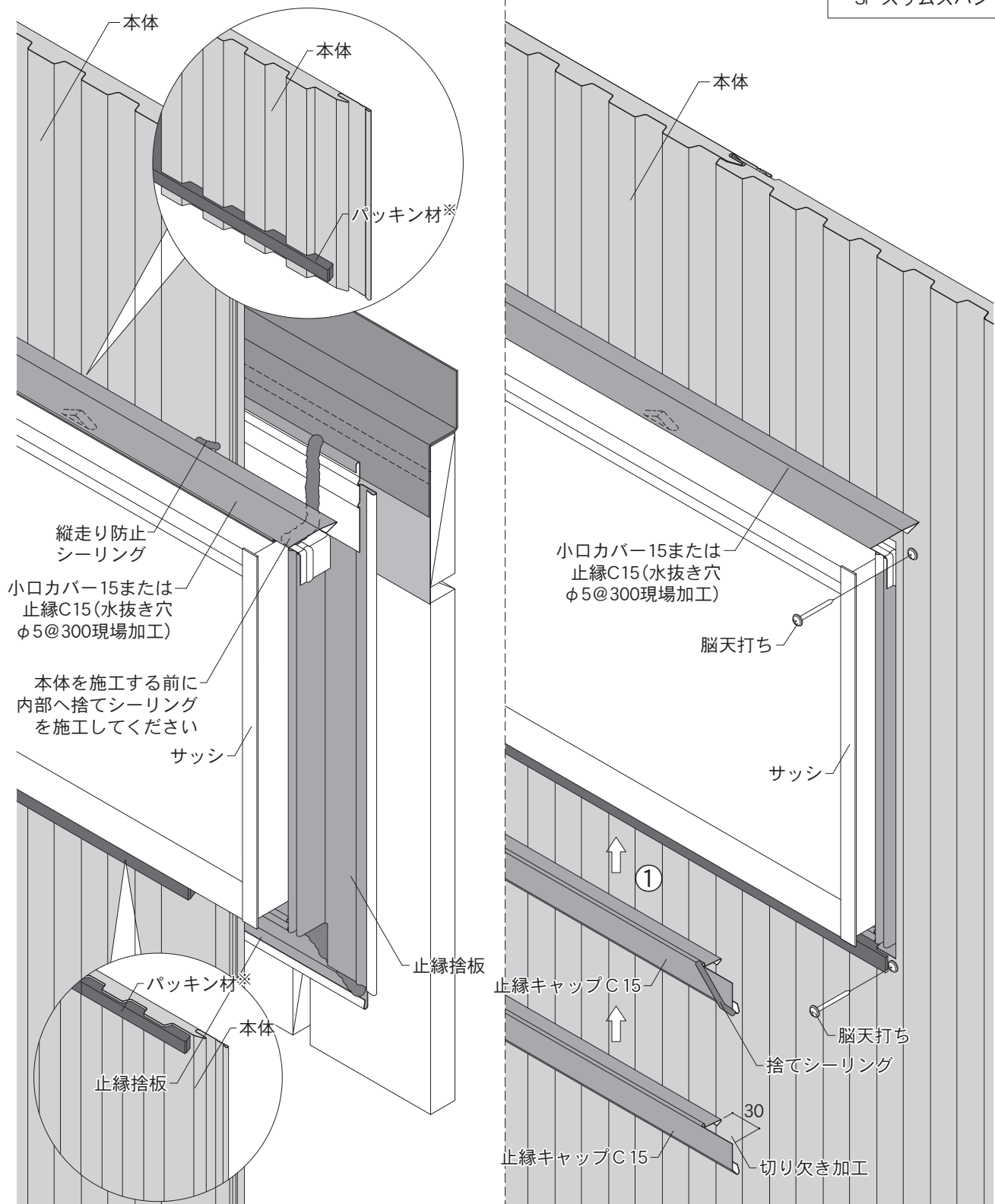
### 1. 開口部（2）

隅角部を加工する場合

- ・サッシ上に施工する本体1枚ごとに、縦走り防止シーリングを施工してください。
- ①サッシ下に止縁キャップC15を施工してください。
- ※SP-ガルスパンはパッキン材D、SP-スリムスパンは段パッキンSEを使用してください。

使用部材：小口カバー15・止縁キャップC15・止縁捨板・捨板（15×85）

・本頁説明商品  
SP-ガルスパン  
SP-スリムスパン



5

施  
工  
張  
り  
の

5. たて張りの施工

5-2. 15mm品 各部位の納まり図

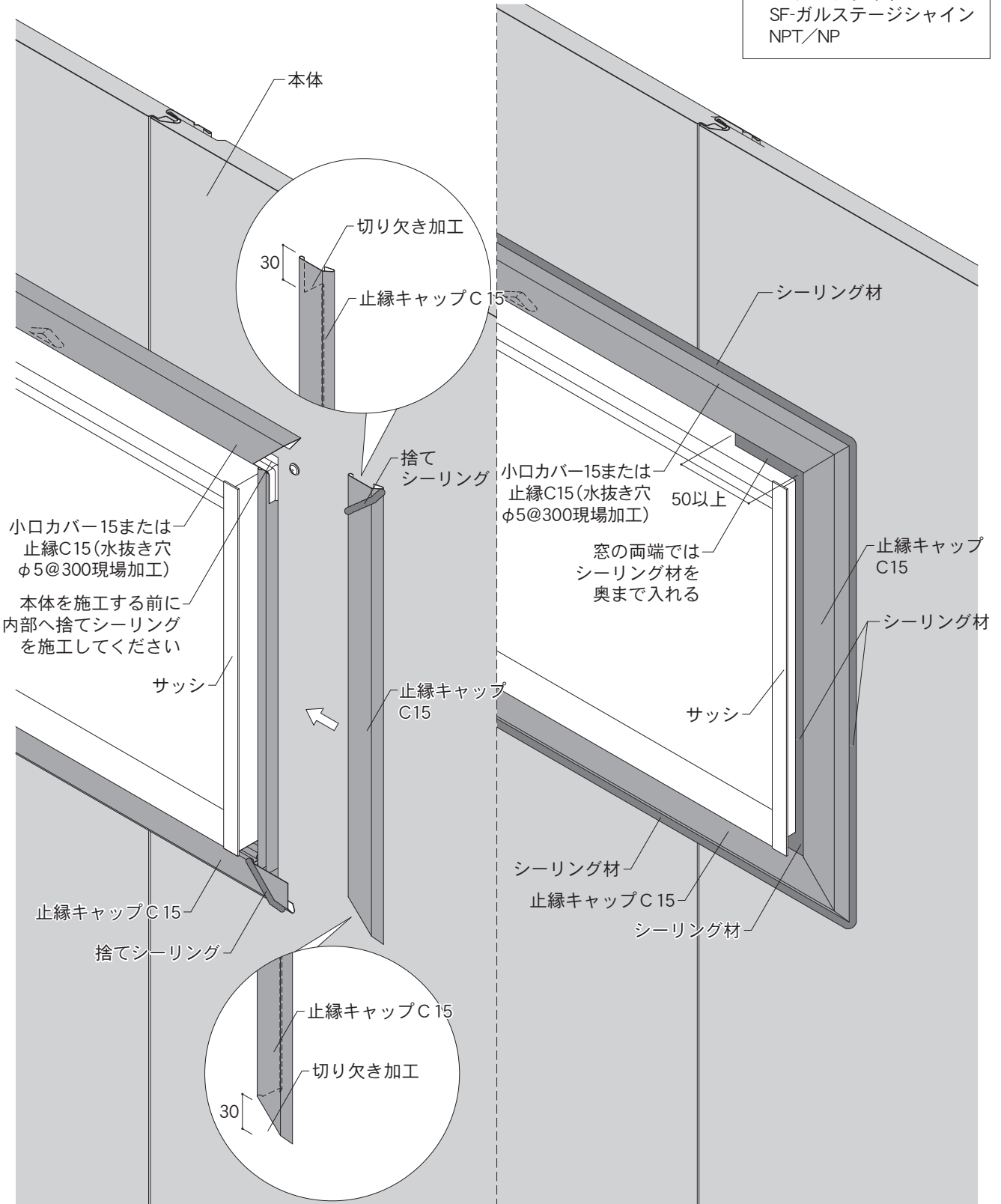
単位：mm

1. 開口部 (2) 隅角部を加工する場合

- ・開口部左右には、止縁キャップC15を施工してください。
- ・サッシ上では、小口カバー15または止縁C15の下端とサッシの間の左右両端50mm程度にシーリング材を奥まで入れてください。
- ・本体と部材の間には、シーリング材を施工してください。

使用部材：小口カバー15または止縁C15・止縁キャップC15・止縁捨板・捨板（15×85）

・本頁説明商品  
SP-ガルブライト  
SF-ガルステージシャイン  
NPT/NP





## 5-2. 15mm品 各部位の納まり図

単位：mm

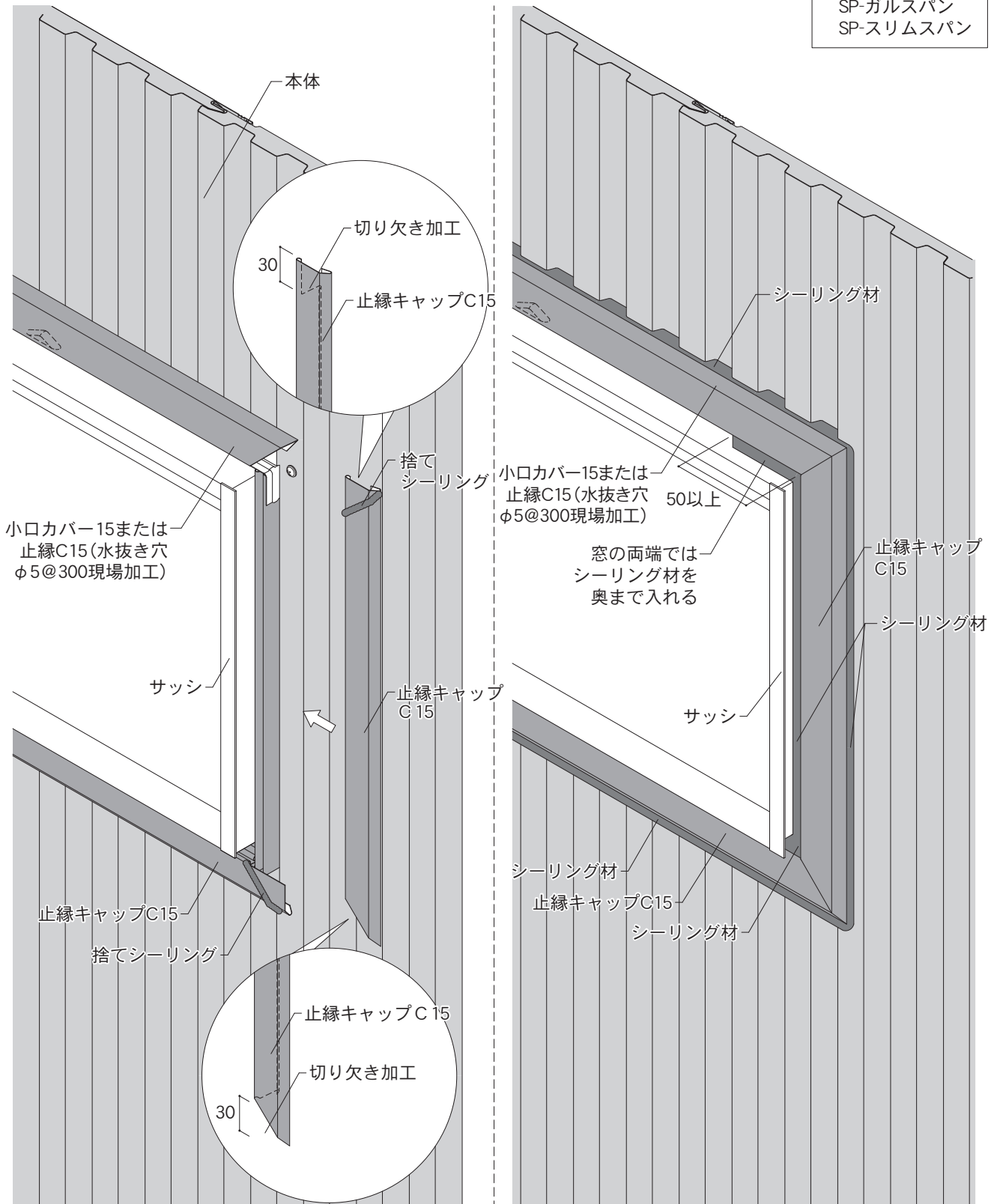
### 1. 開口部（2）

隅角部を加工する場合

- ・開口部左右には、止縁キャップC15を施工してください。
- ・サッシ上では、小口カバー15の下端とサッシの間の左右両端50mm程度にシーリング材を奥まで入れてください。
- ・本体と部材の間には、シーリング材を施工してください。

使用部材：小口カバー15・止縁キャップC15・止縁捨板・捨板（15×85）

・本頁説明商品  
SP-ガルスパン  
SP-スリムスパン



5

施工  
たて  
張りの

## 5. たて張りの施工

### 5-2. 15mm品 各部位の納まり図

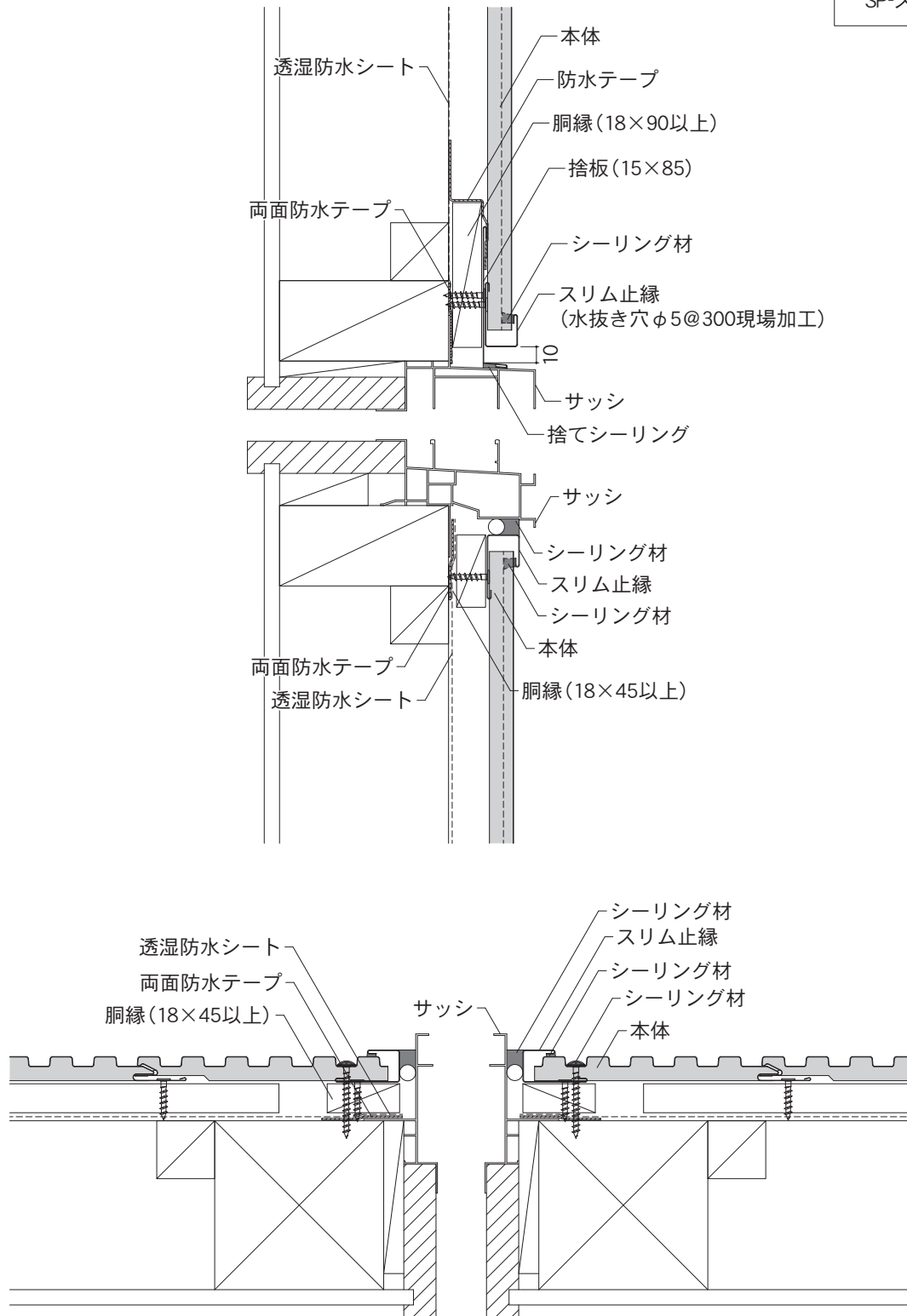
単位：mm

#### 1. 開口部（3）

- ・ 本体の端部は必ず留め具（スクリューくぎまたは木ねじ）で、直接下地に留め付けてください。

使用部材：スリム止縁・捨板（15×85）

・ 本頁説明商品  
SP-スリムスパン



## 5-2. 15mm品 各部位の納まり図

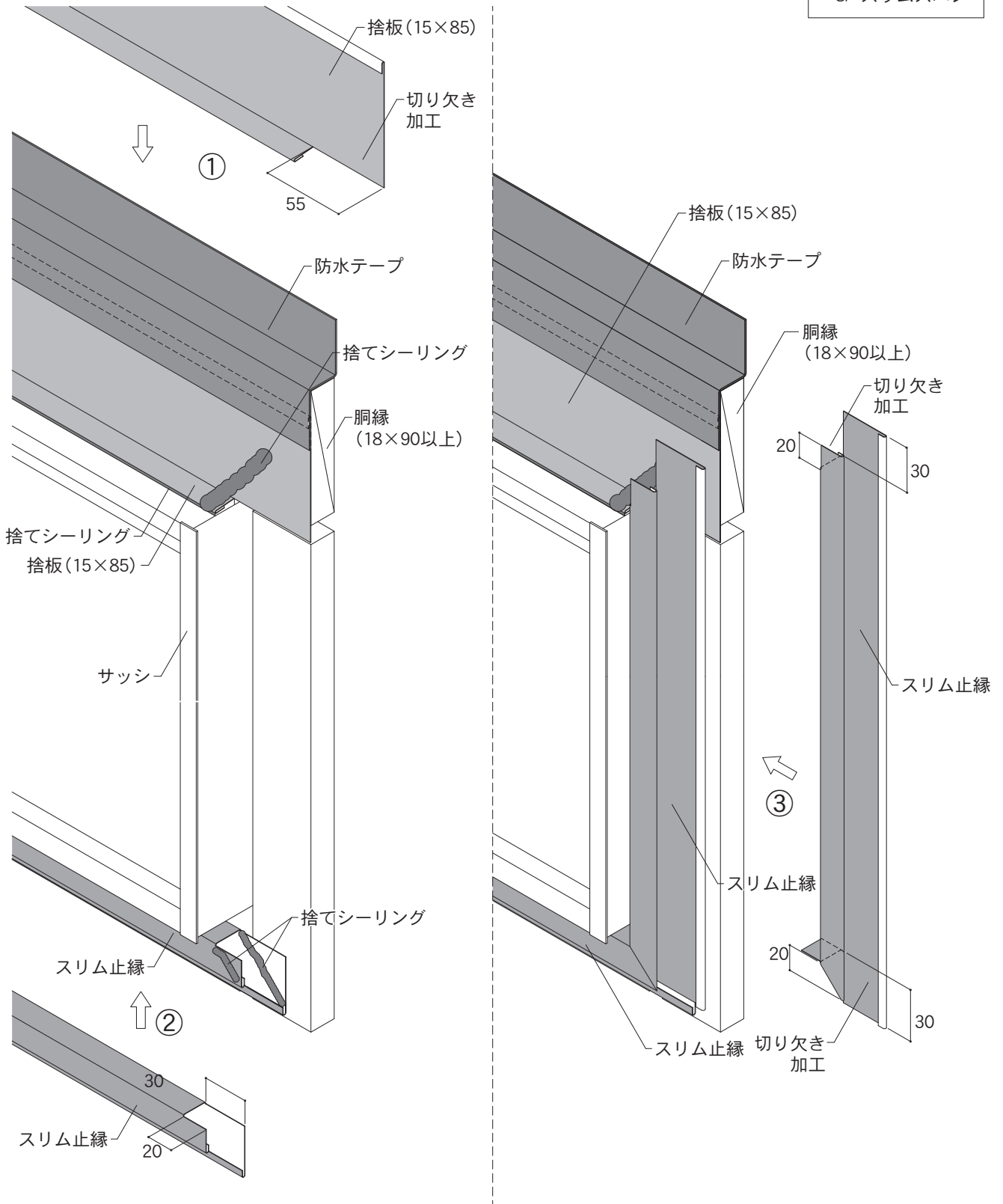
単位：mm

### 1. 開口部 (3)

- ① 開口部上に、捨板 (15×85) を施工して、その上から防水テープを図の位置に施工してください。
- ② 開口部下にスリム止縁を取り付けてください。
- ③ 開口部左右にスリム止縁を取り付けてください。

使用部材：スリム止縁・捨板 (15×85)

・本頁説明商品  
SP-スリムスパン



5

施  
工  
た  
て  
張  
り  
の

## 5. たて張りの施工

### 5-2. 15mm品 各部位の納まり図

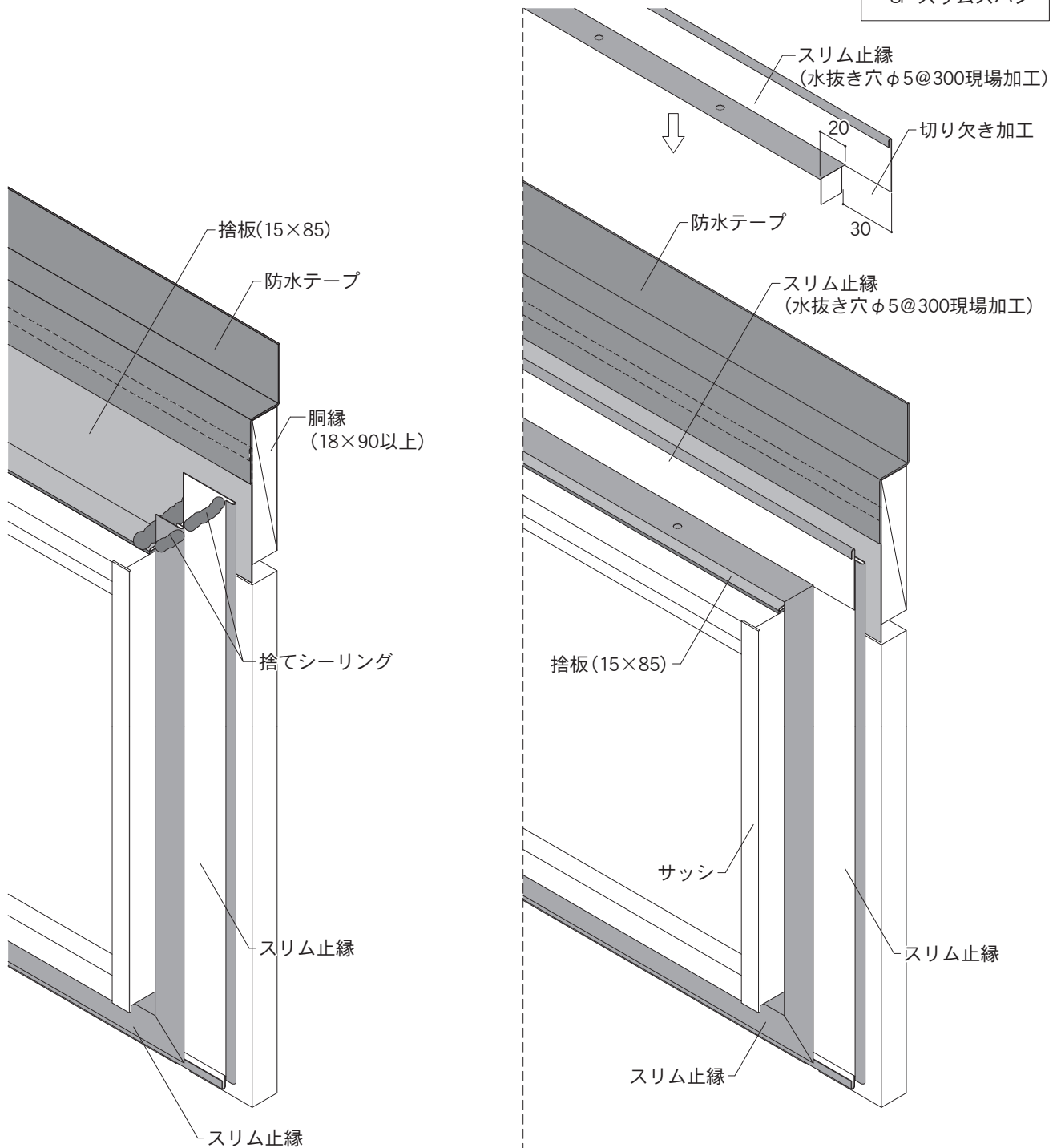
単位：mm

#### 1. 開口部（3）

- ・スリム止縁との重なる箇所には、捨てシーリングを施工してください。
- ・開口部上では、スリム止縁の下端とサッシの間は雨水が滞留しないよう10mm程度のすき間をあけて取り付けてください。

使用部材：スリム止縁・捨板（15×85）

・本頁説明商品  
SP-スリムスパン



## 5-2. 15mm品 各部位の納まり図

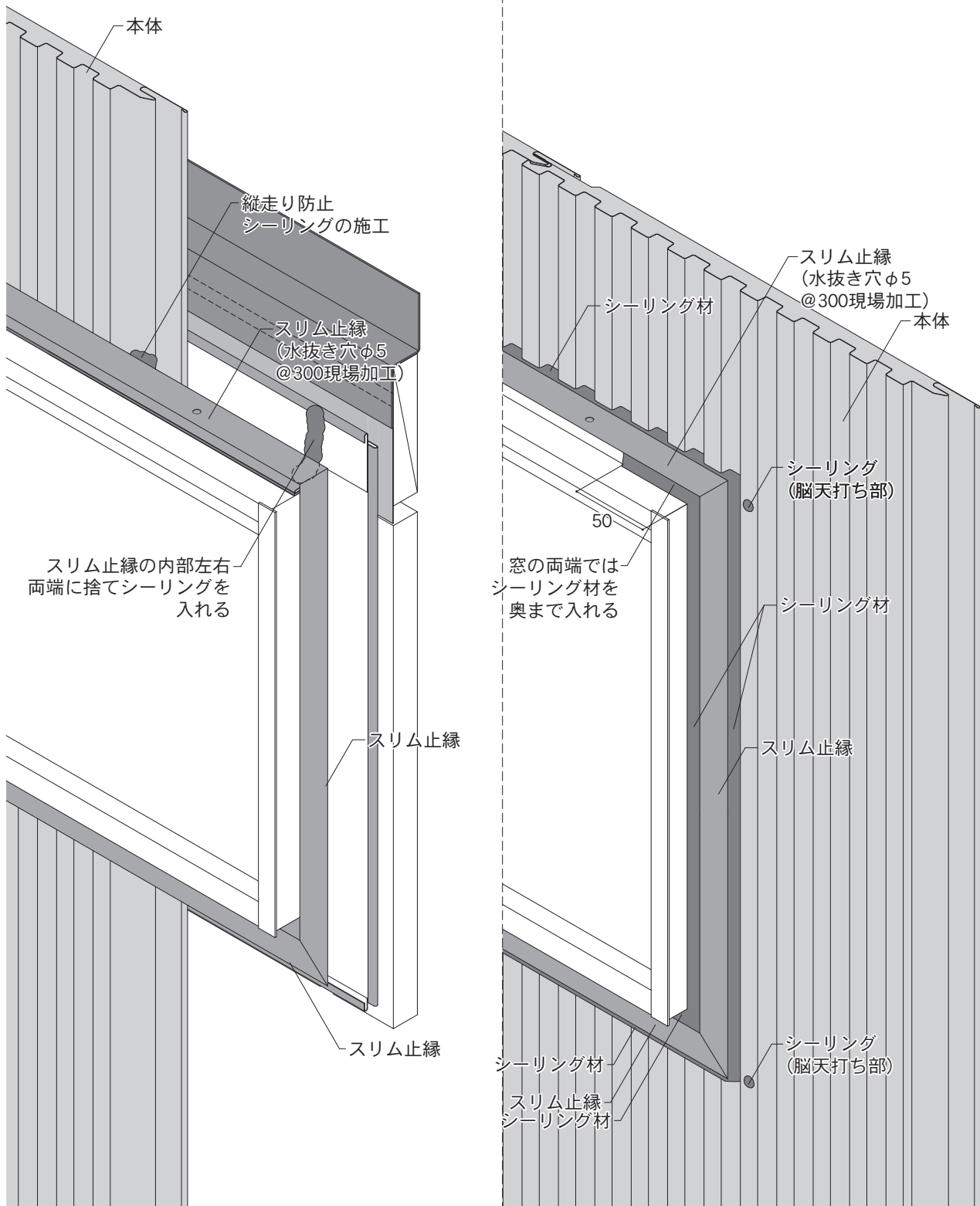
単位：mm

### 1. 開口部（3）

- ・スリム止縁の左右両端の内部には、捨てシーリングを施工してください。
- ・開口部上に施工する本体には、縦走り防止シーリングを施工してください。
- ・開口部上では、小口カバー15の下端とサッシの間の左右両端50mm程度にシーリング材を奥まで入れてください。
- ・脳天打ちをしたくぎやねじ頭には、シーリング材の施工またはタッチアップペイントで塗装してください。

使用部材：スリム止縁・捨板（15×85）

・本頁説明商品  
SP-スリムスパン



5

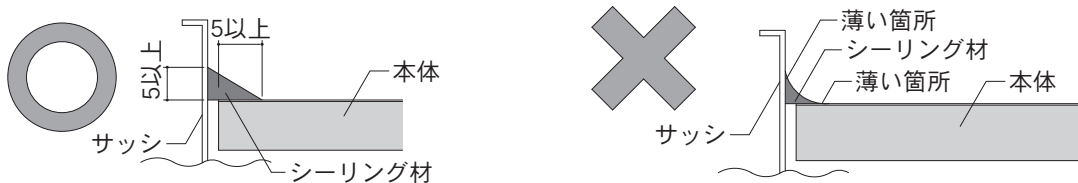
施  
工  
た  
て  
張  
り  
の

5. たて張りの施工

5-2. 15mm品 各部位の納まり図

1. 開口部 (4)

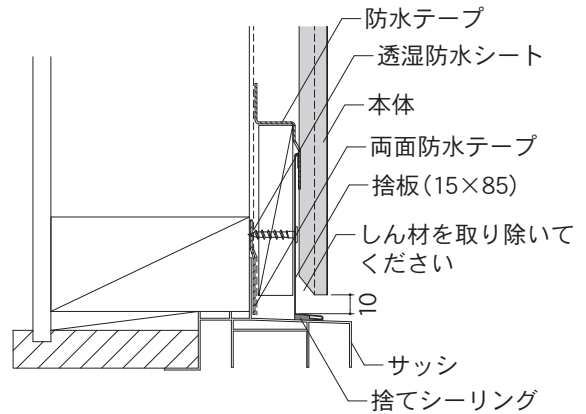
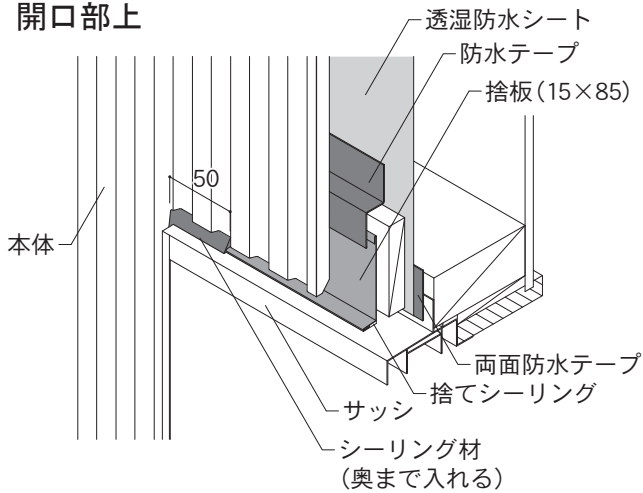
- ・シーリング切れが生じても漏水しないよう、サッシと透湿防水シートを両面防水テープで確実に密着してください。
  - ・本体とサッシの取り合いに施工するシーリング材は、接着断面の長さをともに5mm以上とし、両端が薄くならないよう均一に施工してください。
  - ・シーリング材が薄い箇所は劣化が早く進みシーリング切れの原因となります。シーリング材のこまめな点検、補修が必要です。
  - ・本体は必ずスクルーくぎまたは木ねじで、直接下地に留め付けてください。
  - ・開口部上では、サッシと本体の間は雨水が滞留しないよう10mm程度のすき間をあげ、左右50mm程度にシーリング材を奥まで入れてください。
- ※脳天打ちをしたくぎやねじ頭には、シーリング材の施工またはタッチアップペイントで塗装してください。



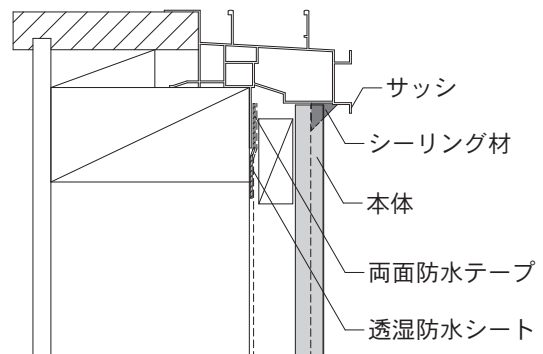
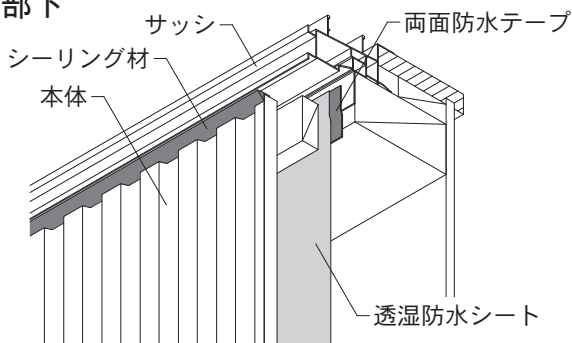
使用部材：捨板 (15×85)

・本頁説明商品  
15mm品共通

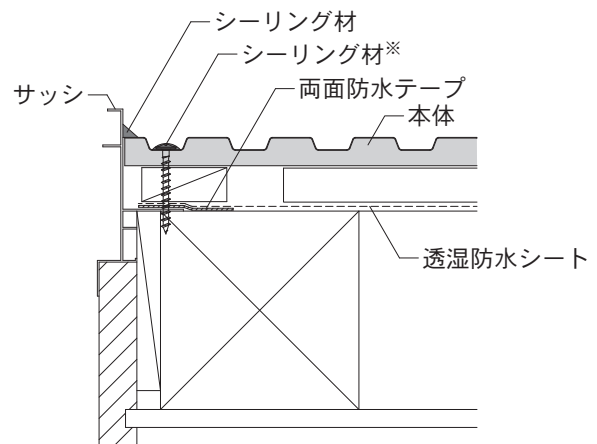
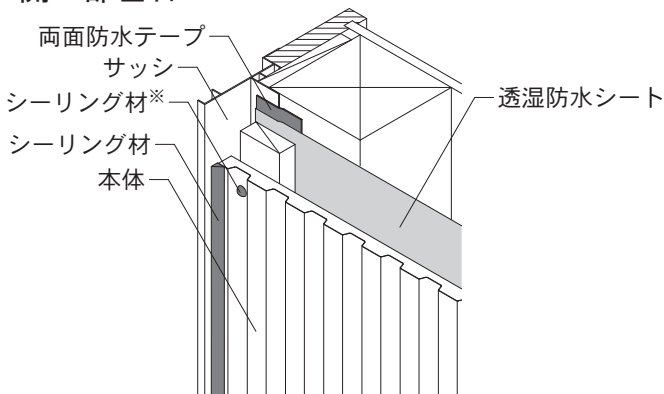
開口部上



開口部下



開口部左右

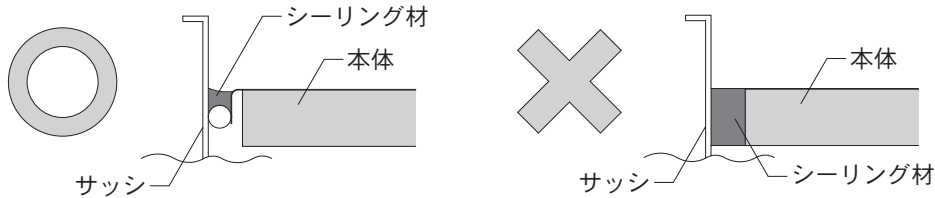


## 5-2. 15mm品 各部位の納まり図

### 1. 開口部 (5)

- ・シーリング切れが生じても漏水しないよう、サッシと透湿防水シートを両面防水テープで確実に密着してください。
- ・本体は必ずスクリューくぎまたは木ねじで、直接下地に留め付けてください。
- ・開口部上では、サッシと本体の間は雨水が滞留しないよう10mm程度のすき間をあけ、左右50mm程度にシーリング材を奥まで入れてください。

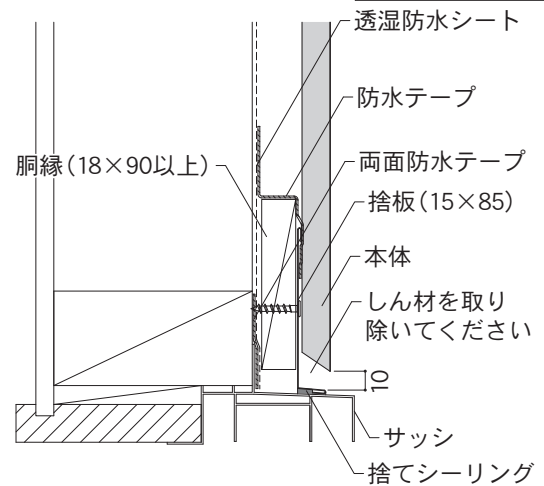
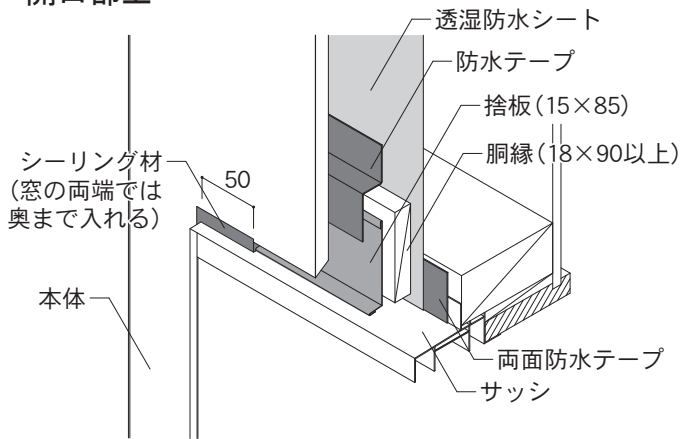
※脳天打ちをしたくぎやねじ頭には、シーリング材の施工またはタッチアップペイントで塗装してください。



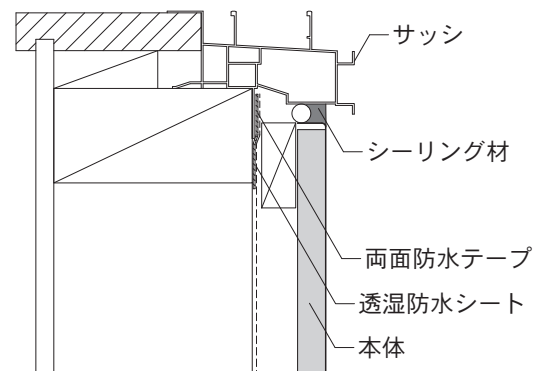
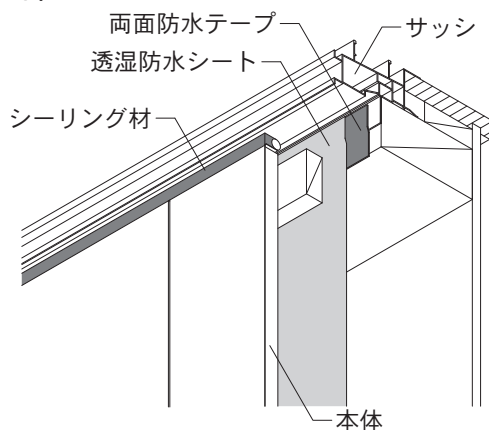
使用部材：捨板 (15×85)

・本頁説明商品  
15mm品共通

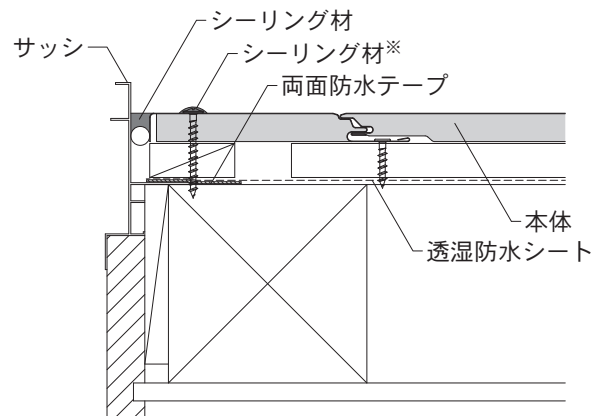
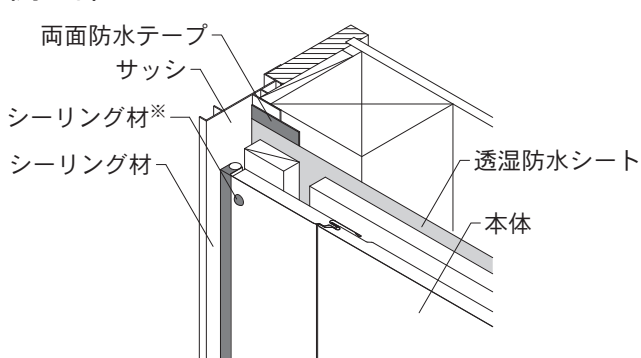
#### 開口部上



#### 開口部下



#### 開口部左右



5

施  
工  
た  
て  
張  
り  
の

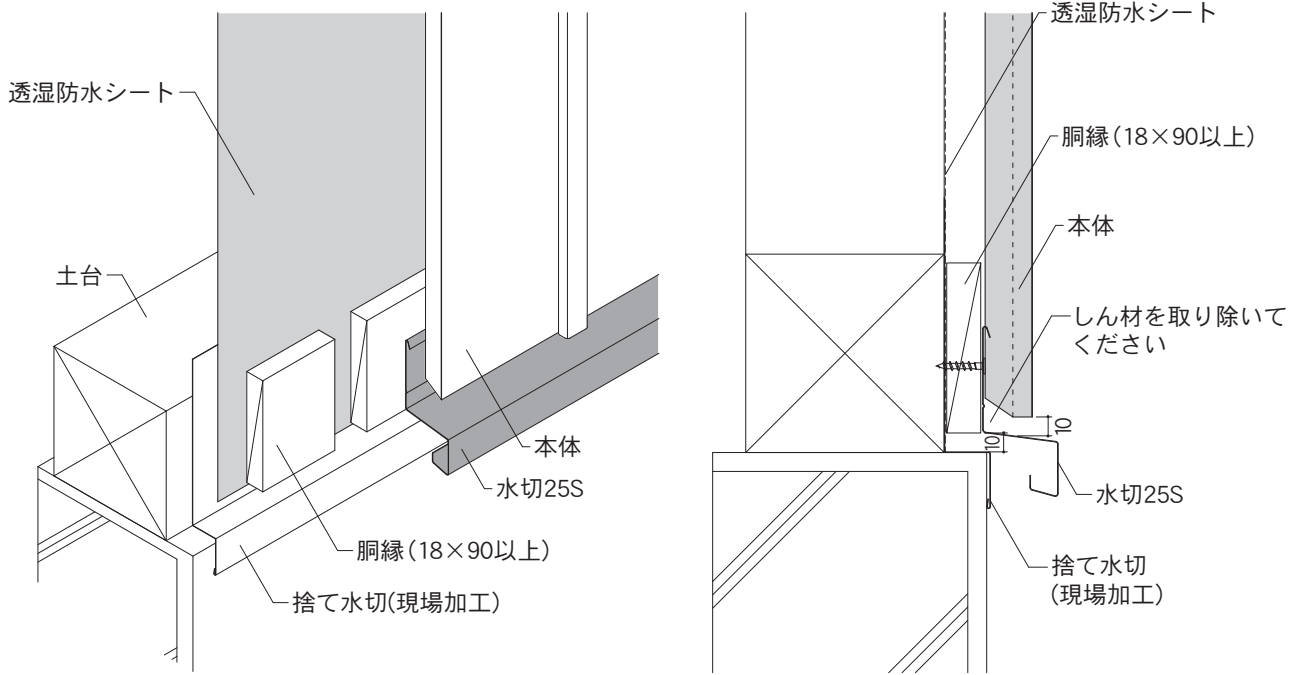
### 5-3. 25mm品 (SP-ガルボウ) 各部位の納まり図

単位：mm

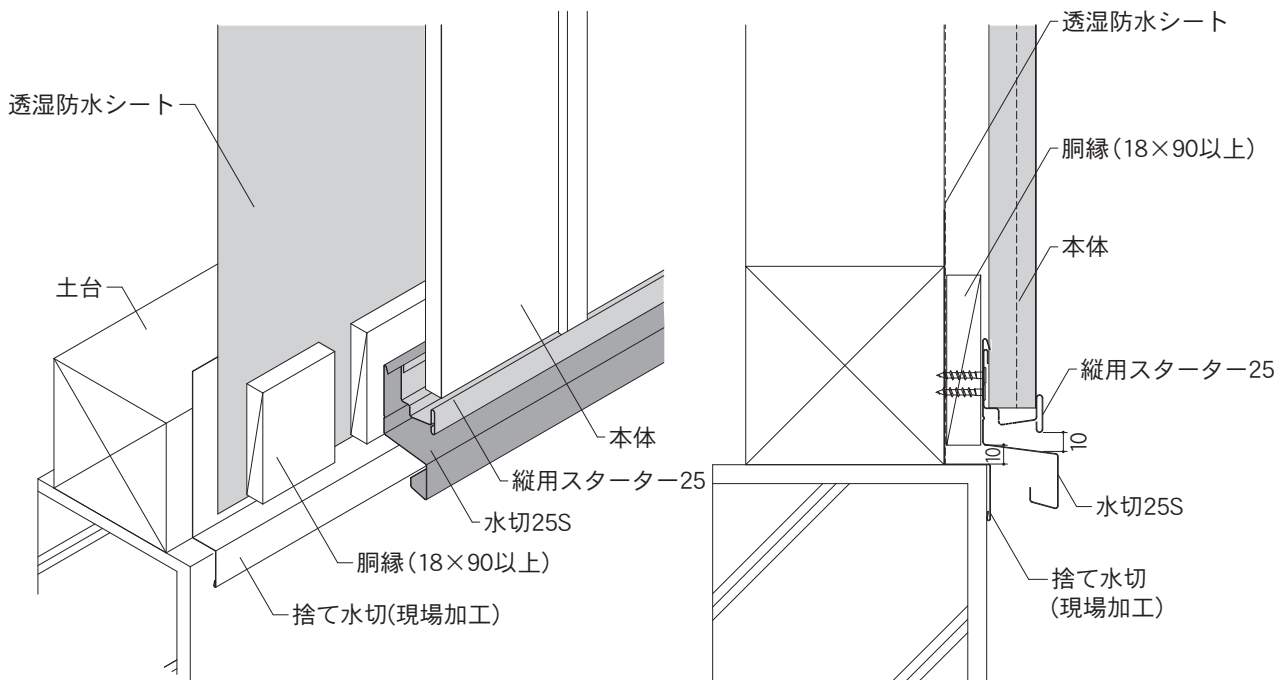
#### A. 土台 (1)

- ・ 本体または縦用スターター25の下端と水切25Sの間には、雨水が滞留しないよう10mm程度のすき間をあけてください。
- ・ 積雪の影響（雪の負荷）のある地域では、本体と部材に積雪の荷重や落雪、除雪の固まりなどが当たらないよう対処してください。水切25Sの下に当て木などを入れるなどの対処をし、縦用スターター25を使用しない納め方としてください。
- ・ 施工時に発生する切粉は、縦用スターター25内に入らないように注意してください。切粉が入った場合は、必ず取り除いてから本体を施工してください。

使用部材：水切25S



使用部材：水切25S・縦用スターター25





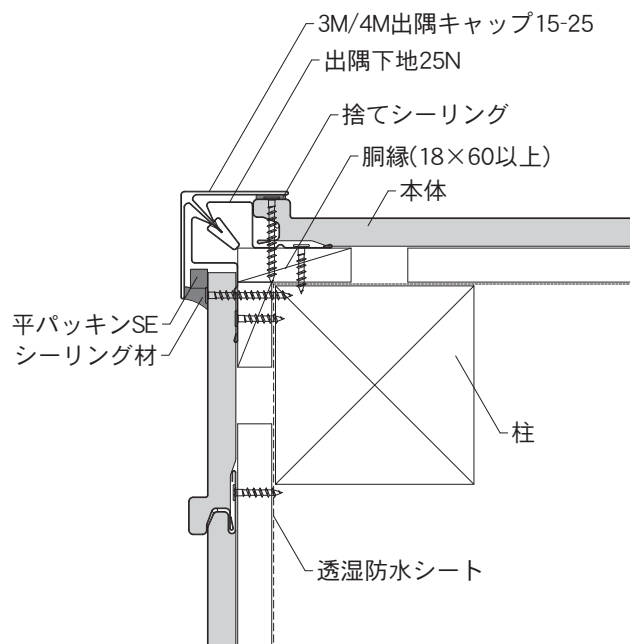
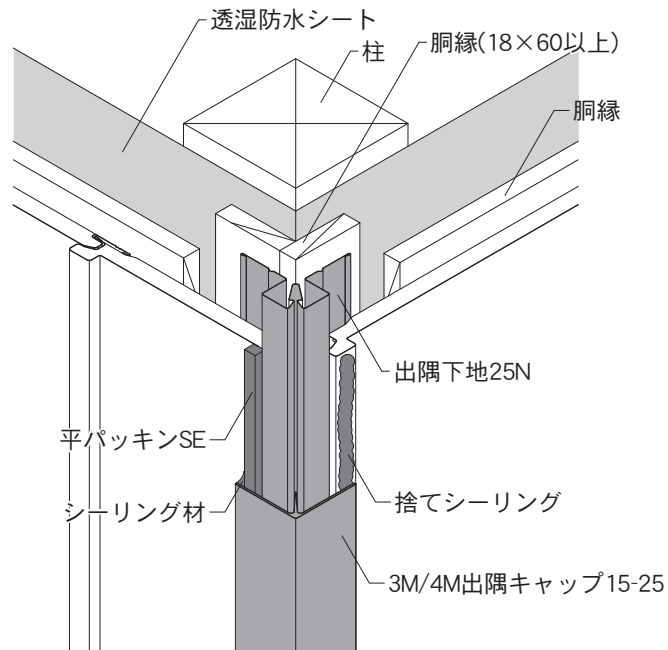
### 5-3. 25mm品 (SP-ガルボウ) 各部位の納まり図

単位：mm

#### B. 出隅

- ・ 本体凹部と部材が重なる箇所には、平パッキンSEを使用してください。
- ・ 本体の張り終わりと張り始めを留め付ける場合は、下穴をあけてから留め具（スクリューくぎまたは木ねじ）で、直接下地に留め付けてください。
- ・ 3M/4M出隅キャップ15-25は、出隅下地25Nに確実にはめてください。完全にはまらないと脱落するおそれがあります。

使用部材：3M/4M出隅キャップ15-25・出隅下地25N・平パッキンSE



5

施  
た  
工  
て  
張  
り  
の

5. たて張りの施工

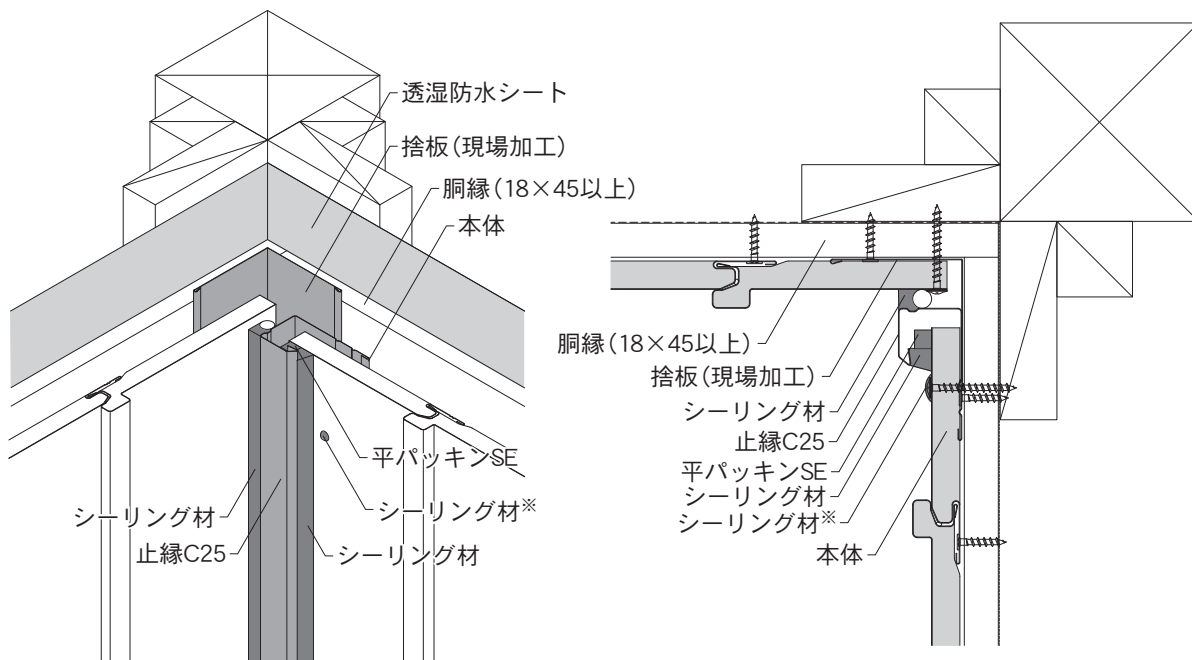
5-3. 25mm品 (SP-ガルボウ) 各部位の納まり図

単位：mm

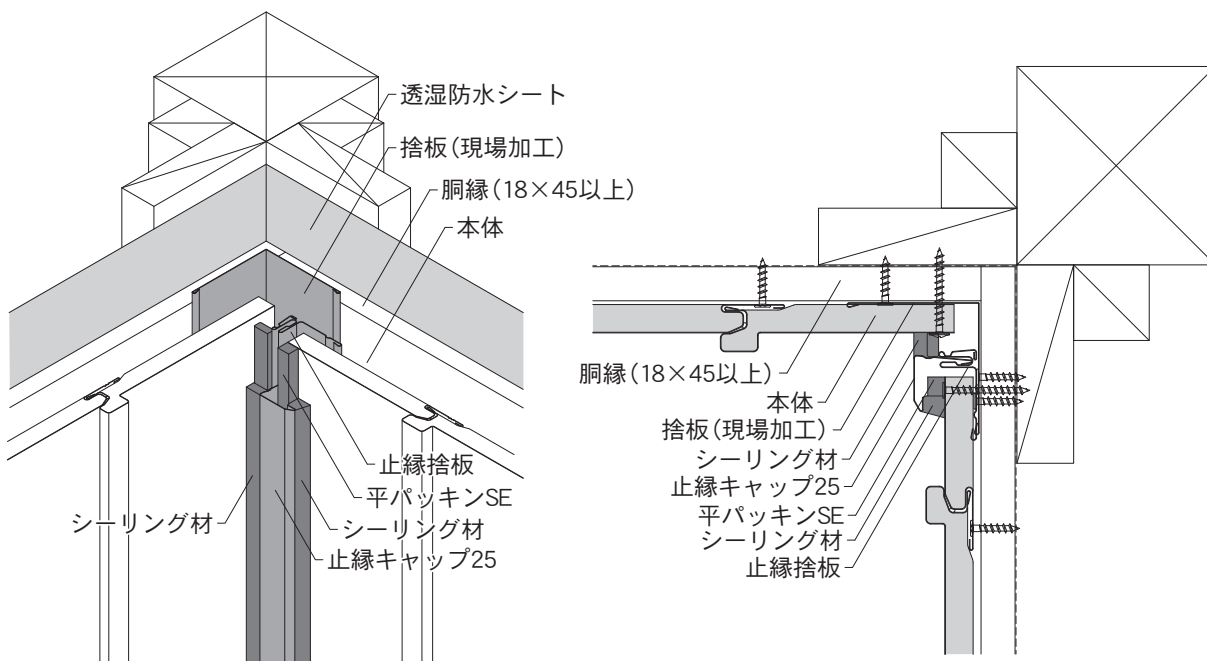
C. 入隅 (1)

- ・本体凹部と部材が重なる箇所には、平パッキンSEを使用してください。
  - ・本体の端部は必ずスクルーくぎまたは木ねじで、直接下地に留め付けてください。
- ※脳天打ちをしたくぎやねじ頭には、シーリング材の施工またはタッチアップペイントで塗装してください。

使用部材：止縁C25・平パッキンSE



使用部材：止縁キャップ25・止縁捨板・平パッキンSE



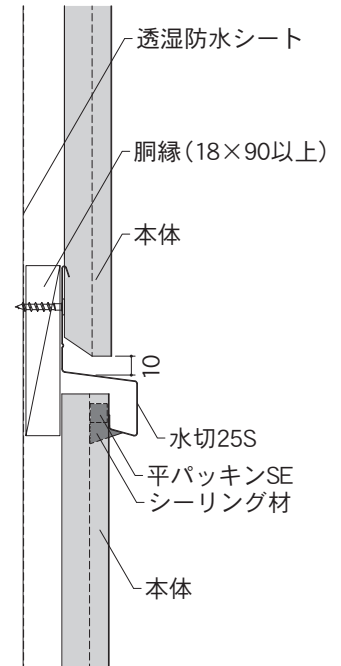
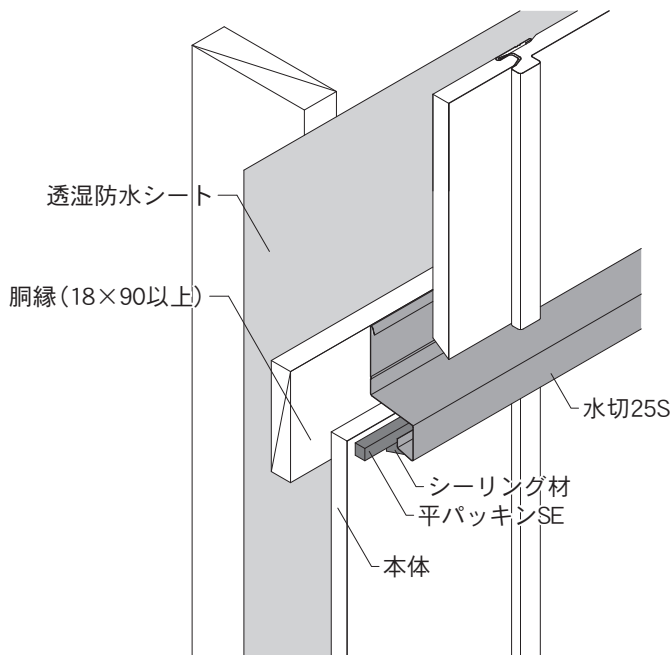
### 5-3. 25mm品 (SP-ガルボウ) 各部位の納まり図

単位：mm

#### D. 縦継ぎ

- ・ 本体の下端と水切25Sの間には、雨水が滞留しないよう10mm程度のすき間をあけてください。
- ・ 施工時に発生する切粉は、縦用スターター25内に入らないように注意してください。切粉が入った場合は、必ず取り除いてから本体を施工してください。切粉はさびや汚れの原因となります。

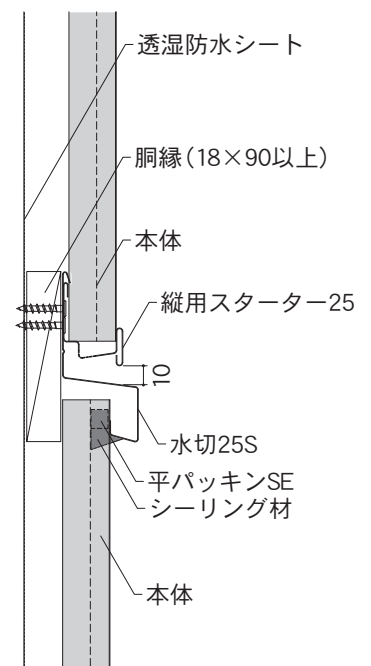
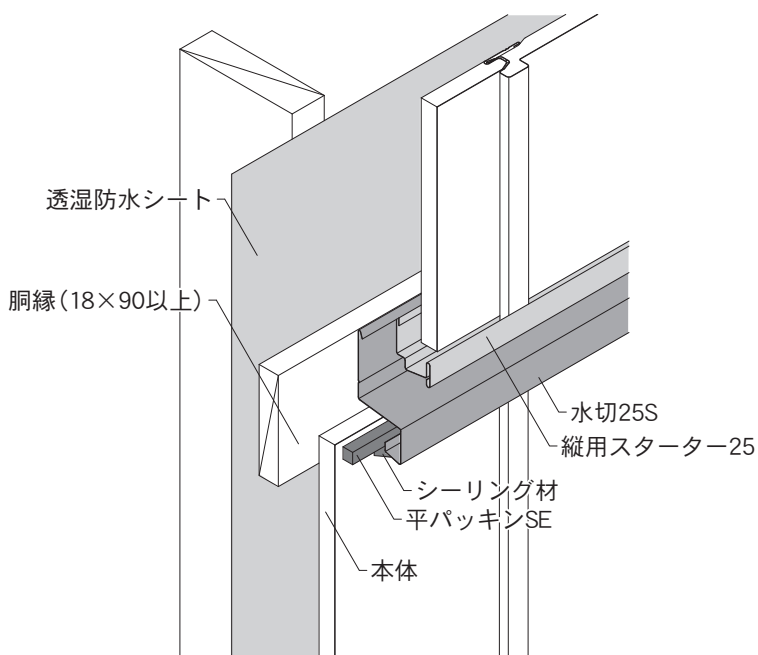
使用部材：水切25S



5

施  
工  
張  
り  
の

使用部材：水切25S・縦用スターター25



5. たて張りの施工

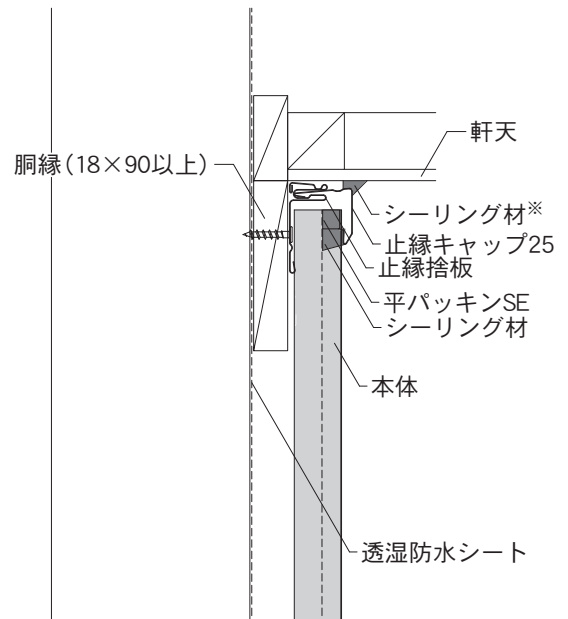
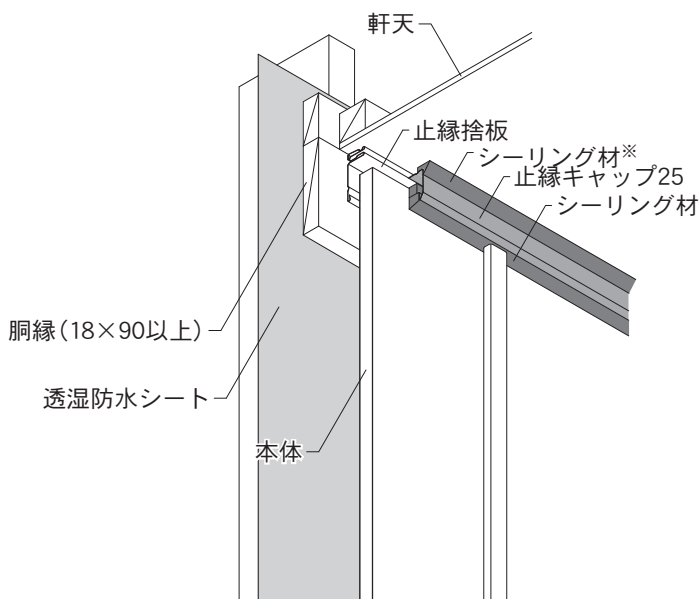
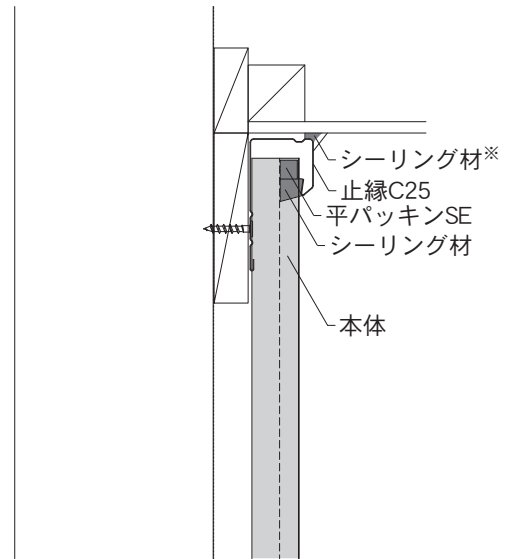
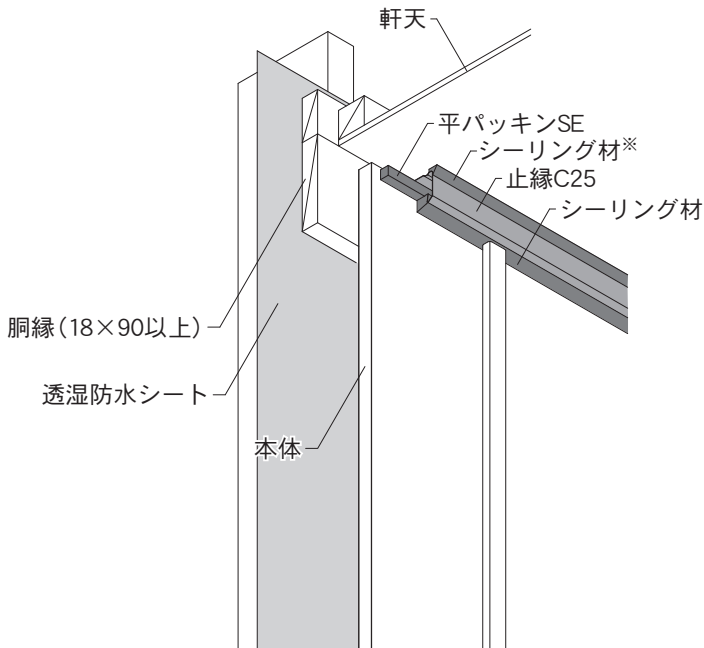
5-3. 25mm品 (SP-ガルボウ) 各部位の納まり図

単位：mm

E. 軒 (1)

- ・軒裏や小屋裏への通気経路を確保してください。軒裏や小屋裏への通気を行わない場合は、通気軒見切15-25を使用することで通気構法が可能となります。
- ・本体に平パッキンSEを貼り付けてから、止縁C25に差し込んでください。
- ※軒の出が外壁表面から300mm以上の場合は、軒天と部材の間のシーリング材は無しも可。

使用部材：止縁C25・平パッキンSE

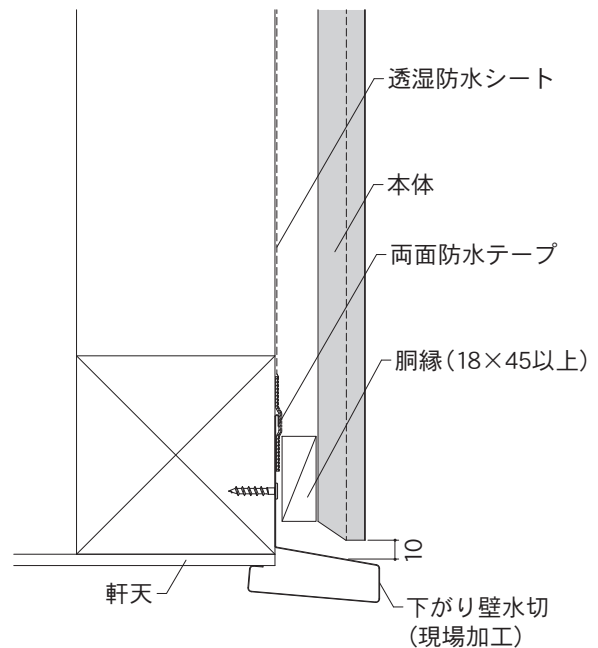
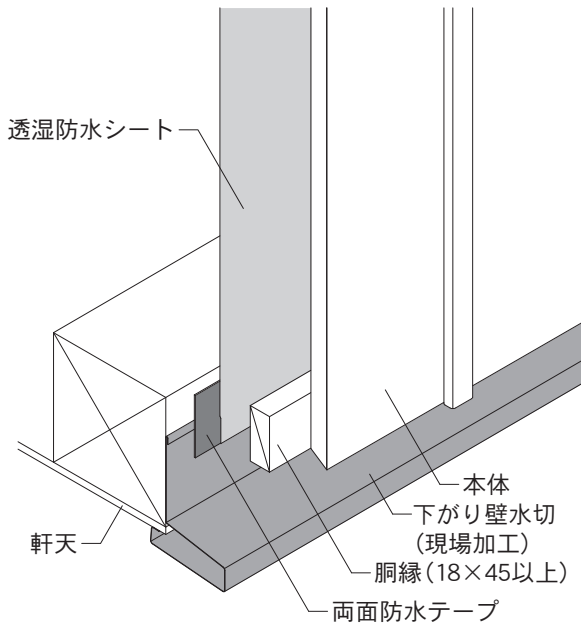


### 5-3. 25mm品 (SP-ガルボウ) 各部位の納まり図

単位：mm

#### F. 下がり壁

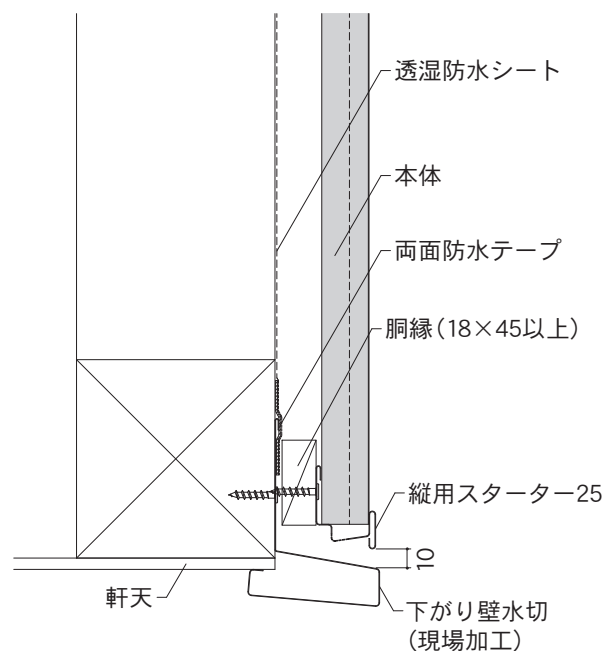
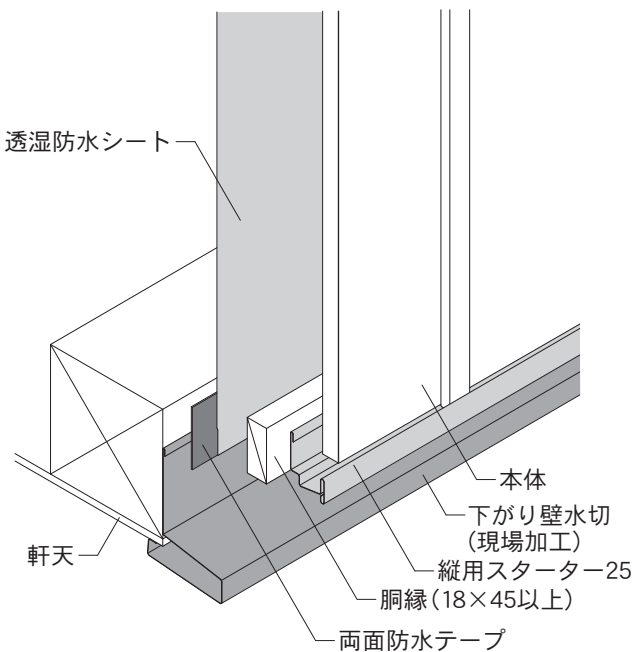
- ・ 本体または縦用スターター-25の下端と下がり壁(現場調達)の間には、雨水が滞留しないよう10mm程度のすき間をあけてください。
- ・ 施工時に発生する切粉は、縦用スターター-25内に入らないように注意してください。切粉が入った場合は、必ず取り除いてから本体を施工してください。



5

施  
た  
工  
て  
張  
り  
の

使用部材：縦用スターター-25



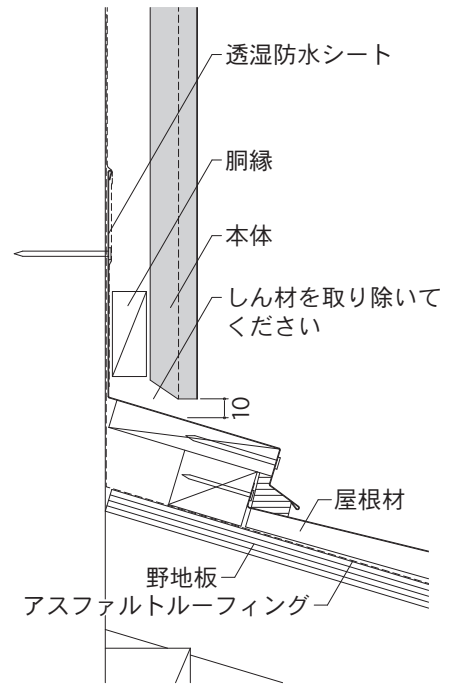
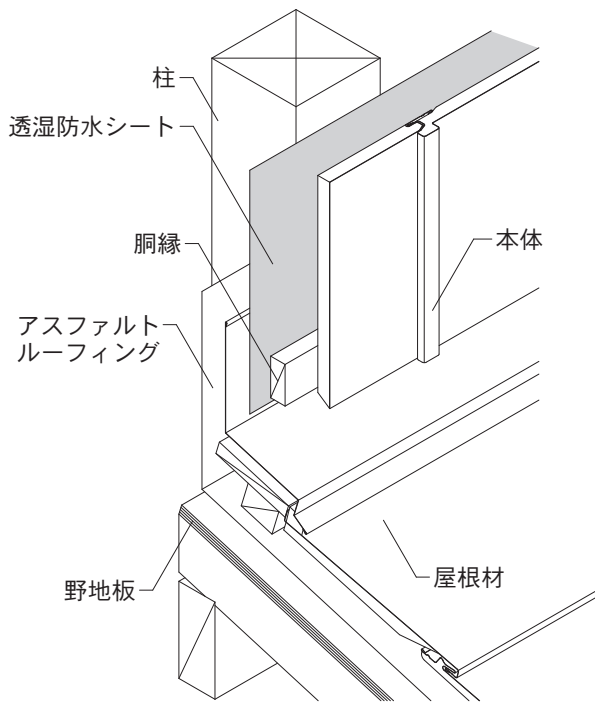
5. たて張りの施工

5-3. 25mm品（SP-ガルボウ） 各部位の納まり図

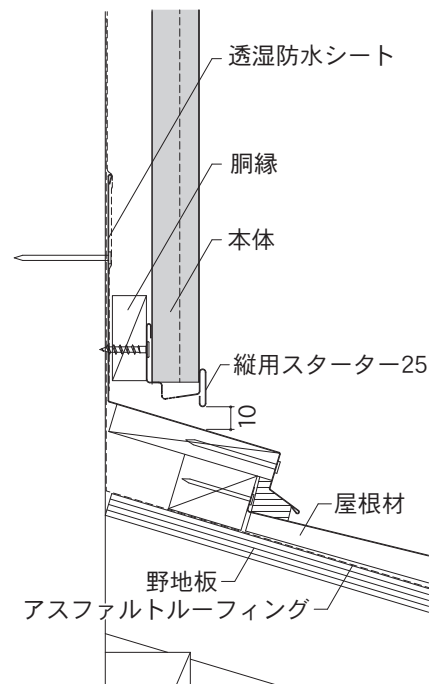
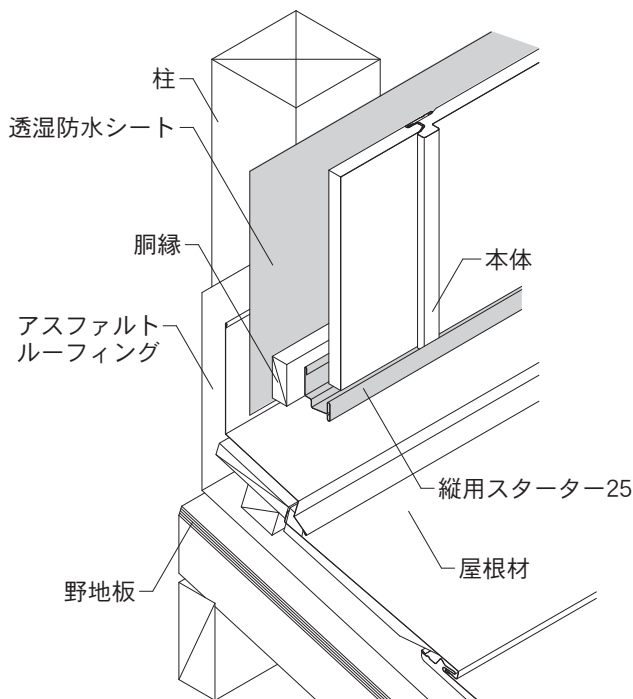
単位：mm

G. 下屋見切り

- ・積雪の影響（雪の負荷）のある地域では、本体と部材に積雪の荷重や落雪、除雪の固まりなどが当たらないよう対処し、縦用スターター25を使用しない納め方としてください。
- ・本体または縦用スターター25の下端と雨押さえ包み板の間には、雨水が滞留しないよう10mm程度のすき間をあけてください。
- ・施工時に発生する切粉は、縦用スターター25内に入らないように注意してください。切粉が入った場合は、必ず取り除いてから本体を施工してください。



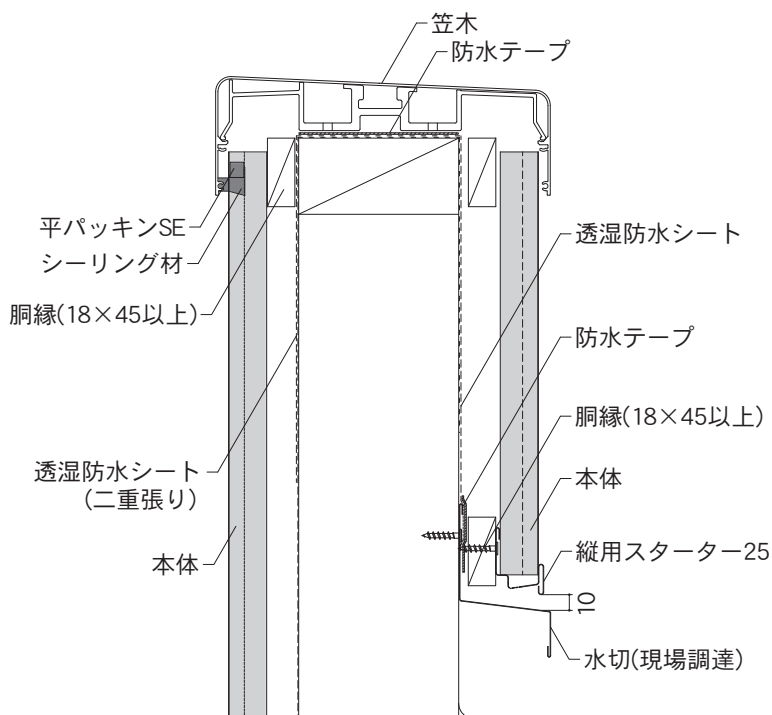
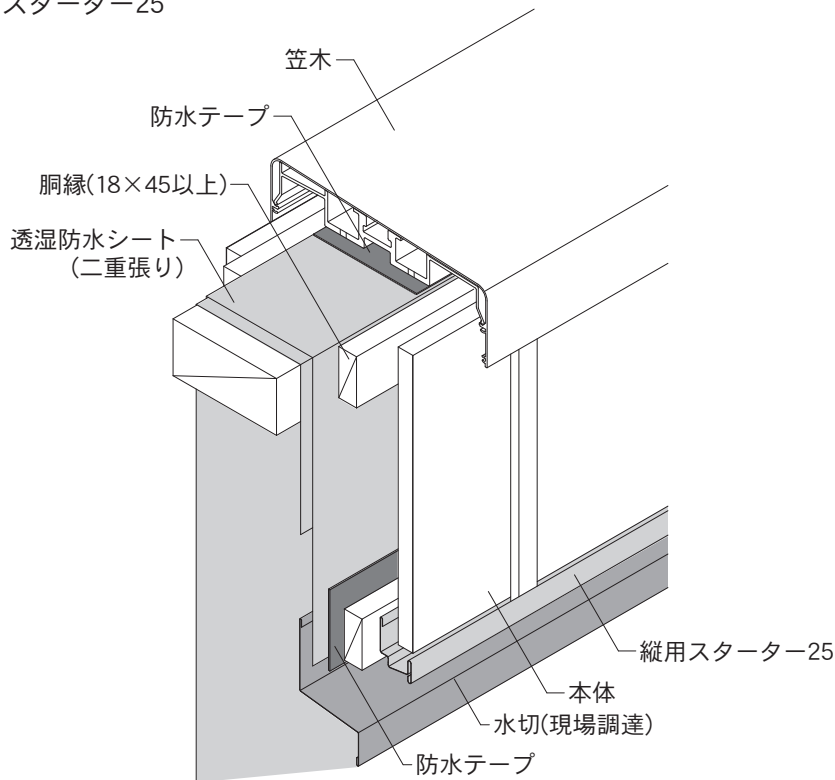
使用部材：縦用スターター25



H. 笠木

- ・防水上万全を期すため、透湿防水シートを二重張りにしてください。
- ・通気経路を確保してください。
- ・施工時に発生する切粉は、縦用スターター25内に入らないように注意してください。切粉が入った場合は、必ず取り除いてから本体を施工してください。
- ・積雪の影響（雪の負荷）のある地域では、本体と部材に積雪の荷重や落雪、除雪の固まりなどが当たらないよう対処し、縦用スターター25を使用しない納め方としてください。

使用部材：縦用スターター25



## 5. たて張りの施工

### 5-3. 25mm品（SP-ガルボウ） 各部位の納まり図

#### 1. 開口部（共通）

サッシと部材の取り合いのシーリングの施工について

- ・サッシと部材の取り合いでシーリングを施工する場合は、図1、図2のいずれかのようにシーリング材を施工してください。
  - ・図2の場合は、接着断面の長さは5mm以上とし、両面が薄くならないように均一に施工してください。
  - ・シーリング材が薄い箇所は劣化が早く進みシーリング切れの原因となります。シーリング材のこまめな点検、補修が必要です。
  - ・次ページより、図1を代表して記載しています。
- ※くぎまたはねじ頭には、シーリング材の代わりにタッチアップペイントでの塗装も可。

図1

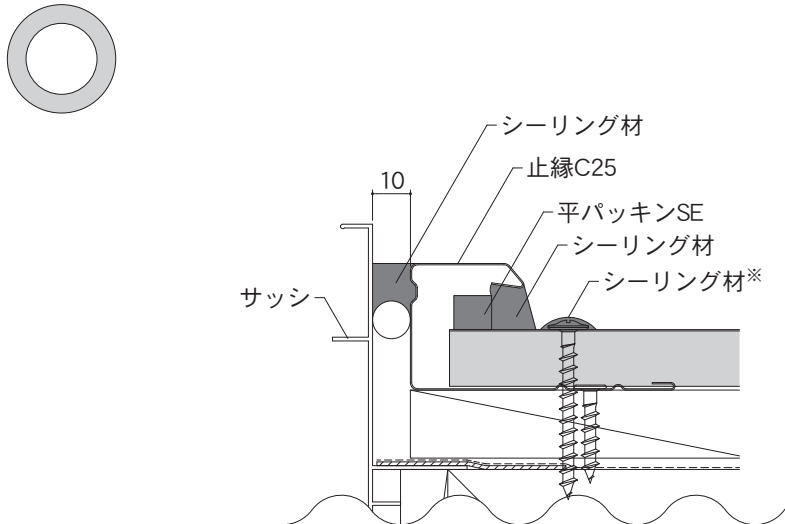
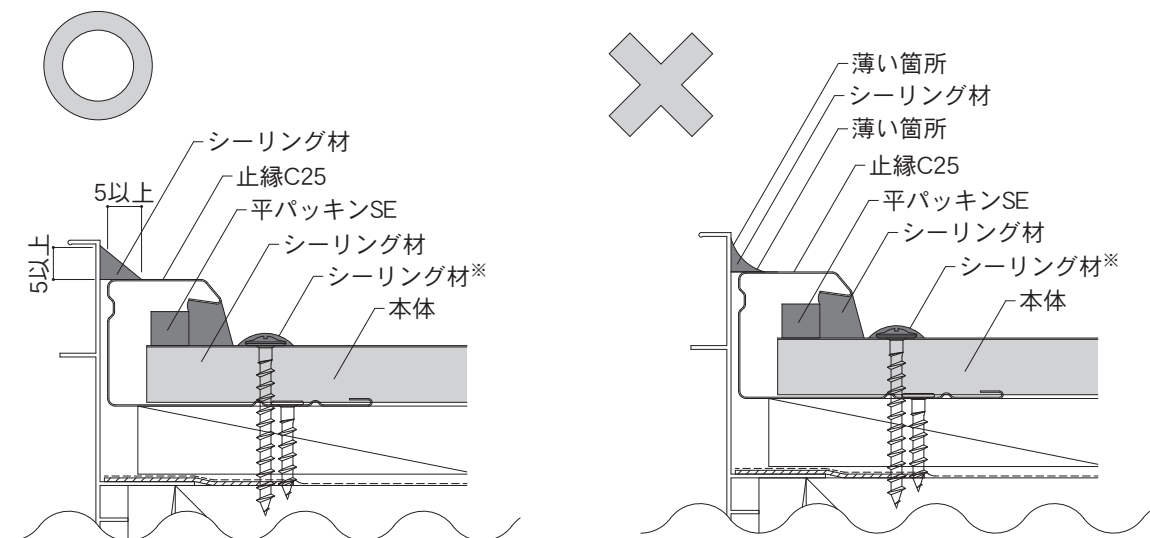


図2





### 5-3. 25mm品（SP-ガルボウ） 各部位の納まり図

単位：mm

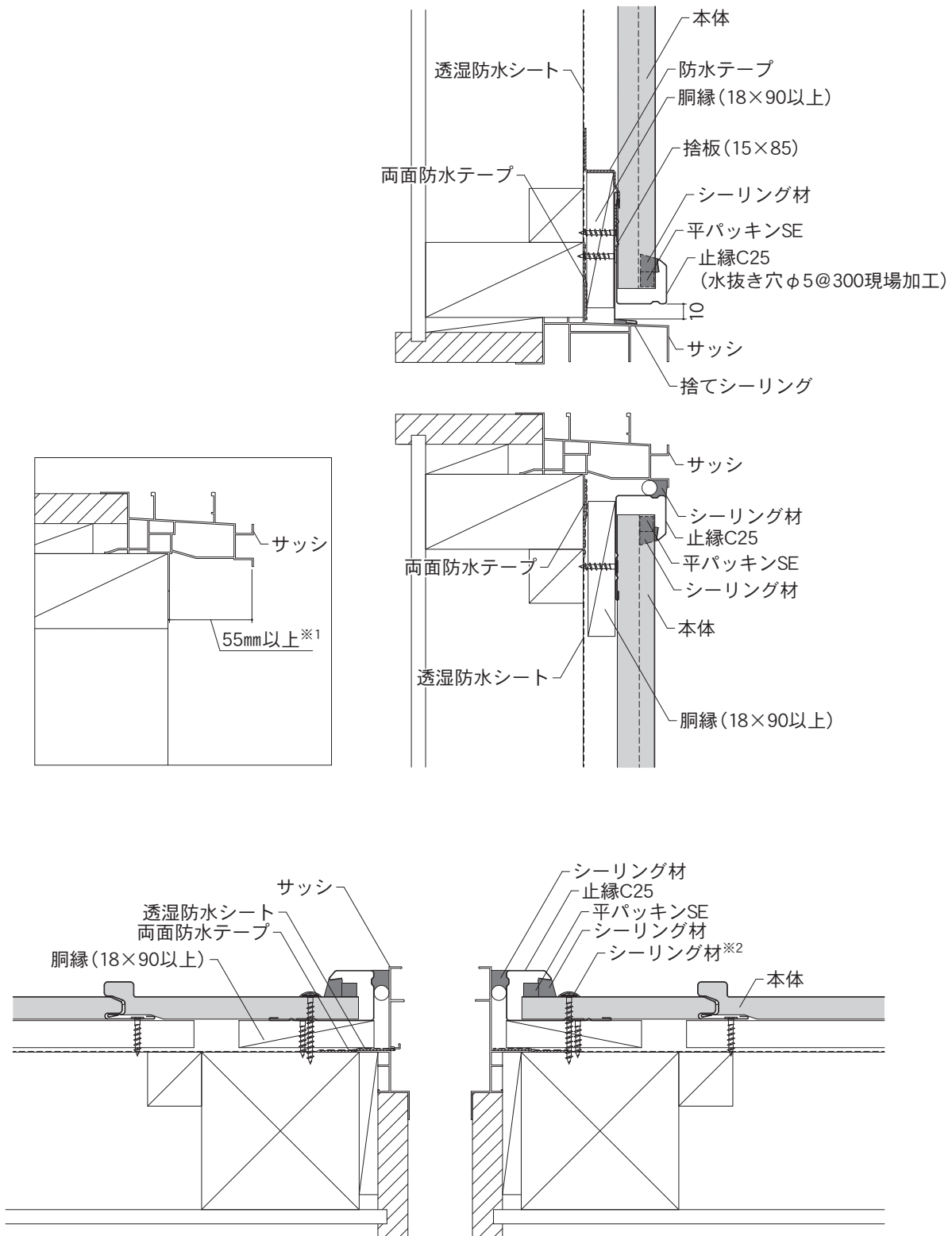
#### 1. 開口部（1）

・止縁C25をサッシ上部に取り付ける際は、あらかじめ水抜き穴をあけてから取り付けてください。

※1 下地表面からサッシの出幅が55mm以上のサッシを使用してください。

※2 くぎまたはねじ頭には、シーリング材の代わりにタッチアップペイントでの塗装も可。

使用部材：止縁C25・捨板（15×85）・平パッキンSE



5  
施  
た  
工  
て  
張  
り  
の

5. たて張りの施工

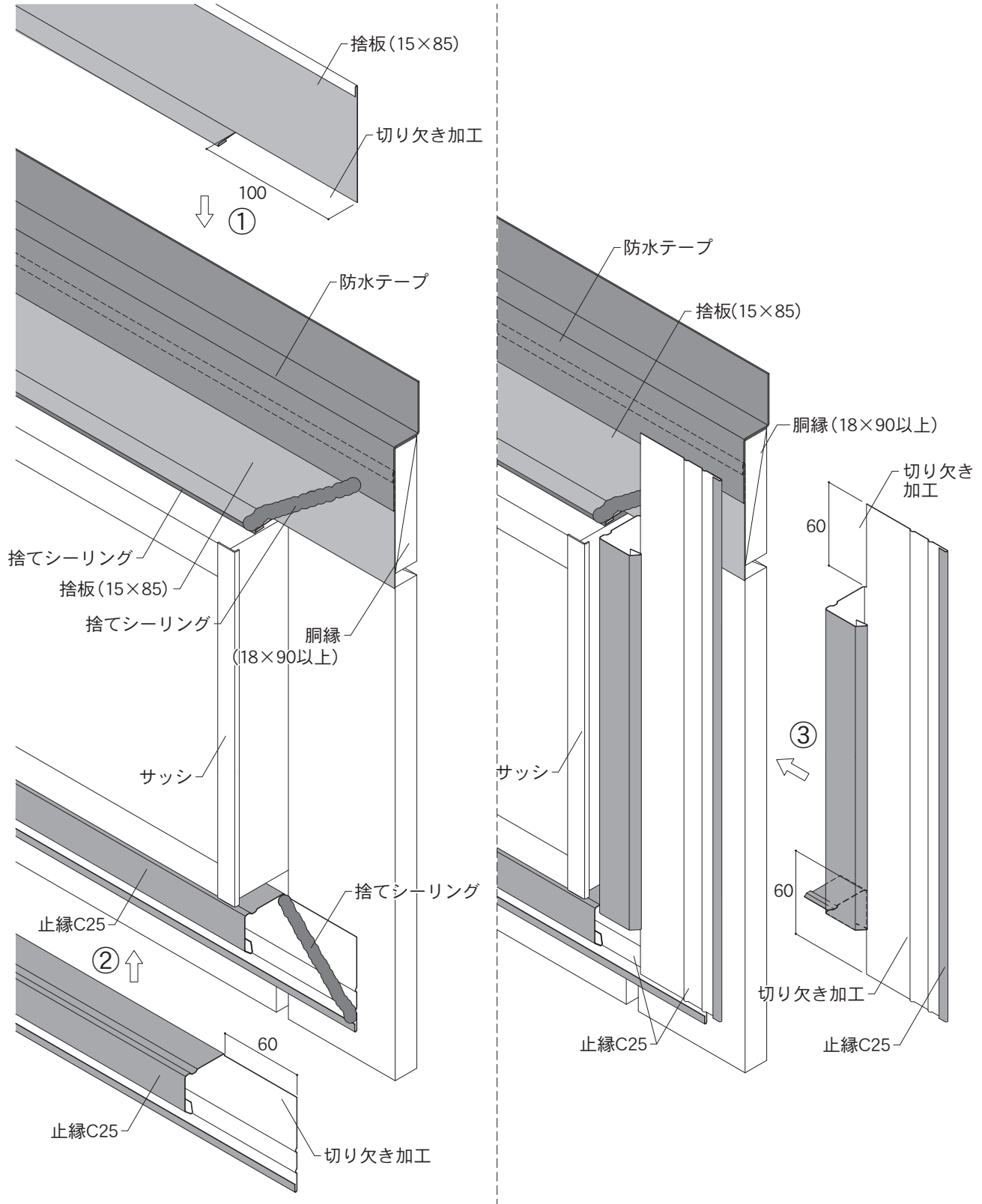
5-3. 25mm品（SP-ガルボウ） 各部位の納まり図

単位：mm

1. 開口部（1） 隅角部にワンタッチコーナーキャップ15-25を施工する場合

- ① 捨板（15×85）とサッシの間には、捨てシーリングを施工してから取り付けてください。捨板（15×85）の上から防水テープを図の位置に施工してください。
- ② 開口部下、開口部左右の順に止縁C25を取り付けてください。なお、各部材同士の重なり位置には捨てシーリングを施工してください。

使用部材：止縁C25・捨板（15×85）・平パッキンSE



### 5-3. 25mm品 (SP-ガルボウ) 各部位の納まり図

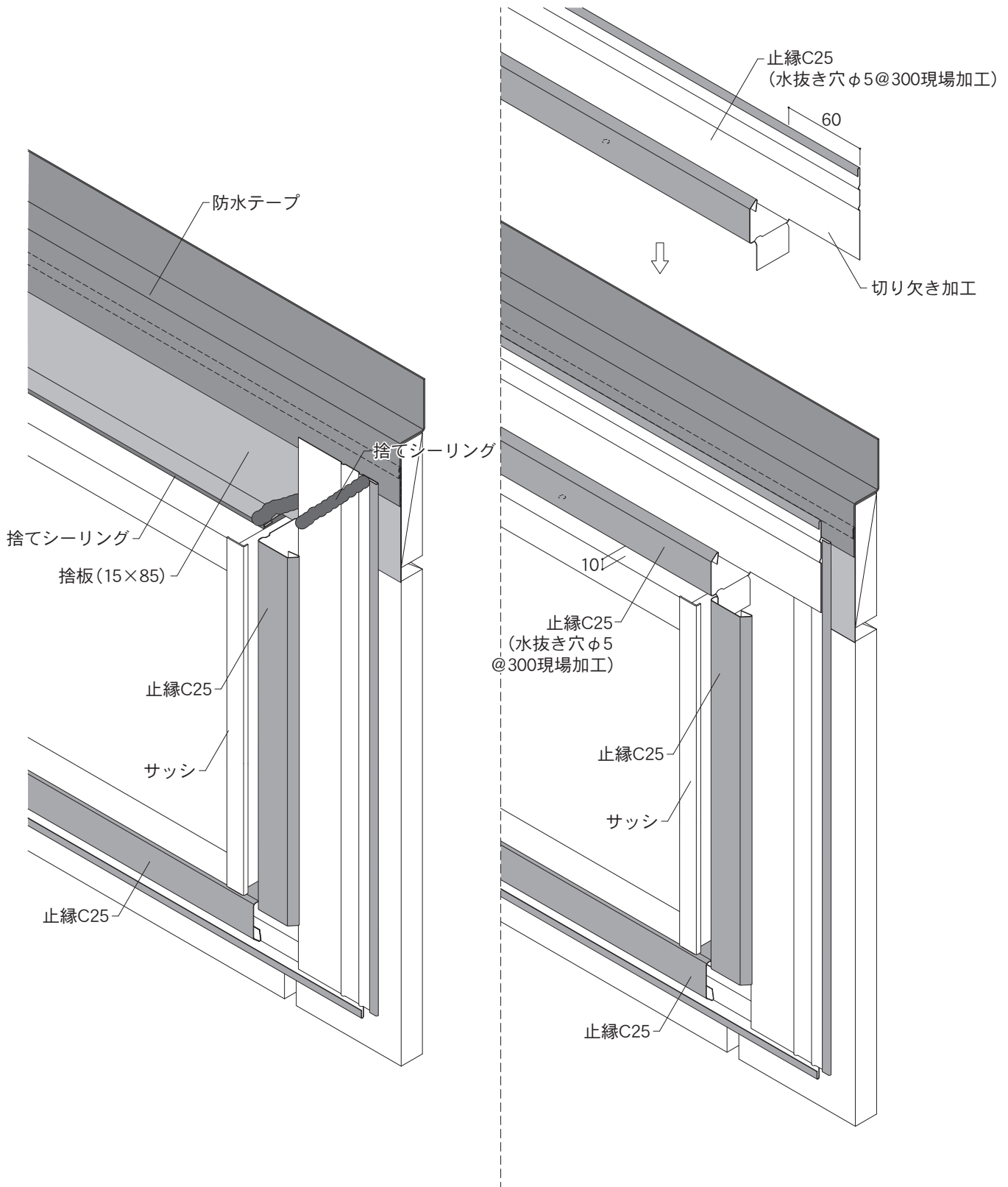
単位：mm

#### 1. 開口部 (1)

隅角部にワンタッチコーナーキャップ15-25を施工する場合

- ・開口部左右に施工した止縁C25同士が重なる箇所は、捨てシーリングを施工してからと開口部上の止縁C25を施工してください。
- ・開口部上には、止縁C25 (水抜き穴φ5@300現場加工) の下端とサッシの間は雨水が滞留しないよう10mm程度のすき間をあけて取り付けてください。

使用部材：止縁C25・捨て板 (15×85) ・平パッキンSE



5  
施  
工  
張  
り  
の

5. たて張りの施工

5-3. 25mm品 (SP-ガルボウ) 各部位の納まり図

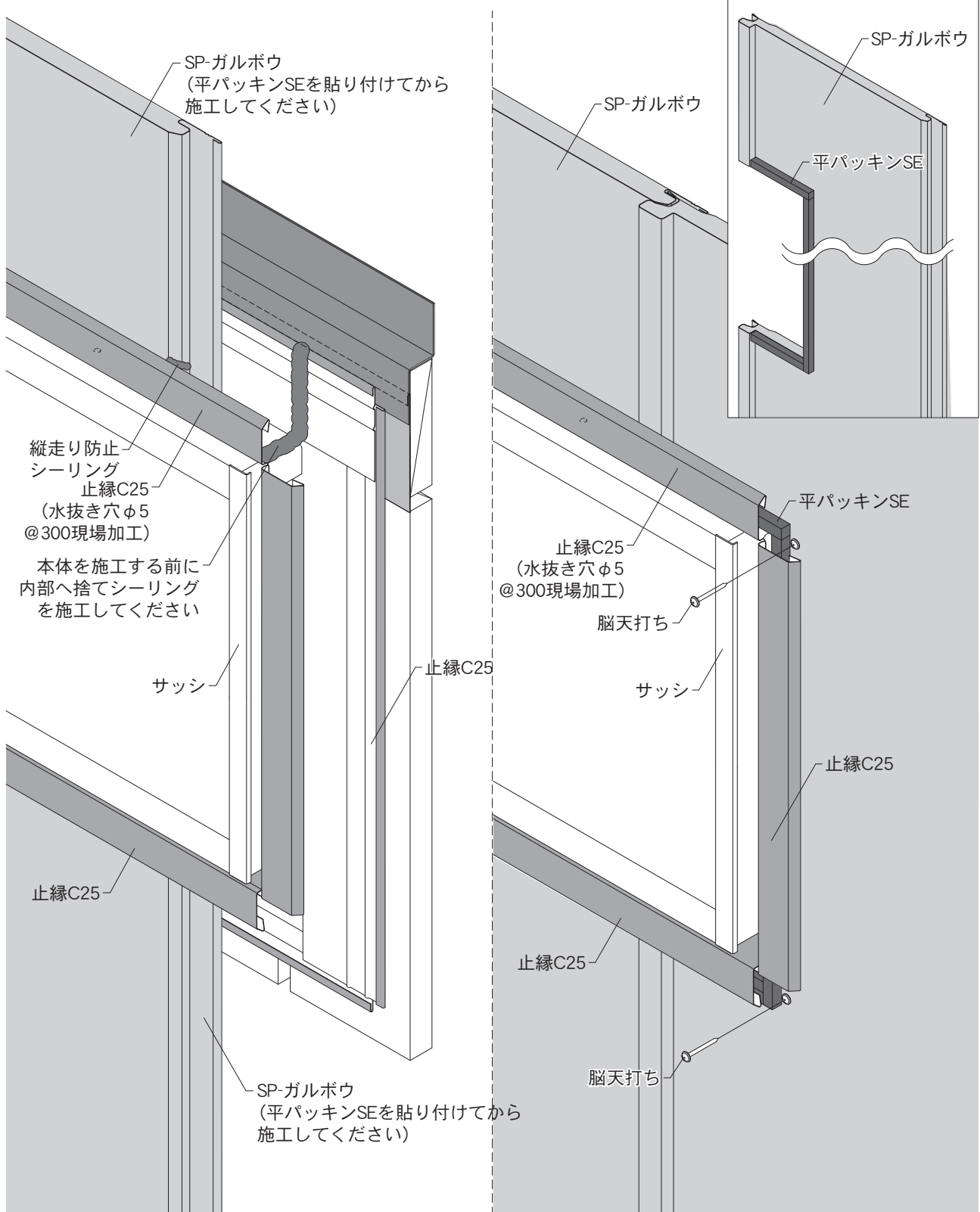
単位：mm

1. 開口部 (1)

隅角部にワンタッチコーナーキャップ15-25を施工する場合

- ・ 本体を施工する前に止縁C25の左右両端の内部には、捨てシーリングを施工してください。
- ・ 開口部上に施工する本体1枚ごとに、縦走り防止シーリングを施工してください。
- ・ 開口部上下に施工する本体には、平パッキンSEを貼り付けてください。開口部左右に施工する本体凹部と部材が重なる場合も同様に平パッキンSEを貼り付けてから施工してください。
- ・ ワンタッチコーナーキャップ15-25の隠れる位置に脳天打ちをし、本体を確実に留め付けてください。

使用部材：止縁C25・捨て板 (15×85) ・平パッキンSE



### 5-3. 25mm品（SP-ガルボウ） 各部位の納まり図

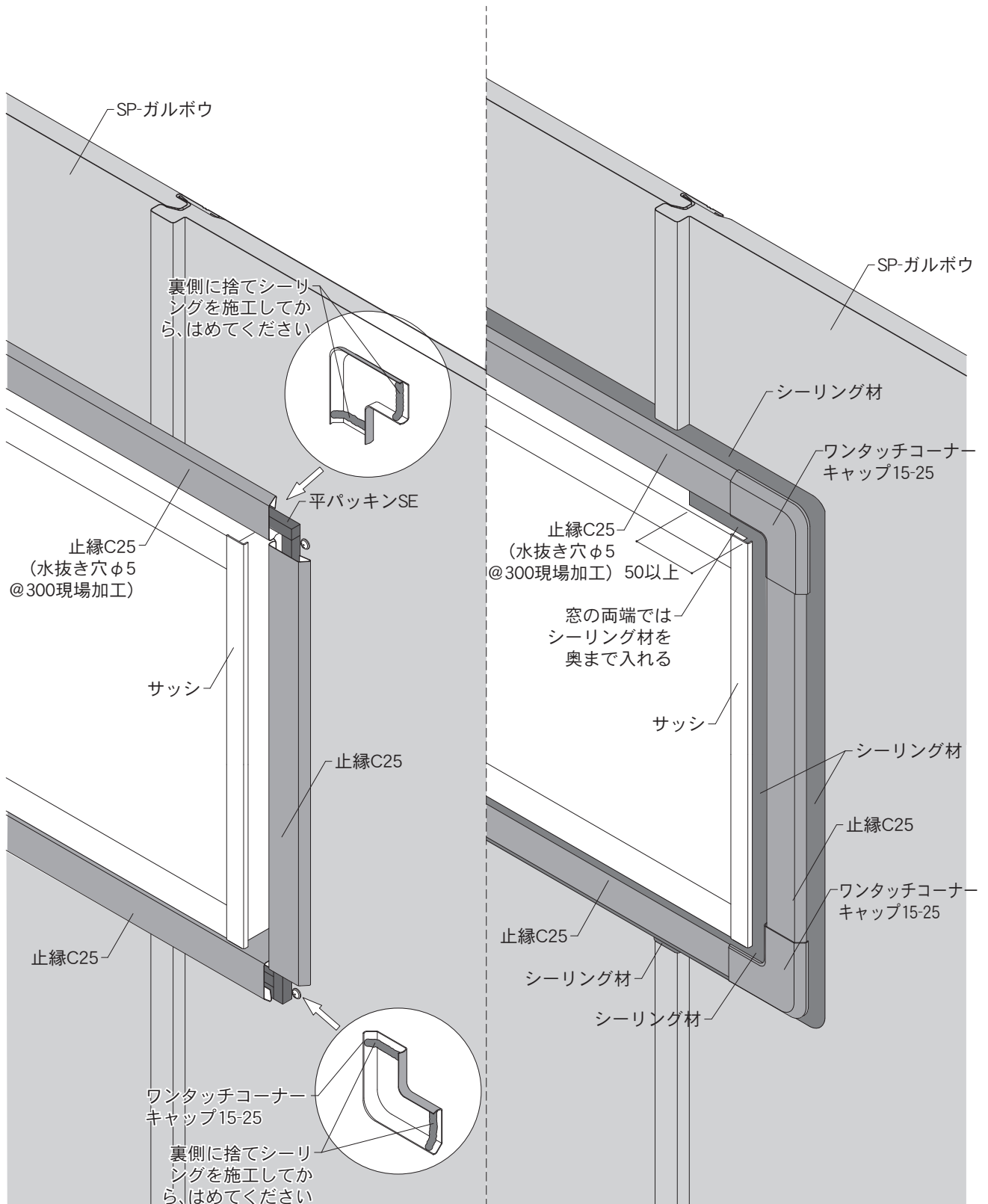
単位：mm

#### 1. 開口部（1）

隅角部にワンタッチコーナーキャップ15-25を施工する場合

- ・開口部上では、止縁C25の下端とサッシの間に左右両端50mm程度のシーリング材を奥まで入れてください。
- ・ワンタッチコーナーキャップに隠れない箇所で脳天打ちをしたくぎやねじ頭には、シーリング材の施工またはタッチアップペイントで塗装してください。

使用部材：止縁C25・捨板（15×85）・平パッキンSE



5  
施  
た  
て  
張  
り  
の

## 5. たて張りの施工

### 5-3. 25mm品（SP-ガルボウ） 各部位の納まり図

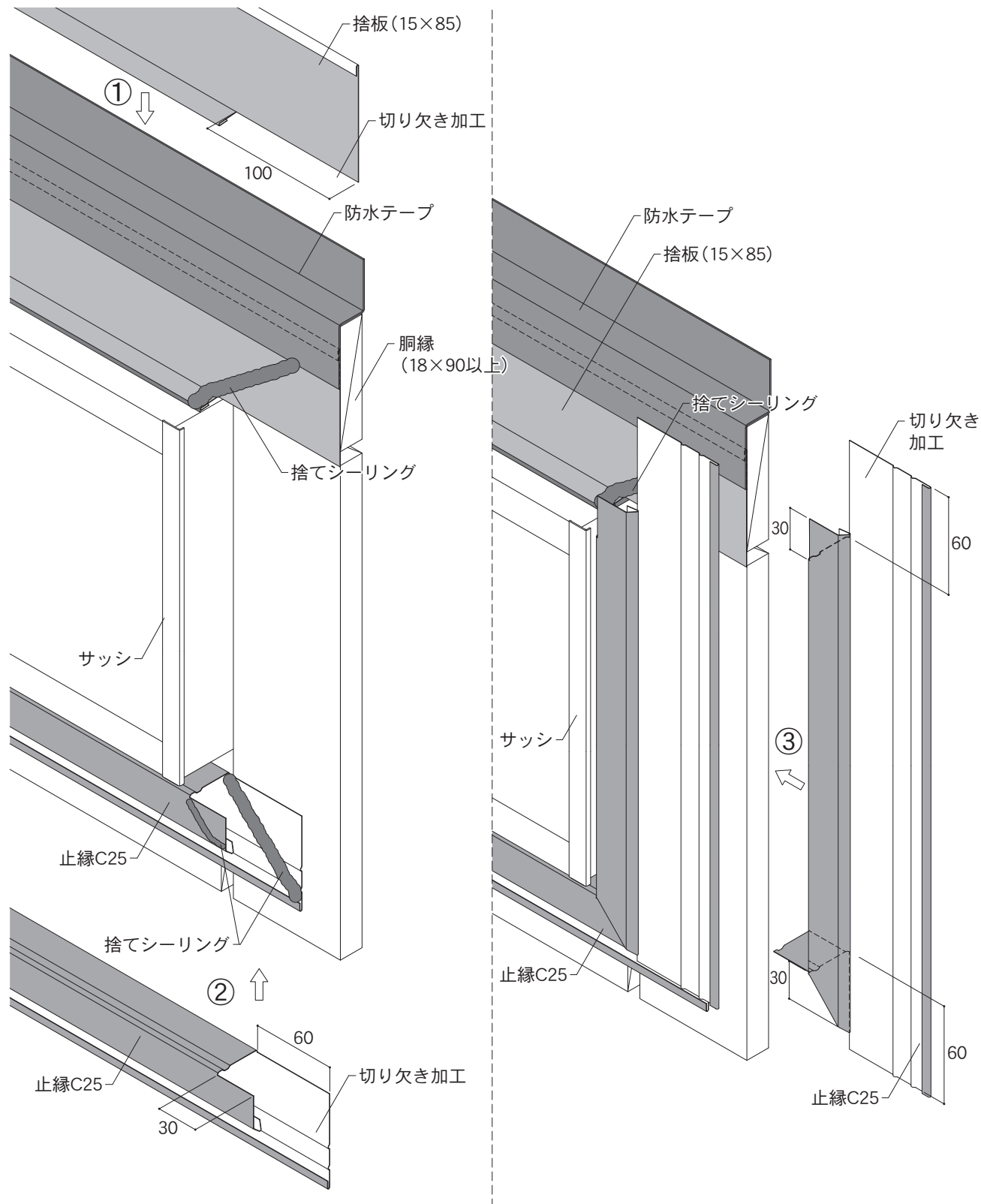
単位：mm

#### 1. 開口部（1）

隅角部を加工する場合

- ① 捨板（15×85）とサッシの間には、捨てシーリングを施工してから取り付けてください。捨板（15×85）の上から防水テープを図の位置に施工してください。
- ② 開口部下に止縁C25を取り付けてください。
- ③ 開口部左右に止縁C25を取り付けてください。  
・各部材同士の重なり位置には捨てシーリングを施工してください。

使用部材：止縁C25・捨板（15×85）・平パッキンSE



### 5-3. 25mm品 (SP-ガルボウ) 各部位の納まり図

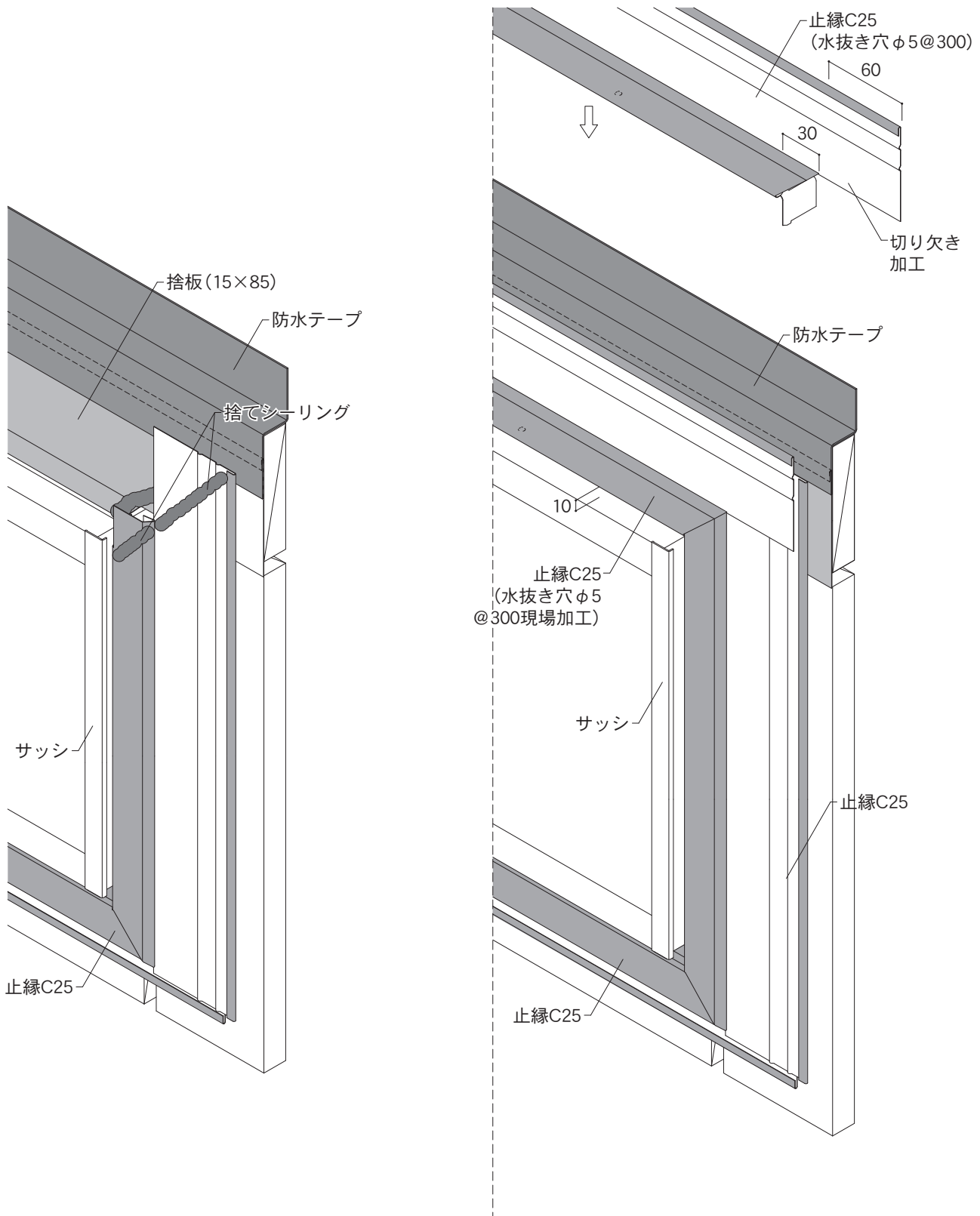
単位：mm

#### 1. 開口部 (1)

隅角部を加工する場合

- ・開口部上には、止縁C25 (水抜き穴φ5@300現場加工) の下端とサッシの間は雨水が滞留しないよう10mm程度のすき間をあけて取り付けてください。

使用部材：止縁C25・捨板 (15×85) ・平パッキンSE



5

施工  
たて  
張りの

5. たて張りの施工

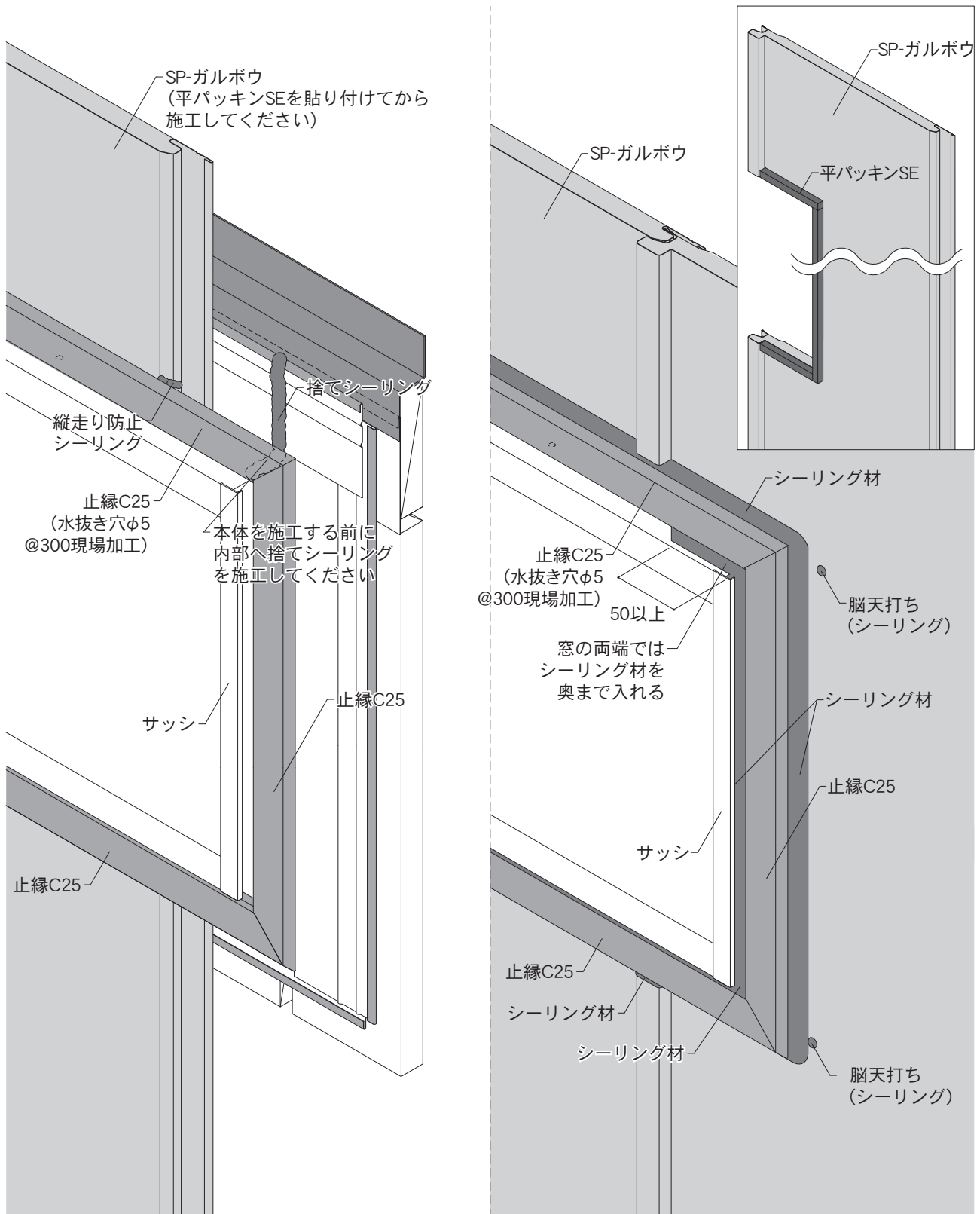
5-3. 25mm品（SP-ガルボウ） 各部位の納まり図

単位：mm

1. 開口部（1） 隅角部を加工する場合

- ・ 本体を施工する前に止縁C25の内部に捨てシーリングを施工してください。
- ・ 開口部上に施工する本体1枚ごとに、縦走り防止シーリングを施工してください。
- ・ 開口部上下左右に施工する本体には、平パッキンSEを貼り付けてください。

使用部材：止縁C25／捨て板（15×85）





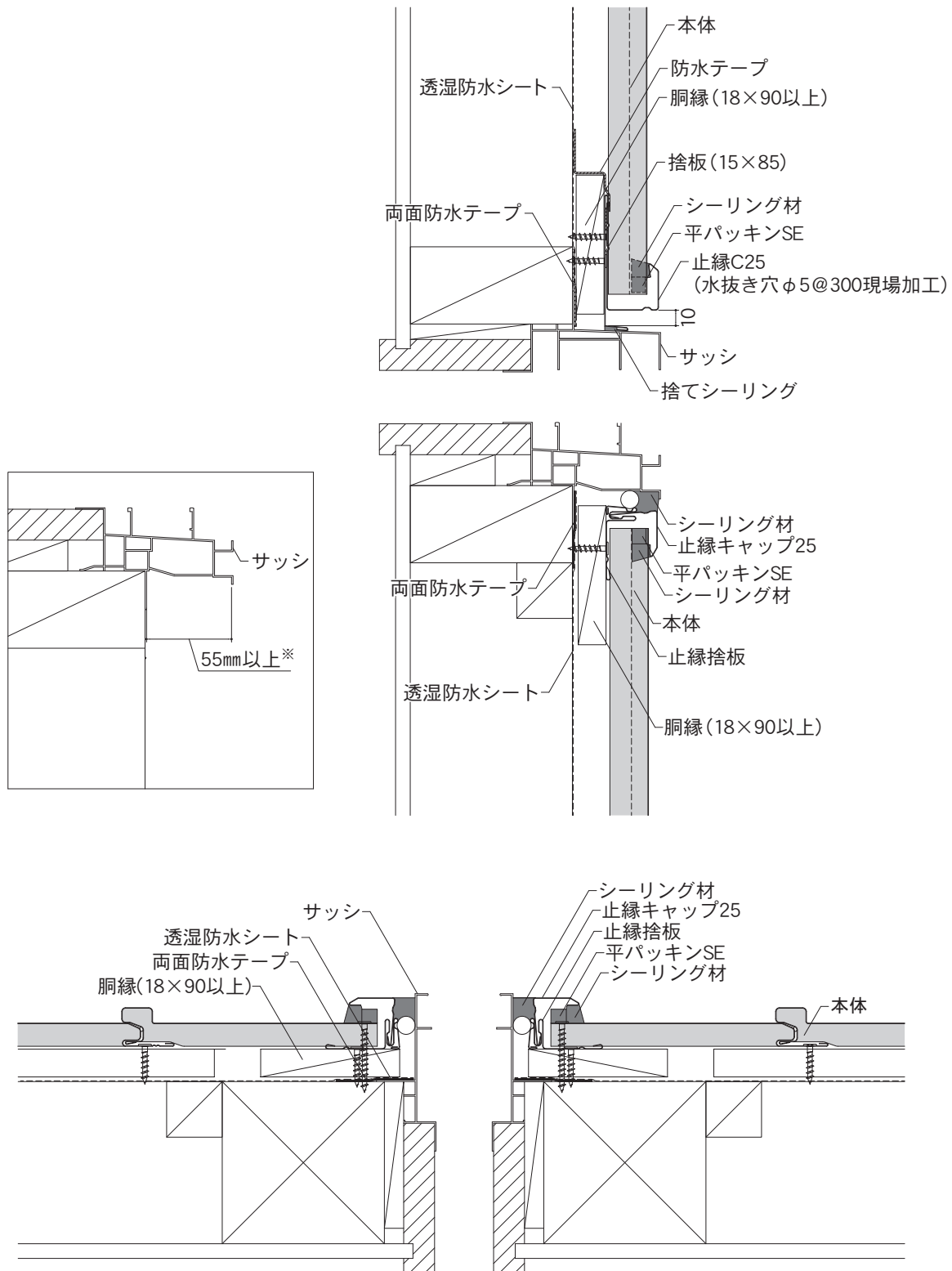
### 5-3. 25mm品 (SP-ガルボウ) 各部位の納まり図

単位：mm

#### 1. 開口部 (2)

- ・止縁C25をサッシ上部に取り付ける際は、あらかじめ水抜き穴をあけてから取り付けてください。
  - ・本体の端部は必ず留め具（スクルーくぎまたは木ねじ）で、直接下地に留め付けてください。
- ※下地表面からサッシの出幅が55mm以上のサッシを使用してください。

使用部材：止縁C25・止縁キャップ25・止縁捨板・平パッキンSE・捨板（15×85）



5  
施  
た  
て  
張  
り  
の

5. たて張りの施工

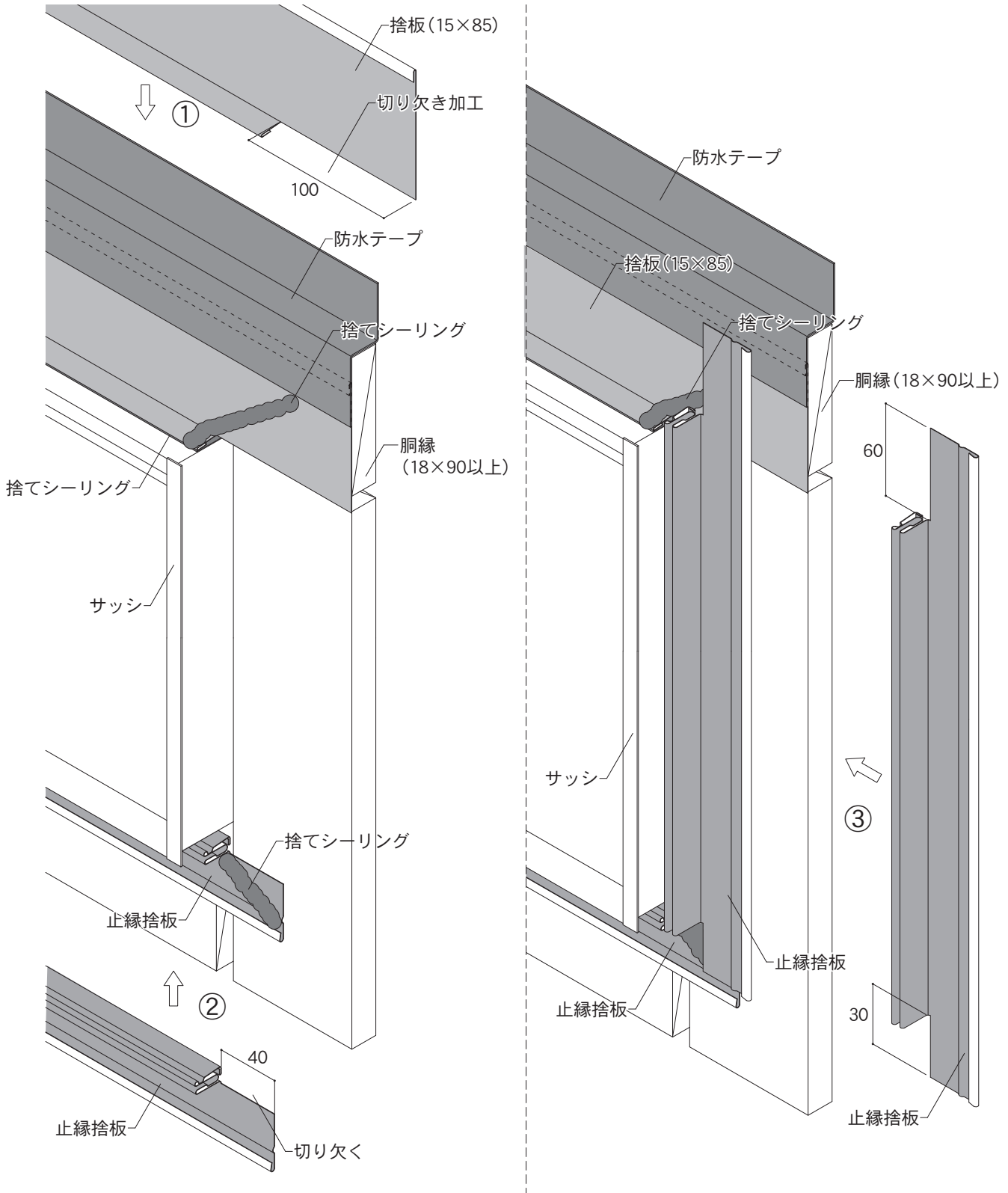
5-3. 25mm品 (SP-ガルボウ) 各部位の納まり図

単位：mm

1. 開口部 (2) 隅角部にワンタッチコーナーキャップ15-25を施工する場合

- ① 捨板 (15×85) とサッシの間には、捨てシーリングを施工してから取り付けてください。捨板 (15×85) の上から防水テープを図の位置に施工してください。
- ② 開口部下に止縁捨板を取り付けてください。  
・各部材同士の重なり位置には捨てシーリングを施工してください。
- ③ 開口部左右に止縁捨板を取り付けてください。

使用部材：止縁C25・捨板 (15×85) ・止縁キャップ25・止縁捨板



### 5-3. 25mm品 (SP-ガルボウ) 各部位の納まり図

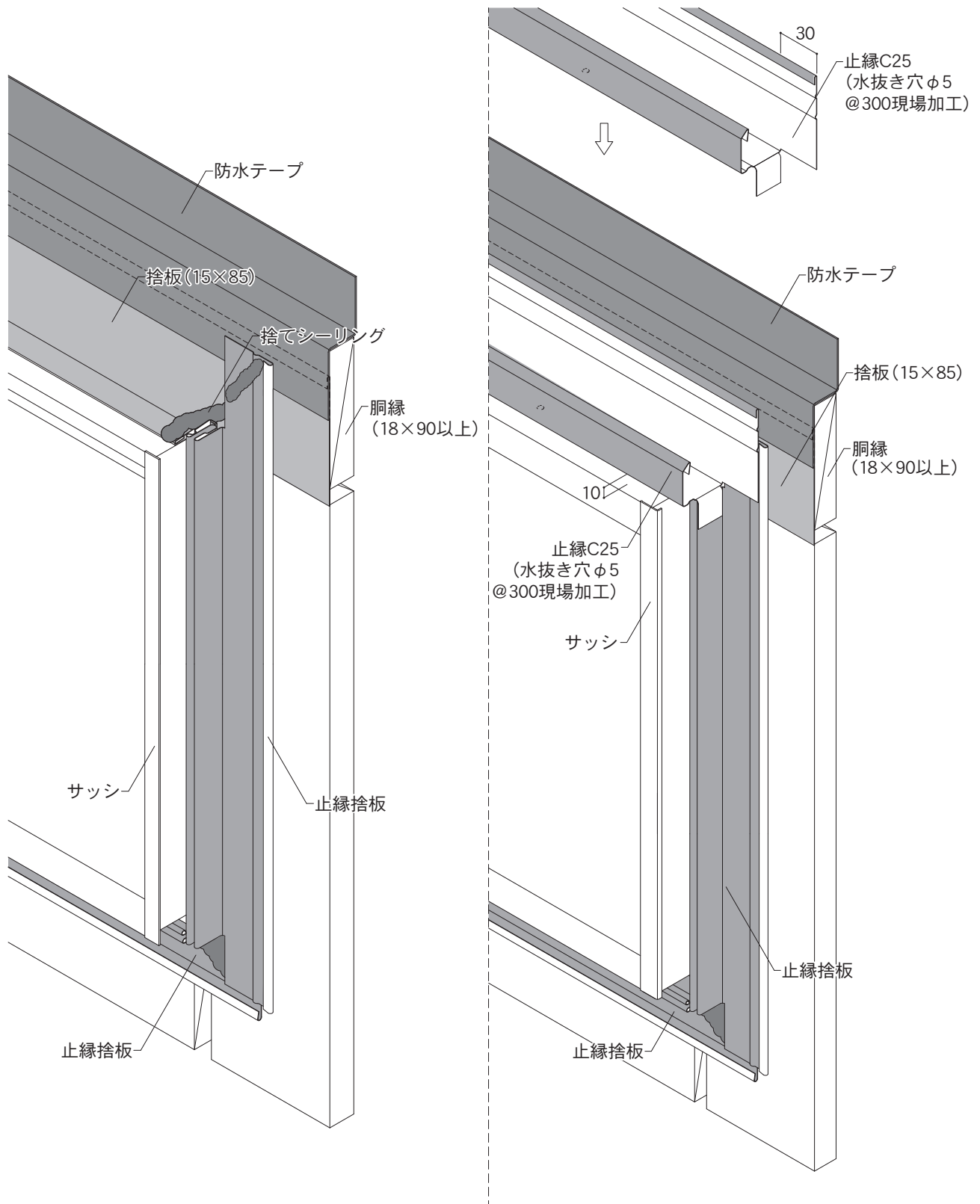
単位：mm

#### 1. 開口部 (2)

隅角部にワンタッチコーナーキャップ15-25を施工する場合

- ・開口部上には、止縁C25 (水抜き穴φ5@300現場加工) の下端とサッシの間は雨水が滞留しないよう10mm程度のすき間をあけて取り付けてください。

使用部材：止縁C25・捨板 (15×85) ・止縁キャップ25・止縁捨板



5

施  
た  
工  
て  
張  
り  
の

## 5. たて張りの施工

### 5-3. 25mm品（SP-ガルボウ） 各部位の納まり図

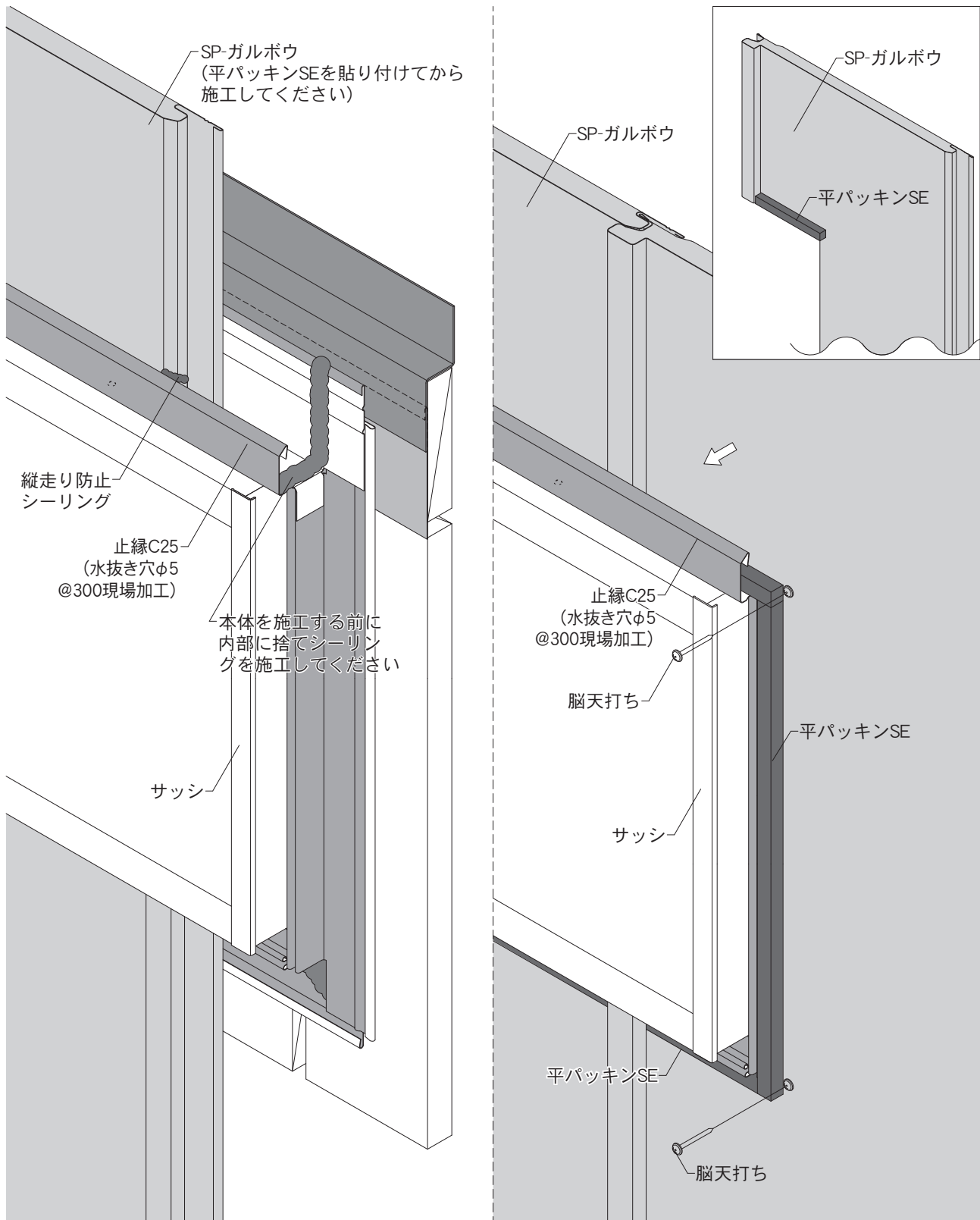
単位：mm

#### 1. 開口部（2）

隅角部にワンタッチコーナーキャップ15-25を施工する場合

- ・開口部上に施工する本体には、平パッキンSEを施工してから止縁C25に差し込んでください。
- ・本体1枚ごとに、縦走り防止シーリングを施工してください。
- ・ワンタッチコーナーキャップ15-25の隠れる位置に脳天打ちをし、本体を確実に留め付けてください。

使用部材：止縁C25・捨板（15×85）・止縁キャップ25・止縁捨板



### 5-3. 25mm品（SP-ガルボウ） 各部位の納まり図

単位：mm

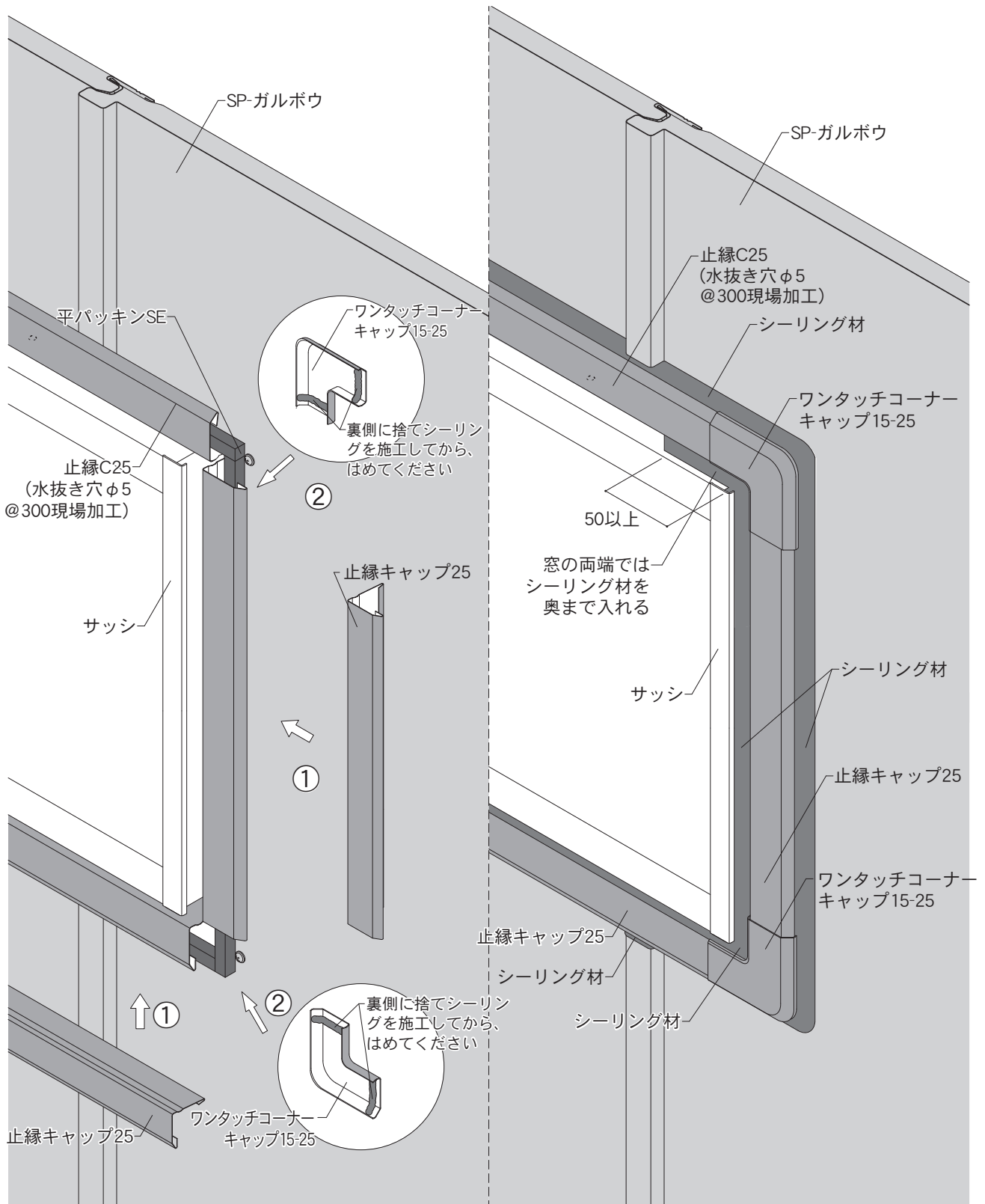
#### 1. 開口部（2）

隅角部にワンタッチコーナーキャップ15-25を施工する場合

・本体1枚ごとに、縦走り防止シーリングを施工してください。

- ①開口部左右および開口部下に、止縁キャップ25を施工してください。
- ②ワンタッチコーナーキャップ15-25に捨てシーリングを施工してから、はめてください。

使用部材：止縁C25・捨て板（15×85）・止縁キャップ25・止縁捨て板



5

施  
工  
張  
り  
の

5. たて張りの施工

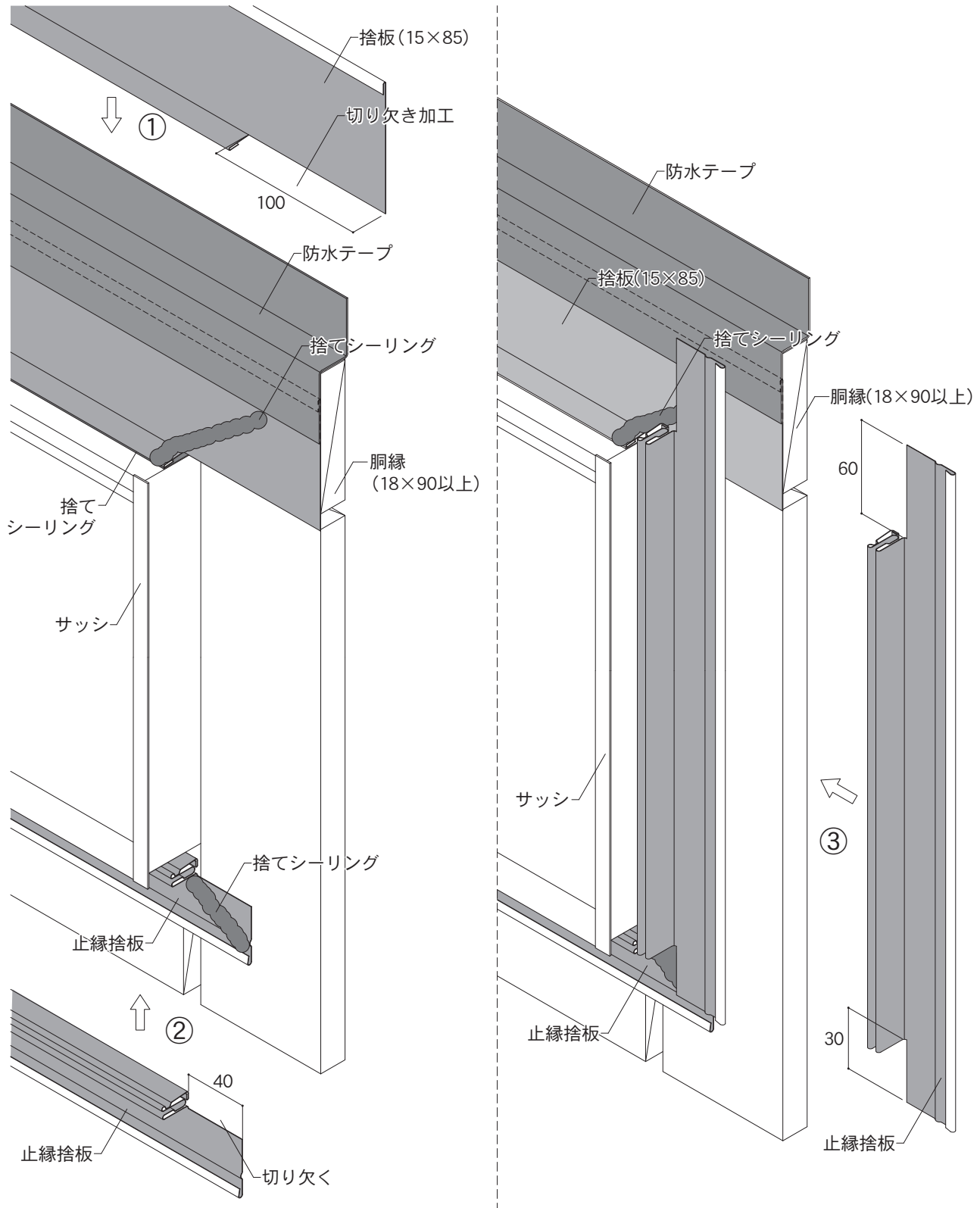
5-3. 25mm品 (SP-ガルボウ) 各部位の納まり図

単位：mm

1. 開口部 (2) 隅角部を加工する場合

- ① 捨板 (15×85) とサッシの間には、捨てシーリングを施工してから取り付けてください。捨板 (15×85) の上から防水テープを図の位置に施工してください。
  - ② 開口部下に止縁捨板を取り付けてください。
  - ③ 開口部左右に止縁捨板を取り付けてください。
- ・なお、各部材同士の重なり位置には捨てシーリングを施工してください。

使用部材：止縁C25・捨板 (15×85) ・止縁キャップ25・止縁捨板



### 5-3. 25mm品 (SP-ガルボウ) 各部位の納まり図

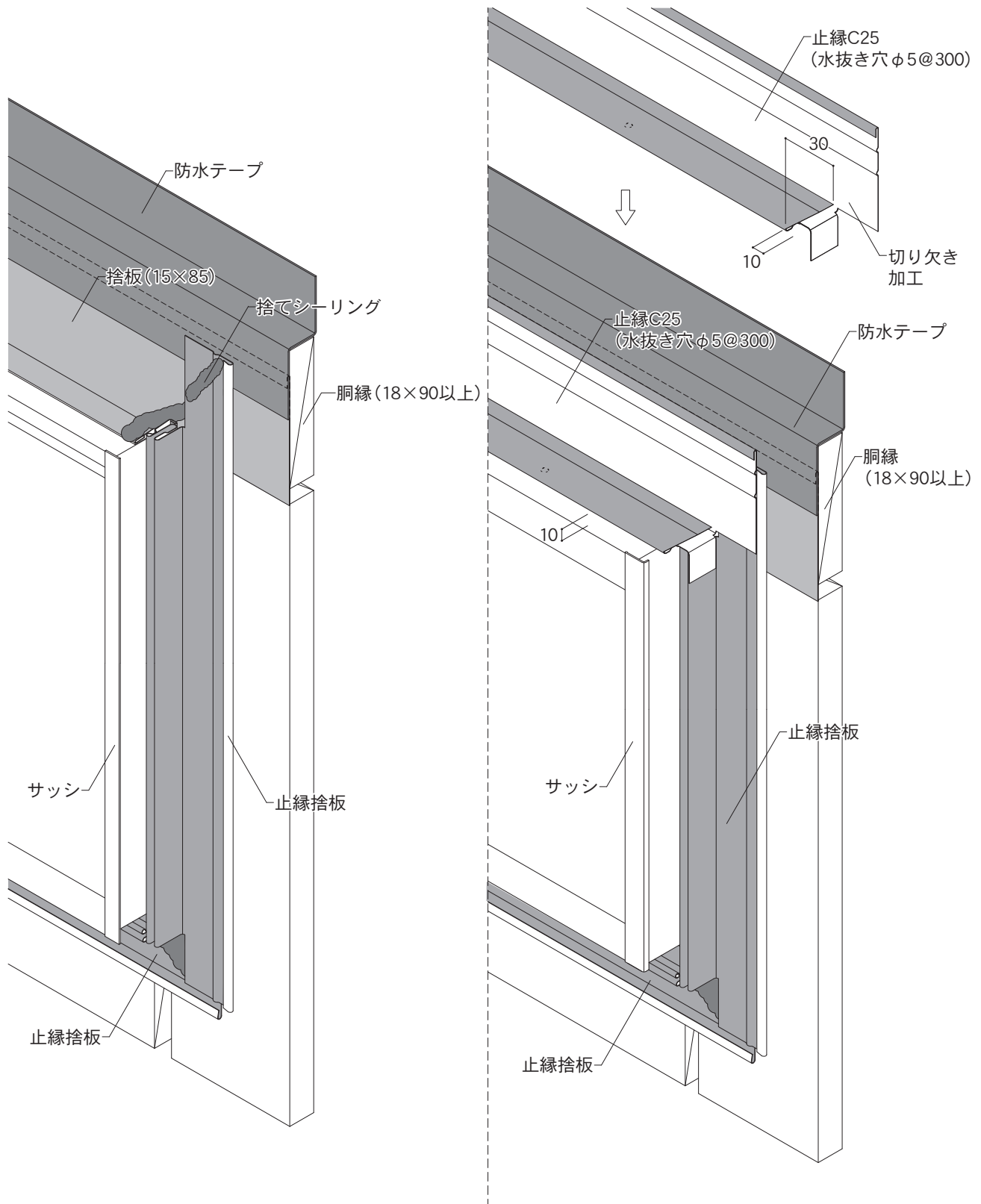
単位：mm

#### 1. 開口部 (2)

隅角部を加工する場合

- ・開口部上には、小口カバー15または止縁C15 (水抜き穴φ5@300現場加工) の下端とサッシの間は雨水が滞留しないよう10mm程度のすき間をあけて取り付けてください。

使用部材：止縁C25・捨板 (15×85) ・止縁キャップ25・止縁捨板



5

施  
た  
工  
て  
張  
り  
の

## 5. たて張りの施工

### 5-3. 25mm品（SP-ガルボウ） 各部位の納まり図

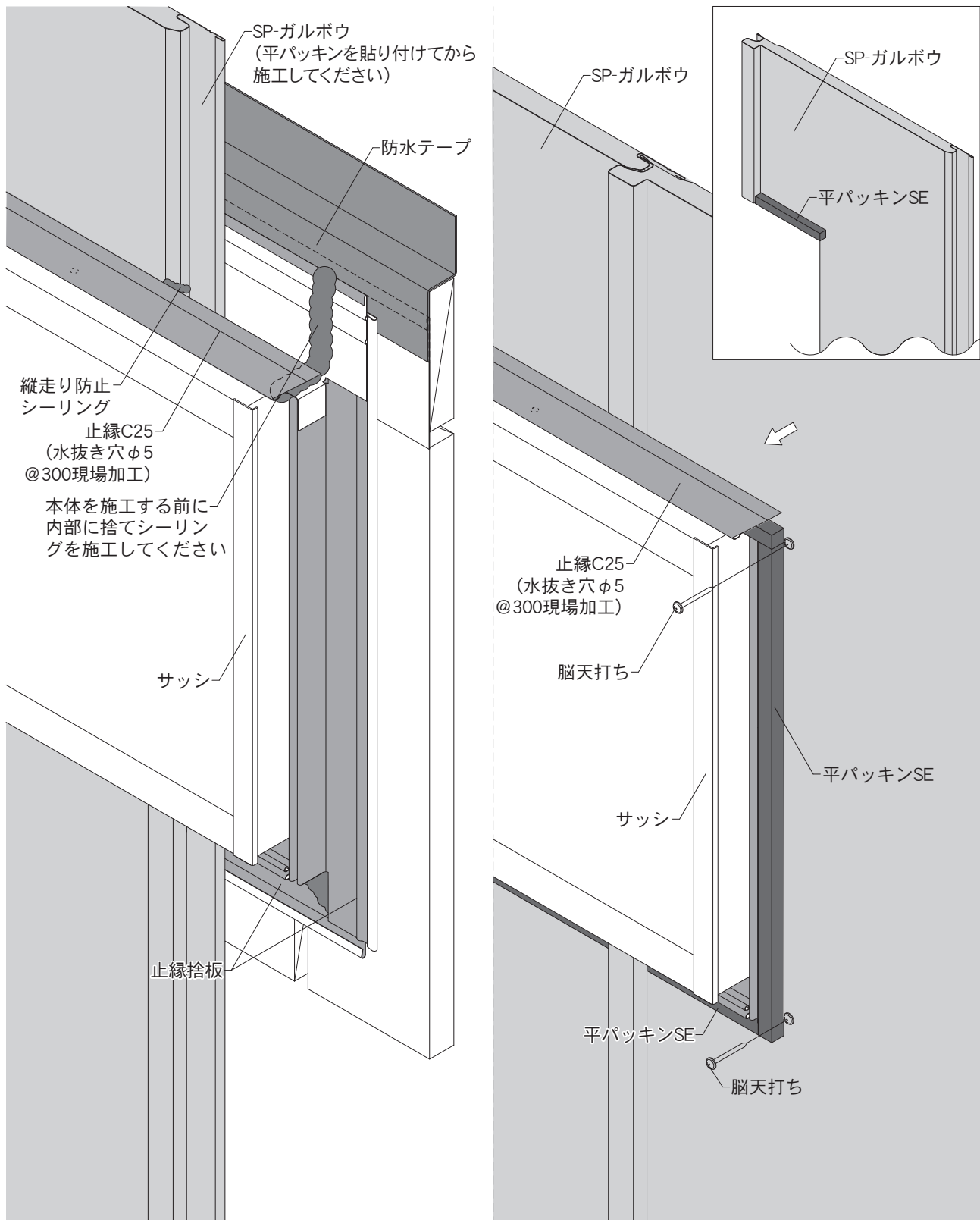
単位：mm

#### 1. 開口部（2）

隅角部を加工する場合

- ・開口部上に施工する本体1枚ごとに、縦走り防止シーリングを施工してください。
- ・開口部上下左右に施工する本体には、平パッキンSEを貼り付けてください。
- ・本体を施工する前に止縁C25の内部に捨てシーリングを施工してください。
- ・脳天打ちをし、本体を確実に留め付けてください。

使用部材：止縁C25・捨板（15×85）・止縁キャップ25・止縁捨板





### 5-3. 25mm品（SP-ガルボウ） 各部位の納まり図

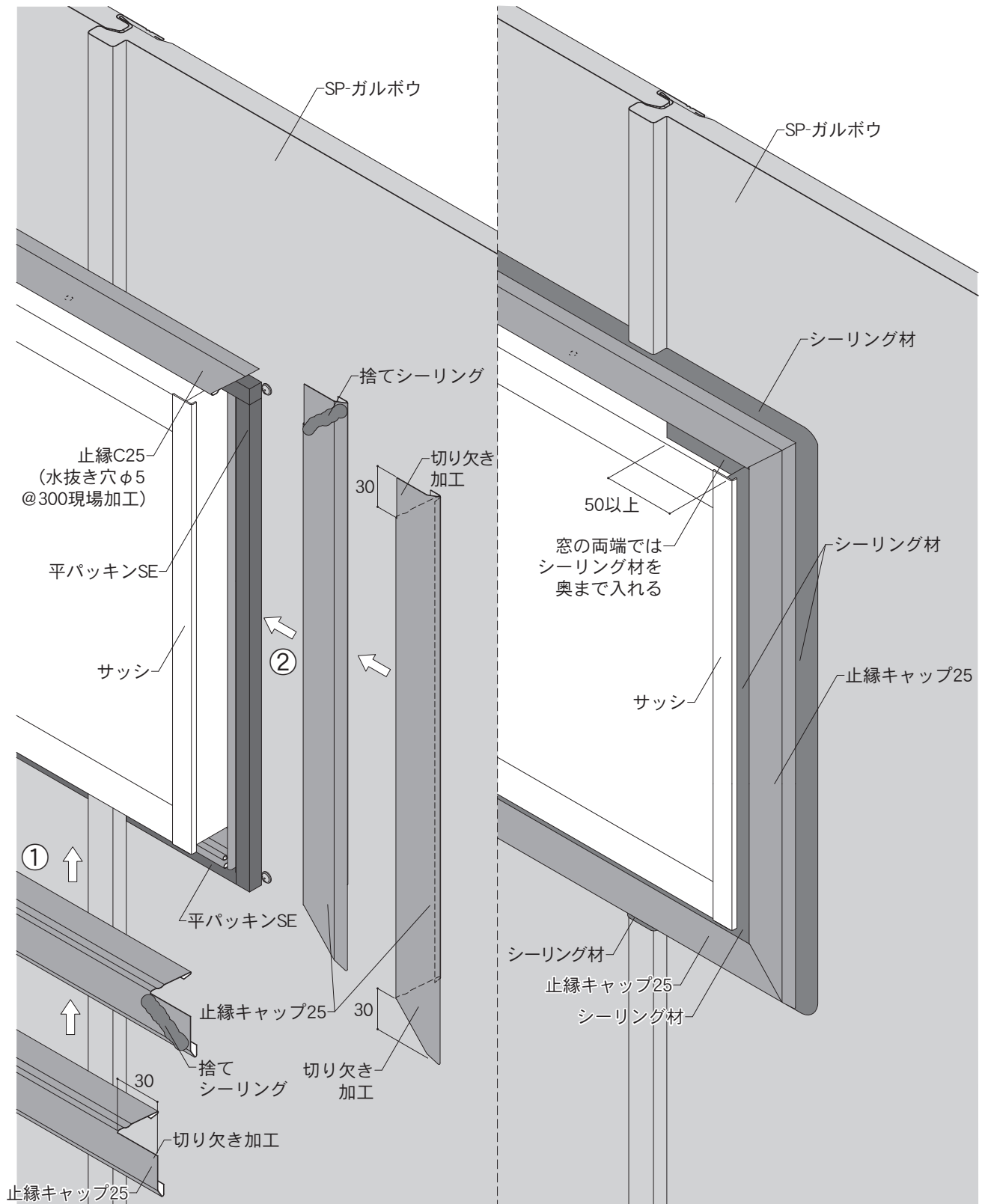
単位：mm

#### 1. 開口部（2）

隅角部を加工する場合

- ・開口部上では、止縁C25の下端とサッシの間に左右両端50mm程度のシーリング材を奥まで入れてください。
- ・脳天打ちをしたくぎやねじ頭には、シーリング材の施工またはタッチアップペイントで塗装してください。
- ①開口部下に止縁キャップ25を施工してください。
- ②開口部左右止縁キャップ25を施工してください。

使用部材：止縁C25・捨板（15×85）・止縁キャップ25・止縁捨板



5

施たて張りの